令和７年度

看護学部　シラバス

（４年間の学修計画）

横浜創英大学

令和7年度　看護学部　シラバス目次

no	授業科目	配当年次	頁
(表1)科目と卒業認定・学位授与の方針との対応、及びナンバリング【令和7年度入学生対象】			2
(表2)科目と卒業認定・学位授与の方針との対応、及びナンバリング【令和4～令和6年度入学生対象】			4
【教養教育分野】			
1	大学で学ぶとは(含建学の精神)	1前	6
2	サイエンスA(考え方)	1前	8
3	サイエンスB(観察)	1後	11
4	数理・データサイエンス・AI　Ⅰ(リテラシー)	1前	14
5	数理・データサイエンス・AI　Ⅱ(応用基礎)	1後	17
6	生物と環境	1後	20
7	生命科学	1前	22
8	知的探求入門	1前	24
9	哲学	1前	26
10	心理学	1前	28
11	倫理学	1後	30
12	コミュニケーション論	1前	32
13	ジェンダー論	1前	34
14	障がい論	1前	37
15	芸術論	1前	39
16	比較文化論	1後	42
17	造形表現	1前	45
18	教養音楽	1後	47
19	法学(含日本国憲法)	1後	50
20	文学	1後	53
21	レポート・文章作成法	1前	56
22	健康・スポーツA	1前	58
23	健康・スポーツB	1前	60
24	英語A(基礎)	1前	63
25	英語B(看護英会話)	1後	65
26	英語C(TOEIC・TOEFL等資格取得)	1前	67
27	社会と市民生活	1前	70
28	キャリアデザイン入門	1後	74
29	現代社会の諸相	1後	78
【専門基礎分野】			
30	人体の構造と機能Ⅰ	1前	80
31	人体の構造と機能Ⅱ	1前	82
32	人体の構造と機能Ⅲ	1後	84
33	病理学	1後	87
34	精神保健論	1後	90
35	栄養生化学	1前	92
36	微生物学	1前	95
37	臨床薬理学	2後	96
38	症候論Ⅰ	2前	100
39	症候論Ⅱ	2前	102
40	症候論Ⅲ	2後	104
41	公衆衛生学	1後	106
42	保健統計学	2後	109
43	疫学	2後	111
44	保健医療福祉行政論Ⅰ	1後	113
45	保健医療福祉行政論Ⅱ	4後	116
【専門分野】			
46	看護学原論	1前	119
47	対象論	1前	121
48	看護学援助論	1前	124
49	ケア場面展開論	1後	127
50	看護援助技術論Ⅰ	1後	129
51	看護援助技術論Ⅱ	2前	132
52	看護過程展開論Ⅰ	1後	135
53	看護過程展開論Ⅱ	2前	137
54	基礎看護学実習Ⅰ	1後	140
55	基礎看護学実習Ⅱ	2後	141
56	地域・在宅看護論	1後	142
57	地域・在宅看護方法論Ⅰ	2後	145
58	地域・在宅看護方法論Ⅱ	3前	148
59	地域包括ケア実習	2後	151
60	地域・在宅看護実習	4前	153
61	成人看護学概論	2前	155
62	成人看護学方法論Ⅰ	2前	157
63	成人看護学方法論Ⅱ	2後	160
64	成人看護学方法論Ⅲ	3後	163
65	成人看護学実習・慢性期	3後	166
66	成人看護学実習・急性期	4前	168
67	老年看護学概論	1後	170
68	老年看護学方法論Ⅰ	2前	172
69	老年看護学方法論Ⅱ	3前	175
70	老年看護学実習Ⅰ	2後	177
71	老年看護学実習Ⅱ	3後	179
72	小児看護学概論	2前	181
73	小児看護学方法論Ⅰ	2後	184
74	小児看護学方法論Ⅱ	3前	187
75	小児看護学実習Ⅰ	2後	190
76	小児看護学実習Ⅱ	4前	191
77	母性看護学概論	1後	192
78	母性看護学方法論Ⅰ	2前	194
79	母性看護学方法論Ⅱ	3前	197
80	母性看護学実習	3後	200
81	精神看護学概論	2前	201
82	精神看護学方法論Ⅰ	2後	203
83	精神看護学方法論Ⅱ	3前	206
84	精神看護学実習	3後	208
85	家族看護論	2前	209
86	リハビリテーション看護論	3前	211
87	公衆衛生看護学概論	2前	213
88	健康生活支援論Ⅰ	3前	216
89	健康生活支援論Ⅱ	3後	219
90	公衆衛生看護活動論	3通	222
91	産業保健活動論	3前	226
92	学校保健論	3前	228
93	公衆衛生看護技術演習	4通	230
94	公衆衛生看護管理論	4後	234
95	公衆衛生看護学実習Ⅰ	3後	236
96	公衆衛生看護学実習Ⅱ	4後	238
97	がん看護	3前	239
98	国際看護論	3後	242
99	災害看護学	4後	244
100	科学の進歩と看護	4後	246
101	看護実践と倫理	4前	248
102	看護管理学	3前	250
103	看護情報学	2前	253
104	多職種連携論	3前	255
105	医療安全学	3前	257
106	看護教育学	4前	259
107	感染看護学	2後	261
108	看護研究	3前	263
109	研究ゼミナール	4通	265
110	統合実習	4前	266
【養護教育課程】			
112	養護概説	2後	268
113	健康相談活動及び方法	3前	271
114	教職概論(養護教諭)	2前	273
115	教育原理(養護教諭)	1後	275
116	発達心理学(養護教諭)	1後	279
117	教育社会学(養護教諭)	2後	281
118	教育課程と指導計画(養護教諭)	2前	283
117	道徳教育と特別活動・総合的な学習の理論と方法	2前	285
119	教育相談(養護教諭)	2前	288
119	生徒指導の理論と実際	3前	290
120	特別支援教育論	3前	292
121	教育方法論	3前	294
122	教職実践演習(養護教諭)	4通	296
123	養護実習	4通	298

（表1）　科目と卒業認定・学位授与の方針との対応、及びナンバリング【令和7年度入学生対象】

授業科目	ナンバリング	【卒業認定・学位授与の方針　（ディプロマ・ポリシー）				
		看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。	臨床場面や状況への関心をもち、看護実践の内省を通して、臨床判断能力を研鑽することができる。	看護の専門的知識・技術（及び倫理的態度）に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる。	保健医療福祉チームの中で協働・連携し、自らの役割を果たすことができる。	地域社会の動向を踏まえて、関連情報を活用し、創造的に看護を発展させることができる。
大学で学ぶとは（含建学の精神）	LF100	●				
サイエンスＡ（考え方）	LG100	●				
サイエンスＢ（観察）	LG100	●				
数理・データサイエンス・AI　Ⅰ（リテラシー）	LF100	●				
数理・データサイエンス・AI　Ⅱ（応用基礎）	LF100	●				
生物と環境	LG100	●				
生命と科学	LG100	●				
知的探求入門	LF100	●				
哲学	LG100	●				
心理学	LG100	●				
倫理学	LG100	●				
コミュニケーション論	LG100	●				
ジェンダー論	LG100	●				
障がい論	LG100	●				
芸術論	LG100	●				
比較文化論	LG100	●				
造形表現	LG100	●				
教養音楽	LG100	●				
法学（含日本国憲法）	LG100	●				
文学	LG100	●				
レポート・文章作成法	LF100	●				
健康・スポーツＡ	LG100	●				
健康・スポーツＢ	LG100	●				
英語Ａ（基礎）	LG100	●				
英語Ｂ（看護英会話）	LF100	●				
英語Ｃ（TOEIC・TOEFL等資格取得）	LG100	●				
社会と市民生活	LG100	●				
キャリアデザイン入門	LG100	●				
現代社会の諸相	LG100	●				
人体の構造と機能Ⅰ	NB100			●		
人体の構造と機能Ⅱ	NB100			●		
人体の構造と機能Ⅲ	NB100			●		
病理学	NB100			●		
精神保健論	NB100			●		
栄養生化学	NB100			●		
微生物学	NB100			●		
臨床薬理学	NB300			●		
症候論Ⅰ	NB300			●		
症候論Ⅱ	NB300			●		
症候論Ⅲ	NB300			●		
公衆衛生学	NB100			●		●
保健統計学	NB300		●			●
疫学	NB300		●			●
保健医療福祉行政論Ⅰ	NB100		●		●	●
保健医療福祉行政論Ⅱ	NB700		●		●	●
看護学原論	NB100	●	●	●		
対象論	NB100	●				
看護学援助論	NB100	●		●		
ケア場面展開論	NP200	●	●			
看護援助技術論Ⅰ	NP200	●		●		
看護援助技術論Ⅱ	NP300	●		●		
看護過程展開論Ⅰ	NP200	●		●		
看護過程展開論Ⅱ	NP300	●	●	●		
基礎看護学実習Ⅰ	NI200	●				
基礎看護学実習Ⅱ	NI400	●	●	●		
地域・在宅看護論	NB100	●	●			
地域・在宅看護方法論Ⅰ	NP300		●	●		
地域・在宅看護方法論Ⅱ	NP500		●	●		
地域包括ケア実習	NI400		●	●		

授業科目	ナンバリング	【卒業認定・学位授与の方針　（ディプロマ・ポリシー）				
		看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。	臨床場面や状況への関心をもち、看護実践の内省を通して、臨床判断能力を研鑽することができる。	看護の専門的知識・技術（及び倫理的態度）に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる。	保健医療福祉チームの中で協働・連携し、自らの役割を果たすことができる。	地域社会の動向を踏まえて、関連情報を活用し、創造的に看護を発展させることができる。
地域・在宅看護実習	NI700		●	●	●	
成人看護学概論	NB300	●		●		
成人看護学方法論Ⅰ	NP400	●		●		
成人看護学方法論Ⅱ	NP400	●		●		
成人看護学方法論Ⅲ	NP500	●		●		
成人看護学実習・慢性期	NI600	●	●		●	
成人看護学実習・急性期	NI700	●	●		●	
老年看護学概論	NB100	●		●		
老年看護学方法論Ⅰ	NP300	●		●		
老年看護学方法論Ⅱ	NP500	●		●		
老年看護学実習Ⅰ	NI400	●				
老年看護学実習Ⅱ	NI600	●	●		●	
小児看護学概論	NB300	●		●		●
小児看護学方法論Ⅰ	NP300	●		●		
小児看護学方法論Ⅱ	NP500	●		●		
小児看護学実習Ⅰ	NI400	●	●			●
小児看護学実習Ⅱ	NI700		●	●	●	
母性看護学概論	NB100	●		●		
母性看護学方法論Ⅰ	NP300	●		●		
母性看護学方法論Ⅱ	NP500	●		●		
母性看護学実習	NI600	●	●	●		
精神看護学概論	NB300	●	●			●
精神看護学方法論Ⅰ	NP400	●		●		●
精神看護学方法論Ⅱ	NP500			●	●	●
精神看護学実習	NI600		●	●	●	
家族看護論	NB400	●		●		
リハビリテーション看護論	NP600			●	●	
公衆衛生看護学概論	NB300	●			●	●
健康生活支援論Ⅰ	NP500			●	●	●
健康生活支援論Ⅱ	NP600			●	●	●
公衆衛生看護活動論	NP500			●	●	●
産業保健活動論	NP500			●	●	●
学校保健論	NP500			●	●	
公衆衛生看護技術演習	NP700			●	●	●
公衆衛生看護管理論	NP700			●	●	●
公衆衛生看護学実習Ⅰ	NI600			●	●	●
公衆衛生看護学実習Ⅱ	NI700			●	●	●
がん看護	NP600			●		●
国際看護論	NP600				●	●
災害看護学	NP700			●		●
科学の進歩と看護	NP700			●		●
看護実践と倫理	NP700	●	●			
看護管理学	NP600	●			●	
看護情報学	NP400	●				●
多職種連携論	NP600				●	●
医療安全学	NP600			●	●	
看護教育学	NP700	●		●		
感染看護学	NP400			●	●	
看護研究	NI600	●				
研究ゼミナール	NI800	●				●
統合実習	NI800		●		●	●

注釈）
ナンバリングとは、授業科目に適切な番号を付し分類することで、学修の段階や順序等を表し、教育課程の体系性を明示する仕組みをいう。

【科目の分類（看護学部）】　授業科目間の関係性

教務	初年次教育	LF
	一般	LG
専門	基礎	NB
	実践	NP
	統合	NI

（表2）　科目と卒業認定・学位授与の方針との対応、及びナンバリング【令和4年度入学生～令和6年度入学生対象】

授業科目	ナンバリング	【卒業認定・学位授与の方針　（ディプロマ・ポリシー）				
		看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。	臨床場面や状況への関心をもち、看護実践の内省を通して、臨床判断能力を研鑽することができる。	看護の専門的知識・技術（及び倫理的態度）に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる。	保健医療福祉チームの中で協働・連携し、自らの役割を果たすことができる。	地域社会の動向を踏まえて、関連情報を活用し、創造的に看護を発展させることができる。
大学で学ぶとは（含建学の精神）	LF100	●				
サイエンスA（考え方）	LG100	●				
サイエンスB（観察）	LG100	●				
コンピュータA(機器操作と文書作成)	LF100	●				
コンピュータB(表計算)	LF100	●				
コンピュータC(プレゼンテーション)	LF100	●				
情報リテラシー	LG100	●				
データサイエンス入門	LG100	●				
医療・環境入門	LG100	●				
哲学	LG100	●				
心理学	LG100	●				
倫理学	LG100	●				
コミュニケーション論	LG100	●				
ジェンダー論	LG100	●				
障がい論	LG100	●				
芸術論	LG100	●				
比較文化論	LG100	●				
造形表現	LG100	●				
教養音楽	LG100	●				
法学（含日本国憲法）	LG100	●				
文学	LG100	●				
レポート・文章作成法	LF100	●				
健康・スポーツA	LG100	●				
健康・スポーツB	LG100	●				
英語A（基礎）	LG100	●				
英語B（看護英会話）（保育英語）	LF100	●				
英語C（TOEIC・TOEFL等資格取得）	LG100	●				
中国語	LG100	●				
韓国語	LG100	●				
フランス語	LG100	●				
知的探求入門	NB100	●				
人体の構造と機能Ⅰ	NB100			●		
人体の構造と機能Ⅱ	NB100			●		
人体の構造と機能Ⅲ	NB100			●		
病理学	NB100			●		
精神保健論	NB100			●		
栄養生化学	NB100			●		
微生物学	NB100			●		
臨床薬理学	NB300			●		
症候論Ⅰ	NB300			●		
症候論Ⅱ	NB300			●		
症候論Ⅲ	NB300			●		
公衆衛生学	NB100			●		●
保健統計学	NB300		●			●
疫学	NB300		●			●
保健医療福祉行政論Ⅰ	NB100		●		●	●
保健医療福祉行政論Ⅱ	NB700		●		●	●
看護学原論	NB100	●	●	●		
対象論	NB100	●				
看護学援助論	NB100	●		●		
ケア場面展開論	NP200	●	●			
看護援助技術論Ⅰ	NP200	●		●		
看護援助技術論Ⅱ	NP300	●		●		
看護過程展開論Ⅰ	NP200	●		●		
看護過程展開論Ⅱ	NP300	●	●	●		
基礎看護学実習Ⅰ	NI200	●				
基礎看護学実習Ⅱ	NI400	●	●	●		
地域・在宅看護論	NB100	●	●			
地域・在宅看護方法論Ⅰ	NP300		●	●		
地域・在宅看護方法論Ⅱ	NP500		●	●		
地域包括ケア実習	NI400		●	●		
地域・在宅看護実習	NI700		●	●	●	

授業科目	ナンバリング	【卒業認定・学位授与の方針　（ディプロマ・ポリシー）				
		看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。	臨床場面や状況への関心をもち、看護実践の内省を通して、臨床判断能力を研鑽することができる。	看護の専門的知識・技術（及び倫理的態度）に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる。	保健医療福祉チームの中で協働・連携し、自らの役割を果たすことができる。	地域社会の動向を踏まえて、関連情報を活用し、創造的に看護を発展させることができる。
成人看護学概論	NB300	●		●		
成人看護学方法論Ⅰ	NP400	●		●		
成人看護学方法論Ⅱ	NP400	●		●		
成人看護学方法論Ⅲ	NP500	●		●		
成人看護学実習・慢性期	NI600	●	●		●	
成人看護学実習・急性期	NI700	●	●		●	
老年看護学概論	NB100	●		●		
老年看護学方法論Ⅰ	NP300	●		●		
老年看護学方法論Ⅱ	NP500	●		●		
老年看護学実習Ⅰ	NI400	●				
老年看護学実習Ⅱ	NI600	●	●		●	
小児看護学概論	NB300	●		●		●
小児看護学方法論Ⅰ	NP300	●		●		
小児看護学方法論Ⅱ	NP500	●		●		
小児看護学実習Ⅰ	NI400	●	●			●
小児看護学実習Ⅱ	NI700		●	●	●	
母性看護学概論	NB100	●		●		
母性看護学方法論Ⅰ	NP300	●		●		
母性看護学方法論Ⅱ	NP500	●		●		
母性看護学実習	NI600	●	●	●		
精神看護学概論	NB300	●	●			●
精神看護学方法論Ⅰ	NP400	●		●		●
精神看護学方法論Ⅱ	NP500			●	●	●
精神看護学実習	NI600		●	●	●	
家族看護論	NB400	●		●		
リハビリテーション看護論	NP600			●	●	
公衆衛生看護学概論	NB300	●			●	●
健康生活支援論Ⅰ	NP500			●	●	●
健康生活支援論Ⅱ	NP600			●	●	●
公衆衛生看護活動論	NP500			●	●	●
産業保健活動論	NP500			●	●	●
学校保健論	NP500			●	●	
公衆衛生看護技術演習	NP700			●	●	●
公衆衛生看護管理論	NP700			●	●	●
公衆衛生看護学実習Ⅰ	NI600			●	●	●
公衆衛生看護学実習Ⅱ	NI700			●	●	●
がん看護	NP600			●		●
国際看護論	NP600				●	●
災害看護学	NP700			●		●
科学の進歩と看護	NP700			●		●
看護実践と倫理	NP700	●	●			
看護管理学	NP600	●			●	
看護情報学	NP400	●				●
多職種連携論	NP600				●	●
医療安全学	NP600			●	●	
看護教育学	NP700	●		●		
感染看護学	NP400			●	●	
看護研究	NI600	●				
研究ゼミナール	NI800	●				●
統合実習	NI800		●		●	●

注釈）
ナンバリングとは、授業科目に適切な番号を付し分類することで、学修の段階や順序等を表し、教育課程の体系性を明示する仕組みをいう。

【科目の分類（看護学部）】　授業科目間の関係性

教務	初年次教育	LF
	一般	LG
専門	基礎	NB
	実践	NP
	統合	NI

講義科目名称： 大学で学ぶとは（含建学の精神）　　授業コード： 25L101

英文科目名称： Studying at the University (Guiding Principles)

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	１単位	必修
担当教員			
学長　看護学部長　こども教育学部長　教務部長　学生部長　図書館長　教養教育教務分科会長			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。
履修条件	特になし。
授業概要	本学の建学の精神と歴史を学び、本学で学ぶこととはどういうことなのかを理解する。高校までの学び方と大学での学び方の違いを明らかにする。
履修目標	①　本学の建学の精神を述べることができる。 ②　初年次教育として、高校と大学での学び方の違いを説明することができる。 ③　大学生活の有意義な送り方についてグループで討議することができる。 ④　卒業後のキャリアプランを計画することができる。 ⑤　社会に対してどのような認識を持つべきかの自らの考えを述べることができる。
授業計画・授業外学修課題	1　本学の建学の精神と大学で学ぶことの意義 建学の精神が意味することと大学で学ぶことの意義についてグループで話し合い、全体発表・討議する。（学長） 授業外事前学修課題：横浜創英大学の建学の精神、大学理念、各学部の教育目的・目標を学生便覧やホームページで確認する。（90分） 授業外事後学修課題：グループ討議したことをもとに大学での学び方についてノートにまとめる。（90分） 2　人を理解するために 「他者との関係を築くために必要なこと」を考える。（看護学部長） 授業外事前学修課題：「自分が思う私」について、ノートにまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：授業での学びを整理し、「自分への発見」「他者との関係を築くために必要なこと」について、自分の考えをノートにまとめる。（90分） 3　大学で学ぶための心構え 大学で自分が追及したいテーマを見つける。問題意識を持って物事と関わることの重要性を理解し、他の学生と討議しながらさらに学びに対する姿勢を明確にする。（こども教育学部長） 授業外事前学修課題：大学で自分が追及したいテーマをいくつか考え、ノートに列挙しておく。（90分） 授業外事後学修課題：授業内で討議した内容を文章化する。（90分） 4　キャンパスマナーについて 授業を受ける際に気をつける点についてグループ討議・発表を行う。（教務部長） 授業外事前学修課題：効率的な授業の受け方やノートの取り方について、高校生活で役立った点や反省点などをA4用紙1枚に書き出す。（90分） 授業外事後学修課題：学内での対人関係で気をつけるべき点を整理し、ノートにまとめる。（90分） 5　安全な大学生活を送るために 学生生活に潜む危険性等について学び、グループ討議・発表を行う。（学生部長） 授業外事前学修課題：「情報リテラシー(SNSの使い方を中心に)」「ハラスメント」「ブラックバイト」「マルチ商法」「カルト宗教集団」「危険ドラッグ」「喫煙の害」等、大学生活を危険に晒す要因について、どのような被害やトラブルの事例があるかを具体的に調べ、その中のひとつを選んでA4用紙1枚でまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：安全に学生生活を送るために必要なことについて、授業内容を整理しノートにまとめる。（90分） 6　学習を深めるために 図書館の活用方法を学んだうえで、グループ討議・発表を行う。（図書館長） 授業外事前学修課題：横浜創英大学の図書館を訪れ、A4用紙1枚に「横浜創英大学の図書館の魅力」を書いてくる。写真添付可能。(90分) 授業外事後学修課題：グループ討議したことをもとに図書館での学び方についてノートにまとめる。（90分） 7　横浜創英大学の教養教育について 大学生にとって必要な「教養」とは何かを学び、グループ討議・発表を行う。（教養教育教務分科会委員長） 授業外事前学修課題：横浜創英大学の教養教育について大学案内や学生便覧で確認し、サイエンス・リテラシーとヒューマン・リテラシーの教育の目的と内容、さらに自分で考える教養の重要性についてA4用紙1枚でまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：大学生にとっての「教養」とは何かを再度考え、身につけるために必要な方策について具体的に自分の言葉でノートにまとめる。（90分）

	8　　まとめ 「大学で学ぶ」ことについて改めて考える。(学長) 授業外事前学修課題：授業最終回では確認テストを行うので、第1回～第7回の授業内容をよく復習し、自分の意見をまとめておく。 (90分) 授業外事後学修課題：ノートを整理し、振り返りを行う。 (90分)
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク、プレゼンテーションを行う。
課題のフィードバック方法と時期	各回の事前課題をもとに授業で発表・討議する。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	詳細はルーブリック参照のこと。 評価方法：　事前レポート 評価割合：　50% 評価基準：　授業で学んだことを理解したうえで、さらに自らの意見を記述できていれば60点。 履修目標との対応：　①、②、③、④、⑤ 評価方法：　リフレクションペーパー 評価割合：　30% 評価基準：　授業の要点や自分の意見を端的にまとめることができていれば60点。 履修目標との対応：　①、②、③、④、⑤ 評価方法：　最終試験 評価割合：　40% 評価基準：　シラバスの「予習内容」をもとに、調査、ならびに情報の確認・整理ができていれば60点。 履修目標との対応：　①、②、③、④、⑤
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキストは使用せず、毎回必要に応じてレジュメ等の資料を配布予定。 参考文献は授業時に適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	担当教員の一部は看護師もしくは教諭経験を有しており、その経験を活かして、将来を見据えた生きた実践学の知を伝える。
オフィスアワー・連絡先	北村学長 オフィスアワー:　水曜日1時限 北村学長 メールアドレス:　kkitamura@soei.ac.jp
備考	授業への主体的な参加を期待しています。なお30分以内の遅刻・早退3回で欠席1回とみなします。

講義科目名称： サイエンスＡ（考え方）　　授業コード： 25L102

英文科目名称： Science A (Way of Thinking)

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	２単位	選択
担当教員			
若生　啓/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。
履修条件	特になし
授業概要	私たちが生きているこの世界はどのようなものなのか、サイエンス（自然科学）の知識や考え方、ものの見方を学ぶ。この世界で起こる現象がどのような法則に従っているのか、私たちの体が何でできているのか、この世界の姿はどのようなものなのか、様々な疑問を出発点として授業を展開する。さらに、自然科学の知識や考え方を、看護や幼児教育の分野にどう活かすことができるか考える。
履修目標	1. 自然科学の考え方やものの見方、方法論について具体的に説明できる。 2. 自然界で起こる現象について、それが従う法則や性質を理解し説明できる。 3. 自然界を構成する階層構造を理解し、各構成要素について説明できる。 4. 自然科学の学問的な位置付けを理解し、看護学や幼児教育学との関連性について説明できる。
授業計画・授業外学修課題	1　サイエンス（自然科学）とは何か 自然科学とはどのような学問なのか、何を対象にし、どのような方法論で発展してきたのか学ぶ。自然科学が看護や幼児教育の分野にどのように関係するか考え、グループで議論する。 授業外事前学修課題：シラバスを確認し、授業の全体の流れを確認する。自然科学にはどのような学問分野があるか調べてノートにまとめる。 授業外事後学修課題：グループで議論した内容をもとに、自然科学と看護や幼児教育との関係についてノートにまとめる。 2　自然科学の考え方（1）力と運動 力のつり合いやてこの原理、遠心力など力と運動についての法則について学ぶ。力と運動の法則が、ボディメカニクスやおもちゃの原理など、看護や幼児教育の分野とどのような関係があるか考える。 授業外事前学修課題：運動の法則について調べてノートにまとめる。 授業外事後学修課題：力や運動の法則と関係がある病院内の設備や公園の遊具について具体例を挙げノートにまとめる。 3　自然科学の考え方（2）波とは何か 波とは何かについて、音波や電磁波、物体を伝わる波などについて学ぶ。レントゲンやエコー検査のような看護の分野や、糸電話や楽器など幼児教育の分野との関係についても考える。 授業外事前学修課題：水面波、音波、電磁波について調べ、それらの特徴についてノートにまとめる。 授業外事後学修課題：波と関係がある医療器具や楽器、おもちゃについて具体例を挙げノートにまとめる。 4　自然科学の考え方（3）量子論の不思議な世界 電子や光は量子とも呼ばれ、粒子と波の2つの性質をあわせ持つ不思議な存在である。これら量子によって起こる不思議な現象を通して量子論の考え方や、スマホやパソコンに使われる半導体は量子論に基づいていることを学ぶ。 授業外事前学修課題：「シュレーディンガーの猫」や「トンネル効果」について調べてノートにまとめる。 授業外事後学修課題：量子の性質や半導体が使われている機器についてノートにまとめる。 5　自然科学の考え方（4）ものの大きさ 自然科学の考え方の中でも特に重要なスケール（大きさ）という概念と単位について学ぶ。さらにそれらを数学的に表現する方法としてべき乗について学び、その計算方法を身につける。 授業外事前学修課題：SI基本単位とSI接頭語について調べてノートにまとめる。 授業外事後学修課題：授業で行った計算を再度行いノートにまとめる。 6　ミクロの世界（1）人体の構造 人間の体は何からできているか、器官、組織、細胞、細胞小器官などの、人体の階層構造についてそれぞれの大きさ注目しながら学ぶ。さらに、細菌とウイルスの違いやワクチン、特に乳幼児に接種が推奨されているワクチンについて学ぶ。 授業外事前学修課題：人体の器官、組織、細胞、細胞小器官としてそれぞれどのようなものがあるか調べてノートにまとめる。 授業外事後学修課題：人体の器官、組織、細胞、細胞小器官の種類や役割と、それぞれの大きさをノートにまとめる。 7　ミクロの世界（2）体を作る分子 人間の体はどんな分子で作られているのか、生体がタンパク質や糖質、脂質などの分子によって構成されていることや、それぞれの機能や役割を学ぶ。看護師や保育者の立場から、バランスの良い食事とは何かを考える。 授業外事前学修課題：タンパク質や糖質、脂質の分子構造や特徴を調べてノートにまとめる。 授業外事後学修課題：人間の体内でのタンパク質や糖質、脂質の機能や役割についてノートにまとめる。 8　ミクロの世界（3）原子と周期表 原子のカタログとも言える周期表について、その族や周期、周期律について学ぶ。人体を構成する原子の種類とその割合について学ぶ。さらに、原子は全部で何種類あるのか、新元素の発見の

		プロセスを学び、周期表を元に考える。 授業外事前学修課題：周期表の族、周期、周期律について調べてノートにまとめる。 授業外事後学修課題：周期表をノートに書き写し、アルカリ金属やアルカリ土類金属のように色分けして分類する。
	9	ミクロの世界（4）原子核 あらゆる物質は原子から出来ているが、その原子は何から出来ているのか。原子、原子核、陽子・中性子、クォーク、素粒子などの原子を構成する階層構造についてそれらの大きさに注目しながら学ぶ。 授業外事前学修課題：電子、陽子、中性子について調べて、その性質や特徴をノートにまとめる。 授業外事後学修課題：素粒子の名称と記号をノートに書き写して、種類ごとに色分けして分類する。
	10	マクロの世界（1）地球と環境 自然災害について理解するためには、地球スケールでの考え方が必要になる。地震、津波、豪雨などの災害や温暖化による気候危機について学ぶ。看護師や保育者としての立場で災害対策について考える。 授業外事前学修課題：自然災害についてどのような種類のものがあるか調べてノートにまとめる。 授業外事後学修課題：自然災害によって起こりうる被害とその対策について、看護師や保育者としての立場で考えノートにまとめる。
	11	マクロの世界（2）地球と月 最も身近な天体である月について、その性質や特徴を学ぶ。月によって潮の導きが起こり、我々の体にも影響を与えていることを学ぶ。さらに、月はどうやってできたのか、最新の月探査研究を通して月の形成について学ぶ。 授業外事前学修課題：月の直径や質量、地球からの距離について調べてノートにまとめる。 授業外事後学修課題：月の性質や特徴、巨大衝突説についてノートにまとめる。
	12	マクロの世界（3）惑星と太陽系 地球を始めとする惑星が太陽の周りを回るという太陽系の姿はどのようにして発見されたのか。望遠鏡の発展の歴史と、思い込みを捨てて観察した結果から考察するということについて学ぶ。 授業外事前学修課題：太陽系の惑星について、それぞれの直径と質量、地球からの距離について調べてノートにまとめる。 授業外事後学修課題：屈折望遠鏡と反射望遠鏡について、それらの仕組みを図示してノートにまとめる。
	13	マクロの世界（4）銀河と宇宙の果て 古くから人類が追い求めてきた、この世界に果てはあるのかという疑問に対して、太陽系、銀河、銀河団、超銀河団などについて、それらの大きさに注目しながら宇宙の姿について学ぶ。 授業外事前学修課題：天の川銀河の構造や大きさについて調べてノートにまとめる。 授業外事後学修課題：地球、太陽系、銀河、銀河団、超銀河団、観測可能な宇宙について、それぞれの構造と大きさを調べてノートにまとめる。
	14	自然科学の応用 水を除いた人体の約半分を占める炭素は、黒鉛や煤、ダイヤモンドなど様々な同素体を作ることが知られている。近年発見された炭素の同素体であるフラーレンやカーボンナノチューブを例に、ナノテクノロジーの分野について学び、その発展によって社会がどう変化するか考える。 授業外事前学修課題：黒鉛とダイヤモンドの特徴と原子的な構造について調べてノートにまとめる。 授業外事後学修課題：ナノテクノロジーの発展によって、看護や幼児教育の分野にどのような変化が起こるか考えてノートにまとめる。
	15	まとめ、学問の地図 基礎科学や応用科学の分類や自然科学の学問的な位置付けを学び、看護学や幼児教育学との学問的な関係についてグループで議論する。 授業外事前学修課題：いくつかの総合大学を選び、その学部や学科の構成を調べてノートにまとめる。 授業外事後学修課題：この授業で学んだ自然科学の考え方やものの見方について、どのように看護や幼児教育の分野に役に立てることができるか考えてノートにまとめる。
アクティブラーニングを用いた授業方法		グループワークや、ICTツールを活用したアクティブラーニングを行う。
課題のフィードバック方法と時期		小レポートのフィードバックは次回の授業時に行います。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応		評価方法：小テスト 評価割合：20% 評価基準：授業で学んだことを理解できていれば60点。 履修目標との対応：1、2、3 評価方法：小レポート 評価割合：30% 評価基準：授業で学んだことを理解した上で、さらに自らの意見を記述出来ていれば60点。 履修目標との対応：1、2、3、4 評価方法：レポート試験 評価割合：50% 評価基準：自然科学の知識や考え方、ものの見方について説明し、看護学または幼児教育学との関係を説明できていれば60点。 履修目標との対応：1、2、3、4
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）		テキスト なし 参考文献 原 康夫『第3版 物理学入門Web動画付』学術図書出版社、2022年、978-4780610413 須藤 靖『ものの大きさ 第2版: 自然の階層・宇宙の階層』東京大学出版会、2021年、978-4130636094

	観山 正見、小久保 英一郎『宇宙の地図』朝日新聞出版、2011年、978-4023309937
実務経験のある教員による授業	
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワー：火-金の昼休み 連絡先：wako@soei.ac.jp
備考	

講義科目名称： サイエンスＢ（観察）　　授業コード： 25L103

英文科目名称： Science B (Observation)

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	２単位	選択
担当教員			
若生　啓/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。
履修条件	特になし
授業概要	サイエンス（自然科学）における観察の位置付けや手法を理解し、様々な実験を行い観察した結果を考察する。自然現象についての実験をグループワークで行い、生体を構成する分子の分子モデルを作成し観察する。受講者が所有するスマートフォンやタブレット端末、PCを活用するBYOD（Bring Your Own Device）を取り入れICTツールを活用する。
履修目標	1. 自然科学における観察の位置付けや手法を理解し説明できる。 2. 自然現象についての実験を行い、その結果を考察することができる。 3. 生体を構成する分子について理解し、人体の構造や機能、役割と関連付けて説明することができる。 4. 自然科学における観察の手法が看護または幼児教育の分野にどのように応用できるか説明できる。
授業計画・授業外学修課題	1　自然科学と観察（1）観察とは何か 観察とはどういうものか、自然科学における観察の位置づけについて学び、看護や幼児教育の分野にどう活かすことができるか考え、グループで議論する。 授業外事前学修課題：シラバスを確認し、授業の全体の流れを確認する。 授業外事後学修課題：グループで議論した内容をもとに自分の考えをノートにまとめる。 2　自然科学と観察（2）観察の方法論 顕微鏡の種類や仕組みを学び、セーターやジャージの原材料であるウールのワタと化繊のワタについて顕微鏡を使って観察する。同じように見えるものでも、観察することでその違いや性質を理解できることを学ぶ。看護や幼児教育の分野での観察の重要性について考える。 授業外事前学修課題：自分の洋服の洗濯表示ラベルを確認し、その洋服に使われている素材の繊維を調べてノートにまとめる。 授業外事後学修課題：授業で観察した内容と観察して気がついたことをノートにまとめる。 3　自然科学と観察（3）見るとは何か ものを見るとはどういうことか、眼球の構造や網膜、視細胞、視神経の仕組みについて学び、錯視実験として有名なベンハムのコマを作成して観察する。子どもや老人の見え方について学び、看護師や保育者として気をつけることについて考える。 授業外事前学修課題：眼球、網膜、視神経の構造についてノートにまとめる。 授業外事後学修課題：子どもや老人の見え方について看護師や保育者として気をつけることをノートにまとめる。 4　自然科学と観察（4）分子模型の作成 目に見えない原子や分子を観察するためにはどうしたら良いか、原子や分子を観察する様々な手法について学ぶ。生物にとって重要な炭素原子で作られる球状分子フラーレンを例に、分子模型を実際にグループで作成して観察する。 授業外事前学修課題：球状分子フラーレンの分子構造と性質を調べてノートにまとめる。 授業外事後学修課題：分子模型を観察した内容と観察して気がついたことをノートにまとめる。 5　自然現象の観察（1）力と運動 ボールを投げたときに、そのボールを動かしているものは何か、物体に力が働くと運動することや、運動方程式によって運動が予測できることを学ぶ。物理シミュレーターを用いて物体の運動についての実験をグループで行い、観察した結果を考察する。 授業外事前学修課題：運動の3法則について調べてノートにまとめる。 授業外事後学修課題：物体の運動について実験、観察した内容と観察して気がついたことをノートにまとめる。 6　自然現象の観察（2）気体 熱とは何か、気体の運動を通して熱や温度、圧力、体積についてや、体温計の仕組みについて学ぶ。物理シミュレーターを用いて気体の運動についての実験をグループで行い、温度と圧力、体積の関係について観察し考察する。 授業外事前学修課題：熱、温度、圧力、体積について調べてノートにまとめる。 授業外事後学修課題：気体の運動について実験、観察した内容と観察して気がついたことをノートにまとめる。 7　自然現象の観察（3）波 波の性質について、波長や周波数、振幅について学ぶ。物理シミュレーターを用いて波についての実験を行い、波の伝わり方を観察する。水面を伝わる波と音波、光の共通点と違いや、波の速度を測る方法について考える。 授業外事前学修課題：波の波長や周波数、振幅について調べてノートにまとめる。 授業外事後学修課題：波について実験、観察した内容と観察して気がついたことをノートにまとめる。 8　自然現象の観察（4）光と分子 気体の分子が光を吸収すると温度が上昇することを学び、地球温暖化の原因である温室効果について分子のスケールで考える。物理シミュレーターを用いて光と分子についての実験を行い、光の周波数と分子の種類との関係について考察する。 授業外事前学修課題：地球温暖化の原因となる温室効果ガスの種類や割合について調べてノート

		にまとめる。 授業外事後学修課題：光と分子について実験、観察した内容と観察して気がついたことをノートにまとめる。
	9	体を作る分子（1）有機分子の基本 全ての生物は有機物から作られているが、その有機物とは何か、有機物と無機物の違いや有機物の特徴を学ぶ。有機物の一種である炭化水素を例に、分子の構造式の書き方やその省略記法を身につける。 授業外事前学修課題：有機物の種類について調べてノートにまとめる。 授業外事後学修課題：授業で扱った有機分子の名称と構造式をノートにまとめる。
	10	体を作る分子（2）糖質 パンやご飯、いも類に多く含まれる糖質について、それが単糖、二糖、多糖などに分類されることや、人体のエネルギー源になっている事を学ぶ。糖質の一つであるブドウ糖の分子モデルを作成して観察し、構造式と分子の立体構造を比較する。 授業外事前学修課題：単糖、二糖、多糖の分子構造を調べてノートにまとめる。 授業外事後学修課題：ブドウ糖の構造式を書き写して、分子モデルの立体構造との違いをノートにまとめる。
	11	体を作る分子（3）脂質 バターや脂身、チョコレートなどに多く含まれる脂質について、脂質と脂肪酸の分子構造や、人体のエネルギー源や細胞膜に使われていることを学ぶ。脂肪酸の一つであるオレイン酸の分子モデルを作成して観察し、構造式と分子の立体構造を比較する。 授業外事前学修課題：脂質と脂肪酸の分子構造を調べてノートにまとめる。 授業外事後学修課題：オレイン酸の構造式を書き写して、分子モデルの立体構造との違いをノートにまとめる。
	12	体を作る分子（4）タンパク質 肉や魚、乳製品、豆類に多く含まれるタンパク質について、タンパク質とアミノ酸の分子構造や、人体の筋肉や皮膚、髪の毛を作り、あらゆる生命現象に関わっていることを学ぶ。アミノ酸の一種であるグルタミンの分子モデルを作成して観察し、構造式と分子の立体構造を比較する。 授業外事前学修課題：生体を構成する20種類のアミノ酸の分子構造を調べてノートにまとめる。 授業外事後学修課題：グルタミンの構造式を書き写して、分子モデルの立体構造との違いをノートにまとめる。
	13	体を作る分子（5）核酸 DNAやRNAがヌクレオチドから作られることや、生物の遺伝やタンパク質合成の役割を担っていることを学ぶ。ヌクレオシドの一種であるアデノシンの分子モデルを作成して観察し、構造式と分子の立体構造を比較する。 授業外事前学修課題：DNAを構成するヌクレオチド（A、T、G、C）の分子構造を調べてノートにまとめる。 授業外事後学修課題：アデノシンの構造式を書き写して、分子モデルの立体構造との違いをノートにまとめる。
	14	体を作る分子（6）巨大分子の観察 コンピュータ上で分子を可視化する様々な表現方法について学び、多糖や脂質、タンパク質、核酸のような巨大な分子をコンピューターを利用して可視化し観察する。 授業外事前学修課題：これまでの授業資料やノートを見返して、多糖や脂質、タンパク質、核酸の構造についてノートにまとめる。 授業外事後学修課題：コンピューターを利用して観察した内容と観察して気がついたことをノートにまとめる。
	15	まとめ 観察や測定の手法について学び、これまで授業で取り上げてきたことを改めて分類し整理する。身長計、体重計、血圧計、体温計、体脂肪計など身の回りにある測定機器の仕組みについて学び、看護や幼児教育の分野における観察や測定の重要性についてグループで議論する。 授業外事前学修課題：これまでの授業資料やノートを見返して、これまで行ってきた観察の方法と対象についてノートにまとめる。 授業外事後学修課題：看護や幼児教育の分野での観察や測定の重要性についてグループで議論した内容をノートにまとめる。
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワークや、ICTツールを活用したアクティブラーニングを行う。	
課題のフィードバック方法と時期	小レポートのフィードバックは次回の授業時に行います。	
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：制作課題 評価割合：20% 評価基準：指示に従って作成し、観察のために使用できれば60点。 履修目標との対応：1、2、3 評価方法：小レポート 評価割合：30% 評価基準：授業で学んだことを理解した上で、さらに自らの意見を記述出来ていれば60点。 履修目標との対応：1、2、3、4 評価方法：レポート試験 評価割合：50% 評価基準：自然科学における観察の手法とその結果として分かることについて説明し、看護または幼児教育の分野との関係を説明できていれば60点。 履修目標との対応：1、2、3、4	
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト なし 参考文献 原 康夫『第3版 物理学入門Web動画付』学術図書出版社、2022年、978-4780610413 生化学若い研究者の会『これだけ！ 生化学 第2版』秀和システム、2021年、978-4798064109	

実務経験のある教員による授業	
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワー：火-金の昼休み 連絡先：wako@soei.ac.jp
備考	

講義科目名称： 数理・データサイエンス・AI　Ⅰ（リテラシー）　　授業コード： 25L111

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	２単位	必修
担当教員			
若生　啓/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	
授業概要	近年急速に発展している学問分野であるデータサイエンスの知識や手法を身につける。社会におけるデータ・AIの利活用や、データ・AI利活用における留意事項を理解する。コンピューターを使用した演習を行い、データを読み、説明し、扱う手法を修得する。
履修目標	1. データ・AIによって、社会及び日常生活が大きく変化していることを理解し説明することができる。 2. データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理について説明することができる。 3. データの特徴を読み解き、起きている事象の背景や意味合いを説明することができる。 4. データの比較対象を正しく設定し、数値を比べることができる。 5. データサイエンスの知識や手法が看護または幼児教育の分野にどのように応用できるか説明することができる。
授業計画・授業外学修課題	1　データサイエンスとは何か 近年急速に発展しているデータサイエンスとはどういう学問なのか概観し、なぜ学ばなくてはならないのか考える。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） データサイエンスの学問領域で使用される手法や理論について調べて、箇条書きでノートに列挙する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） データサイエンスの応用について、特に看護学か幼児教育学で応用可能な事例を考えてノートにまとめる。（90分） 2　社会で起きている変化 ICTの発展やAI、IoTによって社会で起きている変化について学び、身の回りでICTやAIを使ったサービスについてグループで議論する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストp.6-13を読み、IoT（Internet of Things）の仕組みを調べてノートにまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） グループワークによって初めて知ったサービスについて調べてその利用方法や特徴をノートにまとめる。（90分） 3　データを取り扱う際の注意点 ビッグデータの分類や活用方法を学び、データを取り扱う際の注意点について考える。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストp.14-19を読み、ビットやバイトなどの情報の単位について理解し、身の回りにあるスマートフォンやパソコンの記憶媒体の容量についてノートにまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で取り上げたビッグデータの中からいくつかを選び、実際のデータを取得し閲覧する。（90分） 4　AIの活用 AIはそもそもどういうものなのか、使いこなすにはどうした良いかを考える。生成AIの、適切な使い方や不適切な使い方についてグループで議論する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストp.20-26を読み、インターネット検索を利用してAIの活用についてのニュース記事を調べてノートにまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ChatGPTやGoogle Gemini、Claudeなどの生成AIを実際に使用し結果を比較する。（90分） 5　AIの普及による社会の変化 AIによる働き方の変化についてや、AI利活用の原則・指針について考える。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストp.27-31を読み、コンピュータやICT技術の発展によって成長した職種や減少した職種についてノートにまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） AIの普及によって看護や幼児教育の現場で起こる変化について考えノートにまとめる。（90分） 6　データ・AI利活用における留意事項 情報セキュリティーについて学び、実際の情報セキュリティー対策、セキュリティー上の注意点、個人情報の管理についてグループワークで議論する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストp.32-43を読み、自分が使っているユーザIDとパスワードにはどのようなものがあるか、利用しているサービスをノートに書き出す。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 現在EUで施行されているGDPR（一般データ保護規則）について調べノートに要点をまとめる。（90分）

	7	データ活用と必要なスキル なぜ「データ活用力」が期待されているの学び、データと分析結果を対応付けて考える。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストp.44-53を読み、Googleなどの検索エンジンを使って統計データをグラフ化したものを探し、その目的や有用性について考えノートにまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 総務省統計局のWebサイトから興味のあるデータを選び、Excelでそのデータを開きグラフ化する。（90分）
	8	データの準備とデータのタイプ インターネットを利用してデータを探し、アンケートデータを準備する。データの対象を理解し、説明する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストp.54-67を読み、Excel形式やcsv形式のデータファイルを検索し興味のあるデータをダウンロードして、内容を確認しノートにまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） オープンデータのまとめサイトである「e-GOV データポータル」から興味のあるデータを探して、どのようなデータ構造になっているか確認しノートにまとめる。（90分）
	9	アンケートデータの要約 データの要約について学び、表計算ソフトを使用して要約する。さらにグラフでデータを可視化する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストp.68-81を読み、代表的なデータの要約手法である質的変数と量的変数について調べノートにまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 「e-GOV データポータル」から興味のあるデータを探して、データを要約しグラフで可視化する。（90分）
	10	データを比較して仮説を立てる 表計算ソフトを使用して質的データを比較し、分析結果を解釈して仮説を立てる。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストp.82-93を読み、クロス集計の方法について調べて、メリットとデメリットについてノートにまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 検索エンジンなどを利用して興味のある分野のアンケートデータを探し、クロス集計してデータを比較する。（90分）
	11	代表値によるデータの要約 サンプルデータや各自が集めたデータの平均値を計算し、度数分布やヒストグラムを活用しデータの要約の仕方を実践する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストp.94-107を読み、度数分布表やヒストグラムの作成方法や解釈の仕方を調べノートにまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 検索エンジンなどを利用して興味のあるデータを探し、ヒストグラムを作成する。（90分）
	12	量的変数によるばらつきの要約 平均偏差と標準偏差の違いや標準誤差について学び、表計算ソフトを使用して売上データを分析する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストp.108-121を読み、平均偏差と標準偏差の計算式と計算手順をノートにまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 検索エンジンなどを利用して興味のあるデータを探し、「分析ツール」を使用して基本統計量を計算する。（90分）
	13	平均と標準偏差の活用 平均や標準偏差などこれまで学んできたことを組み合わせて、複数の変数をもとにデータを解析する。標準化の方法や外れ値の活用方法についても学ぶ。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストp.122-133を読み、前回の事後学修で計算した基本統計量から何が分かるか箇条書きでノートに書き出す。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 検索エンジンなどを利用して興味のあるデータを探し、外れ値を特定して対比・類比を行う。（90分）
	14	散布図による関係性の分析 人事評価データの分析を散布図によって行い、相関分析の方法や応用の仕方を学ぶ。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストp.134-147を読み、偏差値や偏差値の平均などの計算式と計算手順を確認しノートにまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 検索エンジンなどを利用して興味のあるデータを探し、散布図を作成し相関分析を行う。（90分）
	15	データ分析の活用 データ分析の全体像を把握し、データ分析の結果のまとめ方や伝え方を学び、看護や幼児教育の領域でどのように応用可能かグループで議論し発表する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストp.148-157を読み、データ分析の4つの手法群についてノートにまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） プログラミング言語Pythonについて、データ分析においてどのような役割を担えるか調べてノートにまとめる。（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワークや、ICTツールを活用したアクティブラーニングを行う。	
課題のフィード	小レポートのフィードバックは次回の授業時に行います。	

バック方法と時期	
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：小テスト 評価割合：20% 評価基準：授業で学んだことを理解できていれば60点。 履修目標との対応：1、2、3 評価方法：小レポート 評価割合：30% 評価基準：授業で学んだことを理解した上で、さらに自らの意見を記述出来ていれば60点。 履修目標との対応：1、2、3、4、5 評価方法：レポート試験 評価割合：50% 評価基準：自然科学の知識や考え方、ものの見方について説明し、看護学または幼児教育学との関係を説明できていれば60点。 履修目標との対応：1、2、3、4、5
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト 富士通ラーニングメディア『はじめて学ぶ 数理・データサイエンス・AI』富士通ラーニングメディア、2023年、978-4867750810 参考文献 竹村 彰通 他『データサイエンス入門 第2版』学術図書出版社、2021年、978-4780607307 北川 源四郎 他『教養としてのデータサイエンス』講談社、2021年、978-4065238097
実務経験のある教員による授業	
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワー：火-金の昼休み 連絡先：wako@soei.ac.jp
備考	

講義科目名称： 数理・データサイエンス・AI　Ⅱ（応用基礎） 授業コード： 25L112

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	２単位	選択
担当教員			
若生　啓/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	
授業概要	データ駆動型社会においてデータサイエンスを学ぶ意義や、AIの応用分野や生成AIについて理解する。プログラミング言語Pythonを使用してプログラムを作成し、データの整理や可視化、分類、機械学習を行う。画像データに対するフィルタ処理や特徴抽出、機械学習による画像認識の手法を修得する。
履修目標	1. データ駆動社会においてデータサイエンスを学ぶことの意義を説明できる。 2. プログラミング言語Pythonやそのライブラリを用いてプログラムを作成することができる。 3. 画像データの構造を理解し、フィルタ処理や特徴抽出などの画像解析を行うことができる。 4. 機械学習による画像認識の仕組みについて理解し、実際のデータに対して画像認識を行うことができる。
授業計画・授業外学修課題	1　データサイエンス基礎 データ駆動型社会においてデータサイエンスを学ぶことの意義を考える。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 数理・データサイエンス・AI Iの講義資料やノートを見返して、社会におけるデータサイエンスの役割について改めて考えノートにまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） データサイエンティストがチャットボットAIを開発・運用するにあたって、留意すべきことを考えノートにまとめる。（90分） 2　AI基礎 AIの歴史と応用分野や、生成AIの基礎と展望について学ぶ。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 機械学習や画像認識など、AIが対象とする分野について調べてノートにまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 実際に利用可能な生成AIサービスについて調べて、分野ごとにその特徴をノートにまとめる。（90分） 3　Python言語でのプログラミングの基礎 プログラミング言語Pythonを使用して簡単なプログラムを作成する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） プログラミング言語について調べ、Pythonの特徴をノートにまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で作成したプログラムを指示に従って変更し、動作を確認する。（90分） 4　pandasを用いたデータの整理 数表などをPythonで簡単に扱うためのライブラリであるpandasを使用して、実際にデータを読み込むプログラムを作成する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） プログラミング言語におけるライブラリの役割について調べ、Pythonで利用可能な主要なライブラリについてノートに列挙する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で作成したプログラムを利用して、指定されたデータを読み込み内容を表示させる。（90分） 5　plotlibによるデータの可視化 Pythonでグラフなどを描画するためのライブラリであるmatplotlibを使用して、実際のデータをグラフとして可視化する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） matplotlibの公式サイト（https://matplotlib.org ）を閲覧し、サンプルコードを動作させ結果を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 事前学修で閲覧したサンプルコードを参考にして、授業で作成したプログラムを変更し、動作を確認する。（90分） 6　scikit-learnによるデータの分類と機械学習 Python用の機械学習ライブラリであるscikit-learnを使用して、データの分類と機械学習を行うプログラムを作成する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） scikit-learnの公式サイト（https://scikit-learn.org ）を閲覧し、サンプルコードを動作させ、結果を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 事前学修で閲覧したサンプルコードを参考にして、授業で作成したプログラムを変更し、動作を確認する。（90分） 7　画像データの概要 画像データの活用事例や基本的な構造を学び、画像データの入出力処理を行うプログラムを作成する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストp.123-132を読み、物体認識や画像検索などの画像解析技術を活用したサービスについて

		調べノートにまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 自分で撮影した画像データを使用して、授業で扱った画像データの入出力処理を行い、結果を確認する。（90分）
	8	画像データの色の表現 デジタルでの色の表現方法について学び、RGB値をHSV色空間に変換するプログラムを作成する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストp.133-137を読み、GIMPなどの無料の画像処理ソフトを使用して、自分が撮影した画像データをHSV色空間に変換する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で作成したプログラムを使用して、事前学修で使用した画像データをHSV色空間に変換し、GIMPなどの画像処理ソフトを使った結果と比較する。（90分）
	9	基本的な画像処理 基本的な画像処理である画像の二値化や画像の変換を実際の画像データに対して行う。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストp.137-143を読み、式（12.9）から式（12.14）の計算をノートに書く。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） テキストp.142に記載されているようなQRコードを補正するプログラムを作成し、動作を確認する。（90分）
	10	画像のフィルタ処理 画像のフィルタ処理について学び、平滑化や平均値フィルタ、ガウシアンフィルタ、中央値フィルタなどのフィルタを実際の画像データに対して適用する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストp.144-152を読み、GIMPなどの画像処理ソフトで利用可能なフィルタ処理について調べ、自身が撮影した画像データに対してフィルタ処理を行い、結果を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で作成したプログラムを使用して、自身が撮影した画像データに対してフィルタ処理を行い、なぜそのような結果が得られたのか考察する。（90分）
	11	周波数領域との関係 画像データを周波数領域で表現することを学び、フーリエ変換を用いた画像データのフィルタ処理を行う。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストp.152-157を読み、主に工学分野でフーリエ変換がどのような目的で使用されるか調べてノートにまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で作成したプログラムを使用して、自身が撮影した画像データに対してフーリエ変換などを行い、授業で使用した画像データの場合と結果を比較し考察する。（90分）
	12	画像からの特徴抽出1 エッジ、直線、円 画像データからの特徴抽出の手法として、画像からエッジや直線、円を検出するプログラムを作成する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストp.158-162を読み、画像処理ライブラリであるOpenCVの特徴や機能、Pythonでの使用方法を調べてノートにまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で作成したプログラムを使用して、自身が撮影した画像データに対して特徴抽出処理を行い、その結果を授業で使用した画像データの場合と比較し、考察する。（90分）
	13	画像からの特徴抽出2 点特徴 画像認識に役に立ちそうな特徴点を抽出する処理であるキーポイント検出について学び、画像データのキーポイント検出を行う。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストp.162-168を読み、キーポイント検出の具体例を調べその利点や特徴についてノートにまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 道路標識を含む風景写真を撮影し、その画像のキーポイントと特徴量を計算するプログラムを作成し動作を確認する。（90分）
	14	機械学習による画像認識1 最近傍法 機械学習による画像認識の仕組みについて学び、手書き数字認識用のデータセットに対して最近傍法を適用し、画像認識を行う。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストp.169-172を読み、画像認識の手法や応用事例について調べてノートにまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 自分で手書きをして自作の数字認識用のデータセットを作成し、画像認識を行い結果について考察する。（90分）
	15	機械学習による画像認識2 ニューラルネットワーク 畳み込みニューラルネットワークを用いて、手書き数字認識用のデータセットに対して画像認識を行う。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストp.172-177を読み、深層学習ライブラリであるPyTorchの機能や特徴について調べてノートにまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で作成したプログラムを使用して、自作の数字認識用のデータセットに対して画像認識を行い、最近傍法との結果の違いについて考察する。（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワークや、ICTツールを活用したアクティブラーニングを行う。	
課題のフィードバック方法と時期	小レポートのフィードバックは次回の授業時に行います。	
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対	評価方法：制作物（プログラム） 評価割合：20% 評価基準：プログラムが問題なく動作すれば80点	

修到達目標との対応	評価基準：プログラムが問題なく動作すれば60点。 履修目標との対応：2、3、4 評価方法：小レポート 評価割合：30% 評価基準：授業で学んだことを理解した上で、さらに自らの意見を記述出来ていれば60点。 履修目標との対応：1、2、3、4 評価方法：レポート試験 評価割合：50% 評価基準：プログラミングによるデータ処理や画像解析について説明し、看護学または幼児教育学との関係を説明できていれば60点。 履修目標との対応：1、2、3、4
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト 市川 治 他『音声・テキスト・画像のデータサイエンス入門』学術図書出版社、2024年、978-478060716 参考文献 竹村 彰通 他『データサイエンス入門 第2版』学術図書出版社、2021年、978-4780607307 北川 源四郎 他『教養としてのデータサイエンス』講談社、2021年、978-4065238097
実務経験のある教員による授業	
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワー：火-金の昼休み 連絡先：wako@soei.ac.jp
備考	

講義科目名称： 生物と環境　　授業コード： 25L113

英文科目名称： Life and the Environment

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	２単位	選択
担当教員			
木下　圭			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。
履修条件	特になし
授業概要	生物の進化と環境への適応についての講義を行う。また、現在の地球における環境問題について全員で考察する。
履修目標	①生物の進化と環境への適応の仕組みを理解する。 ②人類が及ぼす環境への影響、環境と健康の関係について理解する。
授業計画・授業外学修課題	1　総論 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 科目の概要と目標をシラバスで確認する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノート整理（90分） 2　森林の観察（演習） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） ビオトープについて調べる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノート整理と講義で使われた用語の確認（90分） 3　地球と生物 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノート整理と講義で使われた用語の確認（90分） 4　適応と進化 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノート整理と講義で使われた用語の確認（90分） 5　適応の方法 － 遺伝子の突然変異 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノート整理と講義で使われた用語の確認（90分） 6　適応の方法 － ウイルス 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノート整理と講義で使われた用語の確認（90分） 7　適応の方法 － 免疫 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノート整理と講義で使われた用語の確認（90分） 8　現代の環境問題－グループ演習の導入 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業のテーマについて自分が気になったニュースを調べる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） プレゼンテーションの準備計画を立案する（90分） 9　現代の環境問題－グループに分かれて課題別ワーク１ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業のテーマについて自分が気になったニュースを調べる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） プレゼンテーションを作成する（90分）

	10　現代の環境問題－グループに分かれて課題別ワーク2 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業のテーマについて自分が気になったニュースを調べる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） プレゼンテーションを作成する（90分） 11　現代の環境問題－グループに分かれて課題別ワーク3 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業のテーマについて自分が気になったニュースを調べる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） プレゼンテーションを作成する（90分） 12　現代の環境問題－プレゼンテーション1 授業外事前学修課題：課題内容（時間） プレゼンテーションの内容を確認する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 発表内容のまとめと質問事項を書きだす（90分） 13　現代の環境問題－プレゼンテーション2 授業外事前学修課題：課題内容（時間） プレゼンテーションの内容を確認する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 発表内容のまとめと質問事項を書きだす（90分） 14　現代の環境問題－プレゼンテーション3 授業外事前学修課題：課題内容（時間） プレゼンテーションの内容を確認する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 発表内容のまとめと質問事項を書きだす（90分） 15　現代の環境問題（まとめ） 環境と健康に関する課題（まとめ）（木下） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 現代の環境問題に対する施策や将来の展望を収集し、ノートにまとめる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義と演習から得た知識を文献や資料と照合しノートにまとめる（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク、プレゼンテーションを行う。
課題のフィードバック方法と時期	各回の事前課題をもとに、授業で発表、討議する。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：リフレクションペーパー 評価割合：50% 評価基準：リフレクションペーパーに学んだことと質問を適切に記述することができる 履修目標との対応：①　②　③　④　⑤ 評価方法：プレゼンテーション 評価割合：50% 評価基準：資料作成とプレゼンテーションを行い、他の受講者に理解させることができる 履修目標との対応：①　②　③　④　⑤
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキストは使用せず、毎回必要に応じてレジュメ等の資料を配布予定。
実務経験のある教員による授業	生物学・生態学の研究者である教員による授業
オフィスアワー・連絡先	質問は授業終了後、受け付けます。 連絡先は、kkinoshita@soei.ac.jp
備考	

講義科目名称： 生命科学　　授業コード： 25L114

英文科目名称： Life Science

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	２単位	選択
担当教員			
木下　圭			
講義および実験			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。
履修条件	特になし。
授業概要	本学の専門課程では人を対象とした学修を行うが、これを理解するためには生命について考えられる基礎的な科学の知識が必要である。本科目では「生体物質」と「生物の構造と機能」を学び、かつ観察と実験により、記録して考察する技法を学ぶ。
履修目標	①人を含む生命について、生物と化学の知識を蓄え、客観的な考察ができる。 ②実験結果を記録し、整理する方法を修得する。 ③科学的な現象に興味を持ち、観察することを通して、今後の学修につなげる。
授業計画・授業外学修課題	1　総論（記録の方法） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 科目の概要と目標をシラバスで確認（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノート整理（90分） 2　生体物質（生化学） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） テキストの復習（90分） 3　人体の構造と機能 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） テキストの復習（90分） 4　実体顕微鏡の操作と観察（実験） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノート整理（90分） 5　海産動物の分類（実験） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノート整理（90分） 6　脊椎動物の臓器と構造Ⅰ（実験） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノート整理（90分） 7　免疫（抗原検査と抗体検査）（実験） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノート整理（90分） 8　酵素反応（実験） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノート整理（90分） 9　DNA演習Ⅰ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）

	テキストの復習（90分） 10 有性生殖と無性生殖（実験） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノート整理（90分） 11 DNAを採る（実験） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノート整理（90分） 12 DNA演習Ⅱ 小テスト 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 小テストの準備（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） テキストと小テストの復習（90分） 13 脊椎動物の臓器と構造Ⅱ（実験） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノート整理（90分） 14 発生（実験） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノート整理（90分） 15 幹細胞と再生医療 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ノート整理（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワークを含む実験を行う。
課題のフィードバック方法と時期	次回の授業で解説する。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：リフレクションペーパーもしくは成果物 評価割合：75% 評価基準：課題の条件を備えた成果物を毎回提出することができる 履修目標との対応：①　②　③ 評価方法：小テスト 評価割合：25% 評価基準：授業内容に即した小テストの得点が20点以上である 履修目標との対応：①　②　③
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキストは使用せず、毎回必要に応じてレジュメ等の資料を配布。
実務経験のある教員による授業	発生生物学の研究者である教員による授業。
オフィスアワー・連絡先	質問は授業終了後、受け付けます。 連絡先は、kkinoshita@soei.ac.jp
備考	実験の際は作業が中心となるので、動きやすい服装で受講してください。

講義科目名称： 知的探求入門　　授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2	選択
担当教員			
横山　惠子/看護学部　佐野　望/看護学部　本多　和子/看護学部　武井　博美/こども教育学部　瀧田　浩平/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	．看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。
履修条件	特になし
授業概要	看護職を目指す学生が課題を達成するために自ら考え行動すること（建学の精神「考えて行動のできる人」）を通して、セルフマネージメントとグループマネージメントを学び、問題発見能力、問題解決能力を高める学修態度を身につける。
履修目標	①大学生に必要とされる基本的なマナーおよび主体的学習態度を修得することができる。 ②他者を尊重したコミュニケーションを通して、相互的な関係性を構築することができる。 ③必要な情報を自ら収集して意味を考察し、問題解決のための計画立案及び実践ができる。 ④問題解決過程を通して得られた学びを整理し、的確に表現することができる。 ⑤専門職を目指す上での自己の課題を明らかにし、学習への意欲につなげることができりる。
授業計画・授業外学修課題	1　科目ガイダンス/教員紹介 アイスブレイク（ゲーム） 授業外事前学修課題：授業概要をシラバスで確認し、疑問点をまとめる（90分） 授業外事後学修課題：講義で学んだことをまとめる（90分） 2　横浜創英大学の仲間になろう１ 全員1分間自己紹介 授業外事前学修課題：講義内に指示された課題に取り組み、要点をまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：講義で学んだこと、自己の課題をまとめる。（90分） 3　横浜創英大学の仲間になろう2話し合おう 全員1分間自己紹介 グループワーク１ 授業外事前学修課題：講義内に指示された課題に取り組み、要点をまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：講義で学んだこと、自己の課題をまとめる。（90分） 4　看護の勉強の方法１ 資格試験に向けての学習方法（外部講師） 授業外事前学修課題：講義内に指示された課題に取り組み、要点をまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：講義で学んだこと、自己の課題をまとめる。（90分） 5　看護の勉強の方法２ 「人体の構造と機能」を題材に、弱点を補強する勉強の仕方を学ぶ（外部講師） 授業外事前学修課題：講義内に指示された課題に取り組み、要点をまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：講義で学んだこと、自己の課題をまとめる。（90分） 6　看護の勉強の方法３ 授業外事前学修課題：講義内に指示された課題に取り組み、要点をまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：講義で学んだこと、自己の課題をまとめる。（90分） 7　看護の勉強の方法４ グループワークに必要な力 ・チーム形成、チームの発展のプロセス ・コンクリフト、リフレクション ・リーダーシップ、メンバーシップ、ファシリテーション ・聴く力、伝える力 授業外事前学修課題：講義内に指示された課題に取り組む（90分） 授業外事後学修課題：講議で学んだことをまとめる（90分） 8　グループワーク２-① 横浜創英大学の魅力発信、将来の私たち（例）について話し合いまとめる 授業外事前学修課題：話し合う内容に必要な事前学習を行う（90分） 授業外事後学修課題：学んだことをまとめる（90分） 9　グループワーク２-② 横浜創英大学の魅力発信、将来の私たち（例）について話し合いまとめる 授業外事前学修課題：話し合う内容に必要な事前学習を行う（90分） 授業外事後学修課題：学んだことをまとめる（90分） 10　グループワーク２の発表 話し合った結果の発表とチーム形成の発表 授業外事前学修課題：話し合いのまとめをし、発表の準備をする（90分） 授業外事後学修課題：学んだことをまとめる（90分） 11　グループワーク３-① 課題解決について話し合いまとめる 授業外事前学修課題：話し合う内容に必要な事前学習を行う（90分） 授業外事後学修課題：学んだことをまとめる（90分） 12　グループワーク３-②

	授業外事前学修課題：話し合う内容に必要な事前学習を行う（90分） 授業外事後学修課題：学んだことをまとめる（90分 13　グループワーク３-③ 授業外事前学修課題：話し合う内容に必要な事前学習を行う（90分） 授業外事後学修課題：学んだことをまとめる（90分） 14　グループワーク３の発表 話し合った結果の発表とチーム形成の発表 授業外事前学修課題：話し合いのまとめをし、発表の準備をする（90分） 授業外事後学修課題：学んだことをまとめる（90分） 15　全体のまとめ 振り返り、課題レポート・学習シートの提出 授業外事前学修課題：課題レポートの作成、成果物の整理を行う（90分） 授業外事後学修課題：講義で学んだことをまとめる（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク、プレゼンテーションを行う
課題のフィードバック方法と時期	各回の事前課題をもとに授業で発表・討議します。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価割合：40％ 評価基準：授業内でルーブリックを配布します 履修目標との対応：①④⑤ 評価方法：平常点 評価割合：20％ 評価基準：毎回の授業後にFormsに授業の学びを記載し提出できれば12/20点 履修目標との対応：①②③④⑤ 評価方法：その他 評価割合：40％ 評価基準：授業内の発表会にてプレゼンテーションできれば24/40点 履修目標との対応：④
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	参考文献：看護学生のためのよくわかる大学での学び方　第2版　前原澄子（監修）　金芳堂 知へのステップ　第5版　－大学生からのスタディスキルズ　学習技術研究会（著）　くろしお出版
実務経験のある教員による授業	担当教員は看護師の経験を有しており、その経験を生かした授業を行う
オフィスアワー・連絡先	横山　恵子：毎週木曜日12:10～13:00　メールアドレス　kyokoyama@soei.ac.jp 佐野　望　：毎週火曜日12:10～13:00　メールアドレス　nsano@soei.ac.jp 本多　和子：毎週火曜日12:10～13:00　メールアドレス　khonda@soei.ac.jp 瀧田　浩平：　メールアドレス　ktakita@soei.ac.jp（R７年度は担当しません） 武井　博美：毎週木曜日　４限　メールアドレス　htakei@soei.ac.jp（R７年度は担当しません） 授業に関する質問・相談はいつでも遠慮なく連絡して下さい。
備考	グループ活動を通して主体的学習を行う授業となるため欠席せず授業に積極的に参加することを求める。

講義科目名称： 哲学　　授業コード： 25L201

英文科目名称： Philosophy

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	２単位	選択
担当教員			
國領　佳樹			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	対人関係やコミュニケーション、 情報収集・分析、 論理的思考、 問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、 幅広く適用できる能力を有する人。
履修条件	特になし
授業概要	人は置かれた状況に対して様々な判断を下しながら生きている。哲学は、「生と死」「幸福とは」「愛について」等を対象とする分野であり、自分の人生をより良く生きる知恵を先人から学べる学問である。すべての学問の源とも言われる哲学を通して、学ぶ意味を思索し、「もっと知りたい」と願う知的好奇心を育てることを目的とする。
履修目標	①　基本的な哲学的な問いを理解できる。 ②　哲学的な問いを現実社会の関連から理解する。 ③　哲学的議論を論理的に再構成する。 ④　自分の意見を論理的に表現できる、 ⑤　自分や他人の意見に対して批判的な視点から検証する態度をとることができる。 ※適宜加減してください。
授業計画・授業外学修課題	1　授業ガイダンスとイントロダクション 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 哲学とはどんな学問であるか自分なり調べておく（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を自分のノートにまとめる（60分） 2　どうして私は昨日の私と同じなのか？（1）記憶説 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を自分のノートにまとめる（60分） 3　どうして私は昨日の私と同じなのか？（2）心理主義 vs 物理主義 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を自分のノートにまとめる（60分） 4　どうして私は昨日の私と同じなのか？（4）脳説 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を自分のノートにまとめる（60分） 5　感情とは何か？（1）感情の本質 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を自分のノートにまとめる（60分） 6　感情とは何か？（2）感情と思考 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を自分のノートにまとめる（60分） 7　感情とは何か（3）感情の区別 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を自分のノートにまとめる（60分） 8　ロボットは感情をもてるか？ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を自分のノートにまとめる（60分）

	9	無意識の感情はあるか？ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を自分のノートにまとめる（60分）
	10	他人の感情を知ることはできるか？ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を自分のノートにまとめる（60分）
	11	理性と感情は対立するものか？ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を自分のノートにまとめる（60分）
	12	負の感情のパラドックス 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を自分のノートにまとめる（60分）
	13	感情と道徳はどんな関係にあるか？ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を自分のノートにまとめる（60分）
	14	AIと恋愛はできるか？ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を自分のノートにまとめる（60分）
	15	全体のまとめ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を自分のノートにまとめる（60分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	ディスカッションや学生発表などのアクティブラーニングを取り入れます。	
課題のフィードバック方法と時期	リフレクションペーパーのフィードバックは、次の授業時に行います	
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：レポート 評価割合：70％ 評価基準：授業の要点、自分の意見を端的にまとめることができれば 70点 履修目標との対応：④⑤ ※適宜追加してください	
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	授業内でプリントを配布します。参考文献は授業内で適宜指示します。	
実務経験のある教員による授業		
オフィスアワー・連絡先	質問は授業終了後、受け付けます。 kuromejiro@rikkyo.ac.jp	
備考	授業への主体的な参加を期待します。私語は厳禁です。	

講義科目名称： 心理学　　授業コード： 25L202

英文科目名称： Psychology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	２単位	選択
担当教員			
棚澤　令子/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。
履修条件	特になし
授業概要	心理学の方法や、心理学の過去と現代心理学の動向及び問題などの基礎的知言を概説する。人間の様々な心理的側面を学び、より深い人間理解・自己理解のための思考と態度を学習する。こころの時代といわれる今世紀をいかに生き抜くか、そして絆のチカラをどのように実践するかを考える。
履修目標	①心理学の様々な領域の理論、知識を理解して説明できる ②日常生活の中での心理的理論を考える ③現代的な問題にもふれ、心理学として何ができるかを考える
授業計画・授業外学修課題	1　オリエンテーション　心理学とは 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）　授業の講義ノートをファイリングし、まとめなおして復習する（90分） 2　臨床心理学① 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 前回の講義ノートを読み直しておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業の講義ノートをファイリングしまとめ直して復習する（90分） 3　臨床心理学②　こころを測る① 授業外事前学修課題：課題内容（時間）　前回の講義ノートを読み直しておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）　授業の講義ノートをファイリングしまとめ直して復習する（90分） 4　パーソナリティ心理学① 授業外事前学修課題：課題内容（時間）　前回の講義ノートを読み直しておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）　授業の講義ノートをファイリングしまとめ直して復習する（90分） 5　パーソナリティ心理学②　こころを測る② 授業外事前学修課題：課題内容（時間）　前回の講義ノートを読み直しておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）　授業の講義ノートをファイリングしまとめ直して復習する（90分） 6　社会心理学① 授業外事前学修課題：課題内容（時間）　前回の講義ノートを読み直しておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）　授業の講義ノートをファイリングしまとめ直して復習する（90分） 7　社会心理学② 授業外事前学修課題：課題内容（時間）　前回の講義ノートを読み直しておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）　授業の講義ノートをファイリングしまとめ直して復習する（90分） 8　発達心理学① 授業外事前学修課題：課題内容（時間）　前回の講義ノートを読み直しておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）　授業の講義ノートをファイリングしまとめ直して復習する（90分） 9　発達心理学② 授業外事前学修課題：課題内容（時間）　前回の講義ノートを読み直しておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）　授業の講義ノートをファイリングしまとめ直して復習する（90分） 10　発達心理学③　こころを測る③ 授業外事前学修課題：課題内容（時間）　前回の講義ノートを読み直しておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）　授業の講義ノートをファイリングしまとめ直して復習する（90分） 11　知覚・認知・記憶心理学 授業外事前学修課題：課題内容（時間）　前回の講義ノートを読み直しておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）　授業の講義ノートをファイリングしまとめ直して復習する（90分） 12　行動心理学と学習心理学 授業外事前学修課題：課題内容（時間）　前回の講義ノートを読み直しておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）　授業の講義ノートをファイリングしまとめ直して復習する（90分） 13　教育心理学

	授業外事前学修課題：課題内容（時間）　前回の講義ノートを読み直しておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）　授業の講義ノートをファイリングしまとめ直して復習する（90分） 14　看護職・保育職に関わる心理学 授業外事前学修課題：課題内容（時間）　前回の講義ノートを読み直しておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）　全授業の講義ノートを読み直しテストに備える（90分） 15　ファイナルテスト 授業外事前学修課題：課題内容（時間）　今までの講義ノートの全復習を行う（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）　講義ノートを見直す（９０分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	こころを測る①～③では検査等を実践する
課題のフィードバック方法と時期	授業内で確認テストを行い、その場で解答・解説を行い復習に役立てる
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：　ファイナルテスト 評価割合：　50％ 評価基準：　60／100点以下の場合は、レポート課題を課して理解の補充を行う 履修目標との対応：　①②③ 評価方法：　リアクションペーパー 評価割合：　35％ 評価基準：　要点をとらえられているか 履修目標との対応：　①②③ 評価方法：　積極的態度 評価割合：　15％ 評価基準：　質問等を積極的に行うことができる 履修目標との対応：　①②③
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	毎回講義ノート（A4版）を配布します。各自で必ずファイリングしてください。
実務経験のある教員による授業	心理職の実務経験を講義に取り入れます
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワーは、火・水・木・金のお昼時間です。質問時は必ず事前にメール連絡してください。連絡先はrkurumisawa@soei.ac.jp
備考	

講義科目名称： 倫理学　　授業コード： 25L203

英文科目名称： Ethics

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	２単位	選択
担当教員			
國領　佳樹			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。
履修条件	特になし
授業概要	「倫理とは」「倫理学とは」について概説する。人間の自己理解の歴史的諸類型、およびその視点に影響を与えた思想史的・社会的背景について学習する。また、ひとの命の大切さや人が自由で平等であることの真の意味を理解し、それをどのように守るべきかを考え、差別を生みださないようにするため、学習を通して倫理的態度を学ぶ。
履修目標	① 基本的な倫理学概念を理解し、倫理学の主要な立場を理解できる。 ② 現代社会の問題について、倫理学の原理に基づいて検討することができる。 ③ 自分自身の経験を振り返りつつ、自身の考える倫理について倫理学的概念を用いて論述することができる。 ④ 自分や他人の意見に対して批判的な視点で検証する態度をとることができる。 ⑤ 医療現場や教育・保育現場において想定される倫理課題についての自分なりの倫理的姿勢をイメージできる。
授業計画・授業外学修課題	1　ガイダンスとイントロダクション：倫理学とは何か 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を自分のノートにまとめる（60分）） 2　結合性双生児のケースから倫理学へ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を自分のノートにまとめる（60分） 3　嘘をつくことは道徳的に悪いのか 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を自分のノートにまとめる（60分） 4　病名告知の事例から二つの倫理学的立場を確認する 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を自分のノートにまとめる（60分） 5　倫理の境界事例を考える（1）将来の見込みが不確かな嬰児のケース 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を自分のノートにまとめる（60分） 6　倫理の境界事例を考える（2）もはや将来の見込みのない子供のケース 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を自分のノートにまとめる（60分） 7　自殺と安楽死 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を自分のノートにまとめる（60分） 8　積極的安楽死の四つの論点 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を自分のノートにまとめる（60分） 9　テクノロジーの倫理（1）遺伝子組み替え作物

	授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を自分のノートにまとめる（60分） 10　テクノロジーの倫理（2）脳科学 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を自分のノートにまとめる（60分） 11　テクノロジーの倫理（3）フェイクニュース 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を自分のノートにまとめる（60分） 12　性差別とは何か 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を自分のノートにまとめる（60分） 13　人種差別とは何か 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を自分のノートにまとめる（60分） 14　ベジタリアニズム 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を自分のノートにまとめる（60分） 15　総括：倫理学の全体像 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を自分のノートにまとめる（60分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループディスカッションを行う。
課題のフィードバック方法と時期	毎回授業の最初に前回授業のリアクションペーパーを紹介し、それにコメントする。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：レポート 評価割合：70％ 評価基準：授業の要点、自分の意見を端的にまとめることができれば 70点 履修目標との対応：①②④⑤ 評価方法：その他（リアクションペーパー、授業内課題など） 評価割合：30％ 評価基準：授業内容に関連するコメントや疑問点を自分なり書くことができれば 30点 履修目標との対応：③
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	授業内でプリントを配布します。参考文献は授業内で適宜指示します。
実務経験のある教員による授業	
オフィスアワー・連絡先	質問は授業終了後、受け付けます。 kuromejiro@rikkyo.ac.jp
備考	授業への主体的な参加を期待します。私語は厳禁です。

講義科目名称： コミュニケーション論　　授業コード：

英文科目名称： Theory of Communication

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	２単位	必修
担当教員			
東出　和教　相原　健右　金森　義幸			
講義	LG100		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	対人関係やコミュニ ケーション、情報収 集・分析、論理的思 考、問題解決等に必要 な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用 できる能力を有する 人。
履修条件	特になし
授業概要	目指すゴール コミュニケーションとは、人間が人間とつながり合うための道具です。 そのためには、 ①自発的に考えを表出できる。 ②「わからないこと」を「わからない」と言える。 ③自然発生的に意見交換ができる、ことが大切です。 授業の中では「知っている」だけではなく「できる」を目指して実践を多く取り込んで行きます。
履修目標	①コミュニケーションの大切さを知る ②多様な意見を持つものと対話できる ③自発的に人と関わろうとする
授業計画・授業外学修課題	1　概論・ガイダンス（コミュニケーションとは、自己紹介） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） ・コミュニケーションに関して自分なりに考えておく（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ・当日配布されたプリントの復習（９０分） 2　コミュニケーションの必要性（効果的に聞く・伝わる話し方） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの予習（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの復習（９０分） 3　自分の意見を持つ、自分の意見を考えてみる 授業外事前学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの予習（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの復習（９０分） 4　自分の意見を伝える 授業外事前学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの予習（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの復習（９０分） 5　言いにくいことを伝える、感情をコントロールする 授業外事前学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの予習（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの復習（９０分） 6　対話する、立ち居振る舞い 授業外事前学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの予習（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの復習（９０分） 7　共感とコンセンサス 授業外事前学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの予習（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの復習（９０分） 8　相手のタイプ別コミュニケーション、コーチング 授業外事前学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの予習（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの復習（９０分） 9　みんなの意見を見える化する

	授業外事前学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの予習（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの復習（９０分） 10　みんなの意見をまとめる 授業外事前学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの予習（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの復習（９０分） 11　みんなの意見を発表する 授業外事前学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの予習（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの復習（９０分） 12　ディスカッションドラマ　その１ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの予習（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの復習（９０分） 13　ディスカッションドラマ　その２ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの予習（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの復習（９０分） 14　ディスカッションドラマ　その３ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの予習（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの復習（９０分） 15　まとめ、レポート作成 授業外事前学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの予習（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ・配布プリントの復習（９０分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	各回グループワークを行う。（論議してまとめて発表）
課題のフィードバック方法と時期	毎週の課題を実践して、グループワークの中で相互フィードバックを行う。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：レポート試験 評価割合：５０％ 評価基準：実践事例をレポートにまとめてもらいます 履修目標との対応：各項目に対応 評価方法：平常点評価 評価割合：５０％ 評価基準：グループワークで積極的に参加し役割をもって実施指定もらいます 履修目標との対応：各項目に対応
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：適宜、授業時にプリントや資料を配布する。 参考文献：適宜、授業時に紹介する。
実務経験のある教員による授業	担当教員は多様な経験を有しており、その経験を活かして実践的授業を実施する。
オフィスアワー・連絡先	質問は授業終了後、受け付けます。 各担当教員より初回授業時に連絡します。
備考	

講義科目名称： ジェンダー論　　授業コード： 25L205

英文科目名称： Gender Studies

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	２単位	選択
担当教員			
牛島　操/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技術を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人
履修条件	特になし
授業概要	・家族や友情、恋愛、結婚、育児、キャリア等をとおして、ジェンダーにかかる考え方や社会全体の課題について理解します。 ・ジェンダーのみならず「人」それぞれが「いきいきと行動する」力を身に付けながら、「自分も相手も大切にする」力を高めます。
履修目標	①ジェンダーに係る歴史的背景や現代の課題を理解し、課題解決のために考えたり表現したりすることができる。 ②生活のさまざまな場面におけるジェンダーの諸課題を認知する視点を養い、その考察を説明することができる。 ③ジェンダーにかかるさまざまな考え方や生き方を理解するとともに、自分の考えや他者の意見を大切にし行動することができる。
授業計画・授業外学修課題	1　ガイダンス；ジェンダーとは １　授業のねらい、授業の概要、授業形態　成績の評価について理解する。 ２　ジェンダーについての認知と意識についてアンケートに答える。 ３　テレビCMや曲の歌詞などから、昔と今のジェンダーにかかる考え方の変化を探ろう。 ・授業外事前学修課題：シラバスを確認し、授業の全体のながれを確認する。ジェンダーについて、知っていることをまとめる。（90分） ・授業外事後学修課題：学習内容を振り返り、自分の経験や周りの事と照らし合わせる。ジェンダーにかかる自己の意識の変化を確認する。（90分） 2　ジェンダーへの理解①　古い価値観を超えろ！ジェンダーギャップ、ジェンダーフリーを考える。 １　SDGsとジェンダー平等　男女共同参画社会を理解する。 ２　今までのジェンダーにかかる「当たり前」はなぜそうなっていたのか？見解を明らかにし、現代の考え方の違いに気づこう。 ３　古いジェンダー観を脱却するためにできることを考え、グループで共有する。 ４　自由な価値観を考えよう！‥ファッションからライフスタイルなど、これからのジェンダーにかかる自由な考え方や表現のしかたを考え、まとめる。 ・授業外事前学修課題：SDGs「ジェンダーと平等」についてHP等で調べ、自分の意見をまとめる。（90分） ・授業外事後学修課題：学習内容を振り返り、自分や周りのファッションやライフスタイルを照らし合わせる。（90分） 3　ジェンダーへの理解②　アンコンシャス・バイアス・・無意識の偏見や思い込みに気づこう、なくそう。 １　「男だから、女だから」、「長男だから、長女だから」・・無意識の偏見、無自覚な思い込みの存在を確認する。 ２　偏見や思い込みからくる「生きづらさ」をなくすために何ができるか？グループで意見を出し合い、発表する。 ・授業外事前学修課題：「女らしさ」「男らしさ」とは何か。書籍やHP等でまとめておく。アンコンシャス・バイアスについて調べておく。（90分） ・授業外事後学修課題：学習した内容を復習し、自他の意見を整理、自分の考えを深める。（90分） 4　ジェンダーへの理解③　ジェンダーハラスメント １　ハラスメントにかかる疑似体験をとおして、ハラスメントの実態に迫る。 ２　ハラスメントを「しない、させない」・・できることを考え、グループで共有しよう。 ・授業外事前学修課題：男女差によるハラスメントについて書籍やHP等で調べておき、自分の考えをまとめておく。（90分） ・授業外事後学修課題：学習内容を振り返り、学習したことを自分の周りへも理解や共有を拡める。（90分） 5　友情・恋愛論①　友情や恋愛における「ジェンダーギャップ」 １　友だちや恋人との悩み相談タイム‥よりよい関係にするためにはどうしたらいいの？ ２　親密な関係と人権・・友だちや恋人を大切にする態度や言葉とは？ ３　自分や周りの日々の言動の見直し、心地よい関係づくりについて考えよう。 ・授業外事前学修課題：自分の友情や恋愛に対する考えをまとめておく。友だちや好きな人からもらった「嬉しいことば」を思い出し書きとめる。（90分） ・授業外事後学修課題：授業をとおして、新たに気付いたことや自分の考えがかわったことを整理しておく。（90分）

	6	友情・恋愛論②　「デートDV」 １　疑似体験をとおして、デートＤＶについて理解する。 ２　DVをしない、させない・・自分や友だちをDVから守る策とは？仲間の意見やアイデアを共有する。 ・授業外事前学修課題：デートDVについてHP等で調べておく。デートDVの課題について自分の意見をまとめておく。（90分） ・授業外事後学修課題：授業をとおして、新たに気付いたことや自分の考えがかわったことを整理しておく。（90分）
	7	ジェンダーと結婚観・家庭像を考える。 １　結婚に対する男女に考え方の違いや、家庭における男女の役割の課題について触れ、自分なりの解決策を考えよう。 ２　多様なパートナーシップとは？国内外を含め、さまざまな家庭のあり方を知る。 ３　「私らしい」将来の結婚や家庭像を描こう。グループで意見交換し、自分の考えを深めよう。 ・授業外事前学修課題：自分の結婚観や家庭における性別役割分業について考えてくる。（90分） ・授業外事後学修課題：授業をとおして新たに気づいたこと、自分の考えに変化があったことをまとめる。（90分）
	8	ジェンダーへの理解④　性的マイノリティ １　性的マイノリティについて理解し、課題を解決するための意見を共有する。 ２　少数派を傷つけない、排除しない・・偏見のない「傾聴、心配り、言葉かけ」ワーク（まとめ） ・授業外事前学修課題：LGBTQについて調べ、自分にできることを考えまとめておく。（90分） ・授業外事後学修課題：授業の前後で自分の考えが変わったことや、考えが深まったことをまとめる。（90分）
	9	特別講師による講座①　恋愛とお金？「デート商法」の手口と対処法（９回目と１０回目は続き） １　デート商法等、だます手口や被害者の実態について理解する。 ２　デート商法の誘い、マッチングアプリ・・被害の遭わないための策を考えよう。 ・授業外事前学修課題：悪質商法について高校で学んだことを復習してくる。（90分） ・授業外事後学修課題：授業の前後で自分の考えが変わったことや、考えが深まったことをまとめる。（90分）
	１０	特別講師による講座①　恋愛とお金？「デート商法」の手口と対処法（９回目と１０回目は続き） １　「自分を大切に、お金も大切に」・・悪質商法撲滅のための「今日から実践できる『NO!』ワーク」を行う。 ・授業外事後学修課題：課題解決のための策を復習し、知識を深める。自分の意見をまとめる。（90分）
	１１	特別講師による講座②　大学生活の様々な「困った！」を解消する時間（11回目と12回目は続き） １　ジェンダーにかかる家族、友人、恋愛関係からお金のトラブルまで、様々な「困った！」を知る。 ２　グループワーク等をとおして、困り感を解決する有効な方法を考え、確認しよう。 ・授業外事前学修課題：これまでに学習したジェンダーにかかる内容をもう一度復習する。（90分）
	１２	特別講師による講座②　大学生活の様々な「困った！」を解消する時間（11回目と12回目は続き） １　グループで話し合ったことを発表、新たに気付いたことや考えが深まったことをまとめる。 ・授業外事後学修課題：授業で学んだことや仲間の意見から、大学生活の困り感を乗り越えていく意思を書きとめる。（90分）
	１３	子育てとジェンダー １　世界との比較　これからの子育てとジェンダーの対応について話し合う。 ２　「男の子らしさ」、「女の子らしさ」でない、これからを生きる「自分らしい」子育てを考えよう。 ３　看護、保育の立場から、ジェンダーを超えた「子育て」についてグループで意見を交わし、自分の意見をまとめる。 ・授業外事前学修課題：「母性」、「父性」の意義ついて考えてくる。日本と世界の国々との子育てに対する考え方の違いを調べまとめる。（90分） ・授業外事後学修課題：授業の復習から、将来のキャリアや自分の子育てを想定してまとめておく。（90分）
	１４	まとめレポート作成・提出 １　これまでの授業をふまえ、ジェンダーにかかるレポート作成・提出する。 授業内でのレポート作成が期末テストの代わりとなります。（テストはありません。） ・授業外事前学修課題：レポート作成のための素材（これまでのリフレクション、データ等）をまとめておく。（90分） ・授業外事後学修課題：これまでの授業の総復習をする。（90分）
	１５	「ジェンダー論」総括 １　レポート評価、全体の振り返り ジェンダー意識変容の確認（アンケート回答等） ・授業外事前学修課題：これまで学んだ諸課題を総まとめをする。（90分） ・授業外事後学修課題：レポートのまとめ方について復習する。（90分）

アクティブラーニングを用いた授業方法	問題解決型学習、グループワーク　等 　※講義中心の授業ではなく、主体的に授業に参加して問題を解決、「分かった」、「なるほど」を楽しむ授業です。 　※グループワークをとおして、自分を大切にするためのキーワードを発見したり、相手を大切にするメッセージを発信しあったりする授業です。
課題のフィードバック方法と時期	リフレクションペーパーのフィードバックは、次の授業時に行います。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	○評価方法：レポート 　評価割合：４０％ 　評価基準：ジェンダーに関する課題を理解し、課題解決に向けた策や自分の考えを具体的に説明できたか。 　履修目標との対応：①　②　③ ○評価方法：リフレクション 　評価割合：３０％ 　評価基準：授業の要点や自分の意見を適切にまとめることができたか。 　履修目標との対応：①　②　③ ○評価方法：ワークショップ 　評価割合：２０％ 　評価基準：ペアワークやグループワーク等の積極的な参加など、課題解決に向け　て意欲的、能動的に取り組めたか。 　履修目標との対応：①　②　③ ○評価方法：授業への取組状況 　評価割合：１０％ 　評価基準：授業へ積極的に参加し、主体的に学習に取り組めたか。 　履修目標との対応：①　②　③
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：テキストは使用せず、毎回必要に応じてレジュメ等の資料を使用します。 参考文献：授業時に随時紹介します。
実務経験のある教員による授業	担当教員は教諭経験を有しており、その経験を活かして、将来のための必要かつ実践的な授業を展開します。
オフィスアワー・連絡先	火曜日、木曜日の昼休みに行います。 mushijima@soei.ac.jp
備考	日常の生活に結びつけられるよう、実践的な内容を主にした「楽しむ授業」です。意欲的に授業に参加してください。 大学生の多くが悩んでいる、友人や異性関係のことや将来の就職や生き方について焦点をあてます。自分を力づける糧にしてください。 授業のはじめに、本時の目標と評価の基準（ルーブリック）について説明します。 30分以内の遅刻・早退計３回で欠課１回となります。注意してください。 欠席するときは、事前に連絡してください。 授業内容やスケジュールを調節することがあります。

講義科目名称： 障がい論　　授業コード： 25L206

英文科目名称： Theory of Disability

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	２単位	選択
担当教員			
相賀　頌子/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	2..対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。
履修条件	特になし
授業概要	誰もが相互に人格と個性を尊重し，支え合い，多様な在り方を認め合う共生社会の一員として，一人ひとりが主体的に社会参加できるよう，障がいを捉える枠組や主な障がいについての基本的理解を図り，支援のあり方を学ぶことを目的とする。
履修目標	①障がいを捉える枠組を知る。 ②主な障がいについての基本的特性や支援のあり方を理解する。 ③共生社会の一員として，合理的配慮等について主体的に検討できる。
授業計画・授業外学修課題	1　多様性の尊重（インクルーシブ社会） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） ノーマライゼーションやインクルージョン等、「障がい」に係る用語を調べる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） インクルーシブ社会について考察する（90分） 2　障がいの捉え方　（社会モデル、合理的配慮） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） ICFの特徴を調べる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 障がいの社会モデル、合理的配慮についてまとめる（90分） 3　ユニバーサルデザイン 授業外事前学修課題：課題内容（時間） ユニバーサルデザインについて調べる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 日本のユニバーサルデザインの課題と展望について考察する（90分） 4　障がいのある人達の視点 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 障がいのある人達がかかわっている団体、運動、取り組みについて調べる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 障がいのある人達の視点、生きづらさ等を分類し、考察する（90分） 5　障がいについての基本的理解/ 発達障害　（限局性学習症） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 限局性学習症の特性について調べる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 限局性学習症の支援方法を纏める(90分) 6　障がいについての基本的理解/ 発達障害　（注意欠如・多動症） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 注意欠如・多動症の特性について調べる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 注意欠如・多動症の人の支援方法を纏める(90分) 7　障がいについての基本的理解/ 発達障害　（自閉スペクトラム症） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自閉スペクトラム症の特性について調べる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 自閉スペクトラム症の人の支援方法を纏める(90分) 8　障がいについての基本的理解/ 肢体不自由・重症心身障害 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 知的障害者の特性について調べる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 知的障害者の支援方法を纏める(90分) 9　障がいについての基本的理解/

	肢体不自由・重症心身障害 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 肢体不自由・重症心身障害の特性について調べる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 肢体不自由・重症心身障害者の支援方法を纏める(90分) 10　障がいについての基本的理解/ 内部障害，病弱・身体虚弱，医療的ケア児 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 内部障害，病弱・身体虚弱，医療的ケア児の特性について調べる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 内部障害，病弱・身体虚弱，医療的ケア児の支援方法を纏める(90分 11　障がいについての基本的理解/ 視覚障害 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 視覚障害者の特性について調べる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 視覚障害者の支援方法を纏める(90分) 12　障がいについての基本的理解/ 聴覚障害 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 聴覚障害の特性について調べる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 聴覚障害の支援方法を纏める(90分) 13　障がいについての基本的理解/ 精神障害 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 精神障害者の特性について調べる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 精神障害者の支援方法を纏める(90分) 14　障がい者の暮らしを支える行政的支援 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 障がい者のための福祉サービスを調べる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 障害者が自立した生活を送るための地域における課題を考察する（90分） 15　障がい者の自立と共生社会 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 障がい者の権利保障について調べる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 権利擁護の仕組み、および共生社会の普及の課題を考察する（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループ・ワーク、ディスカッションをもとに発表を行う。
課題のフィードバック方法と時期	障がい種を３つの領域に分けて講義しますので、領域ごとに授業冒頭で小テストを行います。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：レポート 評価割合：40 評価基準：課題を理解し、自分の意見とその根拠を端的まとめることができれば80点。ルーブリック参照。 履修目標との対応：①　③ 評価方法：ワークシート、リフレクションペーパー 評価割合：講義内容を理解し、自分の意見を書くことができれば４０点。 評価基準：40 履修目標との対応：①　②
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	必要に応じてプリントや資料を紹介または配付する。
実務経験のある教員による授業	該当なし
オフィスアワー・連絡先	saiga@soei.ac.jp 月曜日～木曜日に昼休み
備考	

講義科目名称： 芸術論　　授業コード： 25L207

英文科目名称： Art Theory

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	２単位	選択
担当教員			
島田　佳枝			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	
授業概要	芸術は人間特有の活動である。対象を固定化して捉える日常的なまなざしのあり方をゆさぶり、想像力を刺激して、対象と私たちの間にある種の「遊び」をもたらしながら、社会的な意味や価値を組みかえ、未知の世界を切り開く創造力をも秘めている。本講義では、こうした芸術の捉え方に関連して、近代の芸術とその思索を通して見出された「表現」という観点及び、これを人間の本質と捉える「表現的な存在としての人間」という観方を取り上げる。そして、こうした人間の捉え方と保育、教育、看護、福祉といった領域との関わりについて資料を通して考察を行い、体験を通して理解を深める。
履修目標	①「表現的な存在としての人間」という観方を理解し、表現することの意義について自分の考えを述べることができる。 ②人が相互の理解に基づきながら生き生きと生きていくために、保育、教育、看護、福祉といった領域においてどのような関わりや支援が必要とされるかを「表現的な存在としての人間」という観方との関わりにおいて述べることができる。 ③グループワークや表現活動を通して、自己理解と他者理解を深めることができる。 ④鑑賞活動において、自分が感じたことを他者に言葉で伝え、また他者の感じたことを丁寧に聞くことができる。
授業計画・授業外学修課題	1. 授業ガイダンス：授業の内容や進め方、期末レポートについて/「日常的なまなざし」をゆさぶるアートとは 授業外事前学修課題：シラバスの内容を確認し、質問事項を明確化する（90分） 授業外事後学修課題：授業で配布された資料をもう一度確認する（90分） 〃 2. 活動を通して考察するー「表現」とは？ 授業外事前学修課題：人間にとって「表現」とはどのような活動なのか、これまでの自身の経験を踏まえて考えをまとめる（90分） 授業外事後学修課題：授業での活動から見出された新たな視点や考えをまとめ整理する（90分） 3. 人と人との関わりにおける「表現」の捉え方―「表現的な存在としての人間」という視点を探る 授業外事前学修課題：人と人との関わりおいて「表現」がどのような役割を果たし、どのような意義を持つのか、自分の考えをまとめる（90分） 授業外事後学修課題：配布プリントなどを参照し、授業内容を復習して、自分がどのような新たな視点を獲得したか整理する（90分） 4. 「美的にみる」ということ①「美的経験」「美的判断」について 授業外事前学修課題：テキストの課題部分を読む。（90分） 授業外事後学修課題：配布プリントなどを参照し、授業内容を復習して、自分がどのような新たな視点を獲得したか整理する（90分） 5. 「美的にみる」ということ②「遊戯衝動」と「相互承認」について 授業外事前学修課題：テキストの課題部分を読む（90分） 授業外事後学修課題：配布プリントなどを参照し、授業内容を復習して、自分がどのような新たな視点を獲得したか整理する（90分） 6. 子どもの遊びと「表現」①幼児教育おける子どもの遊びの支援 授業外事前学修課題：これまでの授業内容をふまえて、幼児の遊びや表現を支援する方法について自分の体験をもとに考えてみる（90分） 授業外事後学修課題：配布プリントなどを参照し、授業内容を復習して、自分がどのような新たな視点を獲得したか整理する（90分） 7. 子どもの遊びと「表現」②地域における子どもの遊びの支援 授業外事前学修課題：現代の地域の中の子どもの遊び場について、自身の体験をふまえて、その

	特徴（場所、人との関わり）をまとめる（90分） 授業外事後学修課題：配布プリントなどを参照し、授業内容を復習して、自分がどのような新たな視点を獲得したか整理する（90分） 8. 子どもの遊びと「表現」③身近な環境を生かした「遊びと表現」の体験的理解 授業外事前学修課題：配布された資料を読み、「表現を育む人になる」という視点について整理する（90分） 授業外事後学修課題：授業での体験と「表現を育むこと」との関わりについて整理する（90分） 9. 子どもの遊びと「表現」④造形的な活動を通した「遊びと表現」の体験的理解 授業外事前学修課題：授業で扱った「遊戯衝動」という概念について復習する、必要な文具や物品を用意する(90分) 授業外事後学修課題：今回の活動に必要とされる支援のあり方について考えをまとめる（90分） 10. 鑑賞することの創造性①ひとりひとりの感じ方と対話に基づいた鑑賞活動について 授業外事前学修課題：自身のこれまでの作品鑑賞体験とその特徴について振り返る（90分） 授業外事後学修課題：授業で得た新たな知見と、それによって鑑賞活動をどのようなものと捉えるようになったか考えをまとめる（90分） 11. 鑑賞することの創造性②「作品解説文」を書いてみよう 授業外事前学修課題：自分が取り上げたい作品の図版（指定されたサイズのカラーコピー）を準備する。必要な文具や物品を準備する（90分） 授業外事後学修課題：授業内で取り組んだ「作品解説文」を仕上げる（90分） 12. 鑑賞することの創造性②鑑賞作品づくり 授業外事前学修課題：「作品解説文」を完成させる。自分が取り上げたい作品の図版（指定されたサイズのカラーコピー）、必要な文具や物品を用意する（90分） 授業外事後学修課題：授業内で取り組んだ作品を仕上げる（90分） 13. 鑑賞することの創造性③作品鑑賞会、アートカードを用いた活動 授業外事前学修課題：作品を完成させる。作品の発表準備を行う（90分） 授業外事後学修課題：鑑賞活動の可能性について自身の考えをまとめる（90分） 14. 期末レポート試験について、これまでの授業の振り返り 授業外事前学修課題：授業で配布された資料をすべてそろえる（90分） 授業外事後学修課題：これまで授業で取り組んだ内容全てについて復習する（90分） 15. 期末レポート試験 授業外事前事後学修課題：：期末レポート試験の準備をする（180分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	表現活動、鑑賞活動、グループワークなどを行う。
課題のフィードバック方法と時期	各回の感想カードへのコメントを翌週の授業において行う。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：平常点 評価割合：35% 評価基準：授業に積極的に参加し、感想カードに授業の内容をふまえた自身の意見や疑問点などを記述することができれば80% 履修目標との対応：①② 評価方法：活動（グループワーク、表現・鑑賞活動）への参加と振返り 評価割合：32% 評価基準：活動に積極的に参加し、活動内容をふまえた自身の発見や気づき、疑問点等をを記述することができれば80% 履修目標との対応：③④ 評価方法：制作物 評価割合：18% 評価基準：条件を満たした制作物を期日までに提出することができれば80% 履修目標との対応：③④ 評価方法：期末レポート 評価割合：15% 評価基準：課題の内容に関して、自身の考えと、その根拠を述べることができれば80% 履修目標との対応：①②

	〃
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキストは授業時にプリントを配布する。参考文献は授業内で適宜紹介する。表現・鑑賞の活動においてハサミや糊などの文具を使用する予定（その他、必要な物品についてはガイダンスにて告知する）
実務経験のある教員による授業	小学校で図画工作科を担当した経験をふまえ、授業を行う。
オフィスアワー・連絡先	授業前後やメールで問い合わせに応じます。メールアドレス：yshimada@soei.ac.jp
備考	・スライドや映像を上映しながら授業を行います。プロジェクターをスマートフォンで撮影しメモ代わりにすることを禁止します。 ・30分以内の遅刻・早退3回で1回の欠席と見なします。（30分以上の遅刻・早退については欠席扱いとします） ・履修者数や進行具合によって授業内容は変更されることがあります。 ・指定された作品の提出と期末レポート試験への参加がなければ不合格とします。 ・授業は講義だけでなく、グループワークや表現・鑑賞活動を取り入れた内容となるため、積極的な参加が不可欠です。 ・毎回の受講態度も評価対象となります。講義中のスマートホンやタブレットの閲覧、ヘッドホンの着用、雑談等、受講態度としてふさわしくないと思われる振る舞いに対し、教師から積極的に注意します。注意喚起に応じられない場合、引き続き受講を希望するかどうか話し合いを行います。

講義科目名称： 比較文化論　　授業コード： 25L208

英文科目名称： Theory of Comparative Culture

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	２単位	選択
担当教員			
小林　成彬			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技能を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。
履修条件	特になし
授業概要	人間の創りあげる文化は、時代と地域を超えた普遍性と、完結することのない多様性を備え、私たちが現実社会の困難な課題を理解し、乗り越えるための力を与えてくれる。自国と他国の文化の相違点・類似点・相互の影響を考えながら、共通の課題に共に取り組んでいるような方法を学ぶ。
履修目標	①日本と世界が直面する課題を文化（小説、映画、グラフィックンノベル、絵本など）を通して具体的に考えることができる。 ②国際的な視点に立って、多様性と包摂性のある社会をいかに実現するか、自分のこととして考えることができる。 ③教育・看護の現場で国際化に対応する能力を育てる。そのために、比較文化の知見を活用できる。 ④課題解決のためのキーワードを身につける。 ⑤自分の考えを口頭と文章で表現できるようになる。
授業計画・授業外学修課題	1　イントロダクション――「比較文化論」への招待 本講義の概要を説明する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 比較文化について自分なりに調べてくる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中に指示した文献を読み、映像を視聴する（90分） 2　宮崎駿『君たちはどう生きるか』と〈読書〉 宮崎駿『君たちはどう生きるか』の鑑賞を通して、吉野源三郎『君たちはどう生きるか』の世界に入門する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自分なりに映画について調べてくる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 自分なりに授業を振り返る（90分） 3　天動説と地動説について考える 『君たちはどう生きるか』を読み、そこに書かれてあることについて考える。主人公「コペル君」はコペルニクスからつけられた名前である。コペルニクスとは「地動説」を唱えた人物である。天動説と地動説について考える。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 『君たちはどう生きるか』１を読んでくる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 身体表現と物語の関係について考える（90分） 4　〈経験〉とは何か 〈経験〉とは何かについて考える。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 『君たちはどう生きるか』２を読んでくる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業について自分なりに振り返る（90分） 5　身近にある〈世界〉について考える 身近にあるものたちのなかにすでに多くの世界と文化が入り混じっている。その諸相を実感する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 『君たちはどう生きるか』３を読んでくる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業について自分なりに振り返る（90分） 6　貧困問題について 現在における貧困問題（日本と世界）について考える。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 『君たちはどう生きるか』３を読んでくる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業について自分なりに振り返る（90分） 7　フランス革命とナポレオン（１） フランス革命について学ぶ。 授業外事前学修課題：課題内容（時間）

	『君たちはどう生きるか』３を読んでくる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業について自分なりに振り返る（90分） 8　フランス革命とナポレオン（２） ナポレオンについて学ぶ。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 『君たちはどう生きるか』３を読んでくる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業について自分なりに振り返る（90分） 9　「恥」と「罪」について考える ルース・ベネディクトは『菊と刀』で「恥」と「罪」の違いについて語った。文化の違いと情動のあり方について考える。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 『君たちはどう生きるか』３を読んでくる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業について自分なりに振り返る（90分） 10　〈共生〉について考える 文化の違いを理解し、〈共生〉するあり方とは何かについて考える。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 『君たちはどう生きるか』３を読んでくる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業について自分なりに振り返る（90分） 11　日本戦後思想から考える（１） 『君たちはどう生きるか』は多くの人によって様々な批評が残されている。その中でも、戦後日本を代表する知識人の丸山眞男による批評を読み、これまでの授業を振り返る。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 丸山眞男「『君たちはどう生きるか』をめぐる回想」を読む（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業について自分なりに振り返る（90分） 12　日本戦後思想から考える（２） 『君たちはどう生きるか』は多くの人によって様々な批評が残されている。その中でも、戦後日本を代表する知識人の鶴見俊輔による批評を読み、これまでの授業を振り返る。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指定した資料を読んでくる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業について自分なりに振り返る（90分） 13　『君たちはどう生きるか』を通して得られる比較文化論的視点 これまでの授業を振り返り、自分なりに「比較文化論」について考え、それについてディスカッションを行なう。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） これまでの授業について振り返る（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業について自分なりに振り返る（90分） 14　レポートの作成方法について 期末試験のレポートを作成するにあたっての注意点やその作成方法について学ぶ。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） これまでに学んだことを自分なりに表現するにはどうすればいいかを考える（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業について自分なりに振り返る（90分） 15　まとめ　比較文化論とは 期末試験レポートを作成する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 期末試験レポートの作成を行う（180分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループ・ディスカッションを行う。
課題のフィードバック方法と時期	リアクション・ペーパーのフィードバックは、次回授業時に行う。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：５０％ 評価基準：授業で学んだことを理解し自分を意見を記述できていれば６０点。 履修目標との対応：①②③④⑤ 評価方法：リアクション・ペーパー 評価割合：５０％ 評価基準：授業で学んだことを理解し自分の意見を記述できていれば６０点。 履修目標との対応：①②③④⑤
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	教科書：羽賀翔一・吉野源三郎『漫画　君たちはどう生きるか』（マガジンハウス、2017年）、1430円。 参考文献：吉野源三郎『君たちはどう生きるか』、岩波文庫、1982年。 ルース・ベネディクト『菊と刀』、講談社学術文庫、2005年。 遅塚忠躬『フランス革命』、岩波ジュニア新書、1997年。

実務経験のある教員による授業	非該当
オフィスアワー・連絡先	木曜５限前後の時間／eventuellement28@gmail.com
備考	この授業では一冊の本を読むことを通じて「比較文化論」の世界を学びます。授業前に指定のテキストを読んでくるようにしてください。また、授業に主体的にとりくみ、ディスカッションなどに積極的に参加することを望みます。

講義科目名称： 造形表現　　授業コード： 25L209

英文科目名称： Artistic Expression

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	２単位	選択
担当教員			
流石　良子/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	履修者の上限を36名(こども教育学部18名・看護学部18名)とする。
授業概要	造形活動は「自己表現」と「ものをつくり出す」という二つの側面をもっている。この活動を通して、ひと・もの・ことに関わり、保育と看護の基礎となる感性・想像力・創造力・柔軟な思考・バランス感覚などを養い、自己理解と他者理解を深める。
履修目標	①造形表現を通して、感性・想像力・創造力・バランス感覚などを高める。その上で、造形表現ができる。 ②表現や鑑賞の活動を通して、自己理解と他者理解を深めることができる。 ③造形表現を保育や看護に合わせて考える柔軟な思考をもつことができる。①
授業計画・授業外学修課題	1　造形表現について考える　　造形活動でコミュニケーション1　絵本紹介1 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/シラバスから授業概要を確認し学修到達目標を確認しておく(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/学修到達目標の中から特に力を入れていきたい目標を決め、その理由をノート等に書きとどめておく(90分) 2　体を動かし、心を動かす表現を体験する1　　造形活動でコミュニケーション2 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/造形活動でコミュニケーションについてをふり返る(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/他者理解の多様な方法と体や心を動かすコミュニケーションについてまとめる(90分) 3　体を動かし、心を動かす表現を体験する2　　造形活動でコミュニケーション3 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/体や心を動かす表現について振り返り自分なりの考えをもつ(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/感想交流を通して他者理解から考えをまとめる(90分) 4　体を動かし、心を動かす表現を体験する3　　造形活動でコミュニケーション4 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/造形活動で得られるコミュニケーションのよさについて資料から調べる(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/造形活動で得られるコミュニケーションのよさについてまとめる(90分) 5　関係性の意識化による空間表現を体験する　　五感に訴える空間デザイン 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/五感に訴える空間デザインとは何か調べる(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/空間を意識する事と五感についてまとめる(90分) 6　幾何学形体の描写を通して観ることを考える　身近にある幾何学模様を意識 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/身近にある幾何学模様゜について調べる(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/身近な幾何学模様の特徴をまとめる(90分) 7　自然物の描写を通して観ることを考える　野草を描く1 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/自然物にみる幾何学模様の特徴をふりかえる(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/多方面からの描写を通して観ることについてまとめる(90分) 8　自然物の描写を通して観ることを考える　野草を描く2 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/描きたい野草について事前調べておく(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/観ることとを通して描かれた野草について気付いたことをまとめる(90分) 9　造形の表現行為を楽しむ　　スクラッチによる平面構成1 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/クレヨンの多様な表現方法について調べる(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/多様な表現を共有して感じられたことをまとめる(90分) 10　造形の表現行為を楽しむ　　スクラッチ等による平面構成2　絵本紹介2 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/クレヨンによる技法紹介をまとめる(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/クレヨンので表現された平面作品から気付いたことをまとめる(90分) 11　造形表現による他者との関わり　共同制作:オリジナル色紙づくり 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/共同制作について活動からえられる効果について調べる

	(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/偶然に出来上がる色紙のよさを活かした表現方法の可能性をまとめる(90分) 12 造形表現による他者との関わり　共同制作:オリジナル色紙を使って壁面制作 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/オリジナル色紙のよさを活かした表現方法を紹介できるようにする(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/共同制作で育つ力についてまとめる(90分) 13 聴覚と視覚に働きかける　音を楽しむ造形 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/音を楽しむ造形について生活の中から探す(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/体験したことをまとめる(90分) 14 可塑的存在としての自己を見つめる　可塑的素材による造形　絵本紹介3 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/可塑的存在としての自己とは何か調べる(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/人間の可塑性について考えをまとめる(90分) 15 造形表現の可能性について考えをまとめる 授業外事前学修課題：課題内容（時間）/これまでの学びから造形表現から得られる事柄をまとめる(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間）/表現や鑑賞の活動を通して得られた力についてまとめる(90分)
アクティブラーニングを用いた授業方法	この講義では、討議・グループワーク・表現と鑑賞などを行う。
課題のフィードバック方法と時期	毎回提出を求める感想は、意見交流(他者理解)として活用し、翌週には返却する。授業時にルーブリックを配布する。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：レポート 評価割合：30 評価基準：自らの考えと、その根拠を述べていれば80% 履修目標との対応：①②③ 評価方法：平常点評価 評価割合：40 評価基準：課題　学修到達目標の達成度80%　ルーブリック使用 履修目標との対応：①②③ 評価方法：その他 評価割合：30 評価基準：取り組み発表力など新たな取組みに意欲をもち、価値を見つける姿勢80% 履修目標との対応：①②③
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト:必要に応じて資料を配布する。 参考文献:阿部宏行「幼児・小学生の造形による育みのABC」日本文教出版 井上美智子・登美丘西こども園「持続可能な社会をめざす0歳からの保育」北大路書房 槇英子「保育をひらく造形表現」萌文書林 高橋洋一編「特別支援教育とアート」武蔵野美術出版
実務経験のある教員による授業	小学校教諭としての図画工作科指導の実務経験を活かした授業を行う。
オフィスアワー・連絡先	「月曜日1.2限」「火曜日4限」「水曜日2限」　流石(rsasuga@soei.ac.jp)
備考	出席は授業内のリフレクションペーパーの提出で確認します。授業では造形表現活動を大切にします。それぞれがもっている能力(人間性)をひらくことに重点をおいて講義を進めます。

講義科目名称： 教養音楽　　授業コード： 25L210

英文科目名称： Music as a Liberal Art

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	２単位	選択
担当教員			
鈴木　くみ			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	地域社会の動向を踏まえて、関連情報を活用し、創造的に看護を発展させることができる
履修条件	特になし
授業概要	多様な音楽文化やコミュニケーションとしての音楽について広く学ぶことを通し，対人援助職の基盤となる豊かな感性や多様性を尊重する姿勢を身に付ける。
履修目標	①ジャンルを問わず、様々な音楽を聴き、自分自身の音楽観を構築する。 ②音楽をコミュニケーションのツールとして捉え、音楽表現を実践する。
授業計画・授業外学修課題	1　音楽とはなにかを考える いろいろな音や音楽を聴き、イメージを言語化する ①身の回りにある音に耳を傾ける。（音感受） ②いろいろな音楽を聴き、心の動きを感じる。 楽器を使ってコミュニケーションをとる ①カスタネットを使い、リズムで遊ぶ。 ②音楽に合わせてコミュニケーションを取る。 音楽経験、音楽体験についてのアンケート記入 リフレクションシート記入 授業外事前学修課題：科目の概要と目標をシラバスで確認する（９０分） 授業外事後学修課題：講義資料を復習し、理解を深める（９０分） 2　クラシック（西洋音楽）を聴く 西洋音楽の歴史を辿りながら日本でも広く知られているクラシック音楽を聴く ①音楽の三代要素について知る。 ②グレゴリオ聖歌から現代音楽までいろいろな音楽を聴きながら、音楽の発展の仕方や流行とその文化的背景を考える。 授業内容をワークシートに記入 授業外事前学修課題：９世紀からの世界史の流れを把握しておく（９０分） 授業外事後学修課題：授業内で聴いた音楽を再度聴き理解を深める（９０分） 3　日本の音楽を聴く 古代から近代・現代の日本の音楽を知る ①邦楽に使われている楽器を知り、その音色を聴く。 ②邦楽の名曲を聴く。 授業外事前学修課題：邦楽で使われる楽器を調べる（９０分） 授業外事後学修課題：授業内で聴いた音楽を再度聴き理解を深める（９０分） 4　リズム 音楽の三大要素であるリズムについての基礎知識を学ぶ ①音の長さを表す楽譜を、分数を使ってマスターする。 ②リズムのパターンを作って、それを演奏する。（グループワーク） 授業後、リフレクションシートを記入 授業外事前学修課題：いろいろなリズムパターンについて調べる（９０分） 授業外事後学修課題：授業内で行ったリズムパターンを練習し理解を深める（９０分） 5　メロディー 音楽の三大要素であるメロディーについての基礎知識を学ぶ ①音の高さを表す楽譜を、五線譜を使ってマスターする。 ②ランダムに並べた音を演奏してみる。（グループ） 授業後、リフレクションシートを記入 授業外事前学修課題：前回の授業で渡された詩を抑揚をつけて朗読する（９０分） 授業外事後学修課題：楽譜について理解を深める（９０分） 6　和音について 音楽の三大要素である和音（響き）について学ぶ ①いろいろな響きを聴く。 ②コードについての基礎知識。

		③いろいろなコード進行について。 授業内容をワークシートに記入 授業外事前学修課題：コードについて調べる（９０分） 授業外事後学修課題：いろいろなコード進行について理解を深める（９０分）
	7	日本の童謡と唱歌 明治から現在に至る子どもの歌（童謡）について ①日本語と旋律の関係 ②童謡の歴史 授業内容をワークシートに記入 授業外事前学修課題：（９０分）童謡と唱歌の違いを調べる 授業外事後学修課題：（９０分）童謡について講義内容について理解を深める
	8	日本の童謡 わらべうたについて ①日本語とわらべうたの関係 ②わらべうたの歴史 ③わらべうた遊び 授業外事前学修課題：わらべうたの発祥について調べる（９０分） 授業外事後学修課題：授業内で行ったわらべうた遊びをまとめ理解を深める（９０分）
	9	高齢者と音楽　子どもと音楽 様々な施設での音楽の使われ方について ①介護施設での音楽療法。 ②高齢者と共有できる楽曲。 ③保育の現場での音楽。 授業内容をワークシートに記入 授業外事前学修課題：音楽療法について調べる（９０分） 授業外事後学修課題：どのような音楽活動が対象者に良い影響を与えるのか、自分の専門の中で考え音楽療法への理解を深める（９０分）
	10	アメリカのポップス ヨーロッパとはまた別の発展を遂げたアメリカのポップスについて ①植民地時代の音楽 ②ジャズ ③ロック 授業内容をワークシートに記入 授業外事前学修課題：アメリカの歴史について調べておく（９０分） 授業外事後学修課題：授業内で聴いた曲の理解を深める（９０分）
	11	商業音楽 商業的音楽について ①コマーシャル音楽 ②サウンドロゴ ③著作権法 授業内容をワークシートに記入 授業外事前学修課題：CMソングについて調べる（９０分） 授業外事後学修課題：商業音楽について理解を深める（９０分）
	12	世界の国家 様々な国の国歌に現れる音楽の特徴 ①国の象徴である国歌を聴く。 ②国歌から国の文化や背景を考える。 授業内容をワークシートに記入 授業外事前学修課題：自分が行ってみたい国の国家について調べる（９０分） 授業外事後学修課題：国と国家の文化的関係に関して理解を深める（９０分）
	13	楽器 様々な楽器の音の出る仕組み、演奏方法について ①手作り楽器を作る ②楽器を使ってアンサンブル 授業外事前学修課題：音の発生の仕方について調べる（９０分） 授業外事後学修課題：授業内で作った楽器の作り方をまとめる（９０分）
	14	日本のポップス 昭和から現在に至るJ-POPについて ①音楽の変遷を辿る ②多様化する現在の音楽シーン 授業内容をワークシートに記入 授業外事前学修課題：昭和歌謡、J-POPについて調べる（９０分）

	授業外事後学修課題：授業内で聴いた音楽を年代ごとにまとめる（９０分） 15　まとめ 音楽と自分のかかわりについて考える。 ①今までの授業のまとめと補足。 ②音楽と自分のかかわりについて具体的に考える。 授業内容をワークシートに記入 授業外事前学修課題：今まで書いてきたワークシートを熟読しておく（９０分） 授業外事後学修課題：音楽にについて自分の考えをまとめ理解を深める（９０分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワークを行います。
課題のフィードバック方法と時期	リフレクションペーパーのフィードバックを次の授業時に行います。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：平常点およびリフレクションペーパー 評価割合：50% 評価基準：授業で学んだことを理解できれば60点 履修目標との対応：①　② 評価方法：レポート 評価割合：50% 評価基準：課題の要点および自分の意見を端的にまとめることができれば60点 履修目標との対応：①　②
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	必要に応じて資料を紹介または配付します。
実務経験のある教員による授業	幼稚園教諭、養護施設、介護施設での演奏やレクリエーション活動の経験をいかし、実践に役立つ知識技能を伝えます。
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワー：授業前後 連絡先：k.sato@soei.ac.jp
備考	・授業への主体的な参加を期待します。 ・30分以上の遅刻および途中退席は欠席となります。

講義科目名称： 法学（含日本国憲法）　　授業コード： 25L211

英文科目名称： Law（Including the Constitution）

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	２単位	選択
担当教員			
柳澤　泰			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。
履修条件	
授業概要	日本国民として知っておかなければならない国民の権利・義務や国の基本的な統治形態など、日本国憲法の総合的理解と憲法の存在 意義、人権について学ぶ。また憲法に謳っている国民に主権があることや天皇制の仕組み、国会や内閣、裁判制度の知識を通じて教育 及び現代社会の問題について学習する。
履修目標	①「法」の全体的な体系、基本を理解し法的なものの見方（リーガルマインド）を身につける。 ②憲法（特に基本的人権）、民法、刑法などの基本法が生活とどのように関わりあっているのかを理解し、それを説明できる。 ③憲法や法律と生活の関連を理解し、事例を通して教育及び現代社会の問題について考え、説明することができる。
授業計画・授業外学修課題	1　争いを解決する手段としての民事訴訟、刑事訴訟法 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布されたプリント中の事例を読み、どのような点が法と関わるのか、当事者の主張や請求が認められるかを検討する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 空欄を補充したプリントや資料を読み返し、授業の内容を自分の言葉で説明できるようノートなどに整理する（90分） 2　「法」とは何か、「法」にはどのようなものがあるか。「憲法」「民法」「刑法」とは何か。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布されたプリント中の事例を読み、どのような点が法と関わるのか、当事者の主張や請求が認められるかを検討する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 空欄を補充したプリントや資料を読み返し、授業の内容を自分の言葉で説明できるようノートなどに整理する（90分） 3　日常生活と人権、契約、犯罪① 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布されたプリント中の事例を読み、どのような点が法と関わるのか、当事者の主張や請求が認められるかを検討する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 空欄を補充したプリントや資料を読み返し、授業の内容を自分の言葉で説明できるようノートなどに整理する（90分） 4　日常生活と人権、契約、犯罪② 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布されたプリント中の事例を読み、どのような点が法と関わるのか、当事者の主張や請求が認められるかを検討する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 空欄を補充したプリントや資料を読み返し、授業の内容を自分の言葉で説明できるようノートなどに整理する（90分） 5　憲法、民法、刑法の適用場面と基本原則 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布されたプリント中の事例を読み、どのような点が法と関わるのか、当事者の主張や請求が認められるかを検討する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 空欄を補充したプリントや資料を読み返し、授業の内容を自分の言葉で説明できるようノートなどに整理する（90分） 6　人権宣言の歴史 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布されたプリント中の事例を読み、どのような点が法と関わるのか、当事者の主張や請求が認められるかを検討する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 空欄を補充したプリントや資料を読み返し、授業の内容を自分の言葉で説明できるようノートなどに整理する（90分） 7　基本的人権の特性、根拠 授業外事前学修課題：課題内容（時間）

		配布されたプリント中の事例を読み、どのような点が法と関わるのか、当事者の主張や請求が認められるかを検討する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 空欄を補充したプリントや資料を読み返し、授業の内容を自分の言葉で説明できるようノートなどに整理する（90分）
	8	日本国憲法の構造（国民主権、権力分立、違憲法令審査権） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布されたプリント中の事例を読み、どのような点が法と関わるのか、当事者の主張や請求が認められるかを検討する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 空欄を補充したプリントや資料を読み返し、授業の内容を自分の言葉で説明できるようノートなどに整理する（90分）
	9	表現の自由とプライバシー権（宴のあと事件） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布されたプリント中の事例を読み、どのような点が法と関わるのか、当事者の主張や請求が認められるかを検討する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 空欄を補充したプリントや資料を読み返し、授業の内容を自分の言葉で説明できるようノートなどに整理する（90分）
	10	表現の自由の価値と知る権利 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布されたプリント中の事例を読み、どのような点が法と関わるのか、当事者の主張や請求が認められるかを検討する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 空欄を補充したプリントや資料を読み返し、授業の内容を自分の言葉で説明できるようノートなどに整理する（90分）
	11	プライバシー権とは何か 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布されたプリント中の事例を読み、どのような点が法と関わるのか、当事者の主張や請求が認められるかを検討する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 空欄を補充したプリントや資料を読み返し、授業の内容を自分の言葉で説明できるようノートなどに整理する（90分）
	12	現代におけるプライバシー権のとらえ方 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布されたプリント中の事例を読み、どのような点が法と関わるのか、当事者の主張や請求が認められるかを検討する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 空欄を補充したプリントや資料を読み返し、授業の内容を自分の言葉で説明できるようノートなどに整理する（90分）
	13	医療現場における裁判（エホバの証人輸血損害賠償事件）①―判決の構成、損害賠償請求の法的根拠― 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布されたプリント中の事例を読み、どのような点が法と関わるのか、当事者の主張や請求が認められるかを検討する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 空欄を補充したプリントや資料を読み返し、授業の内容を自分の言葉で説明できるようノートなどに整理する（90分）
	14	医療現場における裁判（エホバの証人輸血損害賠償事件）②―訴訟における争点は何か― 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布されたプリント中の事例を読み、どのような点が法と関わるのか、当事者の主張や請求が認められるかを検討する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 空欄を補充したプリントや資料を読み返し、授業の内容を自分の言葉で説明できるようノートなどに整理する（90分）
	15	医療現場における裁判（エホバの証人輸血損害賠償事件）③―争点についての裁判所の判断― 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布されたプリント中の事例を読み、どのような点が法と関わるのか、当事者の主張や請求が認められるかを検討する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 空欄を補充したプリントや資料を読み返し、授業の内容を自分の言葉で説明できるようノートなどに整理する（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法		
課題のフィードバック方法と時期	感想カードのフィードバックを次の授業時に行います。	
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験、平常点評価 評価割合：筆記試験：70％、平常点評価：30％ 評価基準：筆記試験：設問に対し、授業の内容を理解した上での解答がなされていれば80％ 平常点評価：感想カードに授業の内容を踏まえた自身の意見や疑問点等が記載されていれば	

	80％ 履修目標との対応：筆記試験：①②③、平常点評価：①②③
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：ポケット六法（有斐閣）
実務経験のある教員による授業	該当：担当教員は弁護士であり、適宜裁判等の実務についても言及します。
オフィスアワー・連絡先	感想カードの質問についてはできるだけ次回の授業で回答しますが、全ての質問に回答することは難しいので、授業後に直接質問に来てください。
備考	出席は感想カードの提出により取ります。平常点も感想カードの記載内容を評価します。

講義科目名称： 文学　　授業コード： 25L212

英文科目名称： Literature

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	２単位	選択
担当教員			
武井　博美/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。
履修条件	
授業概要	文学は、言語能力を滋養し、分析力を深化し、想像力を高め、幅広く人間を理解することに役立つ学問である。本の中で間接体験をすることが、他者への共感を可能にし、ひいては自己を振り返るきっかけとなる。ひとつの物語を足がかりに、自分を取り巻く世界が無限に広がっていく過程を楽しめるよう、作品との向きあい方を具体的に学ぶ。
履修目標	①他者(評論のみならず、同じクラスの受講生なども含む)の意見に触れ、作品を多角的に捉えようとする姿勢を身につける。 ②作品を分析し、自分の意見を論文にまとめられるようにする。
授業計画・授業外学修課題	1　ガイダンス 論文と、作文・感想文・エッセイ等の文章との違いについて 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 「論文」「作文」「感想文」「エッセイ」「レビュー」の各特徴を文献やインターネットを利用して調べる。(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 文学作品に関する「論文」とはどのような特徴があるか、感想文とは何が違うのかということを、ノートに整理してまとめる。(90分) 2　作品精読① フランスの童話「美女と野獣」の登場人物の分析 授業外事前学修課題：課題内容（時間） ディズニーのアニメーション映画『美女と野獣』についてインターネットで調べ、あらすじを書いてくる(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） フランスの原作「美女と野獣」の第1段落目で得られた情報をまとめる。(90分) 3　作品精読② 童話「美女と野獣」における心象風景について 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 童話「美女と野獣」の15ページまでについて、得られた情報を整理しまとめる(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 「心象風景」「二項対立」等の用語についてノートにまとめる(90分) 4　作品精読③ ディズニーの映像作品との違い 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 童話「美女と野獣」の21ページまでについて、得られた情報を整理しまとめる(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 映像作品と文字作品の違いについてまとめる(90分) 5　作品精読④ ファンタジーとリアリズムについて 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 童話「美女と野獣」の中で、写実的な描写と想像性の高い描写をそれぞれ抜き出す（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 原稿用紙の使い方に関するプリント資料を整理しまとめ、レポートに備える(90分) 6　中間レポート作成、ならびに発表 発表とクラスディスカッション 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 400字詰め原稿用紙5枚程度のレポートを作成する(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 自分の意見だけではなく他の受講生の意見も踏まえたうえで作品を読み直す(90分) 7　作品精読⑤ 文献検索、引証資料について

	授業外事前学修課題：課題内容（時間） アメリカの短編作品「くじ」を読み、第1段落目で得られた情報を書き出す(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） インターネットや図書館を利用し、文学作品に関する論文「作品論」にどのようなものがあるかを確認する(90分) 8 作品精読⑥ 悲劇と喜劇、それぞれの文学的特徴について 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 短編「くじ」の登場人物リストを作り、各人物の特徴を書き出す(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 登場人物の関係性について整理し、それぞれの役割をまとめる(90分) 9 作品精読⑦ 短編小説の発生とその特徴 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 短編小説がいつ頃発生し、具体的にはどのような特徴があるかをインターネット等を使って調べる(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 短編「くじ」について作品のテーマをまとめてレポート課題に備える(90分) 10 作品精読⑧ 作者と作品について 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 短編「くじ」において重要だと思われる箇所を抜き出し、状況の説明と簡単な考察を書き加える(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 作品のポイントをまとめ、レポートのアウトラインを作る(90分) 11 中間レポート作成、ならびに発表 発表とクラスディスカッション 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 短編「くじ」について400字詰め原稿用紙5枚程度のレポートを書く(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 自分の意見だけではなく他の受講生の意見も踏まえたうえで作品を読み直す(90分) 12 作品精読⑨ 一人称小説と三人称小説について 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 短編作品「窓辺の灯」を読みストーリーを理解する(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 一人称小説と三人称小説の違いやそれぞれの特徴について整理しまとめる(90分) 13 作品精読⑩ 作品理解に必要な項目を各自がリサーチし発表 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 短編「窓辺の灯」の登場人物の特徴を書き出す(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 作品に登場する猫の役割について整理しまとめる(90分) 14 作品精読⑪ 「論文」の書き方について注意点の確認 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 短編「窓辺の灯」のレポート課題に向けてアウトラインを作成する(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 感想文や作文ではなく論文を書くための注意点を復習する(90分) 15 まとめ 最終レポートの内容をクラスで発表 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 短編「窓辺の灯」について400字詰め原稿用紙5枚程度のレポートを書く(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 論理的に作品を分析する方法について復習する(90分)
アクティブラーニングを用いた授業方法	この授業ではアクティブ・ラーニング(討議・討論 / プレゼンテーション)を取り入れる。
課題のフィードバック方法と時期	授業時にコメントする他、レポートを添削して後日返却する。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対	詳細についてはルーブリック参照のこと。 評価方法：中間レポート

修到達目標との対応	評価方法：　中間レポート 評価割合：　30パーセント 評価基準：　作品の引用を入れながら客観的な書き方ができていれば60点。 履修目標との対応：　①、② 評価方法：　発表 評価割合：　10パーセント 評価基準：　作品のテーマが明確に示されていれば60点。 履修目標との対応：　①、② 評価方法：　最終レポート 評価割合：　60パーセント 評価基準：　客観的かつ論理的な分析ができている等、論文としての体裁が整っていれば60点。 履修目標との対応：　①、②
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキストは使用せずプリントを配布予定。横書きの400字詰め原稿用紙の購入が必要。
実務経験のある教員による授業	
オフィスアワー・連絡先	月曜～木曜の昼休み htakei@soei.ac.jp
備考	

講義科目名称： レポート・文章作成法　　授業コード： 25L213A

英文科目名称： Academic Writing

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	１単位	選択
担当教員			
東出　和教			
演習	LF100		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	２．対人関係やコミュニ ケーション、情報収 集・分析、論理的思 考、問題解決等に必要 な汎用的知識・技能を 身に付け、幅広く適用 できる能力を有する 人。
履修条件	特になし
授業概要	これからの大学での学びに必要な実習や演習のレポートの書き方。 講義で使う参考書や専門書、また専門誌を読むときの読み方。 卒論研究で卒業論文を書くために必要なことを理解する。 そのために文献の種類と書式の解説、読み方の説明の後、具体的に作成することでレポートの書き方を習得する。
履修目標	本講義の到達目標は、受講生が基本的なレポートの作成方法を習得すること、ならびに他者(文献のみならず、同じクラスの受講生なども含む)の意見に触れ、物事 を多角的に捉えようとする姿勢を身につけることである。具体的には、以下のとおりである。 ① レポート作成の手順や表現のマナーを学び、作文や感想文とは異なる文章作法を習得する。 ②文献検索、ならびにクラス内での発表やディスカッションをとおして、他者の意見を踏まえた上で自分の意見を論理的かつ説得力のある形で表現しようとする姿勢 を身につける。 ③アウトライン・草稿・原稿を順に作成し、校正をおこなったのち、論文をまとめ上げる。
授業計画・授業外学修課題	1　ガイダンス 授業外事前学修課題：課題内容（時間） ・今まで書いてきた感想文・レポート等を想起して書き出す（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ・自分の好みの論文を検索して文章の構成を意識して読む（９０分） 2　自己PR文 授業外事前学修課題：課題内容（時間） ・表記の基本について調べる（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ・自分の書いた「自己PR文」が表記の基本にのとっているか見て校正する（９０分） 3　感想文、レポート、論文の構成 授業外事前学修課題：課題内容（時間） ・理由書く内容を整理する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ・対象を変えて「理由」を説明する文章を書く（90分） 4　自分の考えを書いてみる 授業外事前学修課題：課題内容（時間） ・描写する内容を整理する（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ・身近な物や事を「描写」した文を書く（９０分） 5　レポート、論文の表現 授業外事前学修課題：課題内容（時間） ・類語を調べたり、別の表現をすることを整理する（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 新聞記事や本等の文章を言い換えて書く（９０分） 6　論文のテーマを考える 授業外事前学修課題：課題内容（時間） ・具体化することを理解する（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ・いろいろな物や事を「具体化」する文を書く(９０分) 7　序論を書いてみる（その１） 授業業外事前学修課題：課題内容（時間） ・接続詞を理解する（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ・接続詞を使って文を書く良さをまとめる（９０分） 8　序論を書いてみる（その２） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） ・問い・答え・理由を理解する（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ・問い・答え・理由で文章を書く（９０分） 9　本論を書いてみる（その１） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） ・事実と意見を理解する（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ・自分で探した文章を事実・意見に分けて書く 10　本論を書いてみる（その２）

	授業外事前学修課題：課題内容（時間） ・良い文章を理解する（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ・自分の好きな文章を読み、書き写す 11　結論を書いてみる 授業外事前学修課題：課題内容（時間） ・「引用」を理解する（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ・「引用」のルールに従って文を書く（９０分） 12　期末レポートのテーマ選定 授業外事前学修課題：課題内容（時間） ・論文のテーマを考える（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ・論文の中で述べたいことをまとめる（９０分） 13　期末レポートの序論 授業外事前学修課題：課題内容（時間） ・起承転結と序論本論結論を理解する（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ・構成メモを完成させる（９０分） 14　期末レポートの本論 授業外事前学修課題：課題内容（時間） ・序論・本論・結論に従って書いてみる（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ・論文を完成させる（９０分） 15　期末レポートの結論 授業外事前学修課題：課題内容（時間） ・自分の論文を校正する（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ・講義全体を振り返る（９０分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワークや討議・課題解決演習を取り入れる
課題のフィードバック方法と時期	各回の事前学習をもとに授業で発表・グループ討議等を行う。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：平常点 評価割合：４０％ 評価基準：授業（グループ討議等への参画度・感想文） 履修目標との対応：各項目に対応 評価方法：授業時レポートと最終レポート 評価割合：６０％ 評価基準：課題提出状況と内容 履修目標との対応：各項目に対応
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	原稿用紙　B５横書　（コクヨ　ケー３５N）相当品
実務経験のある教員による授業	担当教員は社会実務経験ある者が行う。 実務経験を紹介しつつ、グループ及び自身で考えてもらう授業を計画する。
オフィスアワー・連絡先	質問は授業終了後、受け付けます。 khigashide@soei.ac.jp（担当　東出アドレス）に連絡ください
備考	特になし

講義科目名称： 健康・スポーツA　　授業コード： 25L214

英文科目名称： Health and Sports A

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	２単位	選択
担当教員			
岸　隆史			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。
履修条件	特になし
授業概要	「健康」とはなにか、及びその概念と変遷について学ぶ。健康に関連する専門職の独自の機能と役割ならびに歴史について学習する。また、人の健康について社会学的な側面、例えば性暴力、児童虐待、配偶者間暴力(DV)、スポーツと生活について関連付けて理解し、同時に健康管理論について学ぶ。また、スポーツの実技を通して、運動の習慣性の必要性を理解し、それぞれの機能の維持や向上を図るための基本的な知識及び健康測定の方法を学ぶ。
履修目標	①児童生徒の養護をつかさどる者として「健康」とは何かを理解し、健康に関する社会的な諸問題について学習を深める。 ②自らの健康状態を把握し、健康の維持・向上を目指す各自の健康プログラムについて検討する。
授業計画・授業外学修課題	1　ガイダンス：本授業を受けるにあたって　「健康の考え方と成り立ち」 「健康」とは何かという考え方を「幼稚園教育要領」等を使い理解する。 2　生活習慣病 生活習慣病とQOLについて理解する。 3　三大栄養素 栄養と、休養。摂食障害を含む食事や睡眠について理解する。 4　体力 体力には「行動体力」と「防衛体力」の二つの要素があること。また持久力や調整力について理解する。 5　ライフステージ 各ライフステージにおける課題等の理解、平均寿命と健康寿命の関係、QOLについて理解する。 6　フィジカルトレーニング トレーニング理論について理解する。その後の栄養補給についても理解する。 7　メンタルヘルス(ストレス) ストレスについて理解する。 8　メンタルヘルス(メンタルトレーニング) イメージトレーニング等を利用してメンタルトレーニングを行いストレスの緩和につながることを理解する。 9　スポーツの価値　オリンピック・パラリンピック オリンピック・パラリンピックのほかにも世界大会が数多く存在し障害を持っている方でも活躍の場があることを理解する。 またスポーツを「する」だけでなく、「観る」、「支える」等でもスポーツの価値があることを理解する。 10　健康の維持・向上　１．がん 日本人の2人に1人は一生の間に「がん」にかかるといわれている現代で、がんに対する正しい理解をする。 11　健康の維持・向上　１．依存症 誰もがる可能性のある依存症が「病気」であることの正しい理解と、薬の「オーバードーズ」等についても理解する。 12　健康に関する諸問題　性暴力・児童虐待・配偶者間暴力 直接的な被害だけでなく、「リベンジポルノ」や「セカンドレイプ」等に見られるSNSを利用した被害があることも理解する。 13　防災教育　ヒヤリハット 2011年東日本大震災は記憶に新しいところだが、それ以後も地震や台風、大雨による大きな被害が毎年のように起きている。将来職場で災害が起きた時にどうすればよいかを理解する。 14　ヘルスプロモーション 前回までの授業で麻菜だことを参考にしてどのようにしてQOLを高めていくかを理解する。 15　授業のまとめ　振り返り 「健康」とは何かを前回までの授業を振り返りこれからの自分の「健康」、また幼児の「健康」生かせるように考える。
アクティブラーニングを用いた授業方法	ディスカッションや発表
課題のフィードバック方法と時期	毎授業後に提出している「リフレクションカード」を基に次の授業時にフィードバックさせている。

評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：平常点評価（授業への取り組みを含む）、授業全体における課題 評価割合：平常点評価（授業への取り組みを含む）75%、授業全体における課題25%
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト:必要に応じてプリントや資料を配布する。
実務経験のある教員による授業	
オフィスアワー・連絡先	質問は授業終了後、受け付けます。
備考	

講義科目名称： 健康・スポーツＢ　　授業コード： 25L215

英文科目名称： Health and Sports B

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	１単位	必修
担当教員			
渋谷　聡　新　友宏			
実技	LG100	養護教諭必修	
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	１．看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。
履修条件	特になし
授業概要	生涯スポーツは、年齢や性別、障がいの有無に関わらず、全ての人がスポーツに楽しむことによって、健康の保持増進や生きがいを見出すことがと考えられる。 生涯スポーツの中で、健康の保持増進を目的としたスポーツを健康スポーツという。本授業では、「するスポーツ」、「支えるスポーツ」を体験することによって、心身の健康とは何かということを学修するとともに、自分たちでオリジナルのスポーツを考えることによって情報収集・分析力、論理的思考力、対人コミュニケーションスキルを高めていくことを目的とする。
履修目標	①①他者と協力してスポーツを実践することができる（対人コミュニケーション力）。 ②スポーツを実践することによって、自身の課題と解決策を述べることができる（論理的思考力）。 ③既存スポーツのルールや道具を工夫することによって、情報を収集し、分析することができる（情報収集・分析力）。 ④スポーツの楽しみ方を人に伝えることができる（プレゼン力）。
授業計画・授業外学修課題	1　この科目（健康スポーツB）の概要を理解し、健康スポーツの必要性を学ぼう 健康とスポーツの関わりと必要性を理解しよう 授業外事前学修課題：課題内容（時間）：シラバスを通して、この科目の概要を確認しておく（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）：競技スポーツと生涯スポーツ（健康スポーツ含む）の違いについて調べる（30分） 2　ネット型スポーツ①シッティングバレーボール シッティングバレーボールの基本技能や楽しさ、難しさを学ぶ 授業外事前学修課題：課題内容（時間）：シッティングボールの歴史やルールについて調べておく（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）：パラリンピック種目や体育授業への導入の経緯を調べる（30分） 3　ネット型スポーツ②ソフトバレーボール ソフトバレーボールの基本技能や楽しさ、難しさを学ぶ 授業外事前学修課題：課題内容（時間）：ソフトバレーボールの歴史やルールについて調べておく（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）：課題の難易度やルールの工夫について調べる（30分） 4　ネット型スポーツ③バドミントン ソフトバレーボールの基本技能や楽しさ、難しさを学ぶ 授業外事前学修課題：課題内容（時間）：バドミントンの歴史やルールについて調べておく（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）：難しい課題を達成するための方法を考える（30分） 5　ゴール型スポーツ①サッカー サッカーの基本技能や楽しさ、難しさを学ぶ 授業外事前学修課題：課題内容（時間）：サッカーの歴史やルールを調べておく（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）：ボールをうまく蹴るコツを調べる（30分） 6　ゴール型スポーツ②バスケットボール バスケットボールの基本技能や楽しさ、難しさを学ぶ 授業外事前学修課題：課題内容（時間）：バスケットボールの歴史とルールについて調べておく（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）：個人やゲームの難易度について調べる（30分） 7　ゴール型スポーツ③アルティメット アルティメットの基本技能や楽しさ、難しさを学ぶ 授業外事前学修課題：課題内容（時間）：アルティメットの歴史やルールについて調べておく（30分）

	授業外事後学修課題：課題内容（時間）：道具やルールの工夫による楽しさについて調べる（30分） 8 複合型スポーツ①ドッチボール ドッチボールの基本技能や楽しさ、難しさを学ぶ 授業外事前学修課題：課題内容（時間）：ドッチボールの歴史やルールについて調べておく（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）：対象者の違いによるそれぞれの楽しいドッチボールを考える（30分） 9 複合型スポーツ②ドッチビー ドッチビーの基本技能や楽しさ、難しさを学ぶ 授業外事前学修課題：課題内容（時間）：ドッチビーの歴史やルールについて調べておく（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）：ドッチボールとドッチビーの違いについて調べる（30分） 10 アダプテッドスポーツ①ボッチャ ボッチャを実践することによって、アダプテッドスポーツ、パラスポーツとは何かということを考える 授業外事前学修課題：課題内容（時間）：ボッチャの歴史やルールについて調べておく（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）：他のターゲット型とボッチャの違いを調べる（30分） 11 レクリエーションスポーツ①モルック モルックの楽しさ、特性を実践を通して理解する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間）：モルックの歴史やルールについて調べておく（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）：誰もが楽しめるルールや道具の工夫を考える（30分） 12 楽しいスポーツ（ゲーム）を考えよう これまで実践してきたスポーツの振り返りを含め、楽しいスポーツを考える 授業外事前学修課題：課題内容（時間）：これまで実践してきたスポーツの楽しさ、難しさを整理しておく（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）：評価規準と照らし合わせて、条件をよりみたす方法を整理する（30分） 13 考えた楽しいスポーツ（ゲーム）をプレゼンしよう 前時間で考えたスポーツをプレゼンする 授業外事前学修課題：課題内容（時間）：様々なプレゼンテーションの方法を調べる（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）：プレゼンテーションの振り返りをまとめる（30分） 14 考えた楽しいスポーツ（ゲーム）を実践しよう 前時間でプレゼンを行った内容をクラスメイトを対象に実践する 授業外事前学修課題：課題内容（時間）：考えたスポーツを実践するための準備を行う（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）：実践したスポーツ指導の振り返りをまとめる（30分） 15 これまでの実践を通した学びをまとめよう これまで実践してきたことを振り返り、健康スポーツにどう生かすことができるかを考える 授業外事前学修課題：課題内容（時間）：実践したスポーツの振り返りをする（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）：健康スポーツの普及方法を考える（30分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	適宜、グループワークやプレゼンテーションを行う。
課題のフィードバック方法と時期	初回のオリエンテーションで各時間の内容および事前課題を伝え、毎授業後に振り返りを行う。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：試験（プレゼン、実践指導） 評価割合：25% 評価基準：プレゼン（楽しさ、オリジナリティ、役割分担、プレゼン力）、指導実践（安全管理、遂行力）を段階的に評価する。 履修目標との対応：③、④ 評価方法：平常点（対人コミュニケーションスキル含む） 評価割合：60% 評価規準：積極的に授業に参加し、クラスメイトと積極的に関わることを求める。 履修目標との対応：① 評価方法：振り返り 評価割合：15% 評価規準：毎時間、自分自身の課題と解決策をまとめることができること。 履修目標との対応：②
テキスト・参考文献・その他（必要	テキスト：テキストは使用せず、毎回必要に応じて資料を提示する。 参考文献：各時間に必要な情報を適宜紹介する。

物品など）	
実務経験のある教員による授業	教育機関での体育授業の指導経験や、様々なスポーツ指導の経験をもとに、多様なニーズに合わせたスポーツの楽しさを学修させることができる。
オフィスアワー・連絡先	質問は授業終了後、受け付けます。
備考	毎時間、運動着と室内用スポーツシューズを用意すること。 毎時間、出席確認と振り返りをすることから、スマートフォンを持参すること。ただし、必要な時以外はスマートフォンを使用しないこと。 必要に応じて、クラスルームを活用することから、必ずクラスルームに入室すること。

講義科目名称： 英語Ａ（基礎）　　授業コード： 25L301

英文科目名称： English A (Basic English)

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	２単位	選択
担当教員			
木下　未果子			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	
授業概要	国際化が急速に進む現代社会では、様々な状況下で臆せずに自分を表現し同時に相手への理解を深めるための英語でのコミュニケーション力、および情報入手のための英語の読解力の重要性が増している。本授業では、リスニング、ライティング、スピーキング、リーディングという英語4技能、および語彙、基本的文法を総合的に学習する。さらに、多様な国と文化に関する内容を扱うテキストを通して異文化への理解と関心を深めることを図る。
履修目標	①語彙力を増やし、英語を用いてのコミュニケーション力、読解力を育てる。 ②テキストを通して異文化の習慣や考え方に接し、物事を多角的に考える力を養う。
授業計画・授業外学修課題	1　ガイダンス/ Unit 1 Introductions in the USA：現在形、自己紹介と観光に関する表現 授業外事前学修課題：教科書全体に目を通す（30分）Unit 1の p.11 Warm Up , Key Vocabularyの問題を解く（30分）p.15の英文の単語を調べる（30分） 授業外事後学修課題：Unit 1で学んだ会話文を音読し暗記に努め、基本単語を覚えて小テストに備える（60分）宿題の問題を解く（30分） 2　Unit 2　The Natural Wonders of Iceland：現在進行形、自然に関する表現 授業外事前学修課題：Unit 2 のp.17 Warm Up, Key Vocabularyの問題を解き、p.19のGrammaerの説明を読み例文を音読する（45分）p.21の英文を読み、知らない単語を調べる（45分） 授業外事後学修課題：Unit 2で学んだ会話文を音読し暗記に努め、基本単語を覚えて小テストに備える（60分）宿題の問題を解く（30分） 3　Unit 3 Getting Around the UK：否定文・疑問文、交通機関に関する表現 授業外事前学修課題：Unit 3のp.23 Warm Up, Key Vocabularyの問題を解き、p.25のGrammerの説明を読み例文を音読する（45分）p. 27の英文を読み、知らない単語を調べる（45分） 授業外事後学修課題：Unit 3で学んだ会話文を音読し暗記に努め、基本単語を覚えて小テストに備える（60分）宿題の問題を解く（30分） 4　Unit 4 Tackling Rugby in Ireland ：命令文、スポーツに関する表現 授業外事前学修課題：Unit ４のp.29 Warm Up, Key Vocabularyの問題を解き、p.31のGrammerの説明を読み例文を音読する（45分）p. 33の英文を読み、知らない単語を調べる（45分） 授業外事後学修課題：Unit 4で学んだ会話文を音読し暗記に努め、基本単語を覚えて小テストに備える（60分）宿題の問題を解く（30分） 5　Unit 5 Norwegian Folktales：過去形、アウトドア・北欧の文化や歴史に関する表現 授業外事前学修課題：Unit 5のp.35 Warm Up, Key Vocabularyの問題を解き、p.37のGrammerの説明を読み例文を音読する（45分）p. 39の英文を読み、知らない単語を調べる（45分） 授業外事後学修課題：Unit 5で学んだ会話文を音読し暗記に努め、基本単語を覚えて小テストに備える（60分）宿題の問題を解く（30分） 6　Unit 6 Food Tour in Germany：未来表現、食べ物・飲み物に関する表現 授業外事前学修課題：Unit 6のp.41 Warm Up, Key Vocabularyの問題を解き、p.43のGrammerの説明を読み例文を音読する（45分）p. 45の英文を読み、知らない単語を調べる（45分） 授業外事後学修課題：Unit 6で学んだ会話文を音読し暗記に努め、基本単語を覚えて小テストに備える（60分）宿題の問題を解く（30分） 7　Unit 7 Austrian Symphony：WH疑問文、音楽に関する表現 授業外事前学修課題：Unit7のp.47 Warm Up, Key Vocabularyの問題を解き、p.49のGrammerの説明を読み例文を音読する（45分）p. 51の英文を読み、知らない単語を調べる（45分） 授業外事後学修課題：Unit 7で学んだ会話文を音読し暗記に努め、基本単語を覚えて小テストに備える（60分）宿題の問題を解く（30分） 8　Unit 8 the Animals of Malta：助動詞、生き物に関する表現 授業外事前学修課題：Unit 8のp.53 Warm Up, Key Vocabularyの問題を解き、p.55のGrammerの説明を読み例文を音読する（45分）p. 57の英文を読み、知らない単語を調べる（45分） 授業外事後学修課題：Unit 8で学んだ会話文を音読し暗記に努め、基本単語を覚えて小テストに備える（60分）宿題の問題を解く（30分） 9　Unit 9 Moroccan souvenirs：現在完了形、買い物に関する表現 授業外事前学修課題：Unit 9のp.59 Warm Up, Key Vocabularyの問題を解き、p.61のGrammerの説明を読み例文を音読する（45分）p. 63の英文を読み、知らない単語を調べる（45分） 授業外事後学修課題：Unit 9で学んだ会話文を音読し暗記に努め、基本単語を覚えて小テストに備える（60分）宿題の問題を解く（30分） 10　Unit 10 Spanish Dancing Lessons：受動態、伝統舞踊に関する表現 授業外事前学修課題：Unit 10のp.65 Warm Up, Key Vocabularyの問題を解き、p.67のGrammerの説明を読み例文を音読する（45分）p. 69の英文を読み、知らない単語を調べる（45分） 授業外事後学修課題：Unit10で学んだ会話文を音読し暗記に努め、基本単語を覚えて小テストに備える（60分）宿題の問題を解く（30分） 11　Unit 11 Fashion Week in France：最上級、ファッションに関する表現

		授業外事前学修課題：Unit 11のp.71 Warm Up, Key Vocabularyの問題を解き、p.73のGrammerの説明を読み例文を音読する（45分）p. 75の英文を読み、知らない単語を調べる（45分） 授業外事後学修課題：Unit11で学んだ会話文を音読し暗記に努め、基本単語を覚えて小テストに備える（60分）宿題の問題を解く（30分）
	12	Unit 12 A Fjord in Montenegro：比較級、街並みに関する表現 授業外事前学修課題：Unit 12のp.77 Warm Up, Key Vocabularyの問題を解き、p.79のGrammerの説明を読み例文を音読する（45分）p. 81の英文を読み、知らない単語を調べる（45分） 授業外事後学修課題：Unit12で学んだ会話文を音読し暗記に努め、基本単語を覚えて小テストに備える（60分）宿題の問題を解く（30分）
	13	Unit 13 Swiss Sweets：不定詞・動名詞、スイーツに関する表現 授業外事前学修課題：Unit 13のp.83 Warm Up, Key Vocabularyの問題を解き、p.85のGrammerの説明を読み例文を音読する（45分）p. 87の英文を読み、知らない単語を調べる（45分） 授業外事後学修課題：Unit13で学んだ会話文を音読し暗記に努め、基本単語を覚えて小テストに備える（60分）宿題の問題を解く（30分）
	14	Unit 14 Fine Art in Italy：接続詞、絵画に関する表現 授業外事前学修課題：Unit 14のp.89 Warm Up, Key Vocabularyの問題を解き、p.91のGrammerの説明を読み例文を音読する（45分）p. 93の英文を読み、知らない単語を調べる（45分） 授業外事後学修課題：Unit14で学んだ会話文を音読し暗記に努め、基本単語を覚えて小テストに備える（60分）宿題の問題を解く（30分）
	15	Unit 15 Back Home to Japan：関係代名詞、思い出を伝える表現 授業外事前学修課題：Unit 15のp.95 Warm Up, Key Vocabularyの問題を解き、p.97のGrammerの説明を読み例文を音読する（45分）p. 96の英文を読み、知らない単語を調べる（45分） 授業外事後学修課題：配布されたプリントを利用しUnit 15の復習をする（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	アクティブラーニング（会話演習/プレゼンテーション）を取り入れる。	
課題のフィードバック方法と時期	小テストは翌週解説を行い、採点後の答案を返却する。課題は翌週解説を行い、コメントを付した答案を返却する。	
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：80％ 評価基準：小テスト、課題 評価方法；平常点評価 評価割合：20% 評価基準：授業での積極的発言、授業外の自主学習への取り組み	
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	『Make Your Way: Communicating while Abroad ---「意味順」で学ぶ大学基礎英語』（金星堂） 毎回英和辞典（紙媒体、電子辞書いずれも可）を持参すること。	
実務経験のある教員による授業		
オフィスアワー・連絡先	質問等は授業後随時受け付ける。メールにての質問も受け付ける。（mkinoshita@soei..ac.jp）	
備考	毎回英和辞典（紙媒体、電子辞書いずれも可）を持参すること。	

講義科目名称： 英語Ｂ（看護英会話）　　授業コード：

英文科目名称： English B (Conversation for Nurses)

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	２単位	必修
担当教員			
木下　未果子　武井　博美/こども教育学部			
演習	LG100	養護教諭必修	
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。
履修条件	
授業概要	看護職の現場で必要となる実践的な英語の会話力、および医療関連の文献を読むための語彙力と読解力を向上させることを目的とする。医療看護分野で使われる英語の用語や会話文に慣れ親しむことを通して、多様なバックグラウンドをもつ患者や医療従事者とのコミュニケーション力を養っていく。 毎回小テストや課題を通して授業の復習を行う。予習としては辞書を活用して単語や文章の意味を調べ、会話文はくりかえし音読練習をする。自己学修として、e-learningを用いて、自分のレベルとペースに応じて基礎的な文法力やリスニング力の向上を図る。
履修目標	①語彙力を増やし、英語を用いてのコミュニケーション力と読解力を育てる。 ②テキストや補助教材を通して看護現場において必要な英語表現に親しむ。 ③英語の学習を通して文化や習慣の多様性を学び、看護の対象となる人の尊厳を守るため配慮して行動できるようになる。
授業計画・授業外学修課題	1　ガイダンス/e-learningの説明と登録作業Pre-Unit B,C Meet Your Partner and Your Group 授業外事前学修課題：教科書全体に目を通す（30分）pp. 93-94のUnit 1のGlossaryの単語の予習と音読（60分） 授業外事後学修課題：Unit 1の既習箇所を復習し宿題の問題を解き、小テストに備える（90分） 2　Unit 1: Hospital Departments　診療科名と診療内容 授業外事前学修課題：Unit 1の未習箇所の単語帳の作成と音読（45分）e-learning を進める（45分） 授業外事後学修課題：Unit 1を復習し宿題の問題を解き、小テストに備える（90分） 3　Unit 2 ： Application forms　問診表 授業外事前学修課題：Unit ２の単語帳の作成と音読（45分）e-learning を進める（45分） 授業外事後学修課題：Unit ２を復習し宿題の問題を解き、小テストに備える（90分） 4　Unit 3 ； Parts of the Body　体の部位 授業外事前学修課題：Unit ３の単語帳の作成と音読（45分）e-learning を進める（45分） 授業外事後学修課題：Unit ３を復習し宿題の問題を解き、小テストに備える（90分） 5　Unit 4 Illnesse　疾病名と症状 授業外事前学修課題：Unit ４の単語帳の作成と音読（45分）e-learning を進める（45分） 授業外事後学修課題：Unit ４を復習し宿題の問題を解き、小テストに備える（90分） 6　Units 1- 4　復習とまとめ 授業外事前学修課題：課題の英文を音読し要約する（45分）e-learningを進める（45分） 授業外事後学修課題：pp. 34-37のやり残した部分を完成させる（90分） 7　Unit 5 Daily Routine　入院生活の日課と約束事 授業外事前学修課題：Unit ５の単語帳の作成と音読（45分）e-learning を進める（45分） 授業外事後学修課題：Unit ５を復習し宿題の問題を解き、小テストに備える（90分） 8　Unit 6 Hospital Objects　診療器具と使用目的 授業外事前学修課題：Unit ６の単語帳の作成と音読（45分）e-learning を進める（45分） 授業外事後学修課題：Unit ６を復習し宿題の問題を解き、小テストに備える（90分） 9　Unit 7 Locations of Hospital Objects　診療器具の収納場所 授業外事前学修課題：Unit ７の単語帳の作成と音読（45分）e-learning を進める（45分） 授業外事後学修課題：Unit ７を復習し宿題の問題を解き、小テストに備える（90分） 10　Unit 8 Hospital Directions and Instructions　病院内の案内 授業外事前学修課題：Unit ８の単語帳の作成と音読（45分）e-learning を進める（45分） 授業外事後学修課題：Unit ８を復習し宿題の問題を解き、小テストに備える（90分） 11　Units 5 - 8　復習とまとめ 授業外事前学修課題：課題の英文を音読し要約する（45分）e-learningを進める（45分） 授業外事後学修課題：pp. 60-66やり残した部分を完成させる（90分） 12　Unit 9 Directions (Outside the Hospital)　病院までの道案内 授業外事前学修課題：Unit ９の単語帳の作成と音読（45分）e-learning を進める（45分） 授業外事後学修課題：Unit ９を復習し宿題の問題を解き、小テストに備える（90分） 13　Unit 10 Chatting with a Patient　　患者とのコミュニケーション 授業外事前学修課題：Unit 10の単語帳の作成と音読（45分）e-learning を進める（45分） 授業外事後学修課題：Unit 10を復習し宿題の問題を解き、小テストに備える（90分） 14　Unit 11 Taking a Medical History　病歴 授業外事前学修課題：Unit 11の単語帳の作成と音読（45分）e-learning を進める（45分） 授業外事後学修課題：今学期の小テストを復習し総復習テストに備える。（90分） 15　Units 9 - 11 復習総復習テスト

	授業外事前学修課題：e-learningを進める（90分） 授業外事後学修課題：配布プリントを利用してUnit 12を自習する（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	アクティブラーニング（会話演習、プレゼンテーション）を取り入れる。
課題のフィードバック方法と時期	小テスト、課題は翌週解説を行い、採点後の答案を返却する。期末総復習テストは試験終了後に解説を行う。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験　　評価割合：80%　評価基準：小テスト、期末総復習テスト 評価方法：平常点評価　　評価割合：20%　評価基準：授業での積極的発言、授業外の自主学習への取り組み
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	『Vital Signs [Revised Edition] : Essential English for Healthcare Professionals---ホスピタル・イングリッシュ［改訂版］』南雲堂 毎回英和辞典（紙媒体、電子辞書いずれも可）を持参すること。
実務経験のある教員による授業	
オフィスアワー・連絡先	質問等は授業後随時受け付ける。メールにての質問も受け付ける。（mkinoshita@soei..ac.jp） （武井オフィスアワー　月曜～木曜の昼休み、htakei@soei.ac.jp）
備考	毎回英和辞典（紙媒体、電子辞書いずれも可）を持参すること。 e-learningの課題をすべて学修することが単位認定の最低条件となる。

講義科目名称： 英語Ｃ（TOEIC・TOEFL等資格取得）　　授業コード： 25L303

英文科目名称： English C (TOEIC / TOEFL Skills)

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	２単位	選択
担当教員			
武井　博美/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。
履修条件	特になし。
授業概要	卒業後に社会で活躍する際に評価されるTOEICや、海外留学の際に必須となるTOEFLなど、英語に関する資格を取得することを目的とする。具体的な目標と目的意識を持つことは、語学学習において高い効果を発揮する。資格をひとつのきっかけとして、国際社会に生きることの意味と外国語を学ぶことの重要性を再考する。
履修目標	① TOEIC・TOEFL試験のテストスコアを上昇させること ② 実践的な英語力、特に会話力を向上させること
授業計画・授業外学修課題	1　ガイダンス TOEIC、TOEFLテストの概要説明 授業外事前学修課題：課題内容（時間） どのような英語検定試験があるか調べ、それぞれの特徴について箇条書きにする(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 実際に検定試験を受けることを想定し、試験日程や手続き方法を調べる。さらに、参考書や問題集などについても情報収集する(90分) 2　飲食店での会話表現① Unit 1を中心に 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書の指定箇所を読み、知らない単語を調べる(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 飲食店で用いられる単語やフレーズを暗記する(90分) 3　飲食店での会話表現② Unit 2を中心に 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書の指定箇所を読み、知らない単語を調べる(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 飲食店で用いられる単語やフレーズを暗記する(90分) 4　海外旅行先でのショッピング① Unit 3を中心に 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書の指定箇所を読み、知らない単語を調べる(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 買い物に必要となる単語やフレーズを暗記する(90分) 5　海外旅行先でのショッピング② Unit 4を中心に 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書の指定箇所を読み、知らない単語を調べる(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 買い物に必要となる単語やフレーズを暗記する(90分) 6　病院での会話表現 Unit 7を中心に 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書の指定箇所を読み、知らない単語を調べる(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 病院で必要となる単語やフレーズを暗記する(90分) 7　薬局での会話表現 Unit 8を中心に 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書の指定箇所を読み、知らない単語を調べる(90分)

	授業外事後学修課題：課題内容（時間） 薬局で必要となる単語やフレーズを暗記する(90分) 8 教室でのやりとり① Unit 13を中心に 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書の指定箇所を読み、知らない単語を調べる(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 大学の教室内で必要となる単語やフレーズを暗記する(90分) 9 教室でのやりとり②　応用 Unit 14を中心に 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書の指定箇所を読み、知らない単語を調べる(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 大学の教室内で想定される会話表現を暗記する(90分) 10 旅先での電車移動 Unit 16 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書の指定箇所を読み、知らない単語を調べる(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ホテルの予約の時や滞在時に役立つ単語やフレーズを暗記する(90分) 11 宿泊先での会話表現 Unit 16 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書の指定箇所を読み、知らない単語を調べる(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） ホテルの予約の時や滞在時に役立つ単語やフレーズを暗記する(90分) 12 飛行機のなかで使う表現 Unit 17 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書の指定箇所を読み、知らない単語を調べる(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） フライトで必要となる単語やフレーズを暗記する(90分) 13 タクシーに乗るために Unit 18 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書の指定箇所を読み、知らない単語を調べる(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） タクシー移動で必要となる単語やフレーズを暗記する(90分) 14 リスニング問題・文法問題の攻略法、注意点 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書全体を復習し、わからないところがないか確認する(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 検定試験を受ける際の注意点などを確認し、実際に受験する日を決め具体的な学習予定を立てる(90分) 15 まとめ これからも英語学習を継続するために 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 英語学習用のインターネットサイトやDVD教材にどのようなものがあるか調べる(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 教科書全体を復習することと、授業時に紹介された英語教材の一部を試す(90分)
アクティブラーニングを用いた授業方法	この授業ではアクティブ・ラーニング(討議・討論 / プレゼンテーション)を取り入れる。
課題のフィードバック方法と時期	毎回の小テストのすぐあとに解説を行う。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：　小テスト 評価割合：　80％ 評価基準：　毎回授業の初めに前回の授業内容に関する問題を10問解く。6問正解すると60点。 履修目標との対応：①、② 評価方法：　発表 評価割合：　20％ 評価基準：　事前に暗記してきたフレーズを声に出して言えれば60点。

	履修目標との対応：②
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：『TOEICテストリスニングとキャリア体験 ～ Tune up for the TOEIC Test Listening ～』(成美堂) 授業時には英和辞典(電子辞書でも可)を毎回持参すること。
実務経験のある教員による授業	この授業は、貿易会社勤務経験のある教員が実践的な英語表現を指導する。
オフィスアワー・連絡先	月曜～木曜の昼休み htakei@soei.ac.jp
備考	この授業は、英語があまり得意ではない、あるいは自信がない人でも 心理的な負担にならないよう配慮します。 海外旅行ですぐに役立つような実践的な英会話も学べるテキストを使用しますので、 気軽に受講して下さい。

講義科目名称： 社会と市民生活　　授業コード： 25L401

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	２単位	選択
担当教員			
牛島　操/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技術を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。
履修条件	特になし
授業概要	・政治や司法、消費者、食、環境、モラルやマナーをテーマにして、社会生活の諸課題について理解し、市民として参画したり貢献しようとする意欲を高めます。。 ・自身も他者も大切にしながら、賢い市民になるために必要な資質・能力を高めます。
履修目標	①　現代の地域や社会における課題を把握し、課題解決に向けて自己の役割を認識し、市民の一人として貢献する意欲を高めます。 ②　社会に参画するために必要な資質・能力を身に付け、地域や社会の発展に向けて自主的に考え、積極的に行動しようとする市民を目指します。
授業計画・授業外学修課題	１　ガイダンス；社会と市民生活とは　社会の中でたくましく生き抜く知恵 １　授業の全体のながれと評価について説明 ２　政治や司法に係る学習について、高校時の学習を振り返る。【ワーク】 ３　大学生活と社会に欠かせない法律や制度を理解する。 ・就職活動をめぐる問題、就職差別 ・労働法について　多用化する雇用形態について　労働組合労働者保護について など。 ・授業外事前学修課題：高校で学んできたことをまとめ、自分の考えまとめておく。（90分） ・授業外事後学修課題：授業の前後で自分の考えが変わったことや、考えが深まったことをまとめる。（90分） ２　生活の中のリスクを知りトラブルを回避する　① 大学生活で起きやすいリスクを知り、回避しよう。 １　インターネットトラブル ・ネット上のプライバシー侵害の例【ワーク】 ・SNSと炎上について【ワーク】 ・ネット詐欺 ・危険なアプリとは ・ネット依存【ワーク】 ２　日常生活にひそむリスク ・疾病、けがと救急ガイド ・メンタルヘルス、精神疾患　等 ・授業外事前学修課題：これまで聞いたことのある生活リスクについて、自分の考えまとめておく。（90分） ・授業外事後学修課題：授業をとおして新たに気づいたこと、自分の考えに変化があったことをまとめる。（90分） ３　生活の中のリスクを知りトラブルを回避する　② １　災害や事故リスク ・地震や津波について【ワーク】 ・大雨や台風について【ワーク】 ２　災害の備えについて【ワーク】 ・防災情報について【ワーク】 ・防災グッズについて ３　交通事故 ・交通事故の責任 ・自転車交通事故 ・賠償事故 ・各保険について ・授業外事前学修課題：ニュース等で得たリスク情報について、自分の考えまとめておく。（90分） ・授業外事後学修課題：授業をとおして新たに気づいたこと、自分の考えに変化があったことをまとめる。（90分） ４　労働にかかる法律を知ろう さまざまな労働法を確認しよう。 ・働く前に知っておくべきこと ・働くときのルール ・仕事を辞めるときのルール ・　働く人のための相談窓口 ・アルバイトと法律

・授業外事前学修課題：高校までに習った労働法について復習し、自分の考えまとめておく。（90分）
・授業外事後学修課題：授業をとおして新たに気づいたこと、自分の考えに変化があったことをまとめる。（90分）

5　キャリアをデザインしよう
1　キャリアを身に付ける
・自分にふさわしい「働くこと」【ワーク】
・労働する上での注意点
・労働上の疑問
2　就職する時に必要なこと
・就職活動の際の留意点
・契約と労働条件
・働きすぎと心身の健康
・多様な働き方【ワーク】
・働き続けやすさとは【ワーク】

・授業外事前学修課題：現在の日本の就職活動全般の傾向について調べ、自分の考えまとめておく。（90分）
・授業外事後学修課題：授業をとおして新たに気づいたこと、自分の考えに変化があったことをまとめる。（90分

6　消費者としての権利と保護　①
さまざまな生活トラブルを知り、回避する方法を知ろう。
1　隣人とのトラブル
・騒音
・人間関係【ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ】
2　家を借りるときのトラブル
・一人暮らしをする時の必要事項【ワーク】
3　大学生消費者トラブル
・トラブル例と対処法【ワーク】

・授業外事前学修課題：自分の周りで起きた生活トラブルの例をあげ、自分の考えまとめておく。（90分）
・授業外事後学修課題：授業をとおして新たに気づいたこと、自分の考えを拡げたことをまとめる。（90分

7　消費者としての権利と保護　②
1　キャッチセールス【ワーク】
2　マルチ商法
・被害に遭う原因と対策
3　オンラインゲームトラブル
・被害に遭う原因と対策
4　勧誘商法
・被害に遭う原因と対策【ワーク】

・授業外事前学修課題：高校で学んだ消費者ﾄﾗﾌﾞﾙについて復習し、対処法を考えておく。（90分）
・授業外事後学修課題：授業をとおして新たに気づいたこと、自分の考えを深めたことをまとめる。（90分

8　食と健康　より良く生きる市民になろう
1　バランスのとれた食生活【ワーク】
・食の栄養バランスチェック
・食の乱れを改善する
2　食物とアレルギー
・現代のアレルギーの姿
・食物アレルギーチェック【ワーク】
・食物アレルギー対応

・授業外事前学修課題：食物アレルギーについて調べ、同時に自分の現在の食生活を見直す。
・授業外事後学修課題：授業をとおして新たに気づいたこと、自分の考えを深めたことをまとめる。（90分

9　食と健康　市民としてできること、すべきこと
1　食と健康寿命ついて
・長生き診断【ワーク】
・健康寿命を延ばすこととと利点
・介護期間
・医療費や介護費用
2　食による体調改善と健康寿命
・年齢に応じた栄養接種
・主食・主菜・副菜のバランス【ワーク】
3　食以外の要因
・喫煙　過度な飲酒の控え
・睡眠時間確保
・孤独にならず、社会関係を保つ
・定期的健康診断

・授業外事前学修課題：自分や家族の食生活の状況を省み、バランスのとれた健康について考える。（90分）
・授業外事後学修課題：授業をとおして新たに気づいたこと、自分の考えを深めたことをまとめる。（90分

	１０　市民社会とお金①　学生時代に注意すること 大学生にかかるお金について、 ・学校や生活にかかるお金を知る ・アルバイト代にかかる税金と救済制度 ・お金を上手に貯める・使う・増やす【ワーク】 ・授業外事前学修課題：現在の大学生のアルバイトの状況を調べておく。（90分） ・授業外事後学修課題：授業をとおして新たに気づいたこと、自分の考えに変化があったことをまとめる。（90分 １１　市民社会とお金②　卒業後を考える キャリアデザイン・卒業後を考えよう。 ・将来を計画する【ワーク】 ・豊かな生活を実現するためにすべきこと ・授業外事前学修課題：将来の理想の自分像を描き、目標達成に必要な行動についてまとめる。（90分） ・授業外事後学修課題：授業をとおして新たに気づいたこと、自分の考えに変化があったことをまとめる。（90分 １２　賢い市民になるためのモラルとマナー　① 大人の基本的身だしなみを確認しよう。 ・印象 ・立ち振る舞い ・ことば使い ・おじぎ ・看護師としてのマナー ・保育士としてのマナー ・授業外事前学修課題：これまでに身に付けたモラルやマナーについてまとめる。（90分） ・授業外事後学修課題：授業をとおして新たに気づいたこと、自分の考えに変化があったことをまとめる。（90分 １３　賢い市民になるためのモラルとマナー　② １　生活の中のマナーとモラル ・マナー ・モラル ２　情報モラルチェック【ワーク】 ・モラルの観点からの注意点 ・　違法ダウンロード ・　肖像権の侵害 ・不正アクセス ・授業外事後学修課題：授業をとおして新たに気づいたこと、自分の考えに変化があったことをまとめる。（90分 １４　レポートテスト これまでの授業をふまえ、市民社会にかかるレポート作成・提出する。 １５　レポートの振り返り 作成したレポートの振り返りをおこなう。また、「これからの社会で活躍するために、市民としてできること」を考える。 ・授業外事後学修課題：他者が作成したレポートから、新たに気付いたことや考えが深まったことをまとめる。（90分
アクティブラーニングを用いた授業方法	問題解決型学習、グループワーク　等 ※実践的な講義だけではなく、主体的に授業に参加して課題解決したり、「分かった」、「なるほど」を楽しむ授業です。 ※グループワークをとおして、自分や他者の意見を大切にしながら、賢い市民になるための思考力や判断力を高める授業です。
課題のフィードバック方法と時期	リフレクションペーパーのフィードバックは、次の授業時に行います。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	○評価方法：レポート 評価割合：４０％ 評価基準：市民社会における諸課題を理解し、課題解決に向けた策や自分の考えを具体的に説明できたか。 履修目標との対応：①　②　③ ○評価方法：リフレクション 評価割合：３０％ 評価基準：授業の要点や自分の意見を適切にまとめることができたか。 履修目標との対応：①　②　③ ○評価方法：ワークショップ 評価割合：２０％ 評価基準：ペアワークやグループワーク等の積極的な参加など、課題解決に向け　て意欲的、能動的に取り組めたか。 履修目標との対応：①　②　③ ○評価方法：授業への取組状況 評価割合：１０％ 評価基準：授業へ積極的に参加し、主体的に学習に取り組めたか。

	履修目標との対応：①　②　③
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：テキストは使用せず、毎回必要に応じてレジュメ等の資料を使用します。 参考文献：授業時に随時紹介します。
実務経験のある教員による授業	担当教員は教諭経験を有しており、その経験を活かして、将来のための必要かつ実践的な授業を展開します。
オフィスアワー・連絡先	mushijima@soei.ac.jp
備考	日常の生活に結びつけられるよう、実践的な内容を主にした「すぐに役立てる授業」です。意欲的に授業に参加してください。 大学生が悩んでいることや困っていること、さまざまなトラブルについても焦点をあてます。自分を力づける糧にしてください。 授業のはじめに、本時の目標と評価の基準（ルーブリック）について説明します。 30分以内の遅刻・早退計３回で欠課１回となります。注意してください。 欠席するときは、事前に連絡してください。 授業内容やスケジュールを調節することがあります。

講義科目名称： キャリアデザイン入門　　授業コード： 25L402

英文科目名称： Career design introduction

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	２単位	選択
担当教員			
牛島　操/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	対人関係やコミュニケーション、情報収集・分析、論理的思考、問題解決等に必要な汎用的知識・技術を身に付け、幅広く適用できる能力を有する人。
履修条件	特になし
授業概要	人生の各ステージにおける健康管理や就労に関すること、結婚や育児、予測不能なリスク等をテーマにして、実践的な講義や情報収集から知見を広げたり、様々なワークをとおして思考力や判断力を育んだりしながら、今後さらに変化していく社会の中でもしなやかに生き抜く力を高め、自分らしい魅力ある人生、幸せな人生をデザインする力を身に付けます。
履修目標	①これまでの人生を糧にしながら、これからの自分らしい魅力ある人生を表現することができる。 ②生活のさまざまな場面における諸課題を認知する視点を養い、その考察を説明することができる。 ③他者のさまざまな考え方や生き方を理解するとともに、自分の考えや拡げたり深めたりしながら人生をデザインすることができる。
授業計画・授業外学修課題	１　ガイダンス；自分らしい魅力ある人生、幸せな人生にするために １　これまでの成長を慈しみ、これからの「いのち」を積み重ねていく大切さ これまでの人生で特に頑張ったこと、苦労し、そしてそれを克服したこと、活躍したこと、成功体験などを振り返る。【ワーク】 ２　「これからの社会の中でしなやかに生き抜く力」とは ３　やりたい、達成したい、という気持ちをいかに行動にうつすか ・熱中する、集中する・・自分の充実する時はいつ、何をしている時か。【ワーク】 ４　毎日の生活の中で小さな「目標」をつくることの大切さを知る。【ワーク】 ・明確な小さな目標とは。 ・目標達成のために大学時代をいかに過ごすか。 ・目標達成のための準備 ・授業外事前学修課題：これまで経験してきたことを振り返り、自分の考えまとめておく。（90分） ・授業外事後学修課題：授業の前後で自分の考えが変わったことや、考えが深まったことをまとめる。（90分） ２　健康を維持していく①　～心のメンテナンス～ １　ストレス ・ストレスとは ・ストレスチェック　ストレスの原因と対処のしかたを知る。 ２　アンガーマネジメント ・アンガーマネジメントとは ・アンガーマネジメントの原因と対処のしかたを知る。 ３　活動の「オン」と「オフ」の切り替え方 ４　ポジティブシンキングの習慣化と成功体験 ５　心のメンテナンスと相談機関 ・授業外事前学修課題：ストレスについて調べ、身体に受ける影響等について自分の考えまとめておく。（90分） ・授業外事後学修課題：授業の前後で自分の考えが変わったことや、考えが深まったことをまとめる。（90分） ３　趣味や余暇の活用を考えよう １　趣味の重要性 ・自分が興味を持っている理由、他人に伝えたい魅力を表現する。 ・趣味を継続させ、人生を豊かにする工夫を考える。 ２　余暇（休み）の楽しみ方 ・体や心をリセット ・安らぐ時間とは ・休みの効果について調べる。【ワーク】 ３　自分の体調を整え、生活力を高める方法を知る。 ４　心に栄養を与えることばや癒される曲について紹介しあう。【ワーク】 ・授業外事前学修課題：自分自身の趣味や余暇について、生活にどのように影響しているか考えまとめておく。（90分） ・授業外事後学修課題：授業の前後で自分の考えが変わったことや、考えが広がったことをまとめる。（90分） ４　生活環境　～自分の人生に寄り添う住まい方～ １　様々な住まい方を知る。 ２　自分にとって心地よい住まいとは ３　理想の環境とは ４　移動や交通手段 ５　情報・通信の環境 さまざまな住まいの条件を考えながら、自分が思う「心地よい住まい」をデザインする。

【ワーク】

・授業外事前学修課題：これまで経験してきたことを振り返り、自分の考えまとめておく。（90分）
・授業外事後学修課題：授業の前後で自分の考えが変わったことや、考えが深まったことをまとめる。（90分）

5　健康を維持していく②　～体のメンテナンス～
体のメンテナンスを考えよう。
1　バランスのよい食事について調べ、現在の食事の改善点を考える。【ワーク】
2　ダイエットや健康障害の正しい情報、誤った情報
3　食の安全性について
4　さまざまな疾病を防ぐために「体のケア」を再確認【ワーク】
　例）・十分な休養、睡眠
　　・腸内環境
　　・貧血予防
　　・歯と口のケア　他

・授業外事前学修課題：さまざまな体のメンテナンスについて調べ、まとめておく。（90分）
・授業外事後学修課題：授業の前後で新たに気付いたことや、考えが深まったことをまとめる。（90分）

6　モラルとマナー
大人のモラルやマナーとは
・モラルとマナーについて基本的知識を確認する。【ワーク】
・年代差によるモラルやマナーの違いを知る。
・間違えやすいモラルやマナーについて【ワーク】

・授業外事前学修課題：これまで身に付けてきたモラルやマナーについて、まとめておく。（90分）
・授業外事後学修課題：授業後に新たに知ったことや、気づいたことなどをまとめる。（90分）

7　私のこれからの人生と家族　結婚　育児　介護
自分の「ライフプラン」とは
1　結婚について
・結婚の条件、理想の家庭像
・家庭と法律【ワーク】
2　自分らしい子育てのデザイン
・自分らしい子育てとは【ワーク】
3　親の介護、家族の介護　自分の介護は
・介護の常識
・自分と家族との良好なかかわり方とは【ワーク】

・授業外事前学修課題：さまざまな家族や生活の在り方から、自分らしいライフプランを想定する。（90分）
・授業外事後学修課題：授業の前後で自分の考えが変わったことや、考えが深まったことをまとめる。（90分）

8　仕事の意味
1　働くことの意味　働く重要性を知る。
2　履歴書　年収　働きがい・・仕事の価値観を考える。【ワーク】
3　日本の企業　就職活動の問題　組織の課題を理解する。
4　働くための知恵　　労働法　労働組合　法律による権利　様々な働き方
5　仕事選びの成功と失敗とは
　　私が考える「働きがいのある職場」とは【レポート】

・授業外事前学修課題：日本のさまざまな労働の状況を調べる。自分の考えまとめておく。（90分）
・授業外事後学修課題：授業の前後で自分の考えが変わったことや、考えが深まったことをまとめる。（90分）

9　お金と人生
1　将来のために貯める
・ライフプランから貯蓄率を上げる
・将来の不安に備える資金計画を知る。
2　将来の保障について
・年金制度の変化
・医療費の変化
・少子高齢化による労働者の減少と年金の保障
3　予期せぬ事態に備えるための資金管理と運用の工夫を考える【ワーク】

・授業外事前学修課題：これまで経験してきたことを振り返り、自分の考えまとめておく。（90分）
・授業外事後学修課題：授業の前後で自分の考えが変わったことや、考えが深まったことをまとめる。（90分）

１０　保険・年金と人生
1　公的医療保険・介護保険制度について
2　年金について
・年金の種類と仕組み
・20歳からの国民年金について
　　年金の納め方　将来の年金シミュレーション　未納リスク

・授業外事前学修課題：日本の医療保険制度や年金について調べる。（90分）
・授業外事後学修課題：授業の前後で新たな気づきや、深まった考えをまとめる。（90分）

１１　予期せぬ事態への対処①　～災害に備える～
1　震災、火災、他自然災害にかかるリスク回避
2　初期対応、情報収集

		３　とっさの判断、臨機応変の行動 ４　自助　共助　公助 ５　被災したらシミュレーション　図上避難訓練　危険な箇所チェック等【ワーク】 ・学内 ・通学途中 ・家にいる時 ・アルバイト他、よく行く場所のチェック ・授業外事前学修課題：自分の住んでいる地域の防災や、災害対策に係る情報を調べる。（90分） ・授業外事後学修課題：防災に関する重要な知識や対処について再確認し、まとめたことを家族で共有する。（90分）
	１２	予期せぬ事態への対処②　～疾病や事故に備える～ １　医療保険やがん保険、就業不能保険等について ２　人身事故や物損事故等の高額損害賠償請求への対応 ３　事故にあったらシミュレーション　救急搬送から入院、手術、退院まで ・図上対応シミュレーション【ワーク】 ・緊急連絡・・自身の場合、家族の場合、友人の場合 ・初期対応・・応急処置、AED　他 ４　授業をとおして気づいたこと、すぐにやろうと思うことをまとめる。【ワーク】 ・授業外事前学修課題：疾病や事故の未然防止や初期対応について調べておく。（90分） ・授業外事後学修課題：授業の前後で自分の考えが変わったことや、考えが深まったことをまとめる。（90分）
	１３	心豊かな老後をデザインする １　日本の高齢者福祉について ２　心豊かな老後について ・これまで培った豊かな経験やキャリアを生かす。 ・趣味、特技をより充実させる。 ・居場所や仲間とのコミュニケーション ・熱中する、夢中になる、創造する等の感情を生かし続ける。 ・人に求められ、できること、喜ばれることを考える。 ・これまでできなかったことへのチャレンジ ３　心豊かな老後をデザイン【ワーク】 ・各自が考える心豊かな老後についてグループで意見交換 ・発表をとおして他の意見と比較し、自分の考えさらに充実させる。 ・授業外事前学修課題：高齢化社会において、自分らしい老後にするための考えをまとめる。（90分） ・授業外事後学修課題：授業の前後で新たな気づきや、考えが深まったことをまとめる。（90分）
	１４	自分らしい魅力的なライフデザインの作成（レポート作成） わたしのライフプランレポート作成 1年後、5年後　10年後　　30年後　老後　老後のそれぞれの目標と、それを達成するための手だてを項目ごとにレポート ・段階的目標 ・家族構成 ・自分のキャリア ・新たな挑戦 ・楽しみや生きがい ・貯蓄 ・授業外事前学修課題：これからの自分らしい人生について、考えまとめておく。（90分） ・授業外事後学修課題：授業の前後で自分の考えが変わったことや、考えが深まったことをまとめる。（90分）
	１５	レポートの評価と振り返り レポート評価 ・授業全体の振り返り ・　魅力ある人生への意識変容の確認（アンケート回答） ・授業外事後学修課題：レポートの振り返りをし、自分の人生についての考えをまとめる。（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法		問題解決型学習、グループワーク　等 ※実践的内容の授業をとおして、主体的に授業に参加して問題を解決、「分かった」、「なるほど」を楽しむ授業です。 ※グループワークをとおして、将来の自分らしい人生設計を創造したり、人生の価値観を発信しあったりする授業です。
課題のフィードバック方法と時期		リフレクションペーパーのフィードバックは、次の授業時に行います。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応		○評価方法：レポート 評価割合：４０％ 評価基準：キャリアデザインに関する課題を理解し、課題解決に向けた策や自分の考えを具体的に説明できたか。 履修目標との対応：①　②　③ ○評価方法：リフレクション 評価割合：３０％ 評価基準：授業の要点や自分の意見を適切にまとめることができたか。 履修目標との対応：①　②　③ ○評価方法：ワークショップ 評価割合：２０％ 評価基準：ペアワークやグループワーク等の積極的な参加など、課題解決に向け　て意欲的、能動的に取

	り組めたか。 　　履修目標との対応：①　②　③ ○評価方法：授業への取組状況 　　評価割合：１０％ 　　評価基準：授業へ積極的に参加し、主体的に学習に取り組めたか。 　　履修目標との対応：①　②　③
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：テキストは使用せず、毎回必要に応じてレジュメ等の資料を使用します。 参考文献：授業時に随時紹介します。
実務経験のある教員による授業	担当教員は教諭経験を有しており、その経験を活かして、将来のための必要かつ実践的な授業を展開します。
オフィスアワー・連絡先	水曜日、または木曜日の昼休み
備考	日常の生活に結びつけられるよう、実践的な内容を主にした「楽しむ授業」です。意欲的に授業に参加してください。 現状の課題の把握から解決方法にいたること、また自分らしい人生「ライフプラン」についても考えていきます。将来に向かっていく自分に、生き抜く知恵と心的エネルギーを蓄える時間にしてください。 授業のはじめに、本時の目標と評価の基準（ルーブリック）について説明します。 30分以内の遅刻・早退計３回で欠課１回となります。注意してください。 欠席するときは、事前に連絡してください。 授業内容やスケジュールを調節することがあります。

講義科目名称： 現代社会の諸相　　授業コード： 25L403

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	２単位	選択
担当教員			
相賀　頌子/こども教育学部　荒武　喜子/看護学部			
講義			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	特になし
授業概要	グローバル社会は数多くの課題を抱えている。持続可能な社会の実現のためのSDGsの1つ目の課題である貧困問題を取り上げる。貧困は複合的な問題であり、貧困の原因、その弊害は時代とともに変わる。当科目では、人々の健康や教育とも大きく関わる貧困の問題を様々な切り口から考え、人々の生き方、家族や社会での役割を考える機会とする。こども教育学部と看護学部の両学部の学生が互いの視点を学び合うこと、学生が自ら調べ、考え、解決への糸口を模索することを期待する。
履修目標	①身近な貧困問題を挙げることができる ②貧困とは何かを説明できる 以下の問いに対して、自分なりの答えを導く ③貧困について理解を深めていかなくてはならないのは何故か ④貧困対策にはどのような方法があるのか
授業計画・授業外学修課題	1　貧困とは 授業外事後学修課題：事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく 授業外事後学修課題：配布プリントなどを参照し、授業内容を復習し、自分の考えを整理する 2　こどもの教育格差と貧困 授業外事後学修課題：事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく 授業外事後学修課題：配布プリントなどを参照し、授業内容を復習し、自分の考えを整理する 3　こどもの体験格差・IT格差と貧困 授業外事後学修課題：事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく 授業外事後学修課題：配布プリントなどを参照し、授業内容を復習し、自分の考えを整理する 4　こどもの虐待・ネグレクトと貧困 授業外事後学修課題：事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく 授業外事後学修課題：配布プリントなどを参照し、授業内容を復習し、自分の考えを整理する 5　こどもの不登校と貧困 授業外事後学修課題：事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく 授業外事後学修課題：配布プリントなどを参照し、授業内容を復習し、自分の考えを整理する 6　ひとり親家庭と貧困 授業外事後学修課題：事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく 授業外事後学修課題：配布プリントなどを参照し、授業内容を復習し、自分の考えを整理する 7　女性と貧困 授業外事後学修課題：事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく 授業外事後学修課題：配布プリントなどを参照し、授業内容を復習し、自分の考えを整理する 8　障がい者と貧困 授業外事後学修課題：事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく 授業外事後学修課題：配布プリントなどを参照し、授業内容を復習し、自分の考えを整理する 9　高齢者と貧困 授業外事後学修課題：事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく 授業外事後学修課題：配布プリントなどを参照し、授業内容を復習し、自分の考えを整理する 10　健康格差 授業外事後学修課題：事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく 授業外事後学修課題：配布プリントなどを参照し、授業内容を復習し、自分の考えを整理する 11　ホームレスについて 授業外事後学修課題：事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく 授業外事後学修課題：配布プリントなどを参照し、授業内容を復習し、自分の考えを整理する 12　情報格差 授業外事後学修課題：事前に配布した資料を読み、疑問点をメモしておく 授業外事後学修課題：配布プリントなどを参照し、授業内容を復習し、自分の考えを整理する 13　グループワーク 授業外事後学修課題：グループワークに参加するために必要な資料をまとめておく 授業外事後学修課題：各個人が担う課題について取り組む 14　グループワーク 授業外事後学修課題：グループワークに参加するために必要な資料をまとめておく 授業外事後学修課題：各個人が担う課題について取り組む 15　発表 授業外事後学修課題：発表に参加するための準備をする 授業外事後学修課題：発表内容を復習し、自分の考えを整理する

アクティブラーニングを用いた授業方法	この講義では、ディスカッション・グループワーク・発表を行う。
課題のフィードバック方法と時期	提出された課題や講義内での発表に対してコメントや説明を加えます。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：レポート 評価割合：40% 評価基準：自らの考えと、その根拠を述べているか 履修目標との対応：①②③④ 評価方法：講義中及び講義後の課題 評価割合：30％ 評価基準：講義で学んだこと、考えたことが整理され、表現されているか 履修目標との対応：①②③④ 評価方法：発表 評価割合：20％ 評価基準：意欲を持ちグループワークや発表に参加したか 履修目標との対応：①②③④ 評価基準(総合）：レポート、講義中及び講義後の課題、発表を総合して、100点満点、60点以上を合格とする
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト:必要に応じて資料を配布する。
実務経験のある教員による授業	
オフィスアワー・連絡先	相賀（saiga@soei.ac.jp） 月曜日～木曜日の昼休み 荒武（yaratake@soei.ac.jp） 火曜日と木曜日の昼休み
備考	

講義科目名称： 人体の構造と機能Ⅰ　　授業コード： 25F101

英文科目名称： Structure and Function of the Human body Ⅰ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	２単位	必修
担当教員			
萩原　裕子			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	2.　臨床場面や状況への関心をもち、看護実践の内省を通して、臨床判断能力を研鑽することができる。
履修条件	
授業概要	医療に携わる者すべてにとって、必要不可欠な身体の構造と機能の講義を行う。看護は人を看て身体の中で起きていることを知り、身体の異常に気がつく力、異常を知る力が必要になる。異常に気がつくには正常な身体のしくみと働きを理解している必要がある。人体の構造と機能Ⅰでは、人体の基本的な成り立ちとして人体を構成する器官の正常な構造と機能について学ぶ。
履修目標	①解剖生理の基礎知識について理解し、生体機能と理解し説明できる。 ②呼吸器の構造、呼吸運動とガス交換のしくみについて説明できる。酸素、二酸化炭素の運搬について説明できる。呼吸機能の調節について説明できる。 ③血液を構成する各要素の機能と生体の防御機構について説明できる。血液凝固、止血の機序を説明できる。 ④腎臓の構造と生理機能について説明できる。体液の調節機構、酸塩基平衡について説明できる。
授業計画・授業外学修課題	1-3回　解剖生理の基礎知識（全3回） 形からみた人体、素材からみた人体、機能からみた人体 授業外事前学修課題：課題内容（時間）各回の授業内容については事前に熟読すること（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）配布資料および教科書を振り返り、用語、役割を理解する（90分） ４－７回　呼吸器の構造とはたらき（全４回） 呼吸器系の構造と機能 呼吸運動とガス交換 呼吸運動の調節 授業外事前学修課題：課題内容（時間）各回の授業内容については事前に熟読すること（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）配布資料および教科書を振り返り、用語、役割を理解する（90分） 8-11回　血液の機能と生体防御（全4回） 血液の組織と機能 生体の防御機構 授業外事前学修課題：課題内容（時間）各回の授業内容については事前に熟読すること（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）配布資料および教科書を振り返り、用語、役割を理解する（90分） 12-15回　体液の調節と尿の生成（全4回） 腎臓の構造と機能 尿生成のメカニズム 尿の貯蔵と排尿 体液の調節 授業外事前学修課題：課題内容（時間）各回の授業内容については事前に熟読すること（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）配布資料および教科書を振り返り、用語、役割を理解する（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	該当なし
課題のフィードバック方法と時期	各単元終了後に、練習問題を配布する。解答も一緒に配布するので各自で取り組みこと。 わからない問題や課題は積極的に質問すること。質問は授業終了後に受けるが、授業時間外はe-mailでも受ける。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験　評価割合：９０％ 評価基準：授業で学んだことを理解しているか。 履修目標との対応：①、②、③、④ 評価方法：その他 評価割合：１０％ 評価基準：授業態度、出席状況などを元に総合的に判断 履修目標との対応：①、②、③、④
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	坂井建雄、岡田隆夫、宇賀貴紀　「系統看護学講座　専門基礎分野　解剖生理学　人体の構造と機能１」　医学書院
実務経験のある教員による授業	

オフィスアワー・ 連絡先	質問は授業終了後、受け付けます。 hagi_h@marianna-u.ac.jp
備考	生物に関する高校生レベルの知識はあるものと考えて授業を行う。高校生物履修者はその範囲を復習してから、生物履修でない者は参考書などの該当項に目を通し理解してから、講義にのぞむこと。講義後は、配布資料、教科書、参考書等で十分復習すること。わからないことはそのまま放置せずに、質問に来ること。

講義科目名称： 人体の構造と機能Ⅱ　　授業コード： 25F102

英文科目名称： Structure and Function of the Human body Ⅲ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	２単位	必修
担当教員			
萩原　裕子			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	2.　臨床場面や状況への関心をもち、看護実践の内省を通して、臨床判断能力を研鑽することができる。
履修条件	
授業概要	医療に携わる者すべてにとって、必要不可欠な身体の構造と機能の講義を行う。看護は人を看て身体の中で起きていることを知り、身体の異常に気がつく力、異常を知る力が必要になる。異常に気がつくには正常な身体のしくみと働きを理解している必要がある。人体の構造と機能Ⅱでは、人体の基本的な成り立ちとして人体を構成する器官の正常な構造と機能について学ぶ。
履修目標	①消化・吸収の構造と過程、調節機構を説明できる。 ②心臓の基本構造、役割、動作原理を説明できる。心電図の原理や心臓の構造、機能との関係、臨床的な意義を説明できる。血液やリンパ液を産生、運搬する構造が説明できる。 ③内分泌系の主な構造、ホルモンの作用を説明できる。ホルモンに関する生合成やホルモンの調節機構を説明できる。調節機構を説明できる。ホルモンの種類およびその作用・調節機構（内分泌系） ④男性/女性生殖器の構造と生殖機能、調節機構を説明できる。胎児、新生児の生理学を概説できる。
授業計画・授業外学修課題	1-4回　栄養の消化と吸収（全4回） 口、咽頭、食道の構造と機能 腹部消化管の構造と機能 膵臓、肝臓、胆嚢、腹膜の構造と機能 授業外事前学修課題：各回の授業内容については事前に熟読すること（60分） 授業外事後学修課題：配布資料および教科書を振り返り、用語、役割を理解する（90分） 5-9回　血液循環のしくみ（全5回） 心臓の構造と拍出機能 末梢循環系の構造と機能 血液循環の調節 リンパ管の構造と機能 授業外事前学修課題：各回の授業内容については事前に熟読すること（60分） 授業外事後学修課題：配布資料および教科書を振り返り、用語、役割を理解する（90分） 10-13回　自律神経系と内分泌系（全4回） 自律神経による調節 内分泌系による調節 全身の内分泌腺と内分泌細胞 ホルモン分泌の調節 授業外事前学修課題：各回の授業内容については事前に熟読すること（60分） 授業外事後学修課題：配布資料および教科書を振り返り、用語、役割を理解する（90分） 14､15回　生殖・発生のしくみ（全2回） 男性、女性生殖器の構造と機能 受精と胎児の発生 授業外事前学修課題：各回の授業内容については事前に熟読すること（60分） 授業外事後学修課題：配布資料および教科書を振り返り、用語、役割を理解する（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	該当なし
課題のフィードバック方法と時期	各単元終了後に、練習問題を配布する。解答も一緒に配布するので各自で取り組みこと。 わからない問題や課題は積極的に質問すること。質問は授業終了後に受けるが、授業時間外はe-mailでも受ける。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：９０％ 評価基準：授業で学んだことを理解しているか。 履修目標との対応：①、②、③、④ 評価方法：その他 評価割合：１０％ 評価基準：授業態度、出席状況などを元に総合的に判断 履修目標との対応：①、②、③、④
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	坂井建雄、岡田隆夫、宇賀貴紀　「系統看護学講座　専門基礎分野　解剖生理学　人体の構造と機能１」　医学書院
実務経験のある教	

員による授業	
オフィスアワー・ 連絡先	質問は授業終了後、受け付けます。 hagi_h@marianna-u.ac.jp
備考	生物に関する高校生レベルの知識はあるものと考えて授業を行う。高校生物履修者はその範囲を復習してから、生物履修でない者は参考書などの該当項に目を通し理解してから、講義にのぞむこと。講義後は、配布資料、教科書、参考書等で十分復習すること。わからないことはそのまま放置せずに、質問に来ること。

講義科目名称： 人体の構造と機能Ⅲ　　授業コード： 25F103

英文科目名称： Structure and Function of the Human body Ⅲ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	２単位	必修
担当教員			
星野　敬吾			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	3.看護の専門的知識・技術(及び倫理的態度)に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、 計画的に看護を実践することができる。
履修条件	特になし
授業概要	前期科目「人体の構造と機能Ⅰ,Ⅱ」に続く後期科目「Ⅲ」では、主にヒトの動物機能について学ぶ。最初に随意運動を司る「運動器」を理解する。続いて、随意運動を制御する「神経系」を学修し、行動の発端となる脳の高次機能など、中枢神経系の働きにまで理解を深める。動物機能からは外れるが、植物機能に位置付けられる自律神経（内臓の制御）も学修対象とする。最後に、行動に影響を与える情報の収集を司る「感覚器」について理解する。
履修目標	①運動器と、神経系および感覚器の概要を説明できる。 ②体幹の骨格筋と、呼吸・腹圧・排便排尿などとの関連を説明できる。 ③中枢神経系について、脊髄伝導路や脳の高次機能などを説明できる。 ④末梢神経系について、特に自律神経の働きを説明できる。 ⑤感覚器は、特に視覚器に関して臨床的な事項を含めて説明できる。
授業計画・授業外学修課題	第1回　運動器１（骨学１：　体肢骨と骨学総論） 体肢骨（上肢骨および下肢骨）の概要を学び、各骨の重要な部位を解説する。 教科書p306-309／p320-323 骨学総論では、1,関節、2,骨髄機能、3,骨代謝、4,骨発生という4つのテーマを取り上げる。 教科書p283-292 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書を読んで講義の概要を把握する。（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義ごとに配布する国試問題集に対して、解答を作成し、解答の根拠を説明できるようにする。（150分） 第2回　運動器２（骨学２：　体幹骨） 体幹骨は、1,脊柱および胸郭、2,骨盤、3,頭蓋という3つのテーマに分けて解説する。 教科書p296-300／p320-323／p332-336 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書を読んで講義の概要を把握する。（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義ごとに配布する国試問題集に対して、解答を作成し、解答の根拠を説明できるようにする。（150分） 第3回　運動器３（筋１：　体幹の筋） 体幹の筋は、1,頭頸部の筋、2,胸部の筋、3,腹部の筋、4,骨盤底筋の4つのテーマに分けて解説する。 教科書p336-339／p300-306 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書を読んで講義の概要を把握する。（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義ごとに配布する国試問題集に対して、解答を作成し、解答の根拠を説明できるようにする。（150分） 第4回　運動器４（筋２：　体肢の筋） 体肢の筋は、1,上肢の筋、2,下肢の筋の2つに大別して解説する。 教科書p310-320／p325-332 筋組織が三種に分類されることを学ぶ。 教科書p48-49 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書を読んで講義の概要を把握する。（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義ごとに配布する国試問題集に対して、解答を作成し、解答の根拠を説明できるようにする。（150分）

	第5回	神経１（神経総論） 神経総論は、1,神経系の区分から始まり、2,神経組織、3,神経生理、4,高カリウム血症を解説する。 教科書p359-368 さらに、中枢神経総論として、髄膜・髄液を解説する。 教科書p380-382 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書を読んで講義の概要を把握する。（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義ごとに配布する国試問題集に対して、解答を作成し、解答の根拠を説明できるようにする。（150分）
	第6回	神経２（脊髄神経） 脊髄神経として、1,橈骨神経、2,正中神経、3,腓骨神経、4,坐骨神経、5,大腿神経を取り上げて解説する。 教科書p383-387 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書を読んで講義の概要を把握する。（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義ごとに配布する国試問題集に対して、解答を作成し、解答の根拠を説明できるようにする。（150分）
	第7回	神経３（脊髄） 脊髄の下行性伝導路である錐体路を説明する。 教科書p392 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書を読んで講義の概要を把握する。（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義ごとに配布する国試問題集に対して、解答を作成し、解答の根拠を説明できるようにする。（150分）
	第8回	神経４（脳） 脳の解説は、4つのパーツごとに行う。 1,大脳、2,間脳、3,脳幹、4,小脳である。 教科書p371-380／p424-428 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書を読んで講義の概要を把握する。（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義ごとに配布する国試問題集に対して、解答を作成し、解答の根拠を説明できるようにする。（150分）
	第9回	神経５（脳死） 臓器移植法に関して、「脳死」を取り上げる。 1,死の三徴候、2,脳死判定基準の説明に始まり、3,意識障害の解説に至る。 脳死判定基準に含まれる脳波の解説に関連して、4,睡眠（レム睡眠とノンレム睡眠）にまでテーマを広げる。 教科書p421-431 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書を読んで講義の概要を把握する。（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義ごとに配布する国試問題集に対して、解答を作成し、解答の根拠を説明できるようにする。（150分）
	第10回	神経６（脳神経） 末梢神経の一つである脳神経を解説する。主に取り上げるのは、1,三叉神経、2,顔面神経、3,迷走神経、4,舌下神経である。 教科書p387-391 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書を読んで講義の概要を把握する。（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義ごとに配布する国試問題集に対して、解答を作成し、解答の根拠を説明できるようにする。（150分）
	第11回	神経７（自律神経） 自律神経については、1,経路、2,作用、3,神経伝達物質を解説して総論を学ぶ。 教科書p241-249 続いて、4,排便、5,排尿を制御する自律神経を解説する。 教科書p83-84／p227-228 授業外事前学修課題：課題内容（時間）

	教科書を読んで講義の概要を把握する。（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義ごとに配布する国試問題集に対して、解答を作成し、解答の根拠を説明できるようにする。（150分） 第12回　感覚器１（視覚器） 眼球の基本構造を学んだのち、調節機能（1,光量調節、2,遠近調節、3,視線操作）を学ぶ。さらに、視覚伝導路、対光反射、眼球付属機を学ぶ。 教科書p396-407 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書を読んで講義の概要を把握する。（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義ごとに配布する国試問題集に対して、解答を作成し、解答の根拠を説明できるようにする。（150分） 第13回　感覚器２（聴覚平衡覚器、味覚器、嗅覚器） 聴覚平衡覚器（耳）の解説に始まり、味覚器・嗅覚器を学ぶ。 教科書408-415 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書を読んで講義の概要を把握する。（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義ごとに配布する国試問題集に対して、解答を作成し、解答の根拠を説明できるようにする。（150分） 第14回　感覚器３（皮膚と一般感覚） 一般感覚の概念を説明し、皮膚の構造を学ぶ。 教科書p393-395／p435-439／p451-456 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書を読んで講義の概要を把握する。（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義ごとに配布する国試問題集に対して、解答を作成し、解答の根拠を説明できるようにする。（150分） 第15回　予備日 予備日
アクティブラーニングを用いた授業方法	授業外学修（復習）において、国試問題の解答および解説を作成する際に、各自が自主的に小グループをつくって取りくむことを推奨する。これは教え合うだけでなく、意見が異なる状況で学生間の討論が行われることを期待するものである。（備考欄参照）
課題のフィードバック方法と時期	学生間の討論を経てそれでも残った疑問点については、メールなどで教員に質問してもらいたい。可能な限り回答する予定である。（備考欄参照）
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：90% 評価基準：講義資料として配布した国試問題集で、正解選択肢を選べれば50%評価。さらに正解,不正解の理由を説明できれば80%の評価。さらに国試で使用される解剖生理学用語について、教科書図などで指し示せれば90%の評価。 履修目標との対応：全てに対応 評価方法：リアクションペーパー（受講態度を含む） 評価割合：10% 評価基準：適切に受講し、講義内容を記入できれば60%の評価。 履修目標との対応：全てに対応
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	坂井建雄・岡田隆夫 「系統看護学講座　専門基礎分野　解剖生理学　人体の構造と機能①」医学書院　第11版
実務経験のある教員による授業	担当教員は看護大学・看護専門学校・医学部での教員経験を有しており、その経験を活かして講義を行う。
オフィスアワー・連絡先	質問は授業終了後、受け付けます。 hoshino@marianna-u.ac.jp
備考	配布する国試問題集を自力で解けるようになりましょう。不明な点は学生間での討論により解決してください。討論の際の根拠には書籍（教科書・その他）の使用を推奨します。（講義資料は根拠として不十分です。）学生間での討論を経て不明点が残った場合は、教員に質問してください。可能な限り対応します。

講義科目名称： 病理学　　授業コード： 25F106

英文科目名称： Pathology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	２単位	必修
担当教員			
柳川　容子			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	3.　看護の専門的知識・技術（及び倫理的態度）に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる。
履修条件	特になし
授業概要	講義前半は疾病（病気）による形態の異常、代謝異常、機能障害、先天異常、腫瘍がどのようなメカニズムで発生するかを学ぶ。講義後半は各臓器（循環器 系、呼吸器系、消化器系、泌尿器系、内分泌系、脳・神経系など）における代表的な疾病について、原因、発生の仕組み、進展、転帰を中心に学習する。
履修目標	①科学的根拠に基づいた看護を実践するために病理学の基礎知識を学び、これを理解する。 ②正常な細胞や組織、臓器の形態や働きを系統的に学び、これを理解する。 ③ここの疾病を細胞や組織別の変化として正しく捉え、これを理解する。 ④個々の疾病の原因、発生の仕組み、進展、転帰をを学び、これを理解する。
授業計画・授業外学修課題	1　細胞損傷と適応、炎症 授業外事前学修課題：テキストP4-32を読み、わからない語句は調べておく（90分） 授業外事後学修課題：配布資料を再度確認し、理解できたこと、理解できなかったことをノートにまとめる。さらに理解を深めるためにテキストの 各章の最後にある「ゼミナール　復習と課題」、参考書の問題を解き、翌週の確認テスト対策をする（90分） 2　代謝障害（脂質、タンパク質、糖、その他） 授業外事前学修課題：テキストP72-102を読み、わからない語句は調べておく（90分） 授業外事後学修課題：配布資料を再度確認し、理解できたこと、理解できなかったことをノートにまとめる。さらに理解を深めるためにテキストの 各章の最後にある「ゼミナール　復習と課題」、参考書の問題を解き、翌週の確認テスト対策をする（90分） 3　感染症の病理 授業外事前学修課題：テキストP56-70を読み、わからない語句は調べておく（90分） 授業外事後学修課題：配布資料を再度確認し、理解できたこと、理解できなかったことをノートにまとめる。さらに理解を深めるためにテキストの 各章の最後にある「ゼミナール　復習と課題」、参考書の問題を解き、翌週の確認テスト対策をする（90分） 4　免疫と免疫異常 授業外事前学修課題：テキストP34-54を読み、わからない語句は調べておく（90分） 授業外事後学修課題：配布資料を再度確認し、理解できたこと、理解できなかったことをノートにまとめる。さらに理解を深めるためにテキストの 各章の最後にある「ゼミナール　復習と課題」、参考書の問題を解き、翌週の確認テスト対策をする（90分） 5　先天異常と遺伝子異常、病理診断検査 授業外事前学修課題：テキストP116-134、P326-334を読み、わからない語句は調べておく（90分） 授業外事後学修課題：配布資料を再度確認し、理解できたこと、理解できなかったことをノートにまとめる。さらに理解を深めるためにテキストの 各章の最後にある「ゼミナール　復習と課題」、参考書の問題を解き、翌週の確認テスト対策をする（90分） 6　腫瘍 授業外事前学修課題：テキストP136-166を読み、わからない語句は調べておく（90分） 授業外事後学修課題：配布資料を再度確認し、理解できたこと、理解できなかったことをノートにまとめる。さらに理解を深めるためにテキストの 各章の最後にある「ゼミナール　復習と課題」、参考書の問題を解き、翌週の確認テスト対策をする（90分） 7　循環器系、造血器系、リンパ系の疾患 授業外事前学修課題：テキストP180-208を読み、わからない語句は調べておく（90分） 授業外事後学修課題：配布資料を再度確認し、理解できたこと、理解できなかったことをノートにまとめる。さらに理解を深めるためにテキストの 各章の最後にある「ゼミナール　復習と課題」、参考書の問題を解き、翌週の確認テスト対策をする（90分） 8　呼吸器系（気管、気管支、肺、胸膜）の疾患

		授業外事前学修課題：テキストP210-232を読み、わからない語句は調べておく（90分） 授業外事後学修課題：配布資料を再度確認し、理解できたこと、理解できなかったことをノートにまとめる。さらに理解を深めるためにテキストの 各章の最後にある「ゼミナール　復習と課題」、参考書の問題を解き、翌週の確認テスト対策をする（90分）
	9	消化器系（口腔、食道、胃、腸管） 授業外事前学修課題：テキストP234-249を読み、わからない語句は調べておく（90分） 授業外事後学修課題：配布資料を再度確認し、理解できたこと、理解できなかったことをノートにまとめる。さらに理解を深めるためにテキストの 各章の最後にある「ゼミナール　復習と課題」、参考書の問題を解き、翌週の確認テスト対策をする（90分）
	10	消化器系（肝臓、胆管、膵臓）の疾患 授業外事前学修課題：テキストP249-260を読み、わからない語句は調べておく（90分） 授業外事後学修課題：配布資料を再度確認し、理解できたこと、理解できなかったことをノートにまとめる。さらに理解を深めるためにテキストの 各章の最後にある「ゼミナール　復習と課題」、参考書の問題を解き、翌週の確認テスト対策をする（90分）
	11	腎臓、泌尿器、生殖器、乳腺の疾患 授業外事前学修課題：テキストP262-282を読み、わからない語句は調べておく（90分） 授業外事後学修課題：配布資料を再度確認し、理解できたこと、理解できなかったことをノートにまとめる。さらに理解を深めるためにテキストの 各章の最後にある「ゼミナール　復習と課題」、参考書の問題を解き、翌週の確認テスト対策をする（90分）
	12	内分泌系、関節、筋肉の疾患 授業外事前学修課題：テキストP284-294、P312-316を読み、わからない語句は調べておく（90分） 授業外事後学修課題：配布資料を再度確認し、理解できたこと、理解できなかったことをノートにまとめる。さらに理解を深めるためにテキストの 各章の最後にある「ゼミナール　復習と課題」、参考書の問題を解き、翌週の確認テスト対策をする（90分）
	13	脳、神経系、骨の疾患 授業外事前学修課題：テキストP296-316を読み、わからない語句は調べておく（90分） 授業外事後学修課題：配布資料を再度確認し、理解できたこと、理解できなかったことをノートにまとめる。さらに理解を深めるためにテキストの 各章の最後にある「ゼミナール　復習と課題」、参考書の問題を解き、翌週の確認テスト対策をする（90分）
	14	眼、耳、皮膚の疾患 授業外事前学修課題：テキストP318-324を読み、わからない語句は調べておく（90分） 授業外事後学修課題：配布資料を再度確認し、理解できたこと、理解できなかったことをノートにまとめる。さらに理解を深めるためにテキストの 各章の最後にある「ゼミナール　復習と課題」、参考書の問題を解き、翌週の確認テスト対策をする（90分）
	15	1～14回のまとめ、看護師国家試験過去問 授業外事前学修課題：1回～14回の講義で理解しにくい項目をリストアップする（90分） 授業外事後学修課題：講義資料、テキスト、確認テストを見直す。看護師国家試験過去問を解く（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	該当なし	
課題のフィードバック方法と時期	講義開始時に前回の復習試験を10分間で実施します。その後、解答を示し簡単な解説をします。この試験は評価に含みます。	
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験、復習試験 評価割合：筆記試験80％、復習試験20％ 評価基準：筆記試験と復習試験をあわせて60点を合格とする。	
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト　系統看護学講座　病理学第6版　大橋健一、医学書院、ISBN978-4-260-04203-1 参考書　ステップアップ病理学ノート　第2版　江口　正信、サイオ出版、ISBN9784-86749-0198	
実務経験のある教員による授業	該当。担当教員が自らの研究と教育を通して得た微生物学の知識を、わかりやすい講義内容に構成して説明を行います。学生は事前に教科書を読む予習 をおこない講義を受けることを前提にします。講義後はその日のうちに復習をして、理解できたことと理解できなかったことをノートにまとめます。これを実践 することで講義への理解が深まり、また理解できなかった事柄がわかってきます。	
オフィスアワー・連絡先	質問は講義終了後に講義室で直接受けます。簡単な質問は出席カードの余白でも受け付けます。メールでの質問や欠席の連絡はメールで随時受け付 ます（yyanagawa@soei.ac.jp）。	
備考	遅刻は講義開始20分までとし、出席カードに学生自身が申告して記入すること。なお、電車の遅延によるものは証明書を提出すること。 早退は原則認めない。但し、体調不良による早退は教員が状況を見てから判断する。 欠席が事前にわかっている場合は、柳川宛にメールで連絡をすること。欠席した際の講義資料等は翌週の講義	

	開始直前に柳川から直接受け取ること。 講義資料、復習試験、出席カードは講義開始直前、前方に設置するので各自が取りに来ること。なお、欠席者の資料を代理で受け取ることは禁止とする。 出欠席は出席カードを配布しておこなう。 受講上の注意：飲食、スマートフォンの使用、写真撮影、録音は原則禁止とする（事情がある場合は柳川まで申し出ること）。講義中は帽子やフードの使用は認めない。

講義科目名称： 精神保健論　　授業コード： 25F108

英文科目名称： Mental Health

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	２単位	必修
担当教員			
瀧村　剛			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	この授業では精神疾患に関する知識を伝え、患者の心情を想像したり精神疾患をめぐる諸問題に思いをはせる機会を提供します。将来看護師として臨床の場で適切な看護をしたり、チーム医療や地域社会の中で看護を発展させる際に有用な一ピースとなるでしょう。
履修条件	
授業概要	代表的な精神疾患について学び、基礎的な知識を得ます。医療の場で働く以上は診療科を問わず精神疾患の知識は必要です。地域社会で看護師・保健師として活躍することを考えいればなおさら必要です。 また、医療者は患者の心情を理解することが必要です。これは学部生の段階でできることではないでしょうが、そのように努める態度を養います。 医療の現場では精神疾患をめぐり、患者の権利をいかに擁護するか、強制的な治療はどこまで許されるのか、疾患や患者への偏見をどう克服するかといったさまざまなトピックがあります。また、地域社会や職域といった社会全体でも精神疾患をめぐるさまざまなとピックがあります。このような話題に関心を持ち、自分なりに考えると同時に自分と異なる考えがあることも理解します。また、そのような多様な場で精神看護にたずさわる者がどのような貢献ができるのかについても学びます。 医療者として働くと、ときに悩んだり困難な状況に直面したりします。自身のメンタルケアを実践する方法についても考えます。
履修目標	①代表的な精神疾患について知識を得る ②精神疾患を持つ者の心情を想像しようと努める態度を獲得する ③精神疾患をめぐる医療や社会における諸問題を知り、自分なりに考えることができるようになる ④精神看護が求められる場をイメージできるようになる ⑤医療者として自身のメンタルケアもできるようになる
授業計画・授業外学修課題	1　発達障害 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 2　発達障害 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 3　気分障害 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 4　気分障害 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 5　神経症 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 6　神経症 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 7　統合失調症 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 8　統合失調症 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 9　依存症 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 10　依存症 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 11　認知症 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 12　認知症 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 13　精神疾患をもつということ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 14　まとめと復習

	授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 15　まとめと復習 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワークやディカッションを行うことがある。
課題のフィードバック方法と時期	提出された課題は次の授業でフィードバックをします。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：100% 評価基準：授業中に示す必修項目を習得できていれば60点 履修目標との対応：①～④ ※適宜追加してください
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	図解でわかる　対人援助職のための精神疾患とケア 中央法規 植田俊幸、田村綾子＝著 Ｂ５変 ISBN　978-4-8058-8737-0 発行日　2022年7月10日 価格 2,420円（税込）
実務経験のある教員による授業	
オフィスアワー・連絡先	質問は授業終了後、受け付けます。
備考	授業中、授業後の積極的な質問を歓迎します。皆さんの精神疾患の知識はゼロであることを前提に授業をしますので、安心して質問してください。 授業をきっかけとしてのさらなる学習を期待します。そのための教材を提示します。 授業計画はゲストスピーカーの都合等により変更になることがあります。 寒がりな人は暖かい恰好やひざ掛けマフラー等をご用意ください。教室の暖房が強いと皆眠くなるので若干弱めにします。

講義科目名称： 栄養生化学　　授業コード： 25F109

英文科目名称： Nutritional Biochemistry

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	２単位	必修
担当教員			
高村　晴美			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	看護の専門的知識・技術（及び倫理的態度）に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる
履修条件	
授業概要	人は生きるために食べ、呼吸をする。そこには様々な物質が必要になり、機能しなければならない。その物質がなぜ必要なのか、身体の中で何が起こっているのかを理解するために必要な栄養と生化学の基礎を学ぶ
履修目標	①生化学を理解するための基礎知識（細胞・組織等）が説明できる。 ②栄養を理解するための基礎知識（糖質、脂質、タンパク質等の構造、栄養素としての働きと代謝）が説明できる。 ③ライフステージの特徴と栄養管理の必要性について説明できる。 ④慢性疾患、疾病と栄養・食事の関係、食事療法の概要について説明できる。 ⑤健康の保持増進のために栄養について理解し、自身の生活に活かすことができる。
授業計画・授業外学修課題	1　人体と栄養生化学 栄養生化学を学ぶための人体の基礎知識について学修する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書の該当箇所を熟読し、わからない用語を調べる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 細胞の構造・組織についてまとめる（90分） 2　糖質の栄養生化学 糖質の構造、栄養素としての働きと代謝について学修する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書の該当箇所を熟読し、わからない用語を調べる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義に使用したレジュメを中心に、糖質についてまとめる（90分） 3　脂質の栄養生化学 脂質の構造、栄養素としての働きと代謝について学修する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書の該当箇所を熟読し、わからない用語を調べる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義に使用したレジュメを中心に、脂質についてまとめる（90分） 4　タンパク質の栄養生化学 タンパク質の構造、栄養素としての働きと代謝について学修する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書の該当箇所を熟読し、わからない用語を調べる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義に使用したレジュメを中心に、タンパク質についてまとめる（90分） 5　エネルギーの栄養生化学 糖質、脂質、タンパク質で学んだ内容を統合し、エネルギー代謝について学修する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書の該当箇所を熟読し、わからない用語を調べる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義に使用したレジュメを中心に、エネルギー代謝についてまとめる（90分） 6　酵素の栄養生化学 生体内反応・代謝を理解するために、酵素の性質と酵素反応について学修する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書の該当箇所を熟読し、わからない用語を調べる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義に使用したレジュメを中心に、酵素についてまとめる（90分） 7　ビタミン・ミネラルの栄養生化学 ビタミン・ミネラルの生体機能について学修する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間）

	教科書の該当箇所を熟読し、わからない用語を調べる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義に使用したレジュメを中心に、ビタミン・ミネラルについてまとめる（90分） 8　遺伝子の栄養生化学 核酸の構造と機能について学修する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書の該当箇所を熟読し、わからない用語を調べる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義に使用したレジュメを中心に、核酸についてまとめる（90分） 9　人間栄養学と看護 人間栄養学について理解し、栄養について概観する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 日本の栄養・食生活に関する現状と課題について調べる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 人間栄養学についてまとめる（90分） 10　ライフステージと栄養（乳幼児期・学童期・思春期・青年期・成人期） 乳幼児期・学童期・思春期・青年期・成人期における栄養の特徴・課題等について学修する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書の該当箇所を熟読し、わからない用語を調べる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 各ライフステージ別の栄養の問題点を整理する（90分） 11　ライフステージと栄養（妊娠期・授乳期・更年期・高齢期） 妊娠期・授乳期・更年期・高齢期における栄養の特徴・課題等について学修する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書の該当箇所を熟読し、わからない用語を調べる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 各ライフステージ別の栄養の問題点を整理する（90分） 12　栄養療法（病院食・栄養補給法／消化器疾患） 臨床における栄養療法の基礎と疾患別の栄養療法について学修する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書の該当箇所を熟読し、わからない用語を調べる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 栄養補給法の違いと各疾患別の栄養療法の特徴を整理する（90分） 13　栄養療法（腎疾患・循環器疾患） 疾患別の栄養療法について学修する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書の該当箇所を熟読し、わからない用語を調べる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 各疾患別の栄養療法の特徴を整理する（90分） 14　栄養療法（血液疾患・栄養代謝疾患） 疾患別の栄養療法について学修する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書の該当箇所を熟読し、わからない用語を調べる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 各疾患別の栄養療法の特徴を整理する（90分） 15　食事摂取基準、食生活指針 食事摂取基準と食生活指針について理解し、自身や周囲の食生活・食習慣について考える。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書の該当箇所を熟読し、わからない用語を調べる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 食事摂取基準と食生活指針についてまとめる（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	該当なし
課題のフィードバック方法と時期	リフレクションペーパーのフィードバックは次の授業時に実施する。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：85％ 評価基準：到達目標で示す教科書の範囲にある重要語句の意味がわかれば60％ 履修目標との対応： 評価方法：平常点評価

	評価割合：15% 評価基準：授業ごとの疑問や質問、感想をリフレクションペーパーで述べていれば100%
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	新体系看護学全書　人体の構造と機能　栄養生化学　第5版　メジカルフレンド社
実務経験のある教員による授業	非該当
オフィスアワー・連絡先	質問は授業終了後、受け付けます。
備考	出欠席はリフレクションペーパーで確認する。 授業に関する不明点等を調べるときに限り、授業中のスマートフォンの使用を許可する。

講義科目名称： 微生物学　　授業コード： 25F201

英文科目名称： Microbiology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	２単位	必修
担当教員			
柳川　容子			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	3. 看護の専門的知識・技術（及び倫理的態度）に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる。
履修条件	特になし
授業概要	感染症はヒトが微生物（細菌、ウイルス、真菌、原虫、プリオン）や寄生虫に感染することでおこる。これを理解し、看護師が感染症患者に接する際に必要な個々の微生物についての基礎知識と感染予防を臓器別に学ぶ。さらに感染後におこる生体の反応や、元来体に備わった微生物に対する感染防御機構（免疫）を理解したうえで、免疫力が低下したガン、AIDS患者でおこる日和見感染症をはじめ移植患者やカテーテル挿入患者がおこしやすい感染症について理解を深める。
履修目標	①基本的な生体の感染防御機構が説明でき、これを理解できる。 ②宿主の臓器・組織ごとの感染症を理解し、患者の症状と原因微生物が説明できる。 ③宿主の因子が影響する感染症（人獣共通感染症、母子感染、日和見感染、移植患者の感染症、血管内カテーテル関連血流感染症）を理解し、患者の症状と原因微生物の関係が理解できる。 ④感染症を予防するために必要な消毒、滅菌、ワクチンについて説明できる。 ⑤基本的な感染症の検査、治療薬（おもに抗菌薬）が説明できる。
授業計画・授業外学修課題	1　微生物学発展の歴史、個々の微生物の生物学的位置と特徴、細菌の構造物の特徴と役割（線毛、鞭毛、莢膜、芽胞）。 授業後に資料を再度確認し、理解できたこと、理解できなかったことをノートにまとめる。さらに理解を深めるために参考書の問題を解き、翌週の 確認テスト対策をする。 授業外事前学修課題：テキストP27-35、57、97、228を読み、わからない語句は調べておく。 2　感染症の分類、感染症法、感染経路（空気感染、飛沫感染、経口感染、接触感染、昆虫ベクター感染、人獣共通感染症） 授業外事前学修課題：テキストP37-43、P239-244、P142-144、172、P80-84、87、128を読み、わからない語句は調べておく（90分）。 授業外事後学修課題：配布資料を再度確認し、理解できたこと、理解できなかったことをノートにまとめる。さらに理解を深めるために参考書の問題 を解き、翌週の確認テスト対策をする（90分）。 3　感染防御機構1　自然免疫と獲得免疫、免疫に関わる細胞、体液性免疫（細菌感染から抗体産生までのプロセス） 授業外事前学修課題：テキストP37、P43-50を読み、わからない語句は調べておく（90分）。 授業外事後学修課題：配布資料を再度確認し、理解できたこと、理解できなかったことをノートにまとめる。さらに理解を深めるために参考書の問題 を解き、翌週の確認テスト対策をする（90分）。 4　感染防御機構2、体液性免疫と細胞性免疫（ウイルス感染からウイルス排除までのプロセス、マクロファージ内で生存する細菌の排除）、免疫反応を利用したワクチンの種類とその特徴 授業外事前学修課題：テキストP43-50、P219-226を読み、わからない語句は調べておく（90分）。 授業外事後学修課題：配布資料を再度確認し、理解できたこと、理解できなかったことをノートにまとめる。さらに理解を深めるために参考書の問題 を解き、翌週の確認テスト対策をする（90分）。 5　滅菌（感染症を予防する目的で医療器具・器材に用いるおもな滅菌法とその対象物）と消毒（医療器具・器材のほか人体に用いるおもな消毒薬とその対象物） 授業外事前学修課題：テキストP219、P227-234を読み、わからない語句は調べておく（90分）。 授業外事後学修課題：配布資料を再度確認し、理解できたこと、理解できなかったことをノートにまとめる。さらに理解を深めるために参考書の問題 を解き、翌週の確認テスト対策をする（90分）。 6　感染症の検査（細菌の染色法であるグラム染色、結核菌を染色するチール・ネールゼン染色、抗体や抗原を検出する免疫学的検査）、検査材料の保存法 授業外事前学修課題：テキストP245-256を読み、わからない語句は調べておく（90分）。 授業外事後学修課題：配布資料を再度確認し、理解できたこと、理解できなかったことをノートにまとめる。さらに理解を深めるために参考書の問題 を解き、翌週の確認テスト対策をする（90分）。 7　中間試験（試験範囲は1回～6回） 中間試験対策として配布資料、テキスト、確認テストを見直し重要な項目を理解する。 試験後の呼吸器感染症の授業を実施する。授業外事前学習課題：P52-72

	8	宿主の臓器・組織別にみる感染症1　呼吸器感染症、消化器感染症をおこす原因微生物の特徴とその感染経路 授業外事前学修課題：テキストP52-84を読み、わからない語句は調べておく（90分）。 授業外事後学修課題：配布資料を再度確認し、理解できたこと、理解できなかったことをノートにまとめる。さらに理解を深めるために参考書の問題 を解き、翌週の確認テスト対策をする（90分）。
	9	宿主の臓器・組織別にみる感染2　肝炎、尿路感染症をおこす原因微生物の特徴とその感染経路 授業外事前学修課題：テキストP85-104を読み、わからない語句は調べておく（90分）。 授業外事後学修課題：配布資料を再度確認し、理解できたこと、理解できなかったことをノートにまとめる。さらに理解を深めるために参考書の問題 を解き、翌週の確認テスト対策をする（90分）。
	10	宿主の臓器・組織別にみる感染3　性感染症、皮膚や粘膜の感染症をおこす原因微生物の特徴とその感染経路 授業外事前学修課題：テキストP105-119を読み、わからない語句は調べておく（90分）。 授業外事後学修課題：配布資料を再度確認し、理解できたこと、理解できなかったことをノートにまとめる。さらに理解を深めるために参考書の問題 を解き、翌週の確認テスト対策をする（90分）。
	11	宿主の臓器・組織別にみる感染4　発疹が出現する感染症、脳神経系感染症をおこす原因微生物の特徴とその感染経路 授業外事前学修課題：テキストP120-133を読み、わからない語句は調べておく（90分）。 授業外事後学修課題：配布資料を再度確認し、理解できたこと、理解できなかったことをノートにまとめる。さらに理解を深めるために参考書の問題 を解き、翌週の確認テスト対策をする（90分）。
	12	宿主の臓器・組織別にみる感染5　人獣共通感染症、寄生虫感染症をおこす原因微生物の特徴とその感染経路 授業外事前学修課題：テキストP136-157を読み、わからない語句は調べておく（90分）。 授業外事後学修課題：配布資料を再度確認し、理解できたこと、理解できなかったことをノートにまとめる。さらに理解を深めるために参考書の問題 を解き、翌週の確認テスト対策をする（90分）。
	13	宿主の因子が影響する感染症1　小児の感染症、母子感染、高齢者の感染症をおこす原因微生物の特徴とその感染経路 授業外事前学修課題：テキストP157-183を読み、わからない語句は調べておく（90分）。 授業外事後学修課題：配布資料を再度確認し、理解できたこと、理解できなかったことをノートにまとめる。さらに理解を深めるために参考書の問題 を解き、翌週の確認テスト対策をする（90分）。
	14	宿主の因子が影響する感染症2　日和見感染症、移植患者の感染症、血管内カテーテル関連血流感染症をおこす原因微生物の特徴とその感染経路 授業外事前学修課題：テキストP183-206を読み、わからない語句は調べておく（90分）。 授業外事後学修課題：配布資料を再度確認し、理解できたこと、理解できなかったことをノートにまとめる。さらに理解を深めるために参考書の問題 を解き、翌週の確認テスト対策をする（90分）。
	15	感染症の治療(抗菌薬の特徴、種類、作用機序)、薬剤耐性菌の種類と耐性機序 授業外事前学修課題：テキストP206-218、256-264を読み、わからない語句は調べておく（90分）。 授業外事後学修課題：配布資料を再度確認し、理解できたこと、理解できなかったことをノートにまとめる。さらに理解を深めるために参考書の問題 を解き、翌週の確認テスト対策をする（90分）。
アクティブラーニングを用いた授業方法	該当なし	
課題のフィードバック方法と時期	講義開始時に前回の復習試験を10分間で実施します。その後、解答を示します。この試験は評価に含みます。	
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験（期末試験） 評価割合：80% 評価基準：筆記試験80%　、復習試験20%　両者を合わせて60点を合格とする。 履修目標との対応：①　②　③　④　⑤	
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト　疾病のなりたちと回復の促進4　微生物学　第14版、南嶋洋一、医学書院、ISBN978-4-260-04702-9 参考書　新改訂　パワーアップ問題演習　微生物学第2版、　西條政幸、　サイオ出版、2024年、ISBN9784-86749-2024	
実務経験のある教員による授業	該当。担当教員が自らの研究と教育を通して得た微生物学の知識を、わかりやすい講義内容に構成して説明を行います。学生は事前に教科書を読む予習をおこない講義を受けることを前提にします。 講義後はその日のうちに復習をして、理解できたことと理解できなかったことをノートにまとめます。これを実践することで講義への理解が深まり、また理解できなかった事柄がわかってきます。	
オフィスアワー・連絡先	質問は講義終了後に講義室で直接受け付けます。簡単な質問は出席カードの余白でも受け付けます。メールでの質問や欠席の連絡はメールで随時受け付けます（yyanagawa@soei.ac.jp）。	
備考	遅刻は講義開始20分までとし、出席カードに学生自身が申告して記入すること。なお、電車の遅延によるものは証明書を提出すること。 早退は原則認めない。但し、体調不良による早退は教員が状況を見てから判断する。 欠席が事前にわかっている場合は、柳川宛にメールで連絡をすること。欠席した際の講義資料等は翌週の講義	

	開始直前に柳川から直接受け取ること。 講義資料、復習試験、出席カードは講義開始直前、前方に設置するので各自が取りに来ること。なお、欠席者の資料を代理で受け取ることは禁止とする。 出欠席は出席カードを配布しておこなう。 受講上の注意：飲食、スマートフォンの使用、写真撮影、録音は原則禁止とする（事情がある場合は柳川まで申し出ること）。講義中は帽子やフードの使用は認めない。

講義科目名称： 臨床薬理学　　授業コード： 25F202

英文科目名称： Clinical Pharmacology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	２年	２単位	必修
担当教員			
渡邉　達也,渡邉　めぐみ			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	3. 看護の専門的知識・技術（及び倫理的態度）に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる。
履修条件	特になし
授業概要	看護の対象に用いられる薬の主な薬理作用、薬力学的相互作用、薬の吸収と消失・排泄といった体内動態、疾患の側面からみた薬の相互作用などについての知識を学ぶ。また、講義で得られた臨床薬理学の知識を患者支援･患者ケアにどのように活用するのかについても学ぶ。このほか、薬の管理、医薬品開発の基礎的知識についても学ぶ。これらを通じて、疾患の治療に用いられる薬の基本的薬理作用を理解することで、薬理作用の知識に基づいた患者支援・患者ケアを実践するための基礎的知識の習得を目的とする。
履修目標	①医薬品の薬理作用、作用機序、体内動態を理解するための基礎知識を修得する ②薬物治療が主体となる疾患について病院・病態に基づいた基礎的知識を修得する ③薬物治療を受ける患者支援のための医薬品の選択と使用の基本および関連する代表的な副作用について理解する ④医薬品管理の基礎、医薬品開発の基礎知識を取得する ※適宜加減してください。
授業計画・授業外学修課題	1　薬とは 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書該当ページの予習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義配付資料および教科書を活用した講義内容の復習（90分） 2　薬の正しい使い方、医薬品の安全管理 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書該当ページの予習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義配付資料および教科書を活用した講義内容の復習（90分） 3　薬物の体内動態・薬効に影響する因子① 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書該当ページの予習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義配付資料および教科書を活用した講義内容の復習（90分） 4　薬物の体内動態・薬効に影響する因子② 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書該当ページの予習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義配付資料および教科書を活用した講義内容の復習（90分） 5　医薬品開発の基礎的知識とチーム医療 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書該当ページの予習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義配付資料および教科書を活用した講義内容の復習（90分） 6　感染症治療薬 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書該当ページの予習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義配付資料および教科書を活用した講義内容の復習（90分） 7　抗アレルギー薬・抗炎症薬 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書該当ページの予習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義配付資料および教科書を活用した講義内容の復習（90分） 8　末梢神経作用薬 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書該当ページの予習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義配付資料および教科書を活用した講義内容の復習（90分）

	9	抗がん剤 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書該当ページの予習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義配付資料および教科書を活用した講義内容の復習（90分）
	10	免疫治療薬 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書該当ページの予習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義配付資料および教科書を活用した講義内容の復習（90分）
	11	呼吸器・消化器・泌尿器・皮膚・眼科・漢方薬 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書該当ページの予習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義配付資料および教科書を活用した講義内容の復習（90分）
	12	内分泌作用薬、ビタミン、輸液 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書該当ページの予習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義配付資料および教科書を活用した講義内容の復習（90分）
	13	中枢神経作用薬 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書該当ページの予習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義配付資料および教科書を活用した講義内容の復習（90分）
	14	心臓・血管系作用薬 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書該当ページの予習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義配付資料および教科書を活用した講義内容の復習（90分）
	15	代表的な副作用、その他 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書該当ページの予習（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義配付資料および教科書を活用した講義内容の復習（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	実施しない	
課題のフィードバック方法と時期		
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：100％ 評価基準：100点満点で60点以上を合格とする 履修目標との対応：①○　②○　③○　④○	
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	吉岡充弘他編：系統看護学講座　専門基礎分野　薬理学　疾病のなりたちと回復の促進３　医学書院	
実務経験のある教員による授業	担当教員は医療機関、製薬企業等で当該領域の実務経験を有しており、その経験を生かし将来を見据えた実践的な知識を伝える	
オフィスアワー・連絡先	講義開始前もしくは講義終了後適宜	
備考	講義が主であるが、講義内容の理解度を確認するため複数回の小テストをおこなう。 受け身で受講するのではなく疑問を持ち、講義配付資料や教科書等で予習、復習をし、理解を深めて欲しい。	

講義科目名称： 症候論Ⅰ　　授業コード： 25F203

英文科目名称： Symptomatology Ⅰ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年	２単位	必修
担当教員			
阿部　裕之			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	看護の専門的知識・ 技術(及ひ゛倫理的態度)に基つ゛き、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実することと か゛て゛きる。
履修条件	
授業概要	看護の実践では、日々、患者からのさまざまな訴えや症候から、それらの原因や関連する因子を推察し対処することが、非常に大切です。診断された疾患の患者を看る場合でも、患者の心身の異常を示す種々の症候についての発生機序、病態および病因論を学び、その患者への適切な検査･治療に結びつけることが可能になります。症候論Ⅰでは総論および呼吸器系、消化器系、循環器系における症候について学びます。 症候論を学ぶ上では、生活や人体の形態・機能、病理学の知識が重要となります。各症候を来たす疾患群は多様であり、最初はそれらの疾患名や疾患の特徴などを理解することは難しいですが、復習を行うことで授業と関連づけて理解してください。授業では反復して説明するので、教科書や授業での配布資料での復習を怠らない様にしましょう。
履修目標	①症候論とは何かを理解し、バイタルサインについて学習し理解する。 ②体温異常、疼痛、咳嗽、呼吸困難、動悸、息切れなどの発生機序および病態について理解する。 ③食欲不振、嚥下障害、腹痛、腹部腫瘤、黄疸などの発生機序および病態について理解する ④それぞれの症候に対する代表的疾患の病態と診断について理解する。 ⑤ 各病態に対する対処や治療について理解する。 ※適宜加減してください。
授業計画・授業外学修課題	1 症候論とは。（体温異常の発生機序と病態、体温異常に伴う疾患の診断と対処・治療） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 2 咳・呼吸困難の発生機序、咳・呼吸困難を伴う呼吸器疾患の病態と診断 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 3 咳・呼吸困難を伴う循環器疾患の病態と診断 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 4 血圧異常の発生機序と病態、診断・治療 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 5 脈拍異常の発生機序と病態、診断・治療 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 6 食欲不振、悪心・嘔吐の発生機序と病因、その代表疾患の病態と診断・治療 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 7 腹痛の種類と発生機序、腹痛を来たす疾患の病態と診断・治療 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 8 消化器疾患における嚥下障害の発生機序と病因、その代表的疾患の病態と診断・治療 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 9 便通異常（便秘・下痢など）の発生機序と病態、診断・治療 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 10 消化管閉塞を来たす発生機序と病因、その代表的疾患の病態、診断・治療 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 11 消化管出血を来たす発生機序と病因、その代表的疾患の病態、診断・治療 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 12 腹部腫瘤をきたす疾患の病因、その代表的疾患の病態、診断・治療 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 13 黄疸の発生機序と病態、その代表的疾患の診断と治療 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 14 排尿異常（排尿障害や尿産生障害）を来たす発生機序と病態、その代表的疾患の診断と対処・治療 腎不全の病態

	授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 15　チアノーゼの発生機序と病態、チアノーゼを来たす呼吸器疾患と循環器疾患における病態と診断・治療 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク、プレゼンテーションを行う。
課題のフィードバック方法と時期	各回の事前課題をもとに授業で発表・討議します。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：100％ 評価基準：多肢選択テストで、60点以上を合格とする。（授業での小テストなどを参考点に含む） 履修目標との対応：① ② ③ ④ ⑤ 授業後に小テストを行い、総合評価の一部として評価する。
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：浅野。吉山：「看護のための臨床病態学」南山堂 授業における配布資料
実務経験のある教員による授業	
オフィスアワー・連絡先	質問は授業終了後、受け付けます。
備考	

講義科目名称： 症候論Ⅱ　　授業コード： 25F204

英文科目名称： Symptomatology Ⅱ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年	２単位	必修
担当教員			
阿部　裕之			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	看護の専門的知識・ 技術(及ひ゛倫理的態度)に基つ゛き、多様な健康課題をアセス メントし、計画的に看護を践すること か゛て゛きる。
履修条件	
授業概要	看護の実践では、日々、患者からのさまざまな訴えや症候から、それらの原因や関連する因子を推察し対処することが、非常に大切です。診断された疾患の患者を看る場合でも、患者の心身の異常を示す種々の症候についての発生機序、病態および病因論を学び、その患者への適切な検査･治療に結びつけることが可能になります。症候論Ⅱでは循環器系、外傷・整形外科疾患、皮膚疾患、眼科・耳鼻科・感染症・内分泌系疾患における症候について学びます。 症候論を学ぶ上では、生活や人体の形態・機能、病理学の知識が重要となります。各症候を来たす疾患群は多様であり、最初はそれらの疾患名や疾患の特徴などを理解することは難しいですが、復習を行うことで授業と関連づけて理解してください。授業では反復して説明するので、教科書や授業での配布資料での復習を怠らない様にしましょう。
履修目標	①貧血や出血傾向を伴う疾患の症候、病態を理解する ②外傷の病態、整形外科疾患の病態を理解する ③皮膚疾患・耳鼻科疾患の症候や病態を理解する ④感染症とくにウイルス性疾患の発生機序、病態を理解する ⑤内分泌疾患、糖尿病に伴う症候、病態を理解する ⑥循環器疾患に伴う、動悸・息切れ・浮腫・胸痛などの症候と病態を理解する ⑦それぞれの症候に対する代表的疾患の病態と診断について理解する。 ⑧各病態に対する対処や治療について理解する。
授業計画・授業外学修課題	1 動悸・息切れの発生機序と病態 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 2 動悸・息切れを伴い疾患の診断と対処・治療 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 3 心不全に伴う症候の発生機序と病態 その代表疾患の診断と対処・治療 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 4 貧血・出血傾向を伴う疾患の病態 貧血・出血傾向を伴う疾患の診断と対処・治療 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 5 外傷の発症機転と病態および対処・治療 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 6 整形外科疾患における症候とその発生機序・病態 代表的な整形外科疾患の診断と対処・治療 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 7 皮膚疾患における症候、その発生機序と病態 代表的な皮膚疾患の診断と対処・治療 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 8 浮腫の発生機序と病態 浮腫を来たす代表的疾患の診断と対処・治療 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 9 難聴・耳痛・嗄声などの症候をきたす耳鼻科疾患の発生機序と病態 難聴・耳痛・嗄声など来たす代表的疾患の診断と対処・治療 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 10 視力障害、視野欠損、眼痛などの症候を来たす眼科疾患の発生機序と病態 視力障害、視野欠損、眼痛などの症候を来たす代表的疾患の診断と対処・治療 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 11 ウイルス性疾患（インフルエンザ、新型コロナ、麻疹など）の発生機序と病態 それらの疾患に対する診断と対処（予防）・治療 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 12 ウイルス性疾患（ウイルス性肝炎、HIV、HPV感染など）の発生機序と病態 それらの疾患に対する診断と対処（予防）・治療 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 13 糖尿病に伴う症候の発生機序と病態 糖尿病の診断、対処・診断および合併症 授業外事前学修課題：課題内容（時間）

	授業外事後学修課題：課題内容（時間） 14 内分泌疾患に伴う症候の発生機序と病態 その代表的疾患の診断、対処・治療 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 15 胸痛の発生機序 胸痛を来たす代表的疾患の病態と診断、その対処・治療 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）
アクティブラーニングを用いた授業方法	
課題のフィードバック方法と時期	
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：100% 評価基準：多肢選択テストで、60点以上を合格とする。 履修目標との対応：① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ 授業後に小テストを行い、総合評価の一部として評価する。
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：浅野。吉山：「看護のための臨床病態学」南山堂 授業における配布資料
実務経験のある教員による授業	
オフィスアワー・連絡先	質問は授業終了後、受け付けます。
備考	

講義科目名称： 症候論Ⅲ　　授業コード： 25F205

英文科目名称： Symptomatology Ⅲ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	２年	２単位	必修
担当教員			
阿部　裕之			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	看護の専門的知識・ 技術(及ひ゛倫理的態度)に基つ゛き、多様な健康課題をアセス メントし、計画的に看護を践すること か゛て゛きる。
履修条件	
授業概要	看護の実践では、日々、患者からのさまざまな訴えや症候から、それらの原因や関連する因子を推察し対処することが、非常に大切です。診断された疾患の患者を看る場合でも、患者の心身の異常を示す種々の症候についての発生機序、病態および病因論を学び、その患者への適切な検査･治療に結びつけることが可能になります。症候論IIIでは自己免疫疾患、脳神経疾患、ショック・脱水・暑熱障害、血管系疾患における症候について学びます。 症候論を学ぶ上では、生活や人体の形態・機能、病理学の知識が重要となります。各症候を来たす疾患群は多様であり、最初はそれらの疾患名や疾患の特徴などを理解することは難しいですが、復習を行うことで授業と関連づけて理解してください。授業では反復して説明するので、教科書や授業での配布資料での復習を怠らない様にしましょう。
履修目標	①自己免疫疾患（膠原病）の病因・病態について理解する。 ②めまい・意識障害・痙攣・麻痺などの脳神経疾患による症候、病因・病態について理解する。 ③ショック、脱水症、暑熱障害、熱傷における病態、対処・治療について理解する。 ④血管疾患（動脈系・静脈系）における疾患の症候や病態について理解する。 ⑤それぞれの症候に対する代表的疾患の病態と診断について理解する。 ⑥各病態に対する対処や治療について理解する。
授業計画・授業外学修課題	1　膠原病の病態、病状と鑑別診断 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 2　疼痛の発生機序と病態、疼痛を伴う疾患の診断と対処・治療 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 3　めまいの発生機序と病態、めまいを伴う疾患の診断と対処・治療 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 4　意識障害の発生機序と病態、意識障害を伴う疾患の種類 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 5　意識障害をきたす疾患の診断と対処・治療 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 6　痙攣発作の発生機序と病態、痙攣発作をきたす疾患の診断と対処・治療 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 7　麻痺の発生機序と麻痺を来たす疾患の病態 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 8　麻痺を伴う疾患の診断と対処・治療 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 9　脳神経の異常による嚥下障害の発生機序と病態 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 10　脳神経障害による嚥下障害を来たす疾患の診断と対処・治療 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 11　記憶障害、認知障害の発生機序と病態、その診断と対処・治療 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 12　ショック、脱水症の発生機序と病態。 ショック、脱水症をきたす疾患の診断と対処・治療 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 13　暑熱障害、熱傷の発生機序と病態 暑熱障害、熱傷に対する対処・治療 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 14　大血管疾患に伴う症候（胸痛・腹痛など）の発生機序と病態大血管疾患の診断と対処・治療 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）

	15　　末梢血管疾患に伴う症候の発生機序と病態 末梢血管疾患の診断と対処・治療 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）
アクティブラーニングを用いた授業方法	
課題のフィードバック方法と時期	
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：100% 評価基準：多肢選択テストで、60点以上を合格とする。 履修目標との対応：① ② ③ ④ ⑤ ⑥ 授業後に小テストを行い、総合評価の一部として評価する。
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：浅野。吉山：「看護のための臨床病態学」南山堂 授業における配布資料
実務経験のある教員による授業	
オフィスアワー・連絡先	質問は授業終了後、受け付けます。
備考	

講義科目名称： 公衆衛生学　　授業コード： 25F301

英文科目名称： Public Health

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	２単位	必修
担当教員			
大久保　茂子			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	１．看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。 ２．臨床場面や状況への関心をもち、看護実践の内省を通して、臨床判断能力を研鑽することができる。 ５．地域社会の動向を踏まえて、関連情報を活用し、創造的に看護を発展させることができる。
履修条件	特になし
授業概要	人々の健康の保持・増進を目的に地域や職場、環境分野等で組織的に進められている公衆衛生活動の現状と課題、公衆衛生活動の基盤になっている基本的概念について学ぶ。また、健康に影響を及ぼす多くの環境因子や地域・国・国際的な保健活動の組織的取り組みについて学修することで医療人としての広い視野を身につけることを目的とする。
履修目標	①予防医学、環境医学、社会医学を要素とする公衆衛生学の意義を説明できる。 ②産業保健の目的、意義、位置づけについて説明できる。 ③学校保健安全法及び学校保健統計および母子保健法及び母子保健統計の現状を踏まえて説明できる。 ④精神保健福祉、難病対策の意義と、わが国における仕組みと現状について、その概要を説明できる。 ⑤感染症の現状と大気環境と健康への影響を説明できる。 ⑥成人・高齢者における健康問題とそれに対する施策について説明できる。 ⑦衛生統計の種類と意義を述べ、主要なものについてわが国の現状と国際比較を説明できる。
授業計画・授業外学修課題	1　公衆衛生学概論 対面講義。Google classroomでの小テスト。 公衆衛生学序論、健康の定義、公衆衛生の歴史、プライマリヘルスケア・ヘルスプロモーションについて学修する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間）教科書を熟読し、不明な用語を調べておく（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）小テストに解答する。授業内の内容を復習し、要点を自分用のノートにまとめる。（９０分） 2　疫学概論 Google classroomでのオンデマンド講義。Google classroomでの小テスト。 疫学の概論、疾病頻度の指標について学修する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間）教科書を熟読し、不明な用語を調べておく（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）小テストに解答する。授業内の内容を復習し、要点を自分用のノートにまとめる。（９０分） 3　地域保健 Google classroomでのオンデマンド講義。Google classroomでの小テスト。 地域保健法、保健所・保健センターの役割、医療サービスについて学修する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間）教科書を熟読し、不明な用語を調べておく（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）小テストに解答する。授業内の内容を復習し、要点を自分用のノートにまとめる。（９０分） 4　産業保健 Google classroomでのオンデマンド講義。Google classroomでの小テスト。 職業性疾病、産業保健の意義、労働衛生の三管理について学修する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間）教科書を熟読し、不明な用語を調べておく（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）小テストに解答する。授業内の内容を復習し、要点を自分用のノートにまとめる。（９０分） 5　第1～4回のまとめ Google classroomでのオンデマンド講義。Google classroomでの小テスト。 第1～4回のまとめを実施する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間）教科書を熟読し、不明な用語を調べておく（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）小テストに解答する。授業内の内容を復習し、要点を自分用のノートにまとめる。（９０分） 6　母子保健 Google classroomでのオンデマンド講義。Google classroomでの小テスト。

		母子保健統計、母子保健法、健やか親子21、母体保護について学修する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間）教科書を熟読し、不明な用語を調べておく（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）小テストに解答する。授業内の内容を復習し、要点を自分用のノートにまとめる。（９０分）
	7	学校保健 Google classroomでのオンデマンド講義。Google classroomでの小テスト。 学校保健行政、学校保健安全法、健康診断、学校感染症について学修する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間）教科書を熟読し、不明な用語を調べておく（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）小テストに解答する。授業内の内容を復習し、要点を自分用のノートにまとめる。（９０分）
	8	精神保健 Google classroomでのオンデマンド講義。Google classroomでの小テスト。 精神保健福祉法、心身喪失者等医療観察法について学修する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間）教科書を熟読し、不明な用語を調べておく（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）小テストに解答する。授業内の内容を復習し、要点を自分用のノートにまとめる。（９０分）
	9	感染症とその予防対策 Google classroomでのオンデマンド講義。Google classroomでの小テスト。 感染症の成立要因、流行、予防の基本について学修する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間）教科書を熟読し、不明な用語を調べておく（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）小テストに解答する。授業内の内容を復習し、要点を自分用のノートにまとめる。（９０分）
	10	第6～9回のまとめ Google classroomでのオンデマンド講義。Google classroomでの小テスト。 第6～9回のまとめを実施する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間）教科書を熟読し、不明な用語を調べておく（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）小テストに解答する。授業内の内容を復習し、要点を自分用のノートにまとめる。（９０分）
	11	環境保健 Google classroomでのオンデマンド講義。Google classroomでの小テスト。 環境と健康、生活とのつながり、地球規模の環境問題とその対策、身の回りの環境と健康について学修する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間）教科書を熟読し、不明な用語を調べておく（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）小テストに解答する。授業内の内容を復習し、要点を自分用のノートにまとめる。（９０分）
	12	成人保健・高齢者保健 Google classroomでのオンデマンド講義。Google classroomでの小テスト。 疾病予防の具体的な対策例、健康日本21の基本方針、がん対策基本法の基本的施策、認知症施策について学修する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間）教科書を熟読し、不明な用語を調べておく（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）小テストに解答する。授業内の内容を復習し、要点を自分用のノートにまとめる。（９０分）
	13	災害保健・国際保健 Google classroomでのオンデマンド講義。Google classroomでの小テスト。 災害時の保健師の活動、国際保健活動について学修する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間）教科書を熟読し、不明な用語を調べておく（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）小テストに解答する。授業内の内容を復習し、要点を自分用のノートにまとめる。（９０分）
	14	第11～13回のまとめ Google classroomでのオンデマンド講義。Google classroomでの小テスト。 第11～13回のまとめを実施する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間）教科書を熟読し、不明な用語を調べておく（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）小テストに解答する。授業内の内容を復習し、要点を自分用のノートにまとめる。（９０分）
	15	第1～14回の総まとめ 対面講義。Google classroomでの小テスト。 これまでの全講義の内容の総まとめを実施する。 これまでの講義資料を持参すること。 授業外事前学修課題：課題内容（時間）教科書を熟読し、不明な用語を調べておく（９０分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）小テストに解答する。授業内の内容を復習し、要点を自分用のノートにまとめる。（９０分）

アクティブラーニングを用いた授業方法	特になし
課題のフィードバック方法と時期	講義後の小テストに関する質疑応答に関する回答やフィードバックについては、次のまとめの授業時に行います
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：講義後の小テスト 評価割合：30% 評価基準：授業で学んだことを理解できれば60点 履修目標との対応：①-⑦ 評価方法：筆記試験 評価割合：70% 評価基準：授業で学んだことを理解できれば60点 履修目標との対応：①-⑦
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	系統看護学講座 専門基礎分野　健康支援と社会保障制度[2]公衆衛生第15版　神馬征峰ら　医学書院　2024年 978-4-260-05312-9
実務経験のある教員による授業	担当教員は疫学・公衆衛生学の研究者であり、実際の保健・医療現場での活用を基に実践的な指導を行う。
オフィスアワー・連絡先	質問は講義終了直後に直接担当教員に行うこと。もしくはリフレクションペーパーに質問内容を記載する。 メールでの質問も受け付ける。
備考	本科目は対面講義とオンデマンド講義(Google classroom)のハイブリッドで実施いたします。 第1回の講義日までに、事務課より提示されたGoogle classroomに必ず入室しておくこと。 欠席などの扱いについて 全ての講義でGoogle classroom上で提示される小テストを、期限内に解答することで出席とみなします。 期限に遅れての提出・未提出は欠席となりますので十分注意してください。 講義形式 第1回、第15回講義：対面（学内講義室で実施） 第2回～第14回講義：Google classroomにてオンデマンド講義 第1回の講義(対面)で本科目の形式について詳細な説明をします。必ず出席すること。

講義科目名称： 保健統計学　　授業コード： 25F302

英文科目名称： Health Statistics

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	２年	２単位	必修
担当教員			
諸星　北人			
講義			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	「健康や疾病に関する保健医療情報の収集・分析・解釈の仕方を学習し、対策・活動といった応用に至るまでの過程について学び、多様な健康課題を把握し、科学的根拠に基づく看護の実践に繋がる思考力を身につけること」で、臨床場面や状況への関心をもち、看護実践の内省を通して、臨床判断能力を研鑽することができる。 「保健統計の基盤となる疫学的思考および主要な統計分析について学び、保健統計学の有用性を理解し、また、保健統計の代表的な調査および保健医療情報に関連する法令を学習すること」で、地域社会の動向を踏まえて、関連情報を活用し、創造的に看護を発展させることができる。
履修条件	特になし
授業概要	保健統計の基盤となる疫学的思考および主要な統計分析について学び、保健統計学の有用性を理解する。また、保健統計の代表的な調査を学習し、保健医療情報に関連する法令等を通じて、情報を適切に取り扱う重要性を理解する。健康や疾病に関する保健医療情報の収集・分析・解釈の仕方を学習し、対策・活動といった応用に至るまでの過程について学び、多様な健康課題を把握し、科学的根拠に基づく看護の実践に繋がる思考力を身につけることを目的とする。
履修目標	①保健統計学に関する統計分析について、概要を説明できる。 ②主要な保健統計指標と調査を説明できる。 ③主要な保健統計指標値の最近の傾向を説明できる。 ④データの情報の収集、分析、解釈について説明することができる。 ⑤保健医療情報を適切に取り扱う重要性を説明できる。 ⑥保健統計学の保健・医療現場における活用実例を述べることができる。
授業計画・授業外学修課題	1　保健統計学概論 / 講義・小テスト 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指定テキストの該当部分である第1章を熟読する（1.5時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で学んだことの復習を行い、適宜、指定テキストで該当する問題を解く（1.5時間） 2　保健統計学と疫学・統計分析① / 講義・小テスト 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指定テキストの該当部分である第2章1.～6.を熟読する（1.5時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で学んだことの復習を行い、適宜、指定テキストで該当する問題を解く（1.5時間） 3　保健統計学と疫学・統計分析② / 講義・小テスト 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指定テキストの該当部分である第2章7.～12.を熟読する（1.5時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で学んだことの復習を行い、適宜、指定テキストで該当する問題を解く（1.5時間） 4　第1～3回授業のまとめ / アクティブラーニング・講義・小テスト 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 第1～3回までの指定テキストの該当部分と授業資料を熟読する（1.5時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で学んだことの復習を行う（1.5時間） 5　データの情報の収集、分析、解釈① / 講義・小テスト 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指定テキストの該当部分である第7章1.～5.を熟読する（1.5時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で学んだことの復習を行い、適宜、指定テキストで該当する問題を解く（1.5時間） 6　データの情報の収集、分析、解釈② / 講義・小テスト 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指定テキストの該当部分である第7章6.～10.を熟読する（1.5時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で学んだことの復習を行い、適宜、指定テキストで該当する問題を解く（1.5時間） 7　保健統計指標と調査① / 講義・小テスト 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指定テキストの該当部分である第3章を熟読する（1.5時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で学んだことの復習を行い、適宜、指定テキストで該当する問題を解く（1.5時間） 8　保健統計指標と調査② / 講義・小テスト 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指定テキストの該当部分である第4章を熟読する（1.5時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で学んだことの復習を行い、適宜、指定テキストで該当する問題を解く（1.5時間） 9　第5～8回授業のまとめ / アクティブラーニング・講義・小テスト 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 第5～8回までの指定テキストの該当部分と授業資料を熟読する（1.5時間）

	授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で学んだことの復習を行う（1.5時間） 10 保健医療情報の処理と関連する法令等① / 講義・小テスト 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 情報リテラシー・ヘルスリテラシー・情報モラル・引用をキーワードに検索・情報収集をする（1.5時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で学んだことの復習を行う（1.5時間） 11 保健医療情報の処理と関連する法令等② / 講義・小テスト 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 個人情報・診療記録をキーワードに検索・情報収集をする（1.5時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で学んだことの復習を行う（1.5時間） 12 保健統計学の実例① / 講義・小テスト 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指定テキストの該当部分である第5章を熟読する（1.5時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で学んだことの復習を行い、適宜、指定テキストで該当する問題を解く（1.5時間） 13 保健統計学の実例② 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指定テキストの該当部分である第6章を熟読する（1.5時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で学んだことの復習を行い、適宜、指定テキストで該当する問題を解く（1.5時間） 14 第10～13回授業のまとめ / アクティブラーニング・講義・小テスト 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 第10～13回までの指定テキストの該当部分と授業資料を熟読する（1.5時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で学んだことの復習を行う（1.5時間） 15 第1～14回授業のまとめ / 講義・小テスト 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 第1～14回までの指定テキストの該当部分と授業資料を熟読する（1.5時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で学んだことの復習を行う（1.5時間）
アクティブラーニングを用いた授業方法	講義が中心であるが、少人数グループで個人およびグループワークやディスカッションを行う授業回もある。
課題のフィードバック方法と時期	各授業の最後に、課題としてGoogleフォームで作成した小テストへの回答・提出を求める。フィードバックは、Googleフォーム送信後に自動的に発表される解答集（フィードバック）に加え、次回授業の冒頭で行う。ただし、最終授業の課題に対するフィードバックは、Googleフォーム送信後に自動的に発表される解答集（フィードバック）のみとなる。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：小テスト 評価割合：40% 評価基準：授業で学んだことを理解できれば60点。 履修目標との対応：①　②　③　④　⑤　⑥ 評価方法：筆記試験 評価割合：60% 評価基準：授業で学んだことを理解できれば60点。 履修目標との対応：①　②　③　④　⑤　⑥
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：南山堂「楽しく学べる！看護学生のための疫学・保健統計 改訂4版」浅野嘉延著　2023年9月発行 ISBN 978-4-525-05344-4 参考文献：必要に応じて適宜紹介
実務経験のある教員による授業	担当教員は統計学を用いて臨床疫学の研究をする医師であり、実経験も基に保健・医療現場での実践と活用を目指した授業を行う。
オフィスアワー・連絡先	質問は、各授業の課題であるGoogleフォームでの小テスト内に設けた自由記載欄へ記載する。全体へ共有すべき内容の質問と判断した際は、次回の授業内でフィードバックをする場合がある。対面授業回の際は、授業終了直後に担当教員へ直接質問をしても構わない。その他、何かある場合は、件名に学籍番号と氏名を明記の上、講義資料に掲載された担当教員メールアドレスまで連絡をすること。
備考	授業の録音・録画、授業資料の無断転載は不可。

講義科目名称： 疫学　　授業コード： 25F303

英文科目名称： Epidemiology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	２年	２単位	選択
担当教員			
山口　智美/看護学部　田　啓樹			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	2.臨床場面や状況への関心をもち、看護実践への内省を通して、臨床判断能力を研鑽することができる。 5. 地域社会の動向を踏まえて、関連情報を活用し、創造的に看護を発展させることが出来る。
履修条件	公衆衛生看護学概論の単位を取得していること
授業概要	人間集団の疾病及び健康事象の発生状況を把握し、疫学的思考及び方法を通して、それらに影響を及ぼしている要因や条件を包括的に探る方策を学修する。また、様々なレベルで実施されている保健活動の基盤となっている疫学研究の効果を理解し、健康教育の根拠を評価できる力を習得する。
履修目標	①疫学の基本的な理論と方法を述べることができる。 ②医療データの収集・分析・解釈について説明することができる。 ③疫学で用いられる指標・疾病の因果関係・疫学的デザインについて説明することができる。 ④スクリーニング検査の意義や結果の解釈をすることができる。 ⑤疫学の保健医療現場における活用事例を述べることができる。
授業計画・授業外学修課題	1　疫学概論 授業外事前学修課題：課題内容（時間）　講義、小テスト、指定テキストの該当部分を熟読する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）　授業で学修したことの復習を行う（90分） 2　疫学で用いられる指標① 授業外事前学修課題：課題内容（時間）　講義、小テスト、指定テキストの該当部分を熟読する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）　授業で学修したことの復習を行う（90分） 3　疫学で用いられる指標② 授業外事前学修課題：課題内容（時間）　講義、小テスト、指定テキストの該当部分を熟読する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）　授業で学修したことの復習を行う（90分） 4　疫学研究方法 授業外事前学修課題：課題内容（時間）　講義、小テスト、指定テキストの該当部分を熟読する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）　授業で学修したことの復習を行う（90分） 5　疫学における誤差 授業外事前学修課題：課題内容（時間）　講義、小テスト、指定テキストの該当部分を熟読する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）　授業で学修したことの復習を行う（90分） 6　スクリーニング 授業外事前学修課題：課題内容（時間）　講義、小テスト、指定テキストの該当部分を熟読する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）　授業で学修したことの復習を行う（90分） 7　保健統計調査 授業外事前学修課題：課題内容（時間）　講義、小テスト、指定テキストの該当部分を熟読する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）　授業で学修したことの復習を行う（90分） 8　主な疾患の疫学 授業外事前学修課題：課題内容（時間）　講義、小テスト、指定テキストの該当部分を熟読する（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）　授業で学修したことの復習を行う（90分） 9　疫学演習① 配布された演習問題を学生が回答し、他の学生に説明を行う 授業外事前学修課題：配布された問題を解き、解答について説明できるように準備する(90分) 授業外事後学修課題：解答すみの問題を振り返り、わからないことは自分で調べる（90分）） 10　疫学演習② 配布された演習問題を学生が回答し、他の学生に説明を行う 授業外事前学修課題：配布された問題を解き、解答について説明できるように準備する(90分)

	授業外事後学修課題：解答すみの問題を振り返り、わからないことは自分で調べる（90分） 11　疫学演習③ 配布された演習問題を学生が回答し、他の学生に説明を行う 授業外事前学修課題：配布された問題を解き、解答について説明できるように準備する(90分) 授業外事後学修課題：解答すみの問題を振り返り、わからないことは自分で調べる（90分） 12　疫学演習④ 配布された演習問題を学生が回答し、他の学生に説明を行う 授業外事前学修課題：配布された問題を解き、解答について説明できるように準備する(90分) 授業外事後学修課題：解答すみの問題を振り返り、わからないことは自分で調べる（90分） 13　疫学演習⑤ 配布された演習問題を学生が回答し、他の学生に説明を行う 授業外事前学修課題：配布された問題を解き、解答について説明できるように準備する(90分) 授業外事後学修課題：解答すみの問題を振り返り、わからないことは自分で調べる（90分） 14　疫学演習⑥ 配布された演習問題を学生が回答し、他の学生に説明を行う 授業外事前学修課題：配布された問題を解き、解答について説明できるように準備する(90分) 授業外事後学修課題：解答すみの問題を振り返り、わからないことは自分で調べる（90分） 15　.疫学演習の.まとめ 第9回～14回で取り組んだ演習問題でわからないことを明らかにし、再度、学習する。 授業外事前学修課題：第9回～14回での演習問題を振り返り、理解不足の内容を明らかにする（90分） 授業外事後学修課題：学習した内容を整理し、まとめる（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	9-15回の演習は、問題の回答を学生から説明してもらう。
課題のフィードバック方法と時期	各授業後に小テストを行います。小テストの解説は次の授業の冒頭で行います。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：80% 評価基準：授業で学修したことを理解できれば60点 履修目標との対応：　①-⑤ 評価方法：小テスト 評価割合：20% 評価基準：各授業で学修したことを理解できれば60点 履修目標との対応：　①-⑤
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：南山堂　『楽しく学べる看護学生のための疫学・保健統計』　浅野嘉延　著 ISBN　978-4-525-05344-4
実務経験のある教員による授業	担当教員の一部は医師、産業医、疫学・公衆衛生学の研究者であり、その経験を活かして、実際の保健・医療現場での活用を基に実践的な指導を行う。 演習（9～15回）を担当する教員は保健師経験や公衆衛生看護学研究の経験を活かした演習を行う。
オフィスアワー・連絡先	hden@soei.ac.jp　（田　啓樹メールアドレス） tyamaguchi@soei.ac.jp(山口智美メールアドレス）授業日の昼休み
備考	

講義科目名称： 保健医療福祉行政論Ⅰ　　授業コード： 25F305

英文科目名称： Health and Welfare AdministrationⅠ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	２単位	必修
担当教員			
山口　智美/看護学部　久保木　紀子/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	臨床場面や状況への関心をもち、看護実践の内省を通して、臨床判断能力を研鑽することができる 保健医療福祉チームの中で協働・連携し、自らの役割を果たすことができる。 地域社会の動向を踏まえて、関連情報を活用し、創造的に看護をはてんさせることができる。
履修条件	特になし
授業概要	生存権に基づく社会保障の理念および体系、保健医療福祉行政の基本及び行政・財政の仕組みについての基本的なこと、保健医療福祉における各分野の制度の仕組みと機能・対策の実際や動向について理解する。看護職として、生活者の健康な生活維持に関する諸法律と制度の関係についても学ぶ。
履修目標	①社会保障の理念及び体系について説明できる。 ②保健医療福祉行政の基本、理念と目標について理解し，説明できる。 ③保健医療福祉における各分野の制度の仕組みと機能、対策、保健活動の実際や動向について説明できる。 ④住民の健康な生活を支え，健康な地域づくりをすすめるための制度と活用方法を説明できる。
授業計画・授業外学修課題	1　社会保障制度 1.社会保障の概念・目的・機能・体系，　社会保障の内容，社会保障給付費等 2.現代社会と社会保障・社会福祉の動向 授業外事前学修課題：教科書の授業内容の部分を読みむ。（60分） 授業外事後学修課題：授業内容についてまとめる。課題について取り組む（120分） 2　医療供給体制，社会保険制度，医療保険制度 1.医療提供体制：医療法、医療計画，各医療の対策の動向 2.社会保険制度：社会保険とは、社会保険の5分野、国民皆保険， 3.医療保険制度：医療保険制度とは，医療保険制度のあゆみ，医療保険制度の概要と現状，診療報酬， 公費医療，国民医療費 授業外事前学修課題：教科書の授業内容の部分を読みむ。（60分） 授業外事後学修課題：授業内容についてまとめる。課題について取り組む（120分） 3　介護保険制度，年金制度等 1.介護保険制度等：介護保険制度の趣旨，介護保険制度改正の経緯，介護保険制度の概要.医療介護総合福祉法 2.年金制度・社会手当 授業外事前学修課題：教科書の授業内容の部分を読みむ。（60分） 授業外事後学修課題：授業内容についてまとめる。課題について取り組む（120分） 4　社会福祉と公的扶助 1.社会福祉の法制度：社会福祉制度の歴史的展開，社会福祉サービス内容と提供のしくみ，社会福祉法、 民生委員法　等 2.公的扶助：貧困・低所得問題と公的扶助制度，生活保護制度、低所得者対策，近年の動向 授業外事前学修課題：教科書の授業内容の部分を読みむ。（60分） 授業外事後学修課題：授業内容についてまとめる。課題について取り組む（120分） 5　看護職に関する法と医療や社会福祉に関連職にj関する法 1.看護職に関する法：保健師助産師看護師法 、看護師等の人材確保の促進に関する法律：目的、基本方針，ナースセンター 2..医療や社会福祉の関連職に関する法 医師法，歯科医師法，薬剤師法，診療放射線技師法，臨床検査技師等に関する法律、理学療法士及び作業療法士法，言語聴覚士法、視能訓練士法，社会福祉士及び介護福祉士法、精神保健福祉士法、栄養士法，歯科衛生士法，救急救命士法 授業外事前学修課題：教科書の授業内容の部分を読みむ。（60分） 授業外事後学修課題：授業内容についてまとめる。課題について取り組む（120分） 6　生活習慣病と健康増進対策及び老人保健対策. 1.生活習慣病と健康増進対策：健康増進対策のあゆみ，生活習慣病の概念・現状，地域保健法、健康増進法，健康日本21、高齢者医療確保法 2.老年保健施策：老年保健施策のあゆみ，認知症対策のあゆみ、老人福祉法，高齢者虐待防止法 授業外事前学修課題：教科書の授業内容の部分を読みむ。（60分）

	授業外事後学修課題：授業内容についてまとめる。課題について取り組む（120分） 7 難病対策及びがん対策 1.難病対策：難病対策のあゆみ、難病法　等 2.がん対策：がん対策基本法成立までのあゆみ，がん対策基本法　等 授業外事前学修課題：教科書の授業内容の部分を読みむ。（60分） 授業外事後学修課題：授業内容についてまとめる。課題について取り組む（120分） 8 母子保健対策① 1.母子保健対策のあゆみ，児童福祉法，母子保健法，健やか親子21（第２次） 授業外事前学修課題：教科書の授業内容の部分を読みむ。（60分） 授業外事後学修課題：授業内容についてまとめる。課題について取り組む（120分） 9 母子保健対策② 1.児童虐待防止法、母体保護法，母子及び父子並びに寡婦福祉法、次世代育成支援、少子化対策 授業外事前学修課題：教科書の授業内容の部分を読みむ。（60分） 授業外事後学修課題：授業内容についてまとめる。課題について取り組む（120分） 10 感染症対策 感染症法対策のあゆみ、感染症法による対策，主な感染症等の動向と対策（結核等），予防接種の意義，予防接種法による対策，予防接種の健康被害対策 授業外事前学修課題：教科書の授業内容の部分を読みむ。（60分） 授業外事後学修課題：授業内容についてまとめる。課題について取り組む（120分） 11 障害者（児）に関する制度 障害者(児)対策のあゆみ，障害者基本法，障害者総合支援法，身体障害者福祉法，知的障害者福祉法，障害者雇用促進法，障害者差別解消法、障害者虐待防止法　等 授業外事前学修課題：教科書の授業内容の部分を読みむ。（60分） 授業外事後学修課題：授業内容についてまとめる。課題について取り組む（120分） 12 精神保健対策 精神保健対策のあゆみ，精神障害者の現状，入院制度，精神通院医療，精神保健福祉法，発達障害者支援， アルコール健康障害対策基本法、ギャンブル等依存症対策基本法、DV防止法 授業外事前学修課題：教科書の授業内容の部分を読みむ。（60分） 授業外事後学修課題：授業内容についてまとめる。課題について取り組む（120分） 13 学校保健 学校保健行政の動向，教育基本法、学校保健安全法，学校保健の現状　等 授業外事前学修課題：教科書の授業内容の部分を読みむ。（60分） 授業外事後学修課題：授業内容についてまとめる。課題について取り組む（120分） 14 労働衛生 労働衛生行政のあゆみ，労働基準法、労働安全衛生法、男女雇用機会均等法，育児介護休業法，労働災害補償保険法、雇用保険法 授業外事前学修課題：教科書の授業内容の部分を読みむ。（60分） 授業外事後学修課題：授業内容についてまとめる。課題について取り組む（120分） 15 授業のまとめ 1～14回の学習内容・知識確認テストの振り返り等　※教科書・第1回～第14回の授業資料を必ず持参すること。 授業外事前学修課題：1～14回めの授業資料及び知識確認テストを読み、わからないところを明らかにする。 授業外事後学修課題：授業内容についてまとめる。
アクティブラーニングを用いた授業方法	毎回、授業後、知識確認テストを行い、学生が解答を説明する。
課題のフィードバック方法と時期	学生の解答時に、その解答についての修正・追加説明等を行う。 毎回の授業時にグーグルフォームで学んだことや質問等を確認し、授業後または次回の授業時にフィードバックを行う。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：80％ 評価基準：最終試験.授業で学んだことを理解でき、6割の点数がとれていれば合格 履修目標との対応：①〇、②〇、③〇、④〇、 評価方法：課題レポート 評価割合：20％ 評価基準：課題について指示された内容、指示された書式での作成ができれば6割合格 履修目標との対応：③〇

テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	厚生の指標　増刊　国民衛生の動向2025/2026　厚生労働統計協会，2025
実務経験のある教員による授業	保健師、訪問看護師、病棟師長、退院調整看護師等の経験を活かした授業を行います。
オフィスアワー・連絡先	山口智美：tyamaguchi@soei.ac.jp　火曜日の昼休み 久保木紀子：nkuboki@soei.ac.jp　火曜日に昼休み
備考	事前・事後の学習をしっかりと行うこと 試験の出題範囲は授業中に説明しますので、しっかりとまとめること 30分以上の遅刻は欠席扱いとする。 私語は禁止、離席する場合は教員に報告の上、離席すること 課題は〆切日時までに必ず提出すること 授業資料はポートフォーリオとして整理すること

講義科目名称： 保健医療福祉行政論Ⅱ　　授業コード： 25F306

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	４年	２単位	選択
担当教員			
久保木　紀子/看護学部　山口　智美/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	3.専門的知識・技術(及び倫理的)に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護実践することができる。 4.保健医療福祉チームの中で協働・連携し、自らの役割を果たすことができる。 5.地域社会の動向を踏まえて、関連情報を活用し、創造的に看護を発展させることができる。
履修条件	４年次前期までに修得すべき必修科目及び保健師課程の必修科目の単位の修得および公衆衛生看護技術演習を履修していること。
授業概要	すべての人々が住み慣れた地域でQOL の高い暮らしの継続できるために、地域診断に基づいた健康課題等の解決のために、 社会的変化を把握しながら、多様な専門職や地域住民と協働し、地域の健康水準を高める事業化、施策化、社会資源の開発、システム化を実践していく基本的技術を学ぶ。
履修目標	①地方公共団体における保健計画の策定(施策化) について説明できる。 ②事業計画の策定（事業化）について説明で ③健康課題の背景を分析し、法令等に基づいた健康課題解決のための事業計画の策定(評価含) ができる ④保健医療福祉行政の施策化・事業化における保健師の役割について説明できる。
授業計画・授業外学修課題	1　保健計画の策定：施策化（山口） 地方公共団体における保健計画の位置づけ、保健計画の意義、保健計画に必要な要素、保健計画の策定のプロセス事業計画の策定と実践（事業化） 授業外事前学修課題：学修内容の教科書を読み、わからないところを調べる(90分) 授業外事後学修課題：学修した内容のノートを整理する。課題がある場合は、課題に取り組む(90分) 2　保健計画の策定：施策化（山口） 地方公共団体における保健計画の位置づけ、保健計画の意義、保健計画に必要な要素、保健計画の策定のプロセス事業計画の策定と実践（事業化） 授業外事前学修課題：学修内容の教科書を読み、わからないところを調べる(90分) 授業外事後学修課題：学修した内容のノートを整理する。横浜市及び川崎市の地域保健計画を調べる(90分) 3　健康課題の背景分析（久保木） 実習地域の健康課題の背景の分析 授業外事前学修課題：担当の健康課題の背景を調べてくる（120分） 授業外事後学修課題：担当の健康課題の背景を見直し、修正する（60分） 4　健康課題の背景分析（久保木） 実習地域の健康課題の背景の分析 授業外事前学修課題：担当の健康課題の背景を調べてくる（120分） 授業外事後学修課題：担当の健康課題の背景を見直し、修正する（60分） 5　社会保障制度の検討（久保木） 健康課題解決のために利用できる法律・制度・社会資源等の検討① 授業外事前学修課題：健康課題解決のために緑区で実施されている健康課題に関連する事業を調べる（120分） 授業外事後学修課題：健康課題解決のために実施されている健康課題に関連する事業名・対象・事業内容・ 実施方法・実施状況、保健計画等との関係を把握し、評価を行い、不足している事業を 考える（60分） 6　社会保障制度の検討（久保木） 健康課題解決のために利用できる法律・制度・社会資源等の検討② 授業外事前学修課題：健康課題解決のために緑区で実施されている健康課題に関連する事業を調べる（60分） 授業外事後学修課題：健康課題解決のために実施されている健康課題に関連する事業名・対象・事業内容・ 実施方法・実施状況、保健計画等との関係を把握し、評価を行い、不足している事業を 考える。プレゼンテーションの準備をする　(120分) 7　中間発表（山口　久保木） プレゼンテーション（健康課題の背景分析、解決のために利用できる法律・制度について） 授業外事前学修課題：プレゼンテーションの準備をする(90分) 授業外事後学修課題：　健康課題の背景分析、解決のために利用できる法律・制度について不足部分を

	追加する（90分） 8　担当地域での分析（久保木） 健康課題解決のために実習区で実施されている事業の事業名・対象・事業内容・方法・実施状況、保健計画との関係を調べ、評価する。 授業外事前学修課題：健康課題解決のために横浜市や緑区で実施されている事業について不足していた内容を 調べる（120分） 授業外事後学修課題：健康課題解決のために実施されているすべての事業名・対象・事業内容・実施方法・ 実施状況、保健計画等との関係を把握し、評価を行い、不足している事業を考える （60分） 9　健康課題解決のための分析（久保木） 健康課題解決のために実施されている事業の把握 ① 授業外事前学修課題：健康課題解決のために利用できる法律・制度を調べる（90分） 授業後事後学修課題：健康課題解決のために利用できる法律・制度について整理する(90分) 10　健康課題解決のための分析（久保木） 健康課題(母子、成人、高齢者、障害者、難病、感染症）解決のために実施されている事業の把握 ② [GW] 授業外事前学修課題：健康課題解決のために利用できる法律・制度を調べる（90分） 授業外事後学修課題：健康課題解決のために利用できる法律・制度について整理する(90分) 11　健康課題解決のための事業化（久保木） 健康課題解決のための事業計画の策定(事業化）①　[GW] 授業外事前学修課題：事業計画を見直し、修正する（90分） 授業外事後学修課題：作成した事業計画を見直し、修正する（90分） 12　健康課題解決のための事業化（久保木） 健康課題解決のための事業計画の策定(事業化）②[GW] 授業外事前学修課題：事業計画を見直し、修正する（90分） 授業外事後学修課題：作成した事業計画を見直し、修正する（90分） 13　健康課題解決のための事業化（久保木） 健康課題解決のための事業計画の策定（事業化）③[GW] 授業外事前学修課題：事業計画を見直し、修正する（90分） 授業外事後学修課題：作成した事業計画を見直し、修正する（90分） 14　健康課題解決のための事業計画の発表（山口　久保木） 健康課題解決のための事業計画のプレゼンテーション ディスカッション、振り返り 授業外事前学修課題：プレゼンテーション資料の作成、発表準備をする（90分） 授業外事後学修課題：事業計画を修正する（90分） 15　健康課題解決のための事業計画の評価およびブラッシュアップ（山口　久保木） 健康課題解決のための事業計画の評価とブラッシュアップを行う。 授業外事前学修課題：事業計画を評価し修正する（120分） 授業後事後学修課題：事業計画をブラッシュアップする（120分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワークおよびプレゼンテーション
課題のフィードバック方法と時期	クラスルームで学んだことについて内容を確認し、フィードバックを行う。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	1.レポート試験　※評価内容は適宜ルーブリックを配布 健康課題の背景が分析から事業目的を設定しているか:20% 事業目的達成のための対象やプログラム等になっているか:20% 事業評価の項目が入っているか: 10% 学修到達目標：①②③④ 2.成果発表　※評価内容は適宜ルーブリックを配布 発表準備（配布資料・発表内容等）ができているか：10%・指示された内容を発表しているか:30%・発表は分りやすくでき たか:10%・発表に積極的に参加いているか:10% 学修到達目標：③④
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト: 既習の「保健医療福祉行政論Ⅰ」「公衆衛生看護学概論」「健康生活支援論Ⅰ」「公衆衛生看護活動論」のテキスト及び授業資料を参照する。 法律は、e-GOV法令検索(https://elaws.e-gov.go.jp/)で調べること。
実務経験のある教員による授業	行政保健師の経験を活かして授業を行います。
オフィスアワー・連絡先	久保木紀子：nkuboki@soei.ac.jp 山口智美：tyamaguchi@soei.ac.jp オフィスアワー：火曜日のお昼休み（但し、臨地実習で本学に居ない場合があります）
備考	保健師課程必修科目です。事業化・保健計画策定はヘルスプロモーション推進の出発点であり、地域住民が質の高い健康な生活を送るために保健師が行う専門的な技術です。 保健医療福祉行政論・ 公衆衛生看護学概論・健康生活支援論Ⅰ・健康生活支援論Ⅱ・公衆衛生看護学実習Ⅱの学修がベースになります。日々の学修に積極的に取り組んでください。

	受講上の注意 ・３０分以上の遅刻は欠席とみなします。 ・離席をする際は教員に報告すること。 ・私語は慎むこと。

講義科目名称： 看護学原論　　授業コード： 25G101

英文科目名称： Fundamentals of Nursing

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	２単位	必修
担当教員			
鈴木　恵/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	１．看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる ２．臨床場面や状況への関心を持ち、看護実践の内省を通して、臨床判断能力を研鑽することができる ３．保健医療福祉チームの中で協働・連携し、自らの役割を果たすことができる
履修条件	特になし
授業概要	看護学の基本概念である人間・健康・環境・看護の概念、看護の歴史的変遷、および看護理論を学び、看護の本質および看護独自の役割を探究する。また看護実践に関連する法律や倫理、方法論を学び、保健医療福祉の専門職として人々の健康に資する役割を理解する。さらに、人間を統合された存在として理解し、人間の尊厳の重視や人権の擁護など、人として看護職としての倫理的基盤を培い、豊かな人間性を養う。
履修目標	①看護とは何かを説明できる。 ②看護学の基本概念である人間・健康・環境・看護について説明できる。 ③看護の歴史的変遷を説明できる。 ④看護実践のための理論的根拠や対象との関係形成について説明できる。 ⑤専門職業人としての看護の役割を説明できる。 ⑥看護師としての在り方やケアの本質について説明できる。
授業計画・授業外学修課題	1　科目の導入：看護学原論の進め方、「看護を学ぶ」 授業外事前学修課題：科目の概要と目標をシラバスで確認する（９０分） 授業外事後学修課題：テキストの該当箇所と講義資料を復習し、理解を深める（９０分） 2　看護の対象とその理解 授業外事前学修課題：テキストの該当箇所を読み、要点を整理しておく（９０分） 授業外事後学修課題：テキストの該当箇所と講義資料を復習し、理解を深める（９０分） 3　看護の歴史と研究 授業外事前学修課題：テキストの該当箇所を読み、要点を整理しておく（９０分） 授業外事後学修課題：テキストの該当箇所と講義資料を復習し、理解を深める（９０分） 4　ナイチンゲール「看護覚え書き」① 授業外事前学修課題：ナイチンゲール「看護覚書」を読み、概要を把握する（９０分） 授業外事後学修課題：事前課題に取り組み、プレゼンテーション資料を作成する（９０分） 5　ナイチンゲール「看護覚え書き」②発表 授業外事前学修課題：プレゼンテーションの準備（９０分） 授業外事後学修課題：発表資料を振り返り学びを深める（９０分） 6　看護理論① 授業外事前学修課題：テキストの該当箇所を読み、要点を整理しておく（９０分） 授業外事後学修課題：テキストの該当箇所と講義資料を復習し、理解を深める（９０分） 7　看護理論② 授業外事前学修課題：テキストの該当箇所を読み、要点を整理しておく（９０分） 授業外事後学修課題：テキストの該当箇所と講義資料を復習し、理解を深める（９０分） 8　看護における観察（演習） 授業外事前学修課題：テキストの該当箇所を読み、要点を整理しておく（９０分） 授業外事後学修課題：テキストの該当箇所と講義資料を復習し、演習レポートに取り組む（９０分） 9　看護過程（Nurisng Process） 授業外事前学修課題：テキストの該当箇所を読み、要点を整理しておく（９０分） 授業外事後学修課題：テキストの該当箇所と講義資料を復習し、理解を深める（９０分） １０　看護における倫理と安全 授業外事前学修課題：テキストの該当箇所を読み、要点を整理しておく（９０分） 授業外事後学修課題：テキストの該当箇所と講義資料を復習し、理解を深める（９０分） 11　国際看護 授業外事前学修課題：テキストの該当箇所を読み、要点を整理しておく（９０分） 授業外事後学修課題：テキストの該当箇所と講義資料を復習し、理解を深める（９０分） １２　看護における法的側面/保健・医療・福祉システム①

	授業外事前学修課題：テキストの該当箇所を読み、要点を整理しておく（９０分） 授業外事後学修課題：レポート課題に取り組む（９０分） １３　ケアの本質①GW 授業外事前学修課題：グループでより良い討議ができるように、課題の要点を整理してくる（９０分） 授業外事後学修課題：課題に取り組み、プレゼンテーション資料を作成する（９０分） １４　ケアの本質②発表 授業外事前学修課題：プレゼンテーションの準備（９０分） 授業外事後学修課題：発表資料を振り返り学びを深める（９０分） 15　まとめ：ケアの本質③ 授業外事前学修課題：テキストの該当箇所を読み、要点を整理しておく（９０分） 授業外事後学修課題：講義資料を復習し、本科目の理解を深める（９０分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク、プレゼンテーション
課題のフィードバック方法と時期	発表・討議後にコメントや説明を加えます。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	レポート・平常点評価５０％　授業時にルーブリックを配布します。 知識確認５０％　看護学原論の全範囲の基礎知識の要点を理解できれば30/50点とする。
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト: 基礎看護学①看護学概論、MCメディカ出版 看護覚え書　第８版　現代社 参考図書（購入の必要はありません）： ミルトン・メイヤロフ：ケアの本質、ゆみる出版 本授業ではGoogle Classroomを作成し、授業内でGoogle formによる出席確認や小テスト、リフレクション等を行います。　通信可能なスマートフォン等のデバイスを必ず持参してください。
実務経験のある教員による授業	看護師としての臨床経験を生かした授業を行います。
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワー：　木曜日12:00-13:00 連絡先：　msuzuki@soei.ac.jp
備考	遅刻・早退・離席があった場合は、30分未満が3回で1回分の欠席、30分以上で欠席とします。

講義科目名称： 対象論　　授業コード： 25G102

英文科目名称： Interpersonal Relations

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	２単位	必修
担当教員			
杉山洋介/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	DP1.看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。 DP2.臨床場面や状況への関心をもち、看護実践の内省を通して、臨床判断能力を研鑽することができる。 DP4.保健医療福祉チームの中で協働・連携し、自らの役割を果たすことができる。
履修条件	なし
授業概要	看護の対象者が、生命現象のなかで生きている存在およびその人らしく生きてゆく存在として、食べる・眠るなどの生活行為を日々営んでいることを理解し、生活者として捉えるための多様で複雑な視点を学ぶ。また、看護におけるコミュニケーションの重要性を理解し、対象者との援助的人間関係を構築するためのコミュニケーションの基礎を学ぶ。また、多職種連携・協働におけるコミュニケーションのあり方も学ぶ。
履修目標	①援助的人間関係について説明することができる。 ②看護の対象を生活者として捉える視点を説明することができる。 ③看護の対象である人々の生活行為とその影響要因について説明することができる。 ④看護の対象者や多職種とのコミュニケーションのあり方について説明することができる。 ⑤自己と他者との関わりを洞察し、自己のコミュニケーションを振り返ることができる。 ⑥自己のコミュニケーションの振り返りから援助的人間関係を構築するための自己の課題を見出すことができる。
授業計画・授業外学修課題	1　看護の「対象」とは何か オリエンテーション（科目概要、学習目標、評価基準） 1）看護の対象者とは何か 授業外事前学修課題：授業概要をシラバスで確認し、疑問点をまとめる（90分） 授業外事後学修課題：看護の対象についての自身の考えをまとめる（90分） 2　生命現象と生活行為の理解 1）生命現象としての「生きる」と「その人らしさ」の概念 2）対象者の基本的生活行為（食事、睡眠など）の意義 授業外事前学修課題：テキストの該当箇所を読み要点をまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：自分と、自分の生活行為の特徴についてまとめる（90分） 3　生活者としての対象者の理解 1）生活環境が対象者に与える影響 2）生活習慣と健康の関連性 授業外事前学修課題：テキストの該当箇所を熟読する（45分）、自分の生活環境についてまとめる（45分） 授業外事後学修課題：生活習慣と健康の関連性についてまとめる（90分） 4　ケーススタディ（生活者の視点での対象者の理解） 1）実例を用いた対象者の生活理解 2）グループディスカッション 授業外事前学修課題：テキストの該当箇所を熟読する（45分）第1～3回授業の総復習を行う（45分） 授業外事後学修課題：ディスカッション内容から自己の考えをまとめる（90分） 5　看護におけるコミュニケーションの意義 1）コミュニケーションの基本理論 2）援助的人間関係の構築 授業外事前学修課題：テキストの該当箇所を読み、要点をまとめる（90分） 授業外事後学修課題：良い援助的人間関係とは何かについて考えをまとめる（90分） 6　対象者との対話技術（1） 1）傾聴の技術 2）相手の感情を理解するスキル 授業外事前学修課題：テキストの該当箇所を熟読する（45分）自分の対話技術について分析する（45分） 授業外事後学修課題：対象理解に必要な自己課題をまとめる（90分）

	7	対象者との対話技術（2） 1）言葉以外のコミュニケーション（非言語的表現） 2）ロールプレイ演習 授業外事前学修課題：テキストの該当箇所を熟読し、言葉以外のコミュニケーションについてまとめる（90分） 授業外事後学修課題：ロールプレイから対象に合わせた言葉以外のコミュニケーションについてまとめる（90分）
	8	中間振り返り 1）学習内容の確認 2）グループワークでの振り返りと共有 授業外事前学修課題：科目前半の総復習（90分） 授業外事後学修課題：振り返り結果での自己の課題に取り組む（90分）
	9	多職種連携の基礎知識 1）医療チームにおける連携と協働の重要性 2）チーム医療における看護師の役割 授業外事前学修課題：テキストの該当箇所を熟読し、医療チーム内の職種についてまとめる（90分） 授業外事後学修課題：チーム医療における看護師の役割をまとめる（90分）
	10	多職種連携におけるコミュニケーション（1） 1）他職種との情報共有の基本 2）アサーティブコミュニケーションの概念 授業外事前学修課題：テキストの該当箇所を熟読し看護の対象と行うコミュニケーションと他職種（医療チーム）と行うコミュニケーションの違いについて自己の考えをまとめる（90分） 授業外事後学修課題：アサーティブコミュニケーションが取れるように練習する（90分）
	11	多職種連携におけるコミュニケーション（2） 1）ケーススタディとシミュレーション演習 2）フィードバックと振り返り 授業外事前学修課題：他職種連携とその中での看護師の役割について復習する（90分） 授業外事後学修課題：事前学習を深めて自己の考えをまとめる（90分）
	12	倫理的視点からの対象者理解 1）看護倫理と対象者理解 2）対象者の意思尊重とその支援 授業外事前学修課題：テキストの該当箇所を読み、要点をまとめる（90分） 授業外事後学修課題：講義で学んだことをまとめる（90分）
	13	看護と文化的背景 1）対象者の文化的・社会的背景を理解する 2）文化的感受性の重要性 授業外事前学修課題：テキストの該当箇所を読み、要点をまとめる（90分） 授業外事後学修課題：講義で学んだことをまとめる（90分）
	14	総合演習 1）対象者理解とコミュニケーションスキルを組み合わせたシミュレーション 2）学生による事例発表とディスカッション 授業外事前学修課題：ここまでに学んだコミュニケーションスキルが実施できるよう練習する（90分） 授業外事後学修課題：ロールプレイの中から、気になった場面を再構成する（90分）
	15	振り返りとまとめ 1）学習内容の総復習 2）学生の気づきの共有 3）科目のまとめと今後の学びへの展望 授業外事前学修課題：科目全体を振り返って気づいたこと、課題をまとめる（90分） 授業外事後学修課題：本科目で学んだことをまとめる（90分
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループディスカッションを積極的に取り入れます。	
課題のフィードバック方法と時期	グループディスカッション内容（記録含む）は、授業内で適宜フィードバックします。 レポートは、評価後に全体にフィードバック、個別フィードバックをします。レポート作成途中でのフィードバックに対応します。	
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法： １．筆記試験　評価割合：70％　評価基準：本科目の要点を回答できれば60％ 履修目標との対応：①②③④⑤⑥ ２．グループディスカッション記録：10％　評価基準：看護場面における自己のコミュニケーションの振り返りが記載されていれば80％	

	履修目標との対応：②③④⑤⑥ ３．レポート　評価割合：20％　評価基準：講義内でルーブリック評価を配布し、説明する 履修目標との対応：①②③④
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	ナーシング・グラフィカ 基礎看護学①看護学概論、MCメディカ出版 系統看護学講座 基礎看護技術I 基礎看護学2 医学書院
実務経験のある教員による授業	看護師としての実務経験を生かした授業を行います。
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワー：火曜日～木曜日の昼休み 上記以外の質問などは事前にアポイントメントをお願いします。 （E-mail: ysugiyama@soei.ac.jp）
備考	授業への主体的な参加を期待しています。グループディスカッションでは積極的に意見交換ができるよう、事前課題を行った上で参加してください。

講義科目名称： 看護学援助論　　授業コード： 25G103

英文科目名称： Basic Nursing of Art and Science

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	２単位	必修
担当教員			
大久保　昭宏/看護学部　本多　和子/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1.　看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。 3.　看護の専門的知識・技術（及び倫理的態度）に基づき、多様な健康課題をアセスメントし計画的に看護を実践することができる。
履修条件	なし
授業概要	看護援助は、環境とのかかわりの中で生きている人間の反応に焦点をあて、自然治癒力や自立、ニーズの充足といった健康を促進するための目的達成的な行為である。このことを踏まえて、対象者の安全な環境を守る・動く・眠る・食べる・排泄する・清潔にするといった生活行為を成立させる心身のメ カニズムを理解し、科学的根拠と対象者の個別性に基づく生活行為への援助を考えるための基礎知識と具体的方法を学ぶ。
履修目標	①看護技術の原則について説明できる。 ②人の生活行為を成立させるメカニズムを説明できる。 ③生活行為の援助が必要な状態を説明できる。 ④生活行為の具体的な援助方法とその根拠を説明できる。 ⑤検査・治療を受ける対象への援助方法とその根拠を説明できる。
授業計画・授業外学修課題	1　看護技術とは何か 看護学援助論科目ガイダンス ナーシングスキルの使用法 看護技術とは何か、生活行為とは何か 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト1「序章」を熟読し、「看護技術」とは何かについて考えをまとめる。(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義資料を振り返り、学びを整理する。(60分)、ナーシングスキルにログインし一連の操作を体験する。(30分) 2　感染防止の技術　安全確保の技術 感染予防の基礎知識 感染予防のための技術 安全確保の基礎知識、事故防止の実際 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指定された事前課題に取り組む(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義資料を振り返り、学びを整理する。(60分)、小テスト（クラスルームに配信）に取り組む（30分） 3　環境調整技術 環境調整援助の基礎知識（病室の環境のアセスメントと調整） 環境調整援助の実際（ベッド周囲の環境整備、ベッドメーキング、リネン交換） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指定された事前課題に取り組む(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義資料を振り返り、学びを整理する。(60分)、小テスト（クラスルームに配信）に取り組む（30分） 4　食事援助技術 飲食するとは　食事援助の基礎知識 食事摂取の介助、摂食・嚥下訓練 非経口的栄養摂取の援助 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指定された事前課題に取り組む(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義資料を振り返り、学びを整理する。(60分)、小テスト（クラスルームに配信）に取り組む（30分） 5　排泄援助技術 排泄するとは 自然排尿および自然排便の介助 導尿、排便を促す援助 ストーマケア 授業外事前学修課題：課題内容（時間）

		指定された事前課題に取り組む(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義資料を振り返り、学びを整理する。(60分)、小テスト（クラスルームに配信）に取り組む（30分）
	6	活動・休息援助技術 活動する、休息するとは 基本的活動の援助 睡眠・休息の援助 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指定された事前課題に取り組む(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義資料を振り返り、学びを整理する。(60分)、小テスト（クラスルームに配信）に取り組む（30分）
	7	苦痛の緩和・安楽確保の技術 体位保持、罨法 身体ケアを通じてもたらされる安楽の援助 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指定された事前課題に取り組む(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義資料を振り返り、学びを整理する。(60分)、小テスト（クラスルームに配信）に取り組む（30分）
	8	清潔・衣生活援助技術清潔に保ち身だしなみを整えることへの援助① 身だしなみを整えるとは 清潔の援助 病床での衣生活の援助 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指定された事前課題に取り組む(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義資料を振り返り、学びを整理する。(60分)、小テスト（クラスルームに配信）に取り組む（30分）
	9	清潔・衣生活援助技術清潔に保ち身だしなみを整えることへの援助② 清潔の援助 病床での衣生活の援助 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指定された事前課題に取り組む(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義資料を振り返り、学びを整理する。(60分)、小テスト（クラスルームに配信）に取り組む（30分）
	10	診察・検査・処置における技術 診察・検査・処置の介助の基礎知識 診察・検査・処置の介助（レントゲン、CT、MRI、内視鏡、超音波、各医学検査、穿刺の処置） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指定された事前課題に取り組む(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義資料を振り返り、学びを整理する。(60分)、小テスト（クラスルームに配信）に取り組む（30分）
	11	創傷管理技術 創傷管理の基礎知識 創傷処置技術（ガーゼ、フィルム、テープ、包帯） 褥瘡予防（体圧分散ケア） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指定された事前課題に取り組む(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義資料を振り返り、学びを整理する。(60分)、小テスト（クラスルームに配信）に取り組む（30分）
	12	与薬の技術① 与薬の基礎知識（薬物の種類と特徴、正しい与薬のための誤薬防止、薬の管理、投与方法の種類と特徴、与薬時に使用する物品の種類と特徴） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指定された事前課題に取り組む(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義資料を振り返り、学びを整理する。(60分)、小テスト（クラスルームに配信）に取り組む（30分）
	13	与薬の技術② 与薬の援助の実際（経口与薬、口腔内与薬、吸入、点眼、点鼻、経皮的与薬、直腸内与薬、注射、点滴）

	授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指定された事前課題に取り組む(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義資料を振り返り、学びを整理する。(60分)、小テスト（クラスルームに配信）に取り組む（30分） 14　呼吸・循環を整える技術 呼吸するとは 酸素療法、排痰ケア、胸腔ドレナージ 吸入、人工呼吸療法 体温管理の技術、末梢循環促進ケア 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指定された事前課題に取り組む(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義資料を振り返り、学びを整理する。(60分)、小テスト（クラスルームに配信）に取り組む（30分） 15　症状・生体機能管理技術 症状、生体機能管理技術の基礎知識 検体検査、生体情報のモニタリング 死とは、死にゆく人と周囲の人々へのケア、死後の処置 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指定された事前課題に取り組む(90分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義資料を振り返り、学びを整理する。(60分)、小テスト（クラスルームに配信）に取り組む（30分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク、プレゼンテーションを行う。
課題のフィードバック方法と時期	グループワーク、プレゼンテーションは授業中に適宜フィードバックします。 事前課題と小テストは、授業内とclassroomより適宜フィードバックします。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：80％ 評価基準：授業で学んだ生活行為を成立させるメカニズムや看護の原理原則を用いて、必要な援助、具体的な援助方法、援助の根拠について説明できるか。 学習到達目標との対応：①②③④⑤ 評価方法：事前課題 評価割合：10％ 評価基準：看護援助技術に関わる重要語句が理解でき、記載できるか 履修目標との対応：①②③④⑤ 評価方法：小テスト 評価割合：10％ 評価基準：授業の重要ポイントを覚えているか 履修目標との対応：①②③④⑤
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト1:系統看護学講座 基礎看護技術I 基礎看護学2 医学書院 テキスト2:系統看護学講座 基礎看護技術II 基礎看護学3 医学書院 e-learning教材:Nursing Skills ELSEVIER その他の資料は授業内で紹介します。
実務経験のある教員による授業	担当教員は看護師経験を有しており、その経験を活かして将来を見据えた実践学の知を伝えます。
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワーは、水曜日の昼休みです。それ以外の時間帯をご希望の方は、メールで連絡をしてください。 質問時は、事前にメール連絡をお願い致します。 連絡先は、aokubo@soei.ac.jp（大久保）　　khonda@soei.ac.jp（本多）です。 但し、臨地実習で本学にいない場合があります。
備考	授業への主体的な参加を期待しています。

講義科目名称： ケア場面展開論　　授業コード： 25G104

英文科目名称： Thinking and Acting Like a Caring Nurse

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	１単位	必修
担当教員			
本多　和子/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	１．看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。 ２．臨床場面や状況への関心をもち、看護実践の内省を通して、臨床判断能力を研鑽することができる。
履修条件	看護学原論、対象論、看護学援助論を履修していること。
授業概要	看護場面における経験の意味の再構築を通して、人と人とが相互的に関わり合う複雑な看護現象のその時その場の省察的思考や倫理的判断の基礎を学ぶ。また、対象者の意思を尊重した倫理観に基づくコミュニケーションや自己の在り方を考え、ケアリングの礎を培う。
履修目標	①ケアにおける倫理的判断の重要性を述べることができる ②人間を全人的に理解することの意味を述べることができる ③ケア場面におけるその時その場の現象を明らかにする意味を述べることができる ④ケアリング関係を形成するコミュニケーションについて説明することができる ⑤臨床判断プロセスを説明することができる ⑥クリティカルシンキングに必要な意識と思考について述べることができる ⑦ケア実践の中の省察の体験を述べることができる
授業計画・授業外学修課題	1　科目ガイダンス臨床判断能力とは ケア場面で看護師のように考えるとは ・臨床判断のプロセス 授業外事前学修課題：看護学原論の「看護の対象とその理解」「看護における倫理と価値」を読む（90分） 授業外事後学修課題：事例検討による気づきと学びをまとめる（90分） 2　ケアの場面における臨床判断Ⅰ 臨床判断のプロセス クリティカルシンキング 授業外事前学修課題：指示された資料を読む（90分） 授業外事後学修課題：講義の中の気づきと学びをまとめる（90分） 3　ケア場面における臨床判断Ⅱ 【解釈（推論パターン）】 ・分析プロセス（仮説-演繹的思考） ・直観（主にパターンの認識） ・ナラティブ思考 授業外事前学修課題：指示された資料を読む（90分） 授業外事後学修課題：講義の中の気づきと学びをまとめる（90分） 4　ケアの場面で起きていることへの気づきトレーニング1 ケア場面の事例から、対象に起きていることの気づきを話し合う。 授業外事前学修課題：指示された資料を読む（90分） 授業外事後学修課題：講義の中の気づきと学びをまとめる（90分） 5　ケアの場面で起きていることへの気づきトレーニング2 ・病いと疾患（当事者の視点と医療者の視点） 【実習室での体験】 授業外事前学修課題：グループワークでの話し合いの準備をする（90分） 授業外事後学修課題：グループワークをとおして気づいたことや学んだことを整理し、まとめる（90分） 6　ケアの場面で起きていることへの気づきトレーニング3 ・病いと疾患（当事者の視点と医療者の視点） 【実習室でのグループワーク】 授業外事前学修課題：グループワークでの話し合いの準備をする（90分） 授業外事後学修課題：グループワークをとおして気づいたことや学んだことを整理し、まとめる（90分） 7　ケアの場面で起きていることへの気づきトレーニング4 ケア場面で何が起きているのかⅡ／ グループで討議した結果を発表する。

	授業外事前学修課題：グループワークで発表の準備をする（90分） 授業外事後学修課題：グループワークや全体発表の中で気づいたことや学んだことを整理し、まとめる（90分） 8　まとめ ケア実践における行為の中の省察について 授業外事前学修課題：レポート作成の準備をする。（90分） 授業外事後学修課題：講義やグループワークの中で気づいたことや学んだことを整理し、まとめる（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク、プレゼンテーション
課題のフィードバック方法と時期	授業内でコメントや説明を加えます。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：事後学習課題・評価割合：30％・評価基準：気づきと学びの記述があれば60%、気づきと学びから課題の意図に対する記述があれば80% 評価方法：レポート・評価割合：50%・評価基準：体験したことが述べられていれば60%、体験からの学びが具体的に述べられていれば80%　講義内でルーブリック評価を配布し説明する 評価方法：プレゼンテーション・評価割合：20％・評価方法：気づきと学びが発表できれば60％、体験からの学びが具体的にわかりやすく発表できれば80%
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト: なし 参考文献: 本江朝美編、看護学生のための臨地実習ナビ、照林社
実務経験のある教員による授業	担当教員は看護師の臨床経験を有しており、授業では事例をとおして生きた実践の知を伝えます。
オフィスアワー・連絡先	毎週火曜日12:10～13:00　メールアドレス：khonda@soei.ac.jp ただし臨地実習指導で不在のことがあるため、事前に連絡をしていただけるようお願いします。
備考	授業への主体的な参加を期待しています。なお遅刻・早退・中座などの不在は3回で欠席1回分とします。但し30分以上不在下場合は欠席とします。 実習室での体験の回では、ユニフォームおよびナースシューズを着用し、身だしなみを整えて参加してください。

講義科目名称： 看護援助技術論Ⅰ　　授業コード： 25G105A　25G105B

英文科目名称： Nursing skills Ⅰ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	１単位	必修
担当教員			
杉山　洋介/看護学部　鈴木　恵/看護学部　本多　和子/看護学部　小川明佳/看護学部　大久保　昭宏/看護学部　荒武喜子/看護学部			
演習	NP200		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	DP1.看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。 DP3.看護の専門的知識・技術（及び倫理的態度）に基づき、多様な健康課題をアセスメントし計画的に看護を実践することができる。
履修条件	「看護学原論」「対象論」「看護学援助論」を履修していること
授業概要	対象の援助の必要性に応じて、安全な環境を守る・動く・眠る・食べる・排泄する・清潔にするといった生活行為への援助技術を安全・安楽・自立・個 別性の原理原則に基づき実施し、技術の習熟を図る。また、看護者役と患者役が双方向的に関わる体験を通して、対象と協働でケアすることを学ぶ。
履修目標	①生活行為への援助技術を安全安楽・自立・個別性の原理原則に基づき実施することができる。 ②対象の必要に応じた援助方法とその根拠を説明することができる。 ③自己の看護技術を振り返り、課題を述べることができる。 ④ケアする看護者としての倫理的態度や身だしなみ、マナーを身に付ける。
授業計画・授業外学修課題	1　基本となる看護技術1 科目ガイダンス 演習室利用ガイダンス 基本となる看護技術1 ・衛生学的手洗い 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業概要をシラバスで確認し疑問点をまとめる(30分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 演習室ガイダンスの復習、演習記録「学習を始めるにあたって」をまとめる(30分) 2　基本となる看護技術2 基本となる看護技術2 ・スタンダードプリコーション ・医療廃棄物の取り扱い 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト、e-learning、看護学援助論(前期)の授業資料を参考に学習 し、ワークシートに記載する(30分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 演習で学んだこと自己の課題をまとめ技術の自己練習をする(30分) 3　基本となる看護技術3 基本となる看護技術3 ・ボディメカニクス ・ベッドメーキング 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト、e-learning、看護学援助論(前期)の授業資料を参考に学習 し、ワークシートに記載する(30分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 演習で学んだこと自己の課題をまとめ技術の自己練習をする(30分) 4　環境のさまざまな危険因子を避け、また他者を傷害しないようにすることへの援助 環境のさまざまな危険因子を避け、また他者を傷害しないようにすることへの援助 ・臥床患者のシーツ交換 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト、e-learning、看護学援助論(前期)の授業資料を参考に学習 し、ワークシートに記載する(30分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 演習で学んだこと自己の課題をまとめ技術の自己練習をする(30分) 5　眠る・休息することへの援助 眠る・休息することへの援助 ・体位変換 ・患者のベッド上での移動 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト、e-learning、看護学援助論(前期)の授業資料を参考に学習 し、ワークシートに記載する(30分)

		授業外事後学修課題：課題内容（時間） 演習で学んだこと自己の課題をまとめ技術の自己練習をする(30分)
	6	動くことへの援助 動くことへの援助 ・ストレッチャーへの移乗と移送 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト、e-learning、看護学援助論(前期)の授業資料を参考に学習 し、ワークシートに記載する(30分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 演習で学んだこと自己の課題をまとめ技術の自己練習をする(30分)
	7	衣服を着る・脱ぐことへの援助 衣服を着る・脱ぐことへの援助 ・寝衣交換/臥床患者の寝衣交換 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト、e-learning、看護学援助論(前期)の授業資料を参考に学習 し、ワークシートに記載する(30分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 演習で学んだこと自己の課題をまとめ技術の自己練習をする(30分)
	8	清潔に保ち、身だしなみを整えることへの援助1 清潔に保ち、身だしなみを整えることへの援助1 ・部分浴/臥床患者、椅子に座っている患者への足浴 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト、e-learning、看護学援助論(前期)の授業資料を参考に学習 し、ワークシートに記載する(30分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 演習で学んだこと自己の課題をまとめ技術の自己練習をする(30分)
	9	清潔に保ち、身だしなみを整えることへの援助2 清潔に保ち、身だしなみを整えることへの援助2 ・部分洗浄/臥床患者の洗髪 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト、e-learning、看護学援助論(前期)の授業資料を参考に学習 し、ワークシートに記載する(30分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 演習で学んだこと自己の課題をまとめ技術の自己練習をする(30分)
	10	清潔に保ち、身だしなみを整えることへの援助3 清潔に保ち、身だしなみを整えることへの援助3 ・整容/臥床患者の身だしなみを整える(整髪含む) 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト、e-learning、看護学援助論(前期)の授業資料を参考に学習 し、ワークシートに記載する(30分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 演習で学んだこと自己の課題をまとめ技術の自己練習をする(30分)
	11	清潔に保ち、身だしなみを整えることへの援助4 清潔に保ち、身だしなみを整えることへの援助4 ・清拭/臥床患者の全身清拭 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト、e-learning、看護学援助論(前期)の授業資料を参考に学習 し、ワークシートに記載する(30分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 演習で学んだこと自己の課題をまとめ技術の自己練習をする(30分)
	12	清潔に保ち、身だしなみを整えることへの援助5 清潔に保ち、身だしなみを整えることへの援助5 ・全身清拭と寝衣交換 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト、e-learning、看護学援助論(前期)の授業資料を参考に学習 し、ワークシートに記載する(30分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 演習で学んだこと自己の課題をまとめ技術の自己練習をする(30分)
	13	排泄することへの援助 排泄することへの援助 ・排泄の介助/臥床患者の床上排泄の援助(便器、尿器) ・陰部洗浄 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト、e-learning、看護学援助論(前期)の授業資料を参考に学習 し、ワークシートに記載する(30分)

	授業外事後学修課題：課題内容（時間） 演習で学んだこと自己の課題をまとめ技術の自己練習をする(30分) 14 技術確認 学んだ技術の総復習 技術習得状況の確認 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 技術確認に向けての知識、技術の確認(30分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 自己課題に応じた技術の練習(30分) 15 まとめ 技術習得状況の確認、課題の明確化 技術確認 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自己課題に応じた技術練習(30分) 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 演習記録に従ってこの科目への取り組みを自己評価し課題を明確化する(30分)
アクティブラーニングを用いた授業方法	既学習内容や事前学習をもとに、より良い援助技術についてグループワークで討議を行ながら毎週の演習を進めていきます。
課題のフィードバック方法と時期	授業中の課題及びレポートに関するフィードバックは授業内で行います。実技試験へのフィードバックは結果発表とともに行います。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：実技確認 評価割合：80％ 評価基準：対象に合わせた援助を原理原則に基づいて実施できているか 履修目標との対応：①④ 評価方法：レポート 評価割合：10％ 評価基準：援助技術の実践、患者体験を通して学んだ対象に合わせた援助やその根拠、自己課題について記述できるか（授業内でルーブリックを配布します） 履修目標との対応：②③ 評価方法：演習記録 評価割合：10％ 評価基準：援助に必要な知識、準備を行っているか、援助実施や患者体験を通しての学びが整理されているか 履修目標との対応：①②③④
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	【テキスト】 系統看護学講座 基礎看護学技術I 基礎看護学2 医学書院 系統看護学講座 基礎看護学技術II 基礎看護学3 医学書院 Nursing Skills ELSEVIER 【参考資料】 本江朝美ほか:看護学生のための臨地実習ナビ、照林社 その他は授業内で紹介します。 【必要物品】 ユニフォーム一式、清潔なトレーニングウェア、無地半袖Tシャツ、スパッツ(8～10分丈)、バスタオル、フェイスタオル（毎回の必要物品については授業内で指示します） 看護学援助論で作成した事前事後学習
実務経験のある教員による授業	看護師経験を有する教員が担当します。
オフィスアワー・連絡先	時間割確定後に決定しますので、初回授業で説明します。 杉山洋介 E-mail: ysugiyama@soei.ac.jp
備考	授業への主体的な参加を期待しています。 前期科目の復習、事前学習をしっかり行って授業に参加してください。 基礎看護演習室は、病院と同等の扱いとします。また基礎看護学演習室利用ガイドを熟読し遵守してください。

講義科目名称： 看護援助技術論Ⅱ　　授業コード： 25G106

英文科目名称： Nursing skills Ⅱ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年	１単位	必修
担当教員			
荒武　喜子/看護学部　本多　和子/看護学部　大久保　昭宏/看護学部　杉山　洋介/看護学部　小川　明佳/看護学部　鈴木　恵/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	１看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。 ３看護の専門的知識・技術（及び倫理的態度）に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる。
履修条件	ケア場面展開論、看護援助技術論Ⅰ、看護過程展開論Ⅰを履修していること
授業概要	ヘルスアセスメントに必要な身体の構造と機能や主な臨床症状のメカニズムの知識を踏まえて、フィジカルアセスメントの力を養うと共に、フィジカルイグザミネーションの基本的テクニックの修得を図る。さらに、診療に伴う援助技術（薬物療法時・検査時の援助技術）の目的および安全安楽に実施する方法を学び、実際に体験する。
履修目標	① アセスメントに必要なフィジカルイグザミネーションの基本技術を正確かつ安全に実施できる。 ② 看護の対象者の身体各部の状況をアセスメントするための知識を記述することができる。 ③ 無菌操作の技術について科学的根拠をふまえ、清潔・不潔を判断し、無菌操作を実施できる。 ④ 呼吸異常、排泄機能障害のある患者の症状緩和に必要な基本的技術を実施できる。 ⑤ 与薬の投与方法における基礎知識、看護師の役割、援助の実際(目的・効果・方法・留意点・評価)を記述できる。 ⑥ 指示された薬物を、安全かつ適切な投与方法で与薬する援助技術を実施できる。
授業計画・授業外学修課題	1　オリエンテーション・バイタルサインの観察① ・オリエンテーション ・バイタルサインの観察（体温、脈拍、呼吸） 予習：既習科目の学修資料・テキストを復習し課題に取り組む 復習：【事前課題】の自己添削、自己練習、学びのまとめをする、google フォーム【事後課題】を入力して送信する。(30分) 2　バイタルサインの観察② ・バイタルサインの観察（血圧） 予習：既習科目の学修資料・テキストを参考に【事前課題】をまとめてくる（30分） 復習：【事前課題】の自己添削、自己練習、学びのまとめをする、google フォーム【事後課題】を入力して送信する。（30分） 3　バイタルサインの観察③ ・バイタルサインの観察（事例に沿って一連の流れを実施する） 予習：既習科目の学修資料・テキストを参考に【事前課題】をまとめてくる（30分） 復習：【事前課題】の自己添削、自己練習、学びのまとめをする、google フォーム【事後課題】を入力して送信する。（30分） 4　循環器系のフィジカルアセスメント ・フィジカルイグザミネーションの基本技術 予習：既習科目の学修資料・テキストを参考に【事前課題】をまとめてくる（30分） 復習：【事前課題】の自己添削、自己練習、学びのまとめをする、google フォーム【事後課題】を入力して送信する。（30分） 5　呼吸器系のフィジカルアセスメント ・フィジカルイグザミネーションの基本技術 予習：既習科目の学修資料・テキストを参考に【事前課題】をまとめてくる（30分） 復習：【事前課題】の自己添削、自己練習、学びのまとめをする、google フォーム【事後課題】を入力して送信する。（30分） 6　呼吸することへの援助（診療に伴う援助技術） ・酸素ボンベの取り扱い、酸素流量計の装着、酸素吸入 ・口腔内と鼻腔内の一時的吸引 予習：既習科目の学修資料・テキストを参考に【事前課題】をまとめてくる（30分） 復習：【事前課題】の自己添削、自己練習、学びのまとめをする、google フォーム【事後課題】を入力して送信する。（30分） 7　腹部のフィジカルアセスメント ・フィジカルイグザミネーションの基本技術

	予習：既習科目の学修資料・テキストを参考に【事前課題】をまとめてくる（30分） 復習：【事前課題】の自己添削、自己練習、学びのまとめをする、google フォーム【事後課題】を入力して送信する。（30分） 8　筋・骨格系のフィジカルアセスメント ・フィジカルイグザミネーションの基本技術 ・日常生活行動に関連する関節運動 ・動きの本質について 予習：既習科目の学修資料・テキストを参考に【事前課題】をまとめてくる（30分） 復習：【事前課題】の自己添削、自己練習、学びのまとめをする、google フォーム【事後課題】を入力して送信する。（30分） 9　感染防止の技術（診療に伴う援助技術） ・滅菌物の取り扱い ・感染性廃棄物の取り扱い 予習：既習科目の学修資料・テキストを参考に【事前課題】をまとめてくる（30分） 復習：【事前課題】の自己添削、自己練習、学びのまとめをする、google フォーム【事後課題】を入力して送信する。（30分） 10　薬物療法時の援助①（診療に伴う援助技術） ・与薬時の患者の誤認防止、誤薬防止対策 ・注射法実施時の薬物の充填、注射部位の確認・方法 予習：既習科目の学修資料・テキストを参考に【事前課題】をまとめてくる（30分） 復習：【事前課題】の自己添削、自己練習、学びのまとめをする、google フォーム【事後課題】を入力して送信する。（30分） 11　薬物療法時の援助②（診療に伴う援助技術） ・皮下注射、筋肉注射の手技 ・点滴静脈内注射の手技 予習：既習科目の学修資料・テキストを参考に【事前課題】をまとめてくる（30分） 復習：【事前課題】の自己添削、自己練習、学びのまとめをする、google フォーム【事後課題】を入力して送信する。（30分） 12　検査時の援助（診療に伴う援助技術） ・検査時の患者の誤認防止、安全で正確な検査の実施 ・静脈内採血の手技 予習：既習科目の学修資料・テキストを参考に【事前課題】をまとめてくる（30分） 復習：【事前課題】の自己添削、自己練習、学びのまとめをする、google フォーム【事後課題】を入力して送信する。（30分） 13　食事・排泄することへの援助①（(診療に伴う援助技術） ・一時的導尿 ・膀胱留置カテーテル 予習：既習科目の学修資料・テキストを参考に【事前課題】をまとめてくる（30分） 復習：【事前課題】の自己添削、自己練習、学びのまとめをする、google フォーム【事後課題】を入力して送信する。（30分） 14　食事・排泄することへの援助②（診療に伴う援助技術） ・浣腸 予習：既習科目の学修資料・テキストを参考に【事前課題】をまとめてくる（30分） 復習：【事前課題】の自己添削、自己練習、学びのまとめをする、google フォーム【事後課題】を入力して送信する。（30分） 15　技術のまとめ ・看護援助技術論Ⅱで扱った看護技術を基に、設定された学習課題に関する技術の習得状況を確認し、フィードバックを行い、各自の課題を明らかにする。 予習：既習科目の学修資料・テキストを参考に【事前課題】をまとめてくる（30分） 復習：【事前課題】の自己添削、自己練習、学びのまとめをする、google フォーム【事後課題】を入力して送信する。（30分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	google Classroomを活用し、双方向の情報提供を行う。 事前課題で予習し、演習に臨む。演習はカメラで教員の手技を撮影し、２つのスクリーンに投影しながら、技術の実際を学び、その後1グループ 2～3人で実践する。演習後はグループワーク、発表を行い学びを振り返る。
課題のフィードバック方法と時期	各回の事前課題をもとに重要なポイントは授業内で説明し、理解できるようにします。事後課題はgoggle Classroom内のgoogle formsで提出します。事後課題のフィードバックは、goggle Classroom及び次回の講義で行います。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：事前課題 評価割合：5% 評価基準：関連する既習科目を復習し、また予習内容についても理解し、記述できているか。 評価方法：事後課題 評価割合：5%

	評価基準：授業内容の要点を理解し、記述できているか。 評価方法：技術チェック 評価割合：60％ 評価基準：技術の要点を理解し、実践できているか。 評価方法：筆記試験 評価割合：30％ 評価基準：授業内容の要点を理解し、記述できているか。自分の意見を端的にまとめることができるか。 評価基準(総合）：事前課題、事後課題、技術チェック、筆記試験を総合して、100点満点、60点以上を合格とする
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	・系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅰ 基礎看護学2 （医学書院） ・系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学3 （医学書院） ・看護がみえる Vol.3 フィジカルアセスメント メディックメディア （その他） ・対象論・看護学援助論・看護過程展開論Ⅰの資料
実務経験のある教員による授業	担当教員は看護師の経験を有しており、看護師としての実務経験を生かした講義を行います。
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワーは、火曜日・木曜日の昼休みです。 連絡先は、荒武（yaratake@soei.ac.jp） 本多（khonda@soei.ac.jp）です。
備考	・実習室の準備と片付けは技術の一環として取扱い、学生が教員の指示のもと主体的に行ってください。 ・事前課題を当日持参していることが授業参加の条件になります。 ・遅刻は3回で欠席1回となります。30分以上の遅刻は欠席とみなします。 ・課題は必ず決められた時間までに提出してください。 ・1年次の対象論や看護学援助論や看護過程展開論Ⅰ授業資料、テキスト、e-learning、参考文献、自分で見つけた参考書などを活用し、予習してください。 ・本科目の修得が基礎看護学実習Ⅱの履修要件となっています。

講義科目名称： 看護過程展開論Ⅰ　　授業コード： 25G107

英文科目名称： Nursing ProcessⅠ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	１単位	必修
担当教員			
大久保　昭宏/看護学部　荒武　喜子/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	１．看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。 ２．臨床場面や状況への関心をもち、看護実践の内省を通して、臨床判断能力を研鑽することができる。
履修条件	看護学原論、対象論、看護学援助論を履修していること
授業概要	生活行為と心身のメカニズムとの関連を理解し、自然治癒力や生活行為の自立、ニーズの充足等の看護の視点から、疾病や障害を抱える対象者に対するヘルスアセスメントの考え方の基礎を学ぶ。
履修目標	①6つの生活行動「活動」「休息」「食事」「排泄」「身じたく」「コミュニケーション」の生活行動情報の着眼点について説明できる。 ②生活行動が、他の生活行動に与える影響や関係について説明できる。 ③ヘルスアセスメントを展開する上での前提となる生活行動と、心身のメカニズムとの関連が説明できる。 ④看護の対象者を身体的・心理的・社会的存在として、統合的にとらえるためのポイントが説明できる。 ⑤対象者の自然治癒力や生活行動の自立、ニーズの充足状態に合わせたヘルスアセスメントを行うための知識が記述できる。 ⑥疾病や障害を抱える対象者に対して、看護の視点を踏まえたヘルスアセスメントを実施するための方法が記述できる。
授業計画・授業外学修課題	1　科目オリエンテーション ヘルスアセスメントの概念、生活者としての視点を重視したヘルスアセスメント、ヘルスアセスメントの基本技術、6つの生活行動について、ヘルスアセスメントと生活行動との統合 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト①の第4章ヘルスアセスメントのAヘルスアセスメントとは、B健康歴とセルフケア能力のアセスメント、C全体の概観の頁を熟読してくる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義資料を振り返り、学びを整理する（90分） 2　バイタルサインの観察とアセスメント バイタルサインの観察とアセスメントについて学ぶ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布された事前課題に取り組む（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義資料を振り返り、学びを整理する。小テスト（クラスルームに配信）に取り組む（90分） 3　呼吸することのアセスメント１ 循環器系のアセスメントの進め方、循環機能の検査データの読み方、循環器疾患が呼吸機能・腎機能に影響をもたらす事例の解説、循環器疾患をもつ方の生活者としての視点を重視したヘルスアセスメントの検討（授業後に、googleフォームで第5,6回の授業内容、予習内容に関する小テストを配信する） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布された事前課題に取り組む（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義資料を振り返り、学びを整理する。小テスト（クラスルームに配信）に取り組む（90分） 4　呼吸することのアセスメント２ 呼吸器系のアセスメントの進め方、呼吸器疾患の検査データの読み方、呼吸器疾患をもつ方のアセスメントに焦点をあてた事例の解説、呼吸器疾患をもつ方の生活者としての視点を重視したヘルスアセスメントの検討 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布された事前課題に取り組む（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義資料を振り返り、学びを整理する。小テスト（クラスルームに配信）に取り組む（90分） 5　動くこと、眠る・休息することのアセスメント 運動機能のアセスメントの進め方、脳血管疾患による運動機能障害の症状と病態の関連についての解説、身じたく・活動と休息における生活行動情報の着眼点、転倒・転落のリスクの高い方、睡眠障害のある方の生活者としての視点を重視したヘルスアセスメントの検討 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布された事前課題に取り組む（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）

	講義資料を振り返り、学びを整理する。小テスト（クラスルームに配信）に取り組む（90分） 6　飲食することのアセスメント 食事における生活行動情報の着眼点、消化器系のアセスメントの進め方、摂食嚥下障害をもつ方のアセスメントに焦点をあてた事例の解説、摂食嚥下障害をもつ方の生活者としての視点を重視したヘルスアセスメントの検討 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布された事前課題に取り組む（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義資料を振り返り、学びを整理する。小テスト（クラスルームに配信）に取り組む（90分） 7　排泄することのアセスメント 排泄における生活行動情報の着眼点、排便・排尿機能のアセスメントの進め方、検体検査・生理機能検査データの読み方、排尿障害や排便障害をもつ方のアセスメントに焦点をあてた事例の解説、排尿障害や排便障害をもつ方の生活者としての視点を重視したヘルスアセスメントの検討 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布された事前課題に取り組む（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義資料を振り返り、学びを整理する。小テスト（クラスルームに配信）に取り組む（90分） 8　意思を伝達し、思いを表現することのアセスメント コミュニケーションにおける生活行動の着眼点、感覚器のアセスメントの進め方、認知症の方のコミュニケーションのアセスメントとコミュニケーション方法に焦点をあてた事例の解説、認知症の方の生活者としての視点を重視したヘルスアセスメントの検討 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布された事前課題に取り組む（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義資料を振り返り、学びを整理する。小テスト（クラスルームに配信）に取り組む（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	google Classroomを活用し、双方向の情報提供を行う。 模型を活用して説明を行い、学生自身の身体を、学生自身で計測しながら授業を行う。 各回において、疾病に障害された方の体験世界を理解するための討議を行う。 各回において、疾病に障害された方の生活のヘルスアセスメントの視点について、討議を行う。 各回において、疾病に障害された方の生活をよりよくしていくための方法について検討する。
課題のフィードバック方法と時期	課題は、google Classroomで提出する。課題のフィードバックは、google Classroomと、次の授業時に行う。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：小テスト 評価割合：10％ 評価基準：小テストの平均点が6割で60点 履修目標との対応：③④⑤⑥ 評価方法：事前課題 評価割合：10％ 評価基準：ヘルスアセスメントの重要語句がわかり、記載できたら60点 履修目標との対応：①②③④⑤⑥ 評価方法：筆記試験 評価割合：80％ 評価基準：ヘルスアセスメントの重要語句がわかり、記載できたら60点 履修目標との対応：①②③④⑤⑥
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	①系統看護学講座　基礎看護学[2]基礎看護学技術Ⅰ　基礎看護学2　医学書院 ②系統看護学講座　基礎看護学[3]基礎看護学技術Ⅱ　基礎看護学3　医学書院 ③看護がみえるvol.3 フィジカルアセスメント　メディックメディア
実務経験のある教員による授業	担当教員は急性期病院に勤務し、病棟における看護実践と、困難事例に対する相談対応を行ってきました。そこでの事例を用いながら、実務経験を生かした講義を行います。
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワーは水曜日の昼休みです。それ以外の時間帯をご希望の方は、メールで連絡をしてください。 質問時は、事前にメール連絡をして下さい。 連絡先は、aokubo@soei.ac.jp（大久保）　yaratake@soei.ac.jp（荒武）です。 但し、臨地実習で本学にいない場合があります。
備考	・30分以内の遅刻3回で1回の欠席とみなします。30分以上の遅刻は欠席とみなします。 ・解剖・生理学の基礎知識がベースとなるため、解剖・生理学の既習内容を復習し理解した上で講義に臨んでください。

講義科目名称： 看護過程展開論Ⅱ　　授業コード： 25G108

英文科目名称： Nursing ProcessⅡ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年	１単位	必修
担当教員			
小川 明佳/看護学部　鈴木　恵/看護学部　本多　和子/看護学部　荒武　喜子/看護学部　　杉山　洋介/看護学部 大久保　昭宏/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	・看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる ・臨床場面や状況への関心を持ち、看護実践の内省を通して、臨床判断能力を研鑽することができる ・看護の専門的知識・技術に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる ・保健医療福祉チームの中で協働・連携し、自らの役割を果たすことができる
履修条件	ケア場面展開論、看護援助技術論Ⅰ、看護過程展開論Ⅰを履修していること
授業概要	健康障害を抱える対象者の反応を生活者として捉える視点からアセスメントし、看護上の問題を明確化し、その問題を解決させるための計画を立案し、実施・評価するといった科学的問題解決技法としての看護過程展開の方法論とそのプロセスを学ぶ。また事例を用いて展開することにより、既存の知識や技術を想起し活用させながらクリティカルシンキングの能力を養い、看護実践力の素地を培う。
履修目標	①事例を用いて、対象者の情報を解釈、理解することができる。 ②事例を用いて、対象者の看護問題を抽出し看護計画を立案・評価することができる。 ③立案した看護計画を模擬患者に実施・評価することができる。 ④看護を実践するための科学的・系統的な思考過程を理解することができる。
授業計画・授業外学修課題	1　ガイダンス　講義：授業の進め方、看護過程とは何か、臨床判断について、事例紹介①、データベース(1)の書き方、教育用電子カルテの操作方法 授業外事前学修課題：無し 授業外事後学修課題：／課題①データベース(1)、② 疾患ノートの作成（病態生理/症状/診断・検査値（基準値も含む）/治療）に取り組む（60分） 2　事例情報の整理/情報収集について、情報の整理、事例紹介②、教育用電子カルテの操作方法/講義　グループワーク：疾患知識の共有 授業外事前学修課題：情報の整理、テキスト指定箇所および事例情報を読み解き整理する（30分） 授業外事後学修課題：／事例情報の整理、課題③データベース(2)、④看護経過記録（S/O)に取り組む（30分） 3　事例を用いた看護過程の展開：アセスメントの分析/講義：情報の分析（アセスメント）についてグループワーク・発表・討論：データベース（３）について 授業外事前学修課題：個人ワークとグループワークに向けて前回の講義資料とテキスト指定箇所を読む。アセスメントのための不足情報をピックアップする（30分） 授業外事後学修課題：／課題⑤データベース(3)、⑥経過表（フローシート）、⑦アセスメント６項目SO情報、⑧アセスメント2項目に取り組む（30分） 4　事例を用いた看護過程の展開：看護問題の抽出/講義：アセスメント1項目分析の解説、看護問題の書き方、看護問題の優先順位についてグループワーク：アセスメント２項目目について記載、発表、討論 授業外事前学修課題：個人ワークとグループワークに向けて前回の講義資料とテキスト指定箇所を読む（30分） 授業外事後学修課題：／課題⑨看護問題、⑩アセスメント3項目に取り組む。グループワークを参考にして各自のアセスメントを振り返る（30分） 5　事例を用いた看護過程の展開：全体像の描写/ 講義：関連図の作成と全体像の描写、長期・短期目標の書き方についてグループワーク：看護問題を３つ記載、発表、討論 授業外事前学修課題：個人ワークとグループワークに向けて前回の講義資料とテキスト指定箇所を読む（30分） 授業外事後学修課題：／課題⑪全体像、⑫長期・短期目標に取り組む、グループワークを参考にして各自の看護問題・優先順位に反映させる（30分） 6　事例を用いた看護過程の展開：看護計画の立案/講義：看護計画の書き方/グループワーク：長期・短期目標の検討、発表、討論 授業外事前学修課題：個人ワークとグループワークに向けて前回の講義資料とテキスト指定箇所を読む（30分） 授業外事後学修課題：／課題⑬看護計画に取り組む。グループワークを参考にして各自の長期・短期目標を振り返る（30分） 7　事例を用いた看護過程の展開/講義：評価の書き方/グループワーク：看護計画の検討、発表、討論 授業外事前学修課題：個人ワークとグループワークに向けて前回の講義資料とテキスト指定箇所を読む（30分） 授業外事後学修課題：／課題⑭評価に取り組む。グループワークを参考にして各自で看護計画を振り返る（30分）

	8 「２事例目」事例紹介①、グループワーク：データベース(1) の記載、発表、討論　■ミニテスト① 授業外事前学修課題：個人ワークとグループワークに向けて前回の講義資料とテキスト指定箇所を読む（30分） 授業外事後学修課題：／課題①データベース(1)、② 疾患ノートの作成（病態生理/症状/診断・検査値（基準値も含む）/治療）に取り組む（30分） 9 「２事例目」事例情報の整理/　情報収集、事例紹介②/グループワーク：疾患知識の共有、データベースや経過記録などの記載 授業外事前学修課題：情報の整理、テキスト指定箇所および事例情報を読み解き、疾患ノートを整理する（30分） 授業外事後学修課題：／事例情報の整理、課題③データベース(2)④看護経過記録（S/O）　に取り組む（30分） 10 「２事例目」事例を用いた看護過程の展開：グループワーク：データベース（３）とアセスメント１項目の記載、発表、討論 授業外事前学修課題：講義資料とテキスト指定箇所を読む。アセスメントのための不足情報をピックアップする（30分） 授業外事後学修課題：／課題⑤データベース(3)、⑥経過表（フローシート）、⑧アセスメント６項目S0情報　　⑨アセスメント2項目に取り組む（30分） 11 「２事例目」事例を用いた看護過程の展開：グループワーク：アセスメントと看護問題の抽出、発表、討論　■ミニテスト② 授業外事前学修課題：個人ワークとグループワークに向けて前回の講義資料とテキスト指定箇所を読む（30分） 授業外事後学修課題：／課題⑨看護問題、⑩アセスメント3項目に取り組む。グループワークを参考にして各自のアセスメントを振り返る（30分） 12 「２事例目」事例を用いた看護過程の展開：グループワーク：看護問題と長期・短期目標、看護計画の検討、発表、討論 授業外事前学修課題：個人ワークとグループワークに向けて前回の講義資料とテキスト指定箇所を読む（30分） 授業外事後学修課題：／課題⑪看護問題、⑫長期・短期目標、看護計画に取り組む。グループワークを参考にして各自の看護問題・優先順位に反映させる（30分） 13 　「２事例目」事例を用いた看護過程の展開/グループワーク：生活援助技術のケアの実施に向けた具体的な援助計画の検討・立案 授業外事前学修課題：個人ワークとグループワークに向けて前回の講義資料とテキスト指定箇所を読む（30分） 授業外事後学修課題：／課題⑬具体的な援助計画の立案に取り組む。グループワークを参考にして具体的な援助計画を振り返る（30分） 14 「２事例目」事例を用いた看護過程の展開：グループワーク・技術演習：援助計画の実施・結果・評価の検討 授業外事前学修課題：個人ワークとグループワークに向けて前回の講義資料とテキスト指定箇所を読む（30分） 授業外事後学修課題：／課題⑭援助計画の実施・結果・評価に取り組む。グループワークを参考にして各自で看護計画を振り返る（30分） 15 「２事例目」事例を用いた看護過程の展開/グループワーク：看護計画の評価の検討、発表、討論、まとめ　■知識確認テスト 授業外事前学修課題：配布資料を読み、事前課題に取り組む課題内容（30分） 授業外事後学修課題：事後課題に取り組む（30分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワークでディスカッションし、クラス全体で発表・討論します。
課題のフィードバック方法と時期	事前課題について、授業で発表・討論を行います。 授業内で、課題について教員によるフィードバックを行います。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	看護過程　ルーブリックを用いた評価　　60% 知識確認テスト（小テスト2回を含む）　40%
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	①系統看護学講座，基礎看護技術Ⅰ，基礎看護学２，医学書，2023. ②秋葉公子共著：看護過程を使ったヘンダーソン看護論の実践，第５版，ヌーヴェルヒロカワ，2023. ③ヴァージニア・ヘンダーソン著，湯槇ます・小玉香津子訳：看護の基本となるもの，日本看護協会出版会，2020. その他、適宜プリントや資料を配布します。
実務経験のある教員による授業	担当教員は看護師の経験を有しており、その経験を活かして実践学の知を伝えます。
オフィスアワー・連絡先	水曜日昼休み。ただし臨地実習で本学にいない場合があります。
備考	本科目の単位修得が基礎看護学実習Ⅱの履修要件となっています。 30分以内の遅刻3回で1回の欠席、30分以上の遅刻は欠席とみなします。 個人学習とグループワーク学習とがあります。 各回の事前・事後学習を必ず実施した上で授業に臨んでください。 本科目での課題はすべて指定のファイルに綴じて管理してください。 個人情報の記載については、実習記録と同様に留意して扱ってください。

	課題において他者の記録内容の転記が認められた場合は、双方の評価を対象外とします。

講義科目名称： 基礎看護学実習Ⅰ　　授業コード： 25G109

英文科目名称： Fundamentals of Nursing Ⅰ：Clinical practicum

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	１単位	必修
担当教員			
鈴木　恵/看護学部　大久保　昭宏/看護学部　　本多　和子/看護学部　杉山　洋介/看護学部　小川　明佳/看護学部　荒武　喜子/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	１．看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。
履修条件	看護学原論・対象論・看護学援助論を履修していること。
授業概要	様々な場で生活する人々へのインタビューや、医療現場で療養する疾患や障害をもつ人々とのコミュニケーションの体験を通して、あらゆる健康レベルにある人々の健康意識や健康課題を知り、その多様性や個別性を知る。また、それらの人々の健康課題が生活や環境とどのように関連しあっているかを考察し、看護の対象を包括的に捉える機会とする。
履修目標	①様々な場のあらゆる健康レベルにある人々と関わり、人間関係を築くためのコミュニケーション能力の基礎を養う。 ②様々な場のあらゆる健康レベルにある人々の多様で個別的な健康意識や健康課題を知ることを通して、身体的・精神的・社会的に統合された存在としての人間を理解する。 ③様々な場のあらゆる健康レベルにある人々の健康課題が、その人の生活や環境とどのように関連しているかを理解し、看護の対象を多角的かつ深く洞察することができる。 ④看護学生として責任ある行動と態度を養う。
授業計画・授業外学修課題	7月の基礎看護学実習Ⅰのオリエンテーションで配布される実習要項を参照すること。 （実習期間は9月と12月の中で5日間）
アクティブラーニングを用いた授業方法	フィールドワーク、実習、グループワーク
課題のフィードバック方法と時期	実習記録、実習態度については実習期間中にフィードバックを行う。レポートについては、実習まとめの際に発表、討議を行う。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	ルーブリックを配布する。
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：看護学原論、対象論、看護学援助論、ケア場面展開論、看護援助技術論Ⅰで使用したテキスト及び授業資料 参考図書：本江朝美　看護学生のための臨地実習ナビ、照林社 その他、DVD教材や参考文献は適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	担当教員は看護師としての経験を有しており、その経験を生かして実習指導を行う。
オフィスアワー・連絡先	aokubo@soei.ac.jp（大久保）、sogawa@soei.ac.jp（小川）、ysugiyama@soei.ac.jp（杉山）、khonda@soei.ac.jp（本多）
備考	・事前のオリエンテーション（総論オリエンテーション、基礎看護学実習Ⅰ）に参加し、実習要綱（共通）および基礎看護学　実習Ⅰ要項の内容を理解した上で実習に臨むこと。 ・事前学習を十分行い、積極的に実習に臨むこと。 ・適宜、連絡・相談・報告を行うこと。 ・健康管理に十分留意し、予防注射を所定の時期までに必ず済ませておくこと。

講義科目名称： 基礎看護学実習Ⅱ　　授業コード： 25G110

英文科目名称： Fundamentals of Nursing Ⅱ：Clinical practicum

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	２年	２単位	必修
担当教員			
鈴木　恵/看護学部　荒武　喜子/看護学部 小川　明佳/看護学部　本多　和子/看護学部　杉山　洋介/看護学部　大久保　昭宏/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	１．看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる ２．臨床場面や状況への関心を持ち、看護実践の内省を通して、臨床判断能力を研鑽することができる ３．看護の専門的知識・技術に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる
履修条件	1年次の専門基礎分野・専門分野の必修科目、看護援助技術論Ⅱ、看護過程展開論Ⅱの単位を修得していること
授業概要	看護実践の基礎となる既習の知識・技術・態度を踏襲し、臨地において看護を必要としている患者を受け持ち、その人の生活を援助する実習を行う。ここでは特に、患者のありのままを受けとめ向き合うことを通して、援助的人間関係を発展させることを学ぶ。また、患者の生活行為の自立の状態の把握から、患者の健康回復とセルフケアを促すことを意図する看護ケアプランを作成し、安全・安楽・自立・個別性に配慮したケアを行うことを通して、看護実践力の素地を養う。さらに、自己が行った看護を振り返り、看護に対する理解を深める。
履修目標	１．対象者を一人の人間として尊重した関わりができる ２．対象者に今何が起きているかをアセスメントし、生活の個別性から看護上の問題および看護の方向性を明確化できる ３．個別性を踏まえた看護計画を立案し、対象者と援助的関係を築きながら安全・安楽・自立に配慮したケアを実施、評価する ４．看護学生としての責任を自覚し、学ぶ姿勢をもって実習に取り組むことができる
授業計画・授業外学修課題	実習要項参照。
アクティブラーニングを用いた授業方法	個人ワーク、実習、グループワーク、プレゼンテーション
課題のフィードバック方法と時期	実習中に生じる課題や実習記録についての疑問などは、実習現場でタイムリーにフィードバックを行います。 実習終了時には学内で学びの共有（発表・ディスカッション）を行います。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	実習評価ルーブリックを参照（オリエンテーションにて配布します）
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	看護学原論、対象論、看護学援助論、ケア場面展開論、看護援助技術論Ⅰで使用したテキスト及び授業資料 参考資料：本江朝美：看護学生のための臨地実習ナビ、照林社 その他、DVD教材や参考文献は適宜紹介します。
実務経験のある教員による授業	担当教員は看護師としての実務経験を生かした実習指導を行います。
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワーは実習のため不定期、必要時メールで対応します。 連絡先：　yaratake@soei.ac.jp（荒武）、sogawa@soei.ac.jp（小川）、msuzuki@soei.ac.jp（鈴木）
備考	・事前オリエンテーションに必ず参加し、実習要綱（共通）および基礎看護学実習Ⅱ要項を熟読し実習に臨んでください。 ・事前学習を十分行い、積極的に実習に臨んでください。 ・健康管理に十分留意し、予防注射を所定の時期までに必ず済ませておいてください。 ・適宜、連絡・相談・報告を行ってください。

講義科目名称： 地域・在宅看護論　　授業コード： 25G151

英文科目名称： Introduction to Community/home care Nursing

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	２単位	必修
担当教員			
山口　智美/看護学部　齊藤　美恵/看護学部　青山　美紀子/看護学部　村上　亜紀/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	看護の対象となる人々の尊厳を守り，考えて行動することができる。 臨床場面や状況への関心をもち、看護実践の内省を通して、臨床判断能力を研鑽することができる。
履修条件	
授業概要	看護の対象は地域社会で生活する人々であり、人々の健康は生活する地域の環境より影響を受ける。地域における健康の社会的決定要因、健康課題解決のための資源を理解し、地域で生活する人々のQOL向上を目的とした看護のあり方を学ぶ。また地域包括ケアシステムにおける保健・医療・福祉チームとの連携と地域で活動する看護職の役割について学ぶ。
履修目標	①人々の暮らし及び地域・在宅看護の役割について理解できる。 ②暮らしの基盤としての地域、地域包括ケァシステムと地域共生社会について理解できる。 ③地域・在宅看護の対象と対象への看護について理解できる。 ④地域における暮らしを支える看護について理解できる。 ⑤地域・在宅看護実践の場と連携について理解できる。 ⑥訪問看護の制度とその活用について理解できる。
授業計画・授業外学修課題	1　人々の暮らし(生活）の理解① 1.人々の生活（暮らし）の理解 1）暮らしとは、2）暮らしと健康の関係、3）暮らしのなかで健康をとらえる 2.暮らしと地域 1）地域の定義、2）人々の暮らす地域の多様性 3.暮らしと地域を理解するための考え方 1)システム理論、2)システム思考 授業外事前学修課題 「第1章: A人々の暮らしの理解(p12-18)」「第2章:A暮らしと地域、B.暮らしと地域を理解するための考え方（p32-45）を読む。 2　人々の暮らし（生活）の理解② １．　GW：自分と友人の暮らしをみてみよう。P27：課題2　ワーク3～51.暮らしと地域 4.地域を「みる」：課題「地区踏査」についての説明 授業外事前学修課題：「第2章:A・B」を読む（60分） 授業外事後学修課題：学修した内容のノートを整理する。15回目の提出に向けて地区踏査の課題への取り組みの計画を立てる。（90分） 学修した内容のノートを整理する。課題1をGWの内容をもとにﾜｰｸｼｰﾄ1・2は修正･追記。ﾜｰｸｼｰﾄ3～4は記載して、11/2に提出する。 3　1.暮らしを支える地域・在宅看護2.暮らしの環境を整える看護3.広がる看護の対象と提供方法 1.暮らしを支える地域・在宅看護 1）.暮らしを支える看護とは、2）暮らしを支える看護の実践 2.暮らしの環境を整える看護 1）暮らしに関連する環境、2）暮らしの環境を整える看護とは、3）看護師に求められる態度・知識・姿勢 3.広がる看護の対象と提供方法 1）健康に対する人々のニーズ、2）看護の実践方法の広がり、3）人々の健康にこたえる看護 授業外事前学修課題：「第4章:A・B・C」を読む（90分） 授業外事後学修課題：学修した内容のノートを整理する。（90分） 4　地域・在宅看護を展開するために基本理念 1.地域・在宅看護を展開するために基本理念 セルフケア理論，　保健行動理論，　アドボカシー，エンパワメント，　自己効力感，　ストレングス，　プライマリヘルスケア，ヘルスプロモーション、 ケアマネジメント 授業外事前学修課題：学習予定の基本理念について調べる（90分） 授業外事後学修課題：学修した内容のノートを整理する(90分) 5　地域・在宅看護の対象と看護① 1.ライフステージによる多様性と人々の暮らし 1）小児期、2）成人期、3）老年期 2.地域におけるライフステージに応じた看護 1）ライフステージによる健康課題と予防　2）疾病とライフステージ 3.健康レベルの多様性

		授業外事前学修課題：「第3章A」「第4章E」を読む（90分） 授業外事後学修課題：学修した内容をノートに整理する　（90分）
	6	地域・在宅看護の対象と看護② 1.家族の理解 2.家族とライフステージ 2.地域における家族への看護 授業外事前学修課題：教科書「第3章：B家族の理解」「第4章：D地域における家族への看護、Eの4家族とライフステージ」を読む(90分) 授業外事後学修課題：学修した内容のノートを整理する。（90分）
	7	地域に暮らす対象者の理解と看護：事例を使って考える 1.地域に暮らす対象者の理解と看護 2.事例を使ってのグループワーク：事例の生活上の課題、健康課題を考えよう。 授業外事前学修課題：「第3章C地域に暮らす対象者の理解と看護」を読む、事例の課題に取り組む（60分） 授業外事後学修課題：学修した内容をまとめる。グループワークをもとに事例の生活上の課題、健康課題を見直し、必要な支援を考える。（120分）
	8	1.地域包括ケアシステムと地域共生社会 1.地域包括ケアシステム 2.地域共生社会と地域共生社会を実現するために 3.様々な場・様々な職種で支える地域での暮らし 4.主な地域・在宅看護実践の場 授業外事前学修課題：「2章 C」「5章：A・B」を読む。「厚生労働省：地域共生社会ポータルサイト」URL（https://www.mhlw.go.jp/kyouseisyakaiportal/）を検索し読む 授業外事後学修課題：学修した内容のノートを整理する(90分)
	9	地域・在宅看護における多職種連携 1.医療・福祉・介護関係者との連携・協働 2..医療・福祉・介護関係者以外との連携・協働 3.横浜市の地域包括ケアシステムに関する事業や社会資源等 1）地域ケアプラザ 2）地域包括支援センター 3）地域子育て支援拠点 4）中途障害者地域活動センター　等
	10	1.地域での暮らしにおけるリスクの理解　　2.地域での暮らしにおける災害対策 1.地域での暮らしにおけるリスクの理解 2.地域での暮らしにおける災害対策 授業外事前学修課題：「第4章F地域での暮らしにおけるリスクの理解・G地域での暮らしにおける災害対策」を読む自分の地域のハザードマップ確認（90分） 授業外事後学修課題：学修した内容をノート・ワークシートに整理する（90分）
	11	地域・在宅看護における倫理. 1.看護倫理の概要と活用 2.地域・在宅看護特有の倫理問題 授業外事前学修課題：看護倫理について復習する（90分） 授業外事後学修課題：学修した内容のノート・ワークシートを整理する（90分）
	12	1. 訪問看護の制度（訪問看護の歴史含む） 1. 訪問看護の制度（訪問看護の歴史含む） 授業外事前学修課題：「第6章　C訪問看護の制度」を読む（90分） 授業外事後学修課題：学修した内容のノート・ワークシートを整理する（90分）
	13	訪問看護の実際：訪問看護師の活動を知ろう。 1. 訪問看護の実際についてゲストスピーカー（訪問看護師）の講義を聞く。 授業外事前学修課題：訪問看護師の活動についての教科書を読み、わからないところは自分で調べる（60分） 授業外事後学修課題：学修した内容のノートを整理する。「訪問看護師の役割」についてのレポートを作成する（120分。
	14	地域包括支援センター業務とその中での看護職の役割・仕事を知ろう 1：地域包括支援センター業務とその中での看護職の役割・仕事についてゲストスピーカー（地域包括支援センター看護職）の講義を聞く。 授業外事前学修課題：地域包括支援センターの看護職（保健師）活動についての教科書を読み、わからないところは自分で調べる（60分） 授業外事後学修課題：学修した内容のノートを整理する。「地域包括支援センターの看護職（保健師）の役割」についてのレポートを作成する（120分）
	15	地区踏査のGW・発表 1.各自が行った地区踏査の結果から、地域と生活の関係、地域を知ることの意義についてグルー

	プワークを行う。 授業外事前学修課題：地区踏査の課題を作成する（120分） 授業外事後学修課題：グループワークで学修した内容のノートを整理する（60分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	事例についてグループワークを行う。 地区踏査を行った結果についてグループ内で発表し、課題についてグループワークを行う。
課題のフィードバック方法と時期	授業で発表し、討議をする。 毎回の授業終了時にグーグルフォームで学習内容や質問を確認し、授業後または次回の授業時にフィードバックを行う。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：60％ 評価基準：最終試験.授業で学んだことを理解でき、6割の点数がとれていれば合格 履修目標との対応：①○、②○、③○、④○、⑤○、⑥○ 評価方法：課題レポート 評価割合：40％ 評価基準：課題について指示された内容、指示された書式での作成ができれば6割の点数がとれていれば合格 履修目標との対応：①○、②○、③○、④○、⑤○
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	系統看護学講座　専門分野　地域・在宅看護論[1]　地域・在宅看護の基盤　医学書院
実務経験のある教員による授業	訪問看護師、退院調整看護師、保健師、病棟看護師の経験を活かした授業を行います。
オフィスアワー・連絡先	山口　智美：tyamaguchi@soei.ac.jp　月曜日の昼休み 齊藤　美穂：msaitou@soei.ac.jp　月曜日の昼休み 村上　亜紀：amurakami@soei.ac.jp　月曜日の昼休み
備考	事前・事後の学習はしっかりと行うこと 試験の出題範囲は授業中に説明するので、しっかりと聞き、まとめること 30分以上の遅刻は欠席扱いとなる 私語は禁止、離席する場合は必ず教員に報告すること

講義科目名称： 地域・在宅看護方法論Ⅰ　　授業コード： 25G152

英文科目名称： Community/home care Nursing Ⅰ：Care & Methodology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	２年	２単位	必修
担当教員			
齊藤　美恵／看護学部　青山　美紀子／看護学部　村上　亜紀／看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	・臨床場面や状況への関心をもち、看護実践を通して、臨床判断能力を研鑽することができる。 ・看護の専門的知識・技術（及び倫理的態）に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる。
履修条件	「地域・在宅看護論」の単位を履修していること
授業概要	在宅看護に求められる基本的な看護技術および地域・在宅看護の対象である療養者と家族の健康課題別看護実践方法を修得する。さらに、地域・在宅看護の基盤となる看護者としての態度や倫理について学修する。
履修目標	① 地域・在宅看護を展開するための基本的知識及び看護実践方法を説明できる。 ② 対象者の健康課題に応じて看護実践するための看護技術と社会資源の活用方法について説明できる。 ③ 地域・在宅療養を支える多職種との連携・協働について説明できる。
授業計画・授業外学修課題	1回目　科目ガイダンス・暮らしを支える看護の基本① 療養時期別看護の展開方法 授業外学修：予習内容(90分)：テキスト①pp.228-248.を読む。 授業外学修：復習内容(90分)：リフレクションペーパーの提出。授業を通して理解したことをまとめる。 2回目　暮らしを支える看護の基本② 在宅療養を支える看護技術/療養環境を整えるための援助 授業外学修：予習内容(90分)：テキスト①pp.86-93.を読む。 授業外学修：復習内容(90分)：リフレクションペーパーの提出。授業を通して理解したことをまとめる。 3回目　暮らしを支える看護の基本③ 在宅療養を支える看護技術の特徴/健康状態を維持・向上するための援助 苦痛の緩和・安全確保、呼吸・循環　・苦痛の緩和と安楽・医療管理レベルの高い医療的ケア(在宅酸素療法、人工呼吸療法)　・在宅療養継続に必要なフィジカルアセスメント・フィジカルイグザミネーションなど 授業外学修：予習内容(90分)：テキスト①pp.93-248.を読む。 授業外学修：復習内容(90分)：リフレクションペーパーの提出。授業を通して理解したことをまとめる。 4回目　暮らしを支える看護の基本④ 家族支援/介護負担の理解/介護負担のアセスメント/事例に基づいた演習など 授業外学修：予習内容(90分)：テキストpp.50-70.を読む。 授業外学修：復習内容(90分)：リフレクションペーパーの提出。授業を通して理解したことをまとめる。 5回目　暮らしを支える看護の基本⑤ リスクマネジメント/倫理的諸問題への取り組み方 授業外学修：予習内容(90分)：テキストpp.70-85.を読む。 授業外学修：復習内容(90分)：リフレクションペーパーの提出。課題レポートあり。 6回目　在宅における医療的ケアの基本① 【〈ゲストスピーカー〉演習】 ①中心静脈栄養法（TPN）／在宅中心静脈栄養法（HPN）・カフティポンプの使用方法と管理・CVポートの管理 ②人工呼吸療法：HMV他 授業外学修：予習内容(90分)：テキストpp.172-205./PP.131-136.を読む。 授業外学修：復習内容(90分)：リフレクションペーパーの提出。課題レポートあり。 7回目　在宅における医療的ケアの基本② 【〈ゲストスピーカー〉演習】 ①中心静脈栄養法（TPN）／在宅中心静脈栄養法（HPN）・カフティポンプの使用方法と管理・CVポートの管理 ②人工呼吸療法：HMV他 授業外学修：予習内容(90分)：テキストpp.172-205./PP.131-136.を読む。 授業外学修：復習内容(90分)：リフレクションペーパーの提出。課題レポートあり。 8回目　事例別看護①　医療的ケア児への看護 専門職者による支援を必要とする子どもと家族 医療的ケアを必要とする小児の療養者への在宅看護＜ゲストスピーカー＞ 重症心身障害児、医療的ケア、成長発達支援、家族支援

	授業外学修：予習内容(90分)：テキスト①pp252～265を読む。質問内容をまとめておく。 授業外学修：復習内容(90分)：リフレクションペーパーの提出。課題レポートあり。 9回目　事例別看護②　神経難病患者への看護 専門職者による支援を必要とする難病患者と家族 医療的ケアを必要とする神経難病患者への在宅看護＜ゲストスピーカー＞ 神経難病患者、医療的ケア、家族支援 授業外学修：予習内容(90分)：テキスト①pp.283-308.を読む。質問内容をまとめておく。 授業外学修：復習内容(90分)：リフレクションペーパーの提出。課題レポートあり。 10回目　ケアマネジメント① ケアマネジメントの概念/ケアマネジメントの過程/社会資源の活用等 授業外学修：予習内容(90分)：テキスト①pp.358-380.を読む。 授業外学修：復習内容(90分)：リフレクションペーパーの提出。個人ワークを進める。 分からない用語を調べる。 11回目　ケアマネジメント② 事例検討 授業外学修：予習内容(90分)：テキスト①pp.358-380.を読む。 授業外学修：復習内容(90分)：リフレクションペーパーの提出。個人ワークを進める。 分からない用語を調べる。 12回目　ケアマネジメント③ ケアマネジメントの評価とサービスの調整 授業外学修：予習内容(90分)：テキスト①pp.358-380.を読む。 授業外学修：復習内容(90分)：リフレクションペーパーの提出。個人ワークを進める。 分からない用語を調べる。社会資源とその活用方法について調べる。 13回目　ケアマネジメント④ グループワークを通してケアマネジメントの理解を深める。 授業外学修：予習内容(90分)：個人ワークを進める 授業外学修：復習内容(90分)：リフレクションペーパーの提出。 個人ワークの成果物を見直し修正する。 14回目　事例別の看護④　在宅における高齢者への看護 認知症/独居高齢者/老老病病患者 在宅で人生の最期を迎えるための看護の基本 授業外学修：予習内容(90分)：テキスト①pp.318-329. を読む。 授業外学修：復習内容(90分)：リフレクションペーパーの提出。授業を通して理解したことをまとめる。 15回目　事例別の看護⑤　エンドオブライフケア⑤ 終末期看護の基本/エンドオブライフケア/看取り/グリーフケア 授業外学修：予習内容(90分)：テキスト①pp330～337. を読む。 授業外学修：復習内容(90分)：リフレクションペーパーの提出。授業を通して理解したことをまとめる。
アクティブラーニングを用いた授業方法	・Google classroomを活用し、双方向の情報共有を行います。 ・既学習内容や事前学習をもとに、毎回授業を進めていきます。 ・演習やICT、ケースメソッドなどを活用し、個別の学びと共に、グループワークを通して、地域在宅看護について学習を進めていきます。
課題のフィードバック方法と時期	・Google Classroomや課題シートを用いて、学修の理解度を整理し、Google classroomや指定BOXへ期日までに提出してもらいます。 ・授業内での課題や質疑に対するフィードバックはGoogle classroomや次回の授業で行います。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：60% 評価基準：最終試験:授業で学んだことを理解したうえで、さらに自分の意見を記できるかどうか 履修目標との対応：①○　②○　③○ 評価方法：レポート・課題 評価割合：20% 評価基準：テーマにそった内容であり、文章の構成が整っているか、文献も適切に引用できているかどうか 履修目標との対応：①○　②○　③○ 評価方法：平常点評価 評価割合：10% 評価基準：リフレクションペーパー：授業の要点や自分の意見を端的にまとめることができるかどうか 履修目標との対応：①○　②○　③○ 評価方法：その他 評価割合：10% 評価基準：演習への取り組みができているかどうか 履修目標との対応：①○　②○　③○
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：①河原加代子：系統別看護学講座 地域・在宅看護論2-地域・在宅看護の実践-医学書院 ②新訂版　写真でわかる訪問看護アドバンス　2021年 参考文献：訪問看護活用ガイド改訂版　勇美記念財団、国民衛生の動向2025/2026 参考資料：日本看護協会動画ポータル、看護職を目指す方へ－訪問看護師 https://www.nurse.or.jp/portal/list02.html 他、授業時に随時紹介します。 テキスト以外にも、必要に応じてレジュメ等の資料を配布の予定。

	＊演習では、地域在宅領域で指定されたユニフォーム（白ポロシャツ、ベージュ・紺のチノパン、白靴下）を着用します。結髪や爪など清潔感のある身だしなみに整えて参加してください。感染予防対策として、マスク必着、手指消毒薬が必須です。
実務経験のある教員による授業	担当教員は看護師および教員経験を有していますので、その経験を活かして将来を見据えた生きた実践学の知をお伝えします。
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワー：火曜日3・4限 連絡先：齊藤美恵　msaito@soei.ac.jp
備考	・日本社会では近年、在院日数の短縮化に伴い在宅での医療ニーズが高まっています。看護職には、小児から高齢者まであらゆる年代の方はもとより、様々な疾患や障害を抱えながら療養している人々とご家族への支援方法について学ぶことが求められています。 ・当科目は地域包括ケア実習を含め、基礎的な実習を経験した後に開講する科目です。既習学修内容の復習や事前課題への取り組みなど、主体的な学修への参加を期待しています。 ・30分以内の遅刻早退３回で１回の欠席、30分以上の遅刻早退は１回の欠席とみなします。

講義科目名称： 地域・在宅看護方法論Ⅱ　　授業コード： 25G153

英文科目名称： Community/home care Nursing Ⅱ：Care & Methodology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	３年	２単位	必修
担当教員			
齊藤　美恵/看護学部　青山　美紀子/看護学部　村上　亜紀/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	・看護の対象となる人々の臨床場面や状況への関心を持ち、看護実践への内省を通して、臨床判断能力を研鑽することができる。 ・看護の専門的知識・技術（及び倫理的態度）に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる。
履修条件	地域・在宅看護論の単位を修得していること 地域・在宅看護方法論Ⅰを履修していること
授業概要	・在宅看護における特徴的な事例をもとに、在宅看護を必要とする人々の生活継続に向けた看護展開方法について学ぶ。 ・在宅看護の対象となる人々を生活者として捉えなおしたうえで、生活の質の維持向上に向けた支援方法について学ぶ。 ・在宅療養者の生活の質を維持向上するための、保健・医療・福祉等に関する社会制度や地域包括ケアシステムの活用方法等について学ぶ。
履修目標	① 在宅療養者をICFの概念に基づいて捉えることができる。 ② 在宅療養者と家族の健康上および生活上の課題をアセスメントすることができる。 ③ アセスメントに基づいた看護計画を立案すると同時に評価の指標を設定することができる。 ④ グループワークを通して自身の看護過程を振り返り、療養者に適した看護展開について考察することができる。 ⑤ 在宅療養者の生活を支える社会制度等について説明することができる。
授業計画・授業外学修課題	1　地域・在宅看護における看護過程① 地域・在宅看護における看護過程の基本 事前学修（90分）：指定テキストPP.12-23までを読む。 事後学修（90分）：授業内容をノートにまとめる。授業内容と授業資料のなかに曖昧な用語などがあれば改めて調べる。 2　地域・在宅看護における看護過程② 地域・在宅看護における看護過程の基本的な考え方と展開方法 事前学修（90分）：指定テキストPP.24-48までを読む。 事後学修（90分）：授業内容をノートにまとめる。授業内容と授業資料のなかに曖昧な用語などがあれば改めて調べる。 3　地域・在宅看護における看護過程③ 事例の理解/情報の整理/アセスメント/関連図 事前学修（90分）：指定テキストPP.12-48を読む。 事後学修（90分）：授業でとりあげた事例の中に曖昧な用語などがあれば調べる。 4　地域・在宅看護における看護過程④ 事例の理解/アセスメントを踏まえた看護計画立案/看護目標の設定/評価指標の設定 事前学修（90分）：指定テキストPP.12-48を読む。 事後学修（90分）：授業でとりあげた事例の中に曖昧な用語などがあれば調べる。 5　＜看護過程の展開＞情報の整理① 事例の理解/情報の整理/曖昧な知識の補充 事前学修（90分）：指定テキストPP.12-48を読む。第1回～第4回までの授業を振り返る。 事後学修（90分）：紹介された事例の情報整理を行う。分からない用語や曖昧な用語などがあれば調べる。 6　情報の整理② 情報の整理/アセスメント 事前学修（90分）：事例の情報を指定された様式にまとめる。 事後学修（90分）：事例の情報を指定された様式にまとめる。 7　「アセスメントと関連図① アセスメント/関連図の作成 事前学修：整理した情報をもとにICFの項目別に健康あるいは生活に影響を与える可能性のあるを思われることについて考察する。 事後学修：ICFの項目別にアセスメントを進める。 8　アセスメントと関連図② アセスメント/関連図の作成 事前学修（90分）：アセスメントをもとに関連図を描き、事例の健康あるいは生活に影響を及ぼ

	していること、及ぼす可能性のあることについての関連を考察する。 事後学修（90分）：療養生活を継続するために必要な支援の方向性について考える。 9　アセスメントと関連図③ アセスメントと関連図の完成 事前学修（90分）：アセスメントをもとに関連図を描き、事例の健康あるいは生活に影響を及ぼしていること、及ぼす可能性のあることについての関連を考察する。 事後学修（90分）：療養生活を継続するために必要な支援の方向性について考える。 10　看護計画の立案① 看護目標の設定/看護計画の立案 事前学修（90分）：療養生活を継続するために必要な支援の方向性について考える。 事後学修（90分）：看護目標を設定して計画を立案する。 11　看護計画の立案② 看護計画の立案 事前学修（90分）：看護目標を設定して計画を立案する。 事後学修（90分）：看護計画を具体的に立案する。 12　看護計画の立案と評価指標の設定 看護計画の立案/評価指標の設定 事前学修（90分）：看護計画を具体的に立案する。 事後学修（90分）：看護目標に即して評価の指標を設定する。 13　看護過程の共有① グループワークにより看護過程全般の見直しを行う 事前学修（90分）：看護過程全般を見直す 事後学修（90分）：他者の看護過程を手掛かりに自身の看護過程を見直し修正する 14　看護過程の共有② グループワークにより看護過程全般の見直しを行う 事前学修（90分）：看護過程全般を見直す 事後学修（90分）：他者の看護過程を手掛かりに自身の看護過程を見直し修正する 15　看護計画の修正 看護計画の見直しと修正 事前学修（90分）：看護過程の見直しと修正 事後学修（90分）：看護過程の完成（課題レポートとしての見直しを行う）
アクティブラーニングを用いた授業方法	・Google classroomを活用して双方向の情報共有を行います。 ・既習学修や事前学習をもとに授業を進めます。 ・演習やICT、ケースメソッド、グループワーク、プレゼンテーション等を活用して各自の学びがさらに広く深くなるよう学修を進めていきます。
課題のフィードバック方法と時期	・各授業開始冒頭に前回の授業コメントや質問等への説明と補足を行います。 ・提出された課題は補足の説明を行うと同時に返却します。 ・グループワークの参加度や達成度についてルーブリックによる自己評価を行っていただきます。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：①　筆記試験 評価割合：４０％ 評価基準：最終試験：授業で学んだことを理解しているか。理解したうえで自分の考えを表記できる 履修目標との対応：　①　○　②　○　③　○　④　○　⑤　○ 評価方法：看護過程展開記録 評価割合：５０％ 評価基準：看護過程展開記録用紙の目的に沿った内容が記載されているかどうか　事例対象に必要な内容が記載されているかどうか　提出期限 履修目標との対応：　①　○　②　○　③　○　④　○　⑤　○　⑥　○ 評価方法：授業参加態度（グループワーク参加態度含む） 評価割合：１０％ 評価基準：リフレクションペーペーパー記載内容、授業による学びや進捗が自分の意見として表記されているかどうか、提出物の期限が守られているかどうかについて評価します 履修目標：　①　○　②　○　③　○　④　○　⑤　○　⑥　○
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：系統別看護学講座「地域・在宅看護論2　地域・在宅看護の実践」医学書院 参考資料：「写真でわかる訪問看護アドバンス」インターメディカ 「国民衛生の動向」一般社団法人厚生労働省統計協会 厚生労働省ホームページ 神奈川県ホームページ 横浜市ホームページ 日本訪問看護財団　公式サイト 日本難病センターALS 日本ALS協会
実務経験のある教員による授業	保担当教員は看護師および教員経験を有していますので、その経験を活かして将来を見据えた生きた実践学の知をお伝えします。
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワー：火曜日3・4限 連絡先：齊藤美恵　msaito@soei.ac.jp
備考	地地域・在宅看護方法論Ⅱは、地域・在宅看護論、地域・在宅看護方法論Ⅰを履修した方を対象に開講されます。さらに、地域包括ケア実習で経験した学修内容も地域・在宅で療養されている対象者と家族を理解するのに重要です。 ・30分以内の遅刻・早退　3回で1回の欠席としてみなします。

	・30分以上の遅刻・早退は1回の欠席としてみなします。

講義科目名称： 地域包括ケア実習　　授業コード： 25G154

英文科目名称： Community-based Comprehensive care： Clinical Practicum

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	２年	１単位	必修
担当教員			
齊藤　美恵/看護学部　青山　美紀子/看護学部　村上　亜紀/看護学部　山口　智美/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	看護の対象となる地域で暮らす人々に興味関心を持ち、尊厳を守り行動することができる 保険医療複視チームの中で協働・連携し、自らの役割を果たすことができる
履修条件	基礎看護学実習Ⅰの単位を修得し、地域・在宅看護論、保健福祉行政論Ⅰを履修していること
授業概要	看護の対象は、地域で生活する人々であることを踏まえ、地域での住民の健康な生活を支えるための地域包括ケアシステムの構造・機能について体験的に学ぶ。 また、関係機関や専門職、住民等の連携や協働の実際から地域包括ケアシステム構築における看護専門職の果たす役割について学ぶ
履修目標	①実習施設の機能と役割について理解できる ②住民が生活する地域の特徴及び住民の生活状況、住民の健康と環境の関係が説明できる ③住民が地域で生活していくために必要な地域包括ケアシステムにおける社会資源について理解できる ④住民の地域での生活を支えるための地域包括ケアシステムにおける多機関・多職種連携、協働の意義、目的、方法について説明できる ⑤地域包括ケアシステムにおける看護職の役割について考察できる ⑥看護学生として施設利用者や施設職員等に対して適切な態度で接することができる
授業計画・授業外学修課題	実習期間：5日間（　施設実習3日　学内実習2日　） 実習時間：9時～17時（ただし実習施設の指示に従う） 実習方法：事前学修課題 学内実習 施設実習 実習内容：事前学修課題 課題提示内容に従って既習学修、行政機関、各施設のホームページなどを活用し情報収集しポートフォーリオ作成 学内実習 実習第1日目　午前 オリエンテーション　実習要項に沿って実施 午後 地区踏査準備計画　施設までの経路実践確認 実習第5日目　午前 最終合同カンファレンス　発表　考察 午後 実習レポート作成　評価面接実施　記録物提出 施設実習 実習第2日・3日・4日目　各施設実習　各事業参加、家庭訪問、相談、会議などの見学実習　地区踏査実施 毎日カンファレンスの実施　施設実習最終日　最終カンファレンスを指導者参加のもとに実施 実習施設　地域ケアプラザ　７か所　緑区　青葉区　地域子育て支援拠点　2か所　中途障碍者地域活動センター　2か所
アクティブラーニングを用いた授業方法	ICT活用し情報収集　グループワーク　プレゼンテーション　地区踏査
課題のフィードバック方法と時期	事前学修：実習オリエンテーション時に事前学修課題についての達成度、修正内容の提示を各グループ、個人に行う 実習中：実習中に生じる課題についてはタイムリーに対応しフィードバックを行う。 毎日のカンファレンスにおいて実習内容の課題、グループ、個人の課題について検討する 実習終了後：学内において合同カンファレンス及び個人面談を通してフィードバックする
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：実習時間の４/５以上を出席しているもの者について事前学修課題、実習記録、実習レポート、実習態度を総合して評価する 評価方法：事前学習課題　　実習施設概要を調べる　地域包括ケアシステムについて 評価割合：17% 評価基準：課題に則した内容であり、記載条件、文章構成、引用参考文献の適切な提示がされているか　ルーブリック参照 履修目標との対応：　①　○　　②　○　　③　○　④　○　⑤　○ 評価方法：実習記録 評価割合：40% 評価基準：実習記録　記録記載内容80%以上の記載　文章構成が整っていること　ルーブリック参照 履修目標との対応：　①　○　②　○　③　○　④　○　⑤　○ 評価方法：実習態度　連絡・相談・報告の実施　身だしなみ・諸作法の実施　健康管理、感染予防対策、実習施設の実習姿勢 評価割合：２８％ 評価基準：実習施設、参加イベント、家庭訪問時の実習姿勢についての実施状況　ルーブリック参照 履修目標との対応：⑥　○

	評価方法：実習レポート 評価割合：15％ 評価基準：提示したレポート課題に対して内容が則っていること　記載条件、文章構成、引用参考文献が提示されていること　ルーブリック参照 履修目標との対応：　①　○　②　○　③　○　④　○　⑤　○
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：地域・在宅看護の基盤　　医学書院 参考文献：国民衛生の動向2024/2025　一般在団法人構成労働統計協会 神奈川県ホームページ 各実習施設ホームページ
実務経験のある教員による授業	保健師・訪問看護師・退院調整看護師としての経験を活かした授業を行う
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワー：月曜日3・4限（変更の場合には速やかにお知らせいたします） 連絡先：齊藤美恵　msaito@soei.ac.jp,　村上亜紀　amurakami@soei.ac.jp, 山口智美　tyamaguchi@soei.ac.jp
備考	事前学修課題・地区踏査など事前学修を十分に行うこと。 積極的に臨むこと 看護学生としての倫理観、マナーを遵守すること

講義科目名称： 地域・在宅看護実習　　授業コード： 25G155

英文科目名称： Home Care Nursing： Clinical practicum

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	４年	２単位	必修
担当教員			
村上　亜紀/看護学部　齊藤　美恵/看護学部　青山　美紀子/看護学部　山口　智美/看護学部　　助手/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	在宅療養の場面に限らず、対象の暮らす地域の特性や生活の歴史にも関心を持ち、対象への看護を考えることを大切にする。 訪問看護では、多様な背景を有する療養者とその家族の生活や健康に対する課題を考察し、住み慣れた環境で安心して在宅生活が継続できるよう、望みや強み・弱みをいかした看護実践を行う。 地域包括ケアシステムの構成要素である地域の中で活動する訪問看護ステーションや同行訪問でかかわる療養者の事例を通して、制度や社会資源、行政や公共機関、多機関や多職種の役割や協働、連携の実際を理解する。
履修条件	2年次までの必修科目、地域在宅看護方法論Ⅱの単位を修得していること
授業概要	訪問看護を必要とする地域で生活する看護の対象への健康の維持・増進、予防、QOL向上のための基本的な訪問看護実践能力を養う。 同行訪問を通じて、療養生活を支える介護状況や生活の実態に触れることによって、訪問看護における、倫理観、信頼関係構築のプロセス、諸機関との連携、協働の実際を学習する。また、家族看護の視点からも看護の方向性を考え、地域在宅看護における看護の役割と機能への理解を深める。
履修目標	①実習施設の機能と役割について理解できる ②地域における在宅療養者を生活者として捉えることができる ③生活者としての在宅療養者と家族への看護展開方法がわかる ④地域包括ケアシステムにおける看護師の役割について考察できる ⑤看護学生としての責任と自覚をもって行動することができる
授業計画・授業外学修課題	地域・在宅で生活している療養者とその家族の生活支援と看護援助の実際について学ぶ。 実習期間： 2週間　90時間 実習スケジュール： 事前学修　事前学修課題の提出　修正 第1週　月曜日　学内 火～木曜日　臨地実習（訪問看護ステーション実習） 金曜日　学内 第2週　月～木曜日　臨地実習（訪問看護ステーション実習） 金曜日　学内 実習方法： 第1週　月曜日　午前：オリエンテーション　午後：各実習先（訪問看護ステーション）の場所確認、地区踏査実施 第1週　火・水曜日　訪問看護ステーション実習（看護師および多職種とともに同行訪問、カンファレンス） 木曜日　訪問看護ステーション実習（看護師および多職種とともに同行訪問、中間カンファレンス） 金曜日　学内実習(記録整理、技術練習など) 第2週　月～水曜日　訪問看護ステーション実習（看護師および多職種とともに同行訪問、カンファレンス） 木曜日　訪問看護ステーション実習（看護師および多職種とともに同行訪問、最終カンファレンス） 金曜日　学内実習(合同カンファレンス、記録の整理、評価面接) 実習内容： 事前学修課題①在宅看護実習に必要な学修課題を提示　ファイルの作成 ②レポート「在宅看護実習での学修目標」「療養者宅に訪問する際の姿勢やマナーについての留意点」について 実習1日目　学内実習　午前　実習オリエンテーション　身だしなみ　課題の確認　必要物品・借用物品確認 実習2日目～4日目　臨地実習　訪問看護ステーション　同行訪問　受け持ち療養者を決定し、看護過程展開を行う。カンファレンス実施　中間カンファレンス指導者とともに受け持ち事例の看護の方法性確認 実習5日目　学内実習　受け持ち事例のアセスメント、課題の明確化、看護計画立案 実習6日目～9日目　臨地実習　同行訪問実習　受け持ち療養者訪問　看護計画実施・評価・修正カンファレンス実施　最終カンファレンス指導者とともに実習目標・看護過程評価 実習10日目　最終日　学内実習　合同カンファレンス　最終レポート作成　評価面接　記録物提出　借用物品の消毒・返却
アクティブラーニングを用いた授業方法	実習での気づきや経験をしたことから感じた問題や課題に対して、自分で調べたことや考えたことをグループディスカッションやディベート、グループワークなどを通じてアウトプットすることで、学生自身が主体的に学習します。

課題のフィードバック方法と時期	事前学習　：提示された事前課題に各自で取り組み、期日までに提出をしてください。担当教員が提出された学習内容を確認し、指導助言を行います。必要な場合は追加修正を行い、実習までに整えていきます。 実習中　　：実習内容の確認、受け持ち療養者への看護過程の展開において、グループカンファレンスや個別に指導助言を行います。各自で追加修正を行います。 実習最終日：実習で経験したことが学んだことなど、実習目標に合わせて整理し、合同カンファレンスによるプレゼンテーションや意見交換を行います。学生の自己評価をもとに、実習記録やレポート内容への追加修正の確認など、個人面談を行い、実習目標の到達度を確認していきます。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：事前学習課題、レポート 評価割合：10% 評価基準：提出期限、課題への学習内容の到達度、課題・テーマにそった内容でありるか、文章の構成が整っているか、文献も適切に引用できているかどうか 履修目標との対応　　①○　②○　③○　④○　⑤○ 評価方法：実習へのとりくみ 評価割合：90% 評価基準：実習に臨む姿勢、態度、事前学習課題、レポート、実習記録 実習に臨む姿勢、態度、実習先・訪問先でのマナー(挨拶、整容、言動、個人情報の取り扱い、報告連絡相談、健康管理が適切に行われているか。実習記録に必要事項が記載されているか。看護過程の展開ができているか。期日、時間が厳守できているか) 履修目標との対応：①○　②○　③○　④○　⑤○
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：系統別看護学講座　地域在宅看護論１-地域・在宅看護の基盤-　医学書院 系統別看護学講座　地域在宅看護論２-地域・在宅看護の実際-　医学書院 写真でわかる訪問看護アドバンス　インターメディカ 参考資料：全国訪問看護事業協会：https://www.zenhokan.or.jp 日本看護協会訪問看護：https://www.nursing/zaitaku/houmonkango/index.htmi 日本訪問看護財団公式サイト：https//wwwjvnf.or.jp 神奈川県ホームページ：https://www.pref.kanagawa.jp/
実務経験のある教員による授業	看護師・保健師として実務経験を活かした実習指導を行います。
オフィスアワー・連絡先	連絡先：実習前後の各2週と臨地実習期間中は大学貸与の実習用スマートフォンと大学G-mailにて対応します（詳細は、実習初日の学内実習にてお知らせします）。ほか、地域在宅看護実習classroomからも対応を行います。 オフィスアワー：基本的な手順は、以下のとおりです。 1)オフィスアワー実施一覧をご覧ください。＊詳細は実習初日にもお伝えします。 2)相談を希望する教員のオフィスアワーの実施時間を確認し、特記事項のある場合はそれに従ってください。 ＊臨時の会議などにより担当教員が不在の可能性もありますので、電話・メールなどで事前に連絡をとることをお勧めいたします。
備考	多様なケースに同行訪問させていただきます。地域で生活されている訪問看護の対象のお宅に訪問をし看護を学ばせて頂けることに感謝の意を忘れないでください。主体的積極的に取り組み、エビデンスを明確にし、倫理性や諸作法を大切に実習に臨んでください。

講義科目名称： 成人看護学概論　　授業コード： 25G201

英文科目名称： Introduction to Adult Nursing

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年	１単位	必修
担当教員			
西出　久美/看護学部　中田　千恵子/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	○看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。 ○臨床場面や状況への関心をもち、看護の専門的知識・技術を学び、倫理的態度を養う。 ○保健医療福祉チームの中で協働・連携し、自らの役割を果たすことができる。
履修条件	特になし
授業概要	成人看護学の対象ならびに役割・機能を社会生活との関連から概観し、対象の健康問題に対して家族を含めて、成熟とセルフケアの観点から看護活動を思考するために必要な理論と方法論の基礎を学ぶ。さらに成人を集団として理解するために成人期の保健動向とその政策についても学修する。
履修目標	①成人期にある対象の身体的・心理的・社会的特徴と健康問題について説明できる。 ②成人の生活と成人を取り巻く社会環境が健康にどのように影響するのかを説明できる。 ③成人特有の健康問題及び成人保健の動向について説明できる。 ④成人看護の基本となる考え方や方法論について説明できる。 ⑤成人を対象とした保健・医療・福祉政策の現状について説明できる。 ⑥成人の様々な健康レベルに対応した看護について説明できる。
授業計画・授業外学修課題	1　成人期にある人の特徴（西出） 1.成人看護の対象 1）ライフサイクルとは 2）成人期とは 3）成人とは 4）発達理論から見た成人期 授業外事前学修課題：テキスト当該ページを精読しておく（90分） 授業外事後学修課題：授業内の内容を復習し、テキスト当該ページをもう一度精読し、わからない箇所は調べて理解する。（90分） 2　成人期の健康障害（西出） 1．青年期・壮年期の特徴 1）青年期の身体的精神的社会的特徴 2）青年期の健康問題 3）壮年期の身体的精神的社会的特徴 4）壮年期の健康問題 2．成人期における健康障害の予防と対策 1）成人期における健康障害の特徴　(1）生活習慣病とは　(2）三大生活習慣病　(3）生活習慣病の要因 2）疾病予防の現状と動向　(1）生活習慣病（疾病）の予防の概念　(2）ヘルスプロモーションの施策（健康づくり対策） 授業外事前学修課題：テキスト当該ページを精読しておく（90分） 授業外事後学修課題：授業内の内容を復習し、テキスト当該ページをもう一度精読し、わからない箇所は調べて理解する。（90分） 3　健康レベルによる対象の特徴と看護①急性期・回復期（中田） 急性期・回復期にある対象とその家族の特徴と看護について学ぶ 1．健康レベル（健康段階）とは 2．急性期の看護 3．回復期の看護 授業外事前学修課題：テキスト当該ページを精読しておく（90分） 授業外事後学修課題：授業内の内容を復習し、テキスト当該ページをもう一度精読し、わからない箇所は調べて理解する。（90分） 4　健康レベルによる対象の特徴と看護②慢性期・終末期（西出） 1．慢性期の看護 1）慢性疾患の特徴　2）慢性的な経過をたどる健康障害の患者　3）慢性期の看護の場　4）自己管理　セルフケア論 5）アドヒアランス　6）クオリティ・オブ・ライフ　QOL　7）家族への援助 ２．終末期の看護 1）終末期とは　2）緩和ケアとは　3）全人的苦痛とは　4）緩和ケア（終末期看護）の場と時期 5）終末期における身体的精神的社会的苦痛・スピリチュアルペイン 6）緩和ケア（パリアティブ・ケア）の目標 授業外事前学修課題：テキスト当該ページを精読しておく（90分） 授業外事後学修課題：授業内の内容を復習し、テキスト当該ページをもう一度精読し、わからない箇所は調べて理解する。（90分）

	5	成人看護に使用される理論モデル①（西出） 1．中範囲理論とは 2．「自己効力理論」「アドヒアランス・コンプライアンス」「アンドラゴジー」「ストレス理論、ストレスコーピング」「危機理論」グループワーク 授業外事前学修課題：テキスト当該ページを精読しておく（60分） 授業外事後学修課題：成人期の対象に使用される理論モデルの全体像を概観する。指定された理論モデルについて調べ、発表の準備を行う。（110分）
	6	成人看護に使用される理論モデル②（西出） 「自己効力理論」「アドヒアランス・コンプライアンス」「アンドラゴジー」「ストレス理論、ストレスコーピング」「危機理論」発表とまとめ 授業外事前学修課題：指定された理論モデルについて調べ、発表の準備を行う。（150分）グループ内他のメンバーの発表資料を精読、内容の確認・質問事項の整理を行う。 授業外事後学修課題：成人期の対象に使用される理論モデルの全体像を概観する。授業内の内容を復習し、テキスト当該ページをもう一度熟読し、わからない箇所は調べて理解する。（30分）
	7	成人におけるヘルスアセスメント①（西出） 理論の活用と健康レベルに応じた看護（まとめ） 1．事例を通して、成人期の特徴・健康レベルに応じた看護の特徴や理論などをふまえて、患者の状況を捉える。 2．事例を通して、健康レベルに応じた患者へのアプローチ方法を考える。 3．グループからクラス全員での検討により、看護レベルに応じた看護について考えを共有し、考えを深める。一つの問題点を選択し具体的看護計画を立案し、発表する。 授業外事前学修課題：事前に配布した事例について精読し、わからないことは調べておく（90分） 授業外事後学修課題：授業内の内容を復習し、テキスト当該ページをもう一度精読し、わからない箇所は調べて理解する。（90分）
	8	成人におけるヘルスアセスメント②（西出） 1．成人を対象としたヘルスアセスメント 1）フィジカルアセスメント 2）心理社会的側面に関するアセスメント 3）家族・文化に関するアセスメント 2．ゴードン機能的健康パターンによるアセスメント 3．事例を通して、情報整理とアセスメントの例を理解する。 授業外事前学修課題：テキスト当該ページを精読しておく（90分） 授業外事後学修課題：授業内の内容を復習し、テキスト当該ページをもう一度精読し、わからない箇所は調べて理解する。（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク、プレゼンテーションを行う。	
課題のフィードバック方法と時期	課題及びリフレクションペーパーへは各回GoogleClassroom上でコメントを配信する。	
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：90% 評価基準：最終試験ー授業で学んだことを理解しているかどうか。 履修目標との対応：①○　②○　③○　④○　⑤○　⑥○ 評価方法：課題 評価割合：10% 評価基準：提出期限様式の遵守、課題の意図の理解と多様な意見の参照度と自己の意見の洗練の程度、GW取組み 履修目標との対応：①②④⑥○　③⑤×	
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	成人看護学　成人看護学概論　ヌーヴェルヒロカワ	
実務経験のある教員による授業	各回は看護師としての実務経験を生かした講義・演習を行います。	
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワーは毎週水曜日昼休み時間です。knishide@soei.ac.jp	
備考	今後展開する成人看護学領域の授業の基礎となる科目です。積極的に授業に参加し、事前・事後学習に取り組む必要があります。	

講義科目名称： 成人看護学方法論Ⅰ　　授業コード： 25G202

英文科目名称： Adult Nursing Ⅰ：Care & Methodology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年	２単位	必修
担当教員			
上田　佳余子/看護学部　西出　久美/看護学部　藤田　文子/看護学部　岩谷　正美/看護学部　那須　実千代/看護学部 中田　千恵子/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	○看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。 ○臨床場面や状況への関心をもち、看護の専門的知識・技術を学び、倫理的態度を養う。 ○看護の専門的知識・技術（及び倫理的態度）に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる。
履修条件	成人看護学概論を履修していること。
授業概要	急性期看護の基本的な考え方（侵襲と回復過程を含む）、急性期および生命の危機状況や周術期にある対象者および家族の特徴を学び，対象者と家族の状況に応じた看護援助を実践するために必要な概念や方法を理解することを目的とする。
履修目標	①健康レベルの変動が大きい時期にある患者とその家族の特徴を説明できる。 ②主に急性的な健康障害に対する検査・治療・処置について説明できる。 ③主に急性的な健康障害およびそれに伴う検査・治療・処置が対象者の生活に及ぼす影響を説明できる。 ④主に急性的な健康障害をもつ患者や家族に対し、必要な看護について説明できる。 ⑤手術を受ける患者とその家族の特徴について説明できる。 ⑥術式別の術前術後の看護について説明できる。 ⑦急性期および周術期の患者に必要なフィジカルアセスメントについて説明できる。 ⑧術後合併症予防のための援助が実施できる。
授業計画・授業外学修課題	1　急性期看護総論：健康レベルの変動が激しい病態を有する人への看護（上田） Ⅰ.急性期看護の概念 １．急性期看護とは ２．急性期状態にある成人期の患者と家族の特徴 ①身体的特徴　②心理的特徴　③社会的特徴 Ⅱ.急性期看護とクリティカルケア 授業外事前学修課題：テキストの当該ページの精読（60分） 授業外事後学修課題：講義資料とテキストの当該ページを精読し、内容を整理・不明な部分を調べて理解する（90分） 2　急性期看護総論：侵襲に対する生体反応と麻酔と手術による生体への影響（上田） Ⅰ.急性の状態を生じる原因 1.侵襲と生体反応 2.ショック Ⅱ.麻酔と手術による生体への影響 1．麻酔の種類と影響　①全身麻酔　②部分麻酔 2．術後の生体反応と回復過程（Mooreの分類） 3．循環器・呼吸器・消化器への影響 4．創傷治癒・疼痛・神経系への影響 授業外事前学修課題：テキスト当該ページの精読（60分） 授業外事後学修課題：講義資料とテキストの当該ページを精読し、内容の整理・不明な部分を調べて理解する（90分） 3　周術期看護①：術前の看護　術直後の合併症と看護（上田） Ⅰ.周術期看護 1．手術期看護とは 2．手術前期の看護 ①手術前期の看護：術前検査、情報収集とアセスメント、術前オリエンテーション、術後合併症予防のための術前練習 ②手術前日の看護：術前訪問、皮膚の清潔、心理的安定 3．手術直後の合併症と看護 授業外事前学修課題：術前に行う術後合併症予防のための看護についてまとめる（90分） 授業外事後学修課題：講義中に説明した内容と自己が追記した内容の整理、不明部分を調べ学修する（90分） 4　周手術期看護②　術後合併症に対する看護と社会復帰に向けた看護（上田） Ⅰ.術後合併症に対する看護 1．手術後期の看護：手術直後の合併症、病棟看護師への報告 Ⅱ．術後合併症に対する看護（グループワーク） 1.主な術後合併症と発生機序 2．術後合併症予防・回復促進のための援助 授業外事前学修課題：術後合併症の発生機序および予防と回復促進のための看護計画をまとめる

		（150分） 授業外事後学修課題：術後合併症の看護で不足していた部分についての追記と不明点の調べ学修をする（30分）
	5	周術期看護③（上田） Ⅰ．術後合併症に対する看護 グループワークと発表 １．術前呼吸訓練、 ２．異常の早期発見のための観察と合併症を起こした時の看護 Ⅱ．循環器合併症の予防と観察と看護 １．深部静脈血栓症・肺塞栓症予防、早期離床の看護 ２．異常の早期発見のための観察と合併症を起こした時の看護 授業外事前学修課題：術後合併症の発生機序および予防と回復促進のための看護計画をまとめる（150分） 授業外事後学修課題：術後合併症の看護で不足していた部分についての追記と不明点の調べ学修をする（30分）異常の早期発見のための観察と合併症を起こした時の看護
	6	開胸術を受ける患者の看護（上田） Ⅰ.肺切除を受ける患者の看護 1．肺の機能、対象となる疾患 2．術式と看護 ①術前訓練（禁煙、呼吸訓練） ②術式（開胸術、胸腔鏡下肺切除術）と胸腔ドレーンの管理 ③術後に起こりやすい合併症とその看護 授業外事前学修課題：呼吸器（口～肺）の機能、肺がんの種類とTMN分類、開胸術と胸腔鏡下肺切除術の術式（図で表示する）と術後に起こりやすい合併症とその看護についてまとめる（120分） 授業外事後学修課題：講義資料や説明をもとに内容を整理する（３０分）
	7	開心術を受ける患者の看護（上田） Ⅰ.開心術を受ける患者の看護 1．心臓の機能と血管系について 2．対象となる疾患 3．術式と看護（弁閉鎖不全で手術を受ける患者の事例をもとに学ぶ） 4．術後に起こりやすい合併症とその看護 授業外事前学修課題：事例と課題を配布する（150分） 授業外事後学修課題：講義中の資料、事例の資料をよく読み内容を整理する（30分）
	8	手術室の看護（認定看護師：山口） Ⅰ．手術室看護概論 １．手術室とは　　環境、設備 ２．手術室看護師の役割 Ⅱ．全身麻酔と手術中に起こりやすい合併症と看護 授業外事前学修課題：該当するテキスト部分の精読、質問を考えてくる（80分） 授業外事後学修課題：講義中の資料、事例の資料をよく読み内容を整理する（60分）
	9	周術期の臨床判断演習①（成人看護学教員） Ⅰ.術後合併症予防の看護 Ⅱ．合併症のアセスメント 実施方法：事前課題の確認 グループに分かれ実施する 授業外事前学修課題：別途演習要項を配布する。ナーシングスキルの視聴と課題内容を記載する（120分） 授業外事後学修課題：演習実施後の学びについて追記、演習後の感想を記載し提出（30分）
	10	周術期の臨床判断演習②（成人看護学教員） Ⅰ.術後合併症予防の看護 Ⅱ．合併症のアセスメント 実施方法：事前課題の確認 グループに分かれ実施する
	11	運動器への手術を受ける患者の看護（　中田　　） Ⅰ.運動器への手術を受ける患者の看護 1．股関節についての解剖、股関節の内旋・外旋位、内転・外転位 2.対象となる疾患（大腿骨頸部骨折） 3．術式と看護（人工関節置換術） 4.特徴的な術後合併症（脱臼、感染、腓骨神経麻痺、下肢の動脈触知部、下肢筋力低下） 5．骨折の手術と看護 授業外事前学修課題：骨と神経の解剖、股関節の解剖、股関節の可動域、大腿骨人工関節置換術の術後に起こりやすい合併症とその看護についてまとめる（150分） 授業外事後学修課題：講義資料や説明をもとに内容を整理する（３０分）
	12	開頭術を受ける患者の看護（　那須　） Ⅰ.開頭術を受ける患者の看護 1．脳の機能 2.対象となる疾患（脳腫瘍、脳出血）

	3．術式と看護（開頭術、穿頭術、血管内治療） 4．ドレナージ（脳室ドレナージ） 5．低体温療法 6．特徴的な術後合併症（脳圧亢進症状、高次脳機能障害） 授業外事前学修課題：脳の解剖（大脳～脊髄）、開頭術、穿頭術の方法（図で表示する）、術後に起こりやすい合併症とその看護についてまとめる（150分） 授業外事後学修課題：講義資料や説明をもとに内容を整理する（３０分） 13　開腹術を受ける患者の看護①ー上部消化管の手術ー（上田） Ⅰ.胃切除術を受ける患者の看護 1．胃の機能、対象となる疾患 2.術式と看護 ①術式（胃切除術、胃全摘術）とドレーン（目的、場所、管理） ②胃切除後の術後合併症（イレウス、縫合不全、ダンピング症候群） 授業外事前学修課題：胃の機能、胃全摘術・胃切除術の術式の種類（図で表示する）と、それぞれの術式で起こりやすい合併症とその看護についてまとめる（１５0分） 授業外事後学修課題：講義資料や説明をもとに内容を整理する（３０分） 14　開腹術を受ける患者の看護②ー下部消化管の手術ー（上田） Ⅰ.結腸・直腸切除を受ける患者の看護 1.腸各部の機能、対象となる疾患 2.術式と看護 ①術式（低位前方切除術、マイルズ手術）とドレーン（目的、場所、管理） ②手術前の準備（腸管処置） ③人工肛門造設と管理 授業外事前学修課題：十二指腸～肛門までの腸管の機能、低位前方切除術とマイルズ手術の術式（図で表示する）と術後に起こりやすい合併症とその看護についてまとめる（150分） 授業外事後学修課題：講義資料や説明をもとに内容を整理する（３０分） 15　女性器への手術を受ける患者の看護（　中田　） Ⅰ.女性器への手術を受ける患者の看護 1．乳房、骨盤腔内臓器の位置関係（女性）の解剖 2．対象となる疾患（乳がん、子宮がん、卵巣がん） 3．術式と看護（乳房部分切除術、乳房全摘出術、子宮全摘手術）、センチネルリンパ節生検 4．特徴的な術後合併症（リンパ浮腫、排泄に関連する合併症） 5．心理的特徴、ボディイメージの変容 授業外事前学修課題：骨盤腔内臓器の位置関係、乳房と周辺リンパ節の位置、術後に起こりやすい合併症とその看護についてまとめる（150分） 授業外事後学修課題：講義資料や説明をもとに内容を整理する（３０分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク、実技演習を行う。
課題のフィードバック方法と時期	課題およびリフレクションペーパーに対しては、次回の講義の際に回答する。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	・評価方法：筆記試験 評価割合：70% 評価基準：最終試験ー授業で学んだことを理解しているかどうか。 履修目標との対応：①②③④⑤⑥⑦ ・評価方法：課題 評価割合：20％ 評価基準：提出期限様式の遵守、課題の意図の理解 履修目標との対応：①②④⑥ ・評価方法：その他 評価割合：10％（演習の取り組み,課題の取り組み5％） 評価基準：提出様式・期限の遵守、学修内容、自己の意見の洗練度 履修目標との対応：⑧
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	成人看護学　急性期看護Ⅰ　第4版　南江堂 成人看護学　急性期看護Ⅱ　第4版　南江堂
実務経験のある教員による授業	看護師としての実務経験を生かした講義・演習を行う。
オフィスアワー・連絡先	水曜日２時限 kueda@soei.ac.jp
備考	病態学Ⅰ、病態学Ⅱ、病態学Ⅲを修得していることを前提として授業を展開します。 成人看護学実習急性期の基盤となる科目です。事前事後学修に取り組み、授業に積極的に参加しましょう。

講義科目名称： 成人看護学方法論Ⅱ　　授業コード： 25G203

英文科目名称： Adult Nursing Ⅱ：Care & Methodology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	２年	２単位	必修
担当教員			
西岡久美子/看護学部　岩谷正美/看護学部　那須実千代/看護学部　西出久美/看護学部　藤田文子/看護学部　上田佳余子/看護学部　中田千恵子/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	○看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。 ○臨床場面や状況への関心をもち、看護実践の内省を通して、臨床判断能力を研鑽することができる。 ○保健医療福祉チームの中で協働・連携し、自らの役割を果たすことができる。 ○地域社会の動向を踏まえて、関連情報を活用し、創造的に看護を発展させることができる。
履修条件	成人看護学概論の単位を修得していることを履修条件とする。
授業概要	慢性期看護の基本的考え方、慢性疾患を有する対象者や家族の疾病への受容過程を含む特徴を理解し、セルフケアの視点から対象の状況に応じた看護援助を施行するために必要な概念や方法論を学ぶ。
履修目標	①慢性看護の基盤となる理論や概念を理解する。 ②慢性病者とその家族の身体・心理・社会的特徴を説明することができる。 ③生活調整や生活再構築の目標及び方法を説明することができる。 ④慢性病者が生活調整・生活再構築する際に必要な知識技術を獲得するための援助方法を説明できる。 ⑤保存的治療に伴う症状や合併症に対する緩和方法・予防方法について説明できる。 ⑥慢性病者とその家族の尊厳と尊厳を護ることについて説明できる。
授業計画・授業外学修課題	1　オリエンテーション、総論　慢性看護とは(西岡) 1．慢性とは何か 2．慢性看護の特徴 授業外事前学修課題：成人看護学概論で学習した慢性疾患の動向などを復習し、「慢性看護とは」を考えておく（90分） 授業外事後学修課題：授業内容を配布資料とテキストをもう一度読み直し理解する。（90分） 2　慢性病と看護　（関節リウマチ）　（那須） 1．関節リウマチの病態・治療と患者に及ぼす影響 2．関節リウマチと共に生活する人への看護 授業外事前学修課題：関節リウマチの病態・症状・治療・合併症について事前課題に取り組む。（90分） 授業外事後学修課題：授業中に学習した内容を、配布した資料とテキストをよく読んで整理する。（90分） 3　慢性病と看護（脳血管障害：脳梗塞）　（西岡） 1．脳血管障害（脳梗塞）の病態・治療 2．脳血管障害と共に生活する人への看護 授業外事前学修課題：脳血管障害の病態、症状、治療、合併症について事前課題に取り組む。（90分） 授業外事後学修課題：授業中に学習した内容を、配布した資料とテキストをよく読んで整理する。（90分） 4　慢性病と看護（肝硬変）（西岡） 1．肝硬変の病態・治療 2．肝機能障害と共に生活する人の看護 授業外事前学修課題：肝機能障害の病態、症状、治療、合併症について事前課題に取り組む（90分） 授業外事後学修課題：授業中に学習した内容を、配布した資料およびテキストをよく読んで整理する。（90分） 5　慢性病と看護（慢性閉塞性肺疾患）　（西岡） 1．COPDの病態・治療 2．呼吸機能障害と共に生活する人の看護 授業外事前学修課題：呼吸機能障害（閉塞性換気障害）の病態、症状、治療について事前課題に取り組む。（90分） 授業外事後学修課題：授業中に学習した内容を、配布した資料およびテキストをよく読んで整理する。（90分） 6　慢性病と看護（心不全）　（西岡） 1．慢性の循環機能障害（心不全）の病態・治療 2．循環機能障害と共に生活する人の看護 授業外事前学修課題：心臓の機能（心電図含む）、循環障害の病態、症状、治療について事前課題に取り組む。（90分） 授業外事後学修課題：授業中に学習した内容を、配布した資料とテキストをよく読んで整理する。（90分） 7　慢性病と看護（糖尿病）　（西岡） 1.糖尿病の病態・治療

		2.糖尿病と共に生活する人の看護 授業外事前学修課題：糖尿病の病態、症状、治療、合併症について事前課題に取り組む。（90分） 授業外事後学修課題：授業中に学習した内容を、配布した資料とテキストをよく読んで整理する。（90分）
	8	慢性病と看護（慢性腎臓病）　（西岡） 1. 腎臓病と病態・治療 2. 腎機能障害と共に生活する人の看護 授業外事前学修：腎機能障害の病態、症状、治療、合併症について事前課題に取り組む（90分） 授業外事後学修課題：授業中に学習した内容を、配布した資料とテキストをよく読んで整理する。（90分）
	9	病いと共に生きることへの理解（病みの軌跡）（ゲストスピーカー/西岡） 1. 慢性の病い（内部障害）と共に生きることの理解 授業外事前学修課題：病みの軌跡、腎臓病などに関する事前課題に取り組む。（90分） 授業外事後学修課題：課題レポート（60分）
	10	セルフマネジメントの支援① セルフモニタリング　（自己検脈、血圧自己測定、血糖自己測定（ＳＭＢＧ））（岩谷他） 1.患者がセルフモニタリング技術を修得する意義・重要性と各技術修得に必要な看護の役割について述べることができる。 2.セルフモニタリング技術を具体的に理解し、個々に適した支援（指導）方法を述べることができる。 授業外事前学修課題：ナーシングスキルの看護技術（血糖値測定/インスリン製剤の種類・用法・副作用の観察/インスリン自己注射指導）を学習しテストに合格する。 授業外事後学修課題：授業中に学習した内容を、配布した資料とテキストをよく読んで整理する。（30分）
	11	セルフマネジメントの支援②　セルフケアを支援する看護（インスリン療法とその支援）（岩谷他） 1.患者のセルフケアを支援するための看護技術について目的と方法を説明できる。 2.患者のセルフケアを支援するための看護技術を体験できる（インスリン注射の指導等） 3.患者のセルフケアを支える看護について説明できる。 授業外事前学修課題：ナーシングスキルの看護技術（血糖値測定/インスリン製剤の種類・用法・副作用の観察/インスリン自己注射指導）を学習しテストに合格する。 授業外事後学修課題：授業中に学習した内容を、配布した資料とテキストをよく読んで整理する。（30分）
	12	セルフマネジメントの支援③（患者教育、計画立案）（西岡） 1.患者教育の意義・目的を知る。 2.セルフマネジメントを必要とする人への教育的関わりに関する計画（教育計画）をグループで協力して立案する。 授業外事前学修課題：事前課題に取り組む。（90分） 授業外事後学修課題：授業中に学習した内容を、配布した資料とテキストをよく読んで整理する。（90分）
	13	セルフマネジメントの支援④（実施、評価）（西岡他） 1.立案した教育計画をグループで実施し、評価する。 授業外事前学修：教育計画を立案し、期日までに提出する。教育計画を実施できるように各グループで準備をしておく。（90分） 授業外事後学修課題：授業中に学習した内容を、配布した資料とテキストをよく読んで整理する。（90分）
	14	慢性病と倫理的課題（西岡） 1.看護実践で出会う倫理的課題について、看護師の役割と対象について考察する。 授業外事前学修課題：事例を読み、分からない言葉等を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：授業中に学習した内容を、配布した資料とテキストをよく読んで整理する。（90分）
	15	慢性看護と今後の展望（まとめ）（西岡） 1.これまでの学びを振り返り、グループで話し合うことを通して、慢性病と共に生きる人の支援としての看護について表現する。 授業外事前学修課題：今までの学びに関する資料を読み直す。（90分） 授業外事後学修課題：授業中に学習した内容を、配布した資料およびテキストをよく読んで整理する。（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法		患者体験を含む看護技術演習、グループワーク、プレゼンテーションを行う。
課題のフィードバック方法と時期		Classroomを用いて授業内容の理解を確認し、次の授業で質問などの回答を行う。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応		評価方法：筆記試験 評価割合：70％ 評価基準：定期試験60％、各授業の小テスト10％ 履修目標との対応：①②③④⑤ 評価方法：事前課題、リアクションペーパー、授業後課題 評価割合：30％ 評価基準：提出期限様式の遵守、課題の意図の理解と多様な意見の参照度と自己の意見の洗練の程度

	学修到達目標との対応：①②③④⑤⑥
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト： Nice成人看護学　慢性期看護学　南江堂 参考文献：授業内で紹介
実務経験のある教員による授業	各回は、看護師としての実務経験を生かした講義・演習を行います。
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワーは毎週水曜日12時10分～13時。 連絡先　knishioka@soei.ac.jp
備考	これまでに履修した「人体の構造と機能」「症候論」「薬理学」「成人看護学概論」などを統合しながら学修を深めるため、充分に復習して授業に臨むこと。各回ごと該当疾患の病態生理・検査・治療の予習及び授業内容の振り返りを行うこと。

講義科目名称： 成人看護学方法論Ⅲ　　授業コード： 25G204

英文科目名称： Adult Nursing Ⅲ：Care & Methodology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	３年	１単位	必修
担当教員			
西出　久美/看護学部　藤田　文子/看護学部　西岡久美子/看護学部　上田佳余子/看護学部　那須　実千代/看護学部 中田　千恵子/看護学部　岩谷　正美/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	○看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。 ○臨床場面や状況への関心をもち、看護の専門的知識・技術を学び、倫理的態度を養う。 ○看護の専門的知識・技術（及び倫理的態度）に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる。 ○保健医療福祉チームの中で協働・連携し、自らの役割を果たすことができる。 ○地域社会の動向を踏まえて、関連情報を活用し、創造的に看護を発展させることができる。
履修条件	成人看護学概論、成人看護学方法論Ⅰ、成人看護学方法論Ⅱの単位を取得していること。
授業概要	成人看護援助に必要な看護過程の基本的考え方と援助技術について学修し、成人慢性期の各事例での看護過程をグループワーク・演習を通して学び、臨地実習への準備態勢をつくる（事例展開を行うため成人看護教員全員で関わる）。
履修目標	①成人の看護援助に必要な看護過程の基本的考え方や活用モデルを理解し説明ができる。 ②慢性期における看護上の問題/課題の特徴を理解し説明ができる。 ③事例に示された情報に基づいて、患者の全体像を理解するための関連図を作成できる。 ④抽出した看護上の問題/課題の優先順位を考えることができる。 ⑤看護上の問題/課題改善または解決のための看護計画を立案することができる。 ⑥患者の状況変化に応じて看護計画を修正することができる。 ⑦実施した看護計画に対する評価の必要性とその方法について理解し、説明ができる。 ⑧グループワークやグループ発表を通してコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を向上することができる。
授業計画・授業外学修課題	1　成人看護援助に必要な看護過程の展開① 1．看護過程とは 2．ゴードンの機能的健康パターン 3．アセスメントの視点 授業外事前学修課題：課題事例の病態・治療・検査・看護について（90分） 授業外事後学修課題：授業中に説明したキーワードと配布資料をよく読んで、内容を整理する。（90分） 2　成人看護援助に必要な看護過程の展開② 1．事例を用いた看護過程展開の紹介 2．看護過程記録の実際 授業外事前学修課題：課題事例の病態・治療・検査・看護について（90分） 授業外事後学修課題：授業中に説明したキーワードと配布資料をよく読んで、内容を整理する。（90分） 3　ミニ講義①とグループワーク① 1．関連図の書き方 2．看護診断リスト 3．優先順位 授業外事前学修課題：様式1、2（アセスメント）の作成（90分） 授業外事後学修課題：メンバーや教員コメントを反映させて記録の修正を行う。（90分） 4　グループワーク② 1．様式1、2（アセスメント）について 授業外事前学修課題：様式1、2（アセスメント）の作成（90分） 授業外事後学修課題：メンバーや教員コメントを反映させて記録の修正を行う。（90分） 5　発表会① 1．様式1、2（アセスメント）について発表を行い、意見交換をしながら改善点を検討する。 授業外事前学修課題：様式1、2（アセスメント）の発表準備（90分） 授業外事後学修課題：メンバーや教員コメントを反映させて記録の修正を行う。（90分） 6　ミニ講義②とグループワーク③ 1．看護診断 2．PES方式 3．看護計画 授業外事前学修課題：様式3（関連図）の作成（90分）

	授業外事後学修課題：メンバーや教員コメントを反映させて記録の修正を行う。（90分） 7 グループワーク④ 1．様式3（関連図） 授業外事前学修課題：様式3（関連図）の作成（90分） 授業外事後学修課題：メンバーや教員コメントを反映させて記録の修正を行う。（90分） 8 グループワーク⑤ 1．様式4（看護診断リスト） 授業外事前学修課題：様式4（看護診断リスト）の作成（90分） 授業外事後学修課題：メンバーや教員コメントを反映させて記録の修正を行う。（90分） 9 グループワーク⑥ 1．様式5（看護計画） 授業外事前学修課題：様式5（看護計画）の作成（90分） 授業外事後学修課題：メンバーや教員コメントを反映させて記録の修正を行う。（90分） 10 発表会② 1．様式5（看護計画）について発表を行い、メンバーと意見交換をしながら改善点を検討する。 授業外事前学修課題：様式5（看護計画）の発表準備（90分） 授業外事後学修課題：メンバーや教員コメントを反映させて記録の修正を行う。（90分） 11 発表会③ 1．様式5（看護計画）について発表を行い、メンバーと意見交換をしながら改善点を検討する。 授業外事前学修課題：様式5（看護計画）の発表準備（90分） 授業外事後学修課題：メンバーや教員コメントを反映させて記録の修正を行う。（90分） 12 グループワーク⑦ 1．教育指導案 授業外事前学修課題：教育指導案（指導媒体含む）の作成（90分） 授業外事後学修課題：メンバーや教員コメントを反映させて記録の修正を行う。（90分） 13 グループワーク⑧ 1．教育指導案 授業外事前学修課題：教育指導案（指導媒体含む）の作成（90分） 授業外事後学修課題：メンバーや教員コメントを反映させて記録の修正を行う。（90分） 14 発表会④ 教育指導案について発表を行い、メンバーと意見交換しながら改善点を検討する。 授業外事前学修課題：教育指導案（指導媒体含む）の発表準備（90分） 授業外事後学修課題：メンバーや教員コメントを反映させて記録の修正を行う。（90分） 15 ミニ講義③、授業内ミニテスト 1．看護計画の評価・修正・再立案（様式5）、SOAP（様式6） 2．看護過程に必要な基礎的な知識、情報の整理と評価等についての知識の確認 授業外事前学修課題：テキストの該当ページや配布資料の精読、最終提出の準備（150分） 授業外事後学修課題：授業で行ったことの見直し（30分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク、ポスターセッションによるプレゼンテーションを行う。
課題のフィードバック方法と時期	事前課題や各回の課題提出ごとに提出物へ教員がコメントを記入します。グループワーク・発表会内で適宜フィードバックを行います。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：①授業内ミニテスト　②看護過程の展開 評価割合：①90％　②10％ 評価基準：①筆記試験、②ルーブリック 履修目標との対応：①～⑦
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	看護診断ハンドブック第12版,リンダ・カルペニート著,黒江ゆり子監訳,医学書院 ゴードンの機能的健康パターンに基づく看護過程と看護診断第6版,江川隆子編集,ヌーベルヒロカワ 成人看護学概論、成人看護学方法論Ⅰ、Ⅱで使用するテキスト 参考文献：授業時に随時紹介
実務経験のある教員による授業	担当教員は看護師としての経験を活かした講義・演習を行います。
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワーは毎週水曜日昼休みの時間です。knishide@soei.ac.jp
備考	人の形態と生活・機能、病理学、症候論、薬理学は必ず復習して参加してください。 成人看護学概論、成人看護学方法論Ⅰ、Ⅱで使用したテキストを熟読して授業に臨んでください。 事例に関する疾病、病態、治療、検査、看護について必ず復習をしておいてください。 グループワーク、グループ発表に積極的に参加してください。

講義科目名称： 成人看護学実習・慢性期　　授業コード： 25G205

英文科目名称： Adult Nursing (Chronic Care) : Clinical practicum

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	３年	３単位	必修
担当教員			
藤田文子/看護学部　西出　久美/看護学部　西岡久美子/看護学部　上田佳余子/看護学部　那須　実千代/看護学部　中田　千恵子/看護学部　岩谷　正美/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	○看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。 ○臨床場面や状況への関心をもち、看護の専門的知識・技術を学び、倫理的態度を養う。 ○看護の専門的知識・技術（及び倫理的態度）に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる。 ○保健医療福祉チームの中で協働・連携し、自らの役割を果たすことができる。 ○地域社会の動向を踏まえて、関連情報を活用し、創造的に看護を発展させることができる。
履修条件	2年次までの必修科目の単位を修得し、成人看護学方法論Ⅲを履修していること。
授業概要	主に慢性的な経過あるいはADLに障害をきたすような状態にある対象と家族の身体的、精神的、社会的側面の特徴を理解し、対象のニーズを満たし、QOLを向上させるためのセルフケア、ソーシャルサポートに関しての実践能力を修得する。1～2名の患者を受け持ち、看護の展開を通して、病や障害とともに生きる人を理解するとともに看護介入のあり方を学ぶ。受け持ち患者については、アセスメントをし、看護診断し計画立案と計画に基づく看護実践をし、評価するという一連の看護過程の展開を通して看護判断力を養う。 病をもちつつ生活している成人期にある患者とその家族（重要他者を含む）を多角的に理解し、対象者が健康課題とともに生活していくための支援や、その人らしく生きるための支援に関する基礎的な看護実践能力を習得する。また、看護の実践の場において看護事象をとらえる観察力を養うとともに、文献などの裏付けにより学びを深め、健康のゆらぎのある患者とその家族（重要他者を含む）への看護について考察する能力を養う。
履修目標	①健康課題を有している患者および家族を多角的に理解することができる。 ②患者および家族に対して発達段階や個別性、健康課題に応じた看護の必要性を理解し、看護過程を展開することができる。 ③患者および家族の多角的理解をもとにした思考過程を基盤とし、科学的根拠に基づいた看護を実践できる。 ④医療機関における多職種の役割と連携について説明することができる。 ⑤看護専門職としての望ましい態度を身につけることができる。 ⑥看護を学ぶ学生として自らの課題を持ち、実習に臨むことができる。
授業計画・授業外学修課題	健康課題とともに生活していく患者を受け持ち、対象者を多角的に理解し、看護過程を展開する。（詳細は実習要項参照） 1．実習期間と日程 1）3年後期の135時間（3週間） 2）実習時間：月曜日から金曜日、原則として8：30～16：00 3）学生の実習配置：別紙配布する。 ４）実習施設：別紙配布する。 2．実習内容 健康障害を持つ慢性期・回復期～終末期の患者1～2名を受け持つ。受け持ち患者への意図的な情報収集、アセスメント、看護診断、計画立案、看護実践、評価および修正を行う。実践においては、指導を受けながら受け持ち患者の病態・病期や個別性に配慮した看護技術を提供する。 受け持ち患者とは、援助者としてふさわしい人間関係を構築する。 主体的にカンファレンスに参加することで新たな知識を獲得し、問題解決能力を高める。また、自己の課題に気づき、次の実習への課題を明らかにする中で、自己の看護観を省察する。 3．方法その他 初日：オリエンテーション、看護技術チェック 第1週：情報収集、アセスメントを行い、関連図・看護診断の発表を行う。 第2週：月曜日に看護計画を発表し、修正をしながら看護実践を行う。 第3週：受け持ち患者の看護実践、評価、修正を継続する。臨床までの最終カンファレンス、学習成果の報告会を行う。 金曜日にOSCE（客観的技術試験）を行う。 ＊実習期間中は、毎日ショートカンファレンスを行い、日々の実習での学びを共有する。 4．事前学習課題（詳細はGoogleClassroom等を用いて指示する）
アクティブラーニングを用いた授業方法	臨床における実践
課題のフィードバック方法と時期	随時行うとともに、実習中、実習終了時の評価面接、OSCE実施後の振り返り時に行う。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：①臨地実習の取り組み、②OSCE 評価割合：①90%、②10% 評価基準：実習要項に掲載されたルーブリックによる評価

テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	成人看護学方法論Ⅰ～Ⅲの授業で使用した全テキスト、配布資料 参考文献：実習時に随時紹介する。
実務経験のある教員による授業	担当教員は看護師資格を有しており、その経験を活かし、看護計画及び実践の指導を行います。
オフィスアワー・連絡先	第2週水曜日・各実習担当教員(実習初日に詳細をお伝えします）、領域長はknishide@soei.ac.jp
備考	実習を介しする前までに、成人看護学実習要項を熟読すること。 「人の形態と機能・生活」「病理学」「薬理学」「コミュニケーション論」「症候論」「成人看護学方法論Ⅱ,Ⅲ」を充分に復習しておくこと。看護診断、看護過程、その他成人看護学実習を行うにあたって求められる知識、技術について事前課題を提示する。必ず十分にケア提供者としての学習および心身の状態を整えて実習に臨むこと。

講義科目名称： 成人看護学実習・急性期　　授業コード： 25G206

英文科目名称： Adult Nursing (Acute Conditions): Clinical practicum

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	４年	３単位	必修
担当教員			
西出　久美/看護学部　西岡久美子/看護学部　藤田文子/看護学部　上田佳余子/看護学部　那須　実千代/看護学部　中田　千恵子/看護学部　岩谷正美/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	○看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。 ○臨床場面や状況への関心をもち、看護の専門的知識・技術を学び、倫理的態度を養う。 ○看護の専門的知識・技術（及び倫理的態度）に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる。 ○保健医療福祉チームの中で協働・連携し、自らの役割を果たすことができる。 ○地域社会の動向を踏まえて、関連情報を活用し、創造的に看護を発展させることができる。
履修条件	2年次までの必修科目を修得していること。成人看護学方法論Ⅲの単位を修得し、成人看護学実習・慢性期を履修していること
授業概要	生命の危機的状況や生命力の急激な変化が予測される対象と家族の特性ならびにその病態生理的、状況的、治療的関連因子を理解する。その上で、生命の維持、苦痛の緩和、日常性の回復、生活機能の回復に向けて対象の成長・発達、適応を促進するための看護を実践する能力を修得する。患者を受け持ち、限定された時間の中で、看護ケアの優先順位とアセスメントを学び実践する。また、手術室、ICU、一般病棟等対象の生活の場の変化あるいは健康レベルの変化に対応した看護の実践について学ぶ。 急性期にある成人期の患者とその家族（重要他者を含む）を多角的に理解し、生命の危機的状況からの回復の促進支援および社会復帰に関する基礎的な看護実践能力を修得する。 また、看護実践の場において看護事象を捉える観察力を養うとともに、文献などの裏付けにより学びを深め急性期にある患者および家族への看護について考察する能力を養う。
履修目標	①健康課題を有している患者および家族を多角的に理解することができる。 ②患者および家族に対して発達段階や個別性、健康課題に応じた看護の必要性を理解し、看護過程を展開することができる。 ③患者および家族の多角的理解をもとにした思考過程を基盤とし、科学的根拠に基づいた看護を実践できる。 ④医療機関における多職種の役割と連携について説明することができる。 ⑤看護専門職としての望ましい態度を身につけることができる。 ⑥看護を学ぶ学生として自らの課題を持ち、実習に臨むことができる。
授業計画・授業外学修課題	急性期にある患者を受け持ち、対象者を多角的に理解し、看護過程を展開する（詳細は実習要項を参照）。 1. 実習期間と日程 1）135時間（3週間） 2）実習時間：月曜日から金曜日　原則として8：30～16：00 3）学生の実習配置：別紙配布する。 4）実習施設：別紙配布する。 2. 実習内容 健康障害を持つ急性期または周手術期の患者1～数名を受け持つ。受け持ち患者への意図的な情報収集、アセスメント、看護診断、計画立案、看護実践、評価および修正を行う。実践においては、指導を受けながら受け持ち患者の病態・病期や個別性に配慮した看護技術を提供する。受け持ち患者とは、援助者としてふさわしい人間関係を構築する。主体的にカンファレンスに参加することで、新たな知識を獲得し、問題解決能力を高める。また、自己の課題克服のための努力を実践し、自己の看護観を育てる。 3. 方法その他 初日：オリエンテーション、看護技術チェック、周手術期看護シミュレーション演習 第１週：オリエンテーション、情報収集、アセスメントを行い、関連図・看護診断の発表を行う。 第2週：月曜日に看護計画を発表し、修正をしながら看護実践を行う。 第3週：受け持ち患者の看護実践、評価、修正を継続する。臨床での最終カンファレンス、学習成果の報告会を行う。 金曜日にOSCE（客観的看護技術試験）を行う。 ＊実習期間中、毎日ショーとカンファレンスを行い、日々の実習での学びを共有する。 4. 事前学習課題（詳細は別途GoogleClassroom等を用いて指示する。） 1）看護技術自己練習（課題事例を提示する） 2）主要な疾患・治療・手術・検査時の看護についてのレポート 資料動画：岡山大学病院周手術期管理センター、あんしん病院、同仁会業務推進室、ナーシングスキル視聴別途指示する。
アクティブラーニングを用いた授業方法	臨床における実践
課題のフィード	随時行うとともに、実習中、実習終了時の評価面接、OSCE実施後の振り返り時に行う。

バック方法と時期	
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：①臨地実習の取り組み、②OSCE 評価割合：①90%、②10% 評価基準：実習要項に掲載されたルーブリックによる評価
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	成人看護学方法論Ⅰ～Ⅲの授業で使用した全テキスト、配布資料 参考文献：実習時に随時紹介する。
実務経験のある教員による授業	担当教員は看護師資格を有しており、その経験を活かし、看護計画及び実践の指導を行います。
オフィスアワー・連絡先	第2週水曜日・各実習担当教員（詳細は実習初日にお伝えします）、領域長はknishide@soei.ac.jp
備考	実習を介しする前までに、成人看護学実習要項を熟読すること。 「人の形態と機能・生活」「病理学」「薬理学」「コミュニケーション論」「症候論」「成人看護学方法論Ⅱ，Ⅲ」を充分に復習しておくこと。看護診断、看護過程、その他成人看護学実習を行うにあたって求められる知識、技術について事前課題を提示する。必ず十分にケア提供者としての学習および心身の状態を整えて実習に臨むこと。

講義科目名称： 老年看護学概論　　授業コード： 25G207

英文科目名称： Introduction to Gerontological Nursing

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	２単位	必修
担当教員			
佐野　望/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	①看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。 ③看護の専門的知識・技術(及び倫理的態度)に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる。
履修条件	特になし
授業概要	ライフサイクルにおける老年期を生きる人の老性変化ならびに身体的・精神的・社会的特徴と発達段階・発達課題及び高齢者をとりまく家族・地域を理解する。老年看護の理念と目標を理解し、地域包括ケアシステムにおける看護の目標と役割について学ぶ。疾病や生活機能障がいをもつ生活者として老年看護の対象となる人々を理解する。更に、その人たらしい生活を継続できるよう、持てる力を維持し高める看護を展開するために、高齢者に関わる倫理的課題や援助的コミュニケーションの成立について学修する。
履修目標	①老いの意味及び老年期の特徴と老性変化について説明できる ②高齢者をとりまく社会の変化と社会制度、高齢者の権利擁護について説明できる ③老年看護の理念・目標及び老年看護の対象となる人々の特徴について説明できる ④高齢者の健康維持向上及び療養生活支援に有効な理論・アプローチについて説明できる ⑤地域包括ケアシステムでの多職種協働と看護の役割について説明できる
授業計画・授業外学修課題	1　老年看護学を理解するための基盤-1 老いの意味と老年期の理解 授業外事前学修課題： 高齢者人口の推移・健康寿命を調べまとめる（60分） 授業外事後学修課題： 授業内容を復習する（60分） 2　老年看護学を理解するための基盤-2 エイジズムと人権擁護 授業外事前学修課題： 差別（エイジズム）と虐待　を読み、一番印象的な文章を取り出す（60分） 授業外事後学修課題： 高齢者を擁護する社会制度を整理する（60分） 3　老年期の発達段階と課題 エリクソン・ハヴィガースト・ペックなどから学ぶ 授業外事前学修課題： 人間発達論における老年期　を読み、老年期の特徴をまとめる（60分） 授業外事後学修課題： 老いを生きるということはどのようなことか　まとめる（60分） 4　老年看護学の対象の理解 老年看護の理念と目標 授業外事前学修課題： 教科書「老年看護の理念と目標」の章を読み、理念・目標・倫理について大事と思う文章を抜き出す（60分） 授業外事後学修課題： 講義内容を復習する（60分） 5　老年看護の対象となる人々の特徴-1 身体の老性変化と生活への影響 授業外事前学修課題： 高齢者の身体的特徴のイメージを整理しまとめる（60分） 授業外事後学修課題： グループテーマについての自己学習を進める（60分） 6　老年看護の対象となる人々の特徴-2 身体の老性変化と生活への影響　発表会 授業外事前学修課題： グループ発表ができるように自己学習を進める（60分） 授業外事後学修課題： グループ発表の内容を総合して整理しまとめる（60分） 7　老年看護の対象となる人々の特徴-3 精神・心理的、社会的特徴と暮らしへの影響 授業外事前学修課題： 高齢者の精神・心理的特徴と社会的な特徴を調べ整理する（60分） 授業外事後学修課題： 講義内容を教科書と併せて整理する（60分） 8　高齢者の不動性と健康への影響 フレイル・サルコペニア、廃用症候群 授業外事前学修課題： フレイルとサルコペニアの概要を整理する（60分） 授業外事後学修課題：

	フレイルの負のスパイラルについて整理しまとめる（60分） 9　老年看護に活用できる理論・アプローチ ICF　CGA　ストレングス　エンパワーメント　等 授業外事前学修課題： ICF CGA ストレングス エンパワーメントの概要をまとめておく（60分） 授業外事後学修課題： 講義内容を教科書と併せて整理する（60分） 10　高齢者の健康生活の支援 生活機能のアセスメント 授業外事前学修課題： 介護保険制度の背景と目的について調べまとめる（60分） 授業外事後学修課題： 介護保障制度について整理する（60分） 11　高齢者の療養生活の支援-1 健康への支援 授業外事前学修課題： 教科書の高齢者の「豊かな生」の看護に関連するページを読み、高齢者の「豊かな生」について自分の考えをまとめる（90分） 授業外事後学修課題： 講義内容を教科書と併せて整理する（60分） 12　高齢者の療養生活の支援-2 療養生活の場の特徴と支援 授業外事前学修課題： 高齢者が療養生活を送る場について調べる（60分） 授業外事後学修課題： 講義内容を教科書と併せて整理する（60分） 13　認知症の高齢者の支援 認知症の高齢者への対応　身体拘束について 授業外事前学修課題： 認知症の概要を学習しまとめる（60分） 授業外事後学修課題： 認知症高齢者の安全を守るための援助として身体拘束は有効か、自分の考えをまとめて置く（60分） 14　高齢者の尊厳を支える看護と看取り 高齢者の看取りと家族支援 授業外事前学修課題： 臨死期の症状をまとめる（60分） 授業外事後学修課題： 高齢者の意思決定支援と家族支援を整理する（60分） 15　生かし生かされる地域づくり 地域包括ケアシステムと多職種協働 授業外事前学修課題： 居住区の地域包括支援センターの役割を調べまとめる（60分） 授業外事後学修課題： 地域での多職種協働の看護職の役割を整理しまとめる（60分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク、発表を行う
課題のフィードバック方法と時期	講義時およびGoogle Classroom上でコメントを配信する
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法；筆記試験 評価割合；60％ 評価基準；学習到達目標が評価できる発問とする 学修到達目標との対応；①○　②○　③○　④○　⑤○ 評価方法；ミニテスト 評価割合；30％ 評価基準；授業内容を確認するミニテストを実施する 学修到達目標との対応；①○　②○　③○　④○　⑤○ 評価方法；プレゼンテーション 評価割合；10％ 評価基準；グループワークと発表会は授業時に評価基準を提示する 学修到達目標との対応；①○
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	正木治恵、真田弘美編、老年看護学概論、南江堂
実務経験のある教員による授業	看護師としての実務経験を生かした講義を行う
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワー；火曜日　12：10～13：00 連絡先；佐野望　nsano@soei.ac.jp
備考	

講義科目名称： 老年看護学方法論Ⅰ　　授業コード： 25G208

英文科目名称： Gerontological Nursing Ⅰ：Clinical Practicum

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年	１単位	必修
担当教員			
坂東　美知代/看護学部　あべ野ゆう子/看護学部　佐野　望/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	①看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。 ③看護の専門的知識・技術(及び倫理的態度)に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる。
履修条件	老年看護学概論を履修していること
授業概要	高齢者の日常生活動作を疑似体験し、高齢者の気持ちや援助方法、コミュニケーションのとり方について理解を深める。また高齢者の日常生活を整えてQOL向上に資する援助方法として、栄養、食事、口腔ケア、排泄ケア、活動・運動、睡眠等に視点をあてて学ぶ。さらに、コミュニケ―ションの障害と伴う高齢者へのコミュニケ―ション技術をロールプレイを通して身につける。
履修目標	①高齢者の尊厳を尊重した関わりとQOL向上への援助について説明できる ②高齢者の老性変化の特性を考慮した日常生活の整え方の援助を説明できる ③高齢者のコミュニケーションの特性を考慮した援助について説明できる ④治療を受ける高齢者の看護の要点を説明できる ⑤施設で生活する高齢者の看護の要点を説明できる
授業計画・授業外学修課題	1　導入　ガイダンス　　１．看護における高齢者のとらえ方 科目ガイダンス 科目担当者の紹介科目の概要、授業項目・内容、成績評価についての説明 看護における高齢者のとらえ方について学ぶ 老年看護学概論で学んで描いた「高齢者観」について見直し、その対象への援助方法への興味関心を抱き、この科目への学修意欲を高める。 授業外事前学修課題： １年次の「老年看護学概論」で学修して抱いた高齢者観について考えまとめる（60分） 授業外事後学修課題： 自己の高齢者観を基に、高齢者のQOL向上への援助方法について大切にしたいことをまとめる（60分） 2　２．環境と皮膚機能 高齢者の皮膚機能および体温調節の特徴と望ましい療養環境について学ぶ 授業外事前学修課題： １年次に学んだ人の皮膚構造と機能について復習する（60分） 授業外事後学修課題： 高齢者の体温調節と環境の関連をまとめる（60分） 3　２．環境と皮膚機能 高齢者の皮膚（防御）機能の特徴とスキンケアについて学ぶ。 授業外事前学修課題： 皮膚の防御機能を維持するための援助について考えてくる（60分） 授業外事後学修課題： 授業で学んだことをまとめる（60分） 4　２．環境と皮膚機能 高齢者に多い皮膚疾患とその援助および予防法について学ぶ 授業外事前学修課題： 高齢者に多い皮膚疾患（皮膚掻痒症、褥瘡）について調べておく（60分） 授業外事後学修課題： 授業で学んだことをまとめる（60分） 5　３．活動と休息 高齢者の活動と休息の特徴について学ぶ。 授業外事前学修課題： 成人期にある学生自身の１日の活動と休息の特徴を整理しておく（60分） 授業外事後学修課題： 高齢者の活動と休息のバランスについてまとめる（60分） 6　３．活動と休息　高齢者疑似体験演習 高齢者の活動と休息を支えるケアについて体験から考える。 授業外事前学修課題： 演習ができる準備をする（30分） 授業外事後学修課題： 高齢者疑似体験演習　課題用紙を　期限までに提出する（60分） 7　３．活動と休息 高齢者の活動と休息について循環機能と呼吸機能の側面からアセスメントし、援助方法について学ぶ。 授業外事前学修課題： １年次に学修した「循環機能」と「呼吸機能」について復習しておく（90分） 授業外事後学修課題： 授業で学んだことをまとめる（60分）

	8　４．食事と排泄 高齢者の食事と排泄のバランスをアセスメントして援助方法を考える。 授業外事前学修課題： １年次の「看護学援助論」で学修した「摂食・嚥下のアセスメント」に関する資料を復習しておく（60分） 授業外事後学修課題： 授業で学んだことをもとに援助者として高齢者の食事に関して何を大事にしたいかを考えまとめる（60分） 9　４．食事と排泄 加齢に伴う高齢者の摂食嚥下機能の変化とアセスメントの方法および援助について学ぶ 授業外事前学修課題： １年次の「看護学援助論」で学修した「摂食・嚥下への援助」に関する資料を復習しておく（60分） 授業外事後学修課題： 高齢者の口腔ケアについて目的、方法、留意点をまとめておく（60分） １０　４．食事と排泄 高齢者の排泄【排尿】援助について加齢に伴う排尿機能の変化と援助について学ぶ 授業外事前学修課題： １年次の「生活援助技術論」で学修した「排泄のアセスメント」に関連する資料を復習しておく（60分） 授業外事後学修課題： 高齢者への「排泄の援助」で自身が大切にしたいと考えていることをまとめる（60分） １１　４．食事と排泄 高齢者の排泄【排便】援助について加齢に伴う排便機能の変化と援助について学ぶ 授業外事前学修課題： １年次の「生活援助技術論」で学修した「排便の介助・陰部洗浄」に関連する資料を復習しておく（60分） 授業外事後学修課題： オムツ着用時の排泄援助で自身が大切にしたいと考えることをまとめる（60分） １２　５．病院・施設における高齢者の看護　薬物療法 薬物療法を受ける高齢者への援助について学ぶ 授業外事前学修課題： 身近な高齢者が服薬している薬の内容と飲み方を聞きまとめる（60分） 授業外事後学修課題： 高齢者が受ける薬物療法について看護の特性をまとめる（60分） １３　５．病院・施設における高齢者の看護　手術療法 手術療法を受ける高齢者への援助について学ぶ 授業外事前学修課題： 他の科目で学習した、Mooreの手術後の回復過程について復習する（90分） 授業外事後学修課題： 手術を受ける高齢者への看護について整理する（60分） １４　５．病院・施設における高齢者の看護　施設① 施設で生活する高齢者の看護について学ぶ。 授業外事前学修課題： テキスト療養生活の場（介護施設）の特徴と看護について書かれている箇所をよく読み、療養生活の場における看護を考える（60分） 授業外事後学修課題： 介護保険施設での看護の役割について整理する（60分） １５　５．病院・施設における高齢者の看護　施設② 施設で生活する高齢者の楽しみとなる活動援助について学ぶ。 授業外事前学修課題： 施設のホームページより実際に実施されているアクティビティ（レクリエーション）の内容について情報を得る（60分） 授業外事後学修課題： 施設に入所している高齢者に提供するレクリエーションを構想する（60分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワークによる学習を通して、自己の学びを深める。
課題のフィードバック方法と時期	講義時およびGoogle Classroom上でコメントを配信する
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法；筆記試験 評価割合；60％ 評価基準；学習到達目標が評価できる発問とする 履修目標との対応；①○　②○　③○　④○　⑤○ 評価方法；ミニテスト 評価割合；20％ 評価基準；授業内容を確認するミニテストを実施する 履修目標との対応；①○　②○　③○　⑤○ 評価方法；課題提出 評価割合；20％ 評価基準；授業への参加状況、グループワークは授業時に評価基準を提示する 履修目標との対応；①○　②○　③○　④○　⑤○
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	正木治恵、真田弘美編、老年看護学概論、南江堂 正木治恵、真田弘美編、老年看護学技術、南江堂
実務経験のある教員による授業	看護師としての実務経験を生かした講義を行う

オフィスアワー・ 連絡先	オフィスアワー；火曜日　12：10～13：00 連絡先；　坂東美知代　mbando@soei.ac.jp 、あべ野ゆう子　yabeno@soei.ac.jp、佐野望　nsano@soei.ac.jp
備考	

講義科目名称： 老年看護学方法論Ⅱ　　授業コード： 25G209

英文科目名称： Gerontological Nursing　Ⅱ：Clinical Practicum

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	３年	１単位	必修
担当教員			
佐野　望/看護学部　坂東　美知代/看護学部　あべ野ゆう子/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	①看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。 ③看護の専門的知識・技術(及び倫理的態度)に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる。
履修条件	老年看護学方法論Ⅰを履修しているこ
授業概要	高齢期の人に特徴的な生活機能障がいを持つ高齢者と家族への基礎的な看護実践能力を学修する。特に、運動機能・言語障がい、呼吸機能障害、精神機能の障がいをもつ高齢者を中心にヘルスケアアセスメントの技法、高齢者及びその家族の回復力を高めるための援助技術について学習する。さらに認知症高齢者の内面的世界及びケア・看護、治療、今後の支援の課題についても学ぶ。
履修目標	① 高齢期を生きている人の健康管理の特徴について説明できる ② 高齢者の治療について説明できる ③ 健康障がいを抱える高齢者の看護について説明できる ④ 認知機能障がいをもつ高齢者の心理と治療および支援について説明できる
授業計画・授業外学修課題	1　導入　科目ガイダンス　1.高齢者を対象とした看護の展開について 科目の概要、授業項目・内容、成績評価についてのガイダンス 高齢者を対象とした看護の展開について学ぶ 授業外事前学修課題： 高齢者看護学概論の授業資料とノートから復習し、高齢者の生活維持を援助する意味について考えまとめる（60分） 授業外事後学修課題： 高齢者の強みを最大限に活かし、その人らしく生きることの意味を考えてまとめる（60分） 2　2. 目標志向型思考の看護過程 ICFの活用　【健康状態】 事例の健康に関する経歴を「健康状態」に整理し理解する 授業外事前学修課題： 提示された事例の病態について復習する（90分） 授業外事後学修課題： 事例の【健康状態】を整理する（90分） 3　２．目標志向型思考の看護過程 ICFの活用　『生活機能』① 事例の【活動】を「している活動」「できる活動」「する活動」に整理し、把握する。 授業外事前学修課題： 事例のADLを「している活動」に整理する（90分） 授業外事後学修課題： ICF構成要素の【活動】を整理する（90分） 4　２．目標志向型思考の看護過程ICFの活用　『生活機能』② 【活動】の状況を説明する【心身機能・身体構造】であることを理解する。また【参加】と関連していることの説明が理解できる。 授業外事前学修課題： 事例の【活動】の状況を説明する必要のあるヘンダーソンの基本的看護の構成要素を自分なりに記述しておく（90分） 授業外事後学修課題： ヘンダーソンの基本的看護の構成要素を整理する（90分） 5　２．目標志向型思考の看護過程ICFの活用　『背景因子』　全体像 【環境因子】と【個人因子】を含めてICF整理シート全体から、「患者の望む生活」と「看護目標」を上げ、「強み」と「弱み」を整理することができる 授業外事前学修課題： 『背景因子』である「環境因子」「個人因子」を情報から整理する（60分） 授業外事後学修課題： 看護の方向性をICF整理シート全体より説明する（60分） 6　２．目標志向型思考の看護過程ICFの活用　看護計画立案① グループ内で1つ挙げた「短期目標（あるべき姿）」を達成するための看護計画を立案できる 授業外事前学修課題： 「看護目標」に向かうための「短期目標（あるべき姿）」を上げる（60分） 授業外事後学修課題： 授業で共有した「強み」「弱み」を活かした看護計画に立案する（60分） 7　２．目標志向型思考の看護過程ICFの活用　看護計画立案② グループ内で1つ挙げた「短期目標（あるべき姿）」を達成するための看護計画を立案する 授業外事前学修課題： 授業で共有した「強み」「弱み」を活かした看護計画を立案する（60分）（60分） 授業外事後学修課題： 授業で共有した「強み」「弱み」を活かした看護計画を修正し、発表会の準備をする（60分） 8　２．目標志向型思考の看護過程ICFの活用　看護計画立案③　発表 グループ内で1つ挙げた「短期目標（あるべき姿）」を達成するための看護計画を発表する 授業外事前学修課題：

		前回、グループで立案した看護計画の内容を見直し、根拠や目的を明確にする（60分） 授業外事後学修課題： グループ発表会で得た内容を計画用紙に反映させる（60分）
	９	２．目標志向型思考の看護過程ICFの活用　看護計画立案④　発表 グループ内で1つ挙げた「短期目標（あるべき姿）」を達成するための看護計画を発表する 授業外事前学修課題： 前回、グループで立案した看護計画の内容を見直し、根拠や目的を明確にする（60分） 授業外事後学修課題： グループ発表会で得た内容を計画用紙に反映させる（60分）　課題提出
	１０	３．介護保険施設における看護　１）病院から移転したケース① 病院から介護保険施設に移転した場合の継続看護について学ぶ 介護保険施設の看護の役割と看護の実際を思い起こす 授業外事前学修課題： 介護保険制度の背景と目的について調べまとめる（60分） 授業外事後学修課題： 介護保険施設へ移転した高齢者を理解するための視点を整理する（60分）
	１１	３．介護保険施設における看護　２）病院から移転したケース② 介護保険施設の多職種連携における介護・看護力について学ぶ 授業外事前学修課題： 介護保険施設である特養と老健の職種の配置を復習する（60分） 授業外事後学修課題： 授業内容を復習する（60分）
	１２	３．介護保険施設における看護　３）日常倫理ケア　身体抑制をしない看護 高齢者への倫理的ケアについて学ぶ① 授業外事前学修課題： 介護保険制度における「身体拘束ゼロ」について調べる（60分） 授業外事後学修課題： 授業内容を復習する（60分）
	１３	３．介護保険施設における看護　４）看取り　自然死 高齢者の終末の過ごし方について学ぶ 授業外事前学修課題： 「自然死」について調べる（60分） 授業外事後学修課題： 授業内容を復習する（60分）
	１４	４．認知症高齢者への看護① 認知症高齢者へのコミュニケーションについて学習する 授業外事前学修課題： 認知症高齢者のイメージを明文化する（60分） 授業外事後学修課題： 授業内容を含めて、高齢者への「尊厳」について自己の考えをまとめる（60分）
	１５	４．認知症高齢者への看護②　５．まとめ 認知症高齢者へ必要な「尊厳」ある看護について思考を深める 授業外事前学修課題： 今までの授業を通し、高齢者への「尊厳」について自己の考えをまとめる（60分） 授業外事後学修課題： 実習Ⅱに向けて、「老年看護」で大切にしたいことをまとめる（60分）課題提出
アクティブラーニングを用いた授業方法		グループワークにて事故の学習を深め、グループ発表会では他者が理解できるようにプレゼンテーションを行う。
課題のフィードバック方法と時期		講義時およびGoogle Classroom上でコメントを配信する
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応		評価方法；筆記試験 評価割合；60％ 評価基準；学習到達目標が評価できる発問に正解できれば60% 履修目標との対応；①○　②○　③○　④○ 評価方法；ミニテスト 評価割合；20％ 評価基準；授業内容を確認するミニテストに正解できれば60% 履修目標との対応；①○　②○　③○　④○ 評価方法；提出物 評価割合；20％ 評価基準；提出物についての評価基準は授業時に提示する 履修目標との対応；①○　②○　③○　④○
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）		正木治恵、真田弘美編、老年看護学概論、南江堂 正木治恵、真田弘美編、老年看護学技術、南江堂
実務経験のある教員による授業		看護師としての実務経験を生かした講義を行う
オフィスアワー・連絡先		オフィスアワー；火曜日　12：10～13：00 連絡先；佐野望　nsano@soei.ac.jp　　坂東美知代　mbando@soei.ac.jp　　あべ野ゆう子　yabeno@soei.ac.jp
備考		

講義科目名称： 老年看護学実習Ⅰ　　授業コード： 25G210

英文科目名称： Gerontological Nursing Ⅰ：Clinical Practicum

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	２年	１単位	必修
担当教員			
佐野　望/看護学部　坂東　美知代/看護学部　あべ野ゆう子/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	①看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。
履修条件	基礎看護学実習Ⅰの単位を修得し、老年看護学概論，老年看護学方法論Ⅰを履修していること
授業概要	高齢者は加齢に伴う身体的、精神的、社会的変化と長年蓄積された生活習慣によって個別性が大きい。介護保険施設を利用している複数の高齢者の関わりを通してその個別性を実感的に理解し、コミュニケーション、家族への支援や多職種との協働・連携の実際を学修する。
履修目標	介護保険サービスを利用する高齢者とのかかわりを通して、加齢に伴う身体的、精神的、社会的特徴を捉え、その多様性を理解する。また、加齢に伴い生じる生活機能低下の実際と生活支援の実際を見学し、高齢者や家族への支援のあり方について考察できる。 ①高齢者の自尊心、意思の尊重を意識した関わりについて説明できる ②保健医療福祉との連携協働の実際を知り、施設における看護の役割が説明できる ③高齢者との対応を振り返り、自身の老年観を説明できる
授業計画・授業外学修課題	1　事前オリエンテーション①（全体） １．実施日　2年次前期　７月後半 ２．内容 １）老年看護学実習Ⅰの概要 ２）実習施設と学生配置 ３）実習スケジュールについて ４）授業外事前学修課題： ①介護保険制度のしくみ、介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）および介護老人保健施設の特徴と違いについてまとめる。 ②各実習施設の概要と特色（理念、サービス内容など）について、施設のホームページを確認し、まとめる。 ③高齢者の身体的、心理的、社会的特徴についてまとめ、高齢者の発達段階の各期における楽しみにも着目する。 ④高齢者とのコミュニケーションにおける留意点と、認知症高齢者へのコミュニケーション技術であるユマニチュードの動画を視聴し、要点をまとめておく。 ⑤高齢者に対する食事介助、清潔（入浴、口腔ケア）、排泄介助（トイレ、オムツ交換）等の留意点についてまとめる 事前学修課題は、学習を深めるとともに実習中に活用できるようにまとめ、事前オリエンテーション時に持参する。 月曜　事前オリエンテーション②（グループ） １．実習日　2年次後期 ２．内容 １）実習に臨むにあたって ２）実習中に伴う安全対策および発生時の対応 ３）施設別オリエンテーション 火曜～木曜　臨地実習 １．実習内容 実習目標１～３の達成に向けて、施設にて実習学習に臨む ２．実習記録 様式２を用いて、実習目標に沿って記述する ３．実習内容及び形態 ①施設サービスを受ける利用者及び家族との関わりについてコミュニケーションを中心に学ぶ ②高齢者へのケア場面の見学と一部参加する ４．授業外事後学修課題： 自身の老年観を実習前後を比較し、レポートする 金曜　まとめ １．グループワーク ２．発表会 ３．評価面談 ４．記録、レポートの提出
アクティブラーニングを用いた授業方法	既習内容を総合して臨地実習学習を主体的に進める
課題のフィードバック方法と時期	臨地実習中およびカンファレンス参加時、実習最終日の面談にてフィードバックする
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	実習要項に詳細を示している

テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	正木治恵、真田弘美編、老年看護学概論、南江堂 正木治恵、真田弘美編、老年看護学技術、南江堂
実務経験のある教員による授業	看護師としての実務経験を生かした実習指導を行う
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワー；月曜日　5限 連絡先；佐野望　nsano@soei.ac.jp　　坂東美知代　mbando@soei.ac.jp　　あべ野ゆう子　yabeno@soei.ac.jp
備考	

講義科目名称： 老年看護学実習Ⅱ　　授業コード： 25G211

英文科目名称： Gerontological Nursing Ⅱ：Clinical Practicum

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	３年	２単位	必修
担当教員			
佐野　望/看護学部　坂東　美知代/看護学部　あべ野ゆう子/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	①看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。 ②臨床場面や状況への関心をもち、看護実践の内省を通して、臨床判断能力を研鑽することができる。 ③看護の専門的知識・技術(及び倫理的態度)に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる。 ④保健医療福祉チームの中で協働・連携し、自らの役割を果たすことができる。
履修条件	2年次までの必修科目、老年看護学方法論Ⅱの単位を修得していること
授業概要	「老年看護学実習Ⅰ」で修得した高齢者とのコミュニケーション能力と個別性の理解を踏まえて、病院に入院している高齢者を一人受け持ち、身体的・心理的・社会的そして家族、地域の社会資源等を総合的にアセスメントし、適切な看護を計画・実践・評価できる基礎的知識・技術・態度を身につける。さらに、高齢者個々の生き方を尊重し、健やかな老いを過ごせるよう、医療チームの一員としての高齢者看護の役割と連携・協働について理解する。
履修目標	老年期にある健康障がいをもつ人と、その家族を身体的・心理的・社会的側面から総合的に理解し、対象者の個別性や健康レベルに応じて看護活動を実践できる基礎的能力を養う。また、高齢者の生活を支える保健・医療・福祉職についての理解を深め、多職種との連携・協働や看護の役割について学ぶ。 ①受け持ち高齢者およびその家族について、総合的に理解し説明できる。 ②高齢者を尊重した援助関係を展開することができる ③受け持ちの高齢者が望む生活へ向けた看護の方向性を示すことができる ④根拠に基づいた援助方法を選択し、実践したケアを評価できる ⑤看護実践を通して、多職種との連携・協働の必要性と看護の役割を説明できる
授業計画・授業外学修課題	1　初日オリエンテーション １．実習期間　2年次後期の２週間 ２．内容 １）実習目的・目標・評価表の確認 ２）グループディスカッション ３）演習　ロールプレイ ４）グループ毎のオリエンテーション ５）実習記録について ６）個別面談 授業外事前学修課題： 目標志向型思考の看護過程について復習する ８日　臨地実習 １．実習内容 実習目標の達成に向けて、臨地実習に臨む ２．実習記録 様式１～４を用いながら、受け持ち患者の看護を実践する １）実習目的・目標・評価表の確認 ２）グループディスカッション ３）演習　ロールプレイ ４）グループ毎のオリエンテーション ５）実習記録について ６）個別面談 授業外事前学修課題： 目標志向型思考の看護過程について復習する 金曜　まとめ １．グループワーク ２．発表会 ３．評価面談 ４．記録の提出
アクティブラーニングを用いた授業方法	既習内容を総合して臨地実習学習を主体的に進める
課題のフィードバック方法と時期	臨地実習中およびカンファレンス参加時、実習最終日の面談にてフィードバックする
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	実習要項のⅥ．評価に詳細を示している
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	正木治恵、真田弘美編、老年看護学概論、南江堂 正木治恵、真田弘美編、老年看護学技術、南江堂
実務経験のある教員による授業	看護師としての実務経験を生かした講義を行う

オフィスアワー・ 連絡先	フィスアワー；月曜日　5限 連絡先；佐野望　nsano@soei.ac.jp　　坂東美知代　mbando@soei.ac.jp　あべ野ゆう子　yabeno@soei.ac.jp
備考	

講義科目名称： 小児看護学概論　　授業コード： 25G212

英文科目名称： Introduction to Child Health Nursing

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年	２単位	必修
担当教員			
染谷　奈々子/看護学部　　山下　麻実/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。 看護の専門的知識・技術(及び倫理的態度)に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる。
履修条件	
授業概要	人のライフサイクルの小児期における成長・発達の過程とその特徴を学ぶ。さらに、こどもの成長・発達に影響を与える要因としてのこどもの栄養、こどもを取り巻く社会について学修する。また、こどもの生活習慣の獲得過程とその獲得に向けた援助について学修する。小児医療・小児看護の変遷を理解し小児看護の目的、小児看護における今後の課題、あり方等についても学修する。
履修目標	①こどもの特徴と小児看護の目的・目標・役割について説明できる。 ②こどもの成長発達の原則・小児各期の特徴について説明できる。 ③小児保健の動向及びこどもの健康を守る制度・組織と法律を理解し説明できる。 ④小児各期のこどもの生活の特徴・問題、こどもの健康に影響を及ぼす環境因子について理解し説明できる。 ⑤こどもと家族を支える小児看護のあり方について考え、自分の意見を述べることができる。
授業計画・授業外学修課題	1　ガイダンス　小児看護とは　小児看護の歴史と意義（染谷） ・小児看護学概論の学修内容や授業計画を紹介する ・小児看護とは、小児看護の対象と目的、歴史について概説する ・小児看護学に期待されるものについて考える 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所を読み、自らの「学修課題やこども観」を確認しておく(30分) 授業外事後学修課題：講義内容を振り返り、社会的状況、育児環境の変化などからこども観を述べることができる(30分) 2　こどもの権利と看護（染谷） ・こどもの権利とは ・現代社会とこどもの権利 ・小児医療とこどもの権利 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所を読み、こどもの権利と看護について視野を拡大しておく(30分) 授業外事後学修課題：講義内容を振り返り、こどもの権利と看護について考え、意見を述べることができる(30分) 3　小児看護と法律・施策（染谷） ・こどもを取り巻く社会環境 ・母子保健施策 ・小児に関する法律（児童福祉法、母子保健法、健やか親子21） 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所を読み、小児看護と法律・施策について視野を拡大しておく(30分) 授業外事後学修課題：講義内容を振り返り、こどもを取り巻く環境、母子保健施策、小児に関する法律と小児看護について考え、意見を述べることができる(30分) 4　小児看護で用いられる理論①（染谷） ・セルフケア理論 ・エリクソンの自我発達理論 ・ピアジェの認知発達理論 ・母子関係論 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所を読み、小児看護における代表的な理論について確認しておく(30分) 授業外事後学修課題：講義内容を振り返り、小児看護で用いられる各理論の活用について考え、意見を述べることができる(30分) 5　乳児期のこどもの成長発達と看護（染谷） ・成長・発達の原則 ・乳児期とは ・形態的成長・発達の特徴 ・機能的発達の特徴 ・心理・社会的発達 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所を読み、新生児期の学修内容から継続性をもち乳児期の予習を進める(30分)

		授業外事後学修課題：講義内容を振り返り、乳児期のこどもの成長発達と看護について学修したことをもとに、これからの小児看護のあり方について考え、意見を述べることができる(30分)
	6	幼児期のこどもの成長発達と看護（染谷） ・幼児期とは ・形態的成長・発達の特徴 ・機能的発達の特徴 ・心理・社会的発達 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所を読み、乳児期の学修内容から継続性をもち幼児期の予習を進める(30分) 授業外事後学修課題：講義内容を振り返り、幼児期のこどもの成長発達と看護について学修したことをもとに、これからの小児看護のあり方について考え、意見を述べることができる(30分)
	7	小テスト　乳児期のこどもによくみられる健康問題と看護（山下） ・講義第1回から第6回の内容の小テスト ・乳児死亡、事故、感染、遊び ・乳児期のこどものセルフケアの発達と看護 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所を読み、第5回を復習しながら予習を進める(30分) 授業外事後学修課題：講義内容を振り返り、小児看護学実習Ⅰの実習内容を想定し、乳児期の成長・発達過程のホイントをまとめておく。特に、乳児期の遊びの援助や工夫、栄養、母乳や離乳食、子どもの安全のための気づきや方策について学修を深めておく(30分)
	8	幼児期のこどもによくみられる健康問題と看護（山下） ・事故、感染、遊び ・食事、排泄、睡眠に関する問題 ・幼児期のこどものセルフケア発達と看護 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所を読み、第6回を復習しながら予習を進める(30分) 授業外事後学修課題：講義内容を振り返り、小児看護学実習Ⅰの実習内容を想定し、幼児期の成長・発達過程のポイントをまとめておく。特に、幼児期の遊びの援助や工夫、基本的生活習慣の獲得、子どもの安全のための気づきや方策について学修を深めておく(30分)
	9	小児看護で用いられる理論②（染谷） ・家族理論 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所を読み、第1-第10回の学修内容を復習しておく（30分） 授業外事後学修課題：講義内容を振り返り、小児看護で用いられる各理論の活用について考え、意見を述べることができる(30分)（30分）
	10	学童期のこどもの成長・発達と看護（染谷） ・学童期とは ・身体的成長 ・機能的発達 ・学童によくみられる健康問題 ・学童期のこどものセルフケアの発達と看護 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所を読み、学童期のこどもの成長・発達と看護について確認しておく(30分) 授業外事後学修課題：講義内容を振り返り、学童期のこどもの成長発達と看護について学修したことをもとに、これからの小児看護のあり方について考え、意見を述べることができる（30分）
	11	思春期の人々の成長・発達と看護（染谷） ・思春期とは ・身体的成長 ・機能的発達 ・思春期の人々によくみられる健康問題 ・思春期の人々のセルフケアの発達と看護 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所を読み、思春期の人々の成長・発達と看護について確認しておく(30分) 授業外事後学修課題：講義内容を振り返り、思春期の人々の成長発達と看護について学修したことをもとに、これからの小児看護のあり方について考え、意見を述べることができる（30分）
	12	終末期にあるこどもと家族への看護（染谷） ・こどもの死の概念の発達 ・終末期にあるこどもと家族の心理 ・終末期にあるこどもの身体徴候 ・緩和ケア ・終末期にあるこどもと家族への援助 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所を読み、第1回から第11回の学修内容を復習しておく（30分） 授業外事後学修課題：講義内容を振り返り、終末期にあるこどもと家族への看護について考え、意見を述べることができる(30分)
	13	災害を受けたこどもと家族への看護（山下） ・災害と災害看護 ・災害を受けたこどもの心と身体への影響 ・災害時のこどもの身体に及ぼす影響 ・こどもや家族を看護する者への支援

	授業外事前学修課題：教科書の該当箇所を読み、第1回から第12回の学修内容を復習しておく(30分) 授業外事後学修課題：講義内容を振り返り、災害を受けたこどもと家族への看護について考え、意見を述べることができる(30分) 14　小児看護学概論　まとめ１ ・グループワーク ・グループワーク発表資料の作成と提出 授業外事前学修課題：第１回から13回までの学修を通して課題レポートを作成して提出する(60分) 授業外事後学修課題：第15回終了後の課題として示す 15　小児看護学概論のまとめ２ ・グループワーク発表 ・意見交換 ・小児看護学概論のまとめ 授業外事前学修課題：グループワーク発表資料をもとに、個々に分担した発表準備を行う。課題レポートについて自らの意見を述べることができるように考察しておく(30分) 授業外事後学修課題：第14回第15回に出席後の課題レポートを作成して提出する。 小児看護学概論の学修資料をまとめて不明部分の復習と再学修を行う〈60分〉 （実習にむけた課題を提示予定）
アクティブラーニングを用いた授業方法	小児看護学実習Ⅰに向けた実践的な講義やグループワークなどを用いて実施する。
課題のフィードバック方法と時期	リフレクションのフィードバックは、次の授業におこなう。 提出された成果物は、返却する。 小テストのフィードバックは、授業内またはGoogle Classroomなどを用いて行う。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験、レポート、小テスト 評価割合：筆記試験　60%　レポート　20%　小テスト　20% 評価基準：筆記試験：小児看護学概論としての学習内容の理解を問う設問で、記述選択方式で評価する。 レポート：学修内容をさらに発展させて学生自身の考えを言語化し記述する力を評価する。 小テスト：重要な知識や理解が求められる項目を重点的に出題し、その理解度を確認する。 履修目標との対応：筆記試験は、目標①②③④⑤　レポートは、目標①⑤　小テストは、目標①②③④
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：ナーシング・グラフィカ　小児看護学①　小児の発達と看護　中野綾美編集　メディカ出版　2023年 参考文献：授業時に随時紹介する。
実務経験のある教員による授業	担当教員は、看護師としての資格経験を有し、教育・研究者としての経験を加えて、小児看護学の魅力や実践学の知を伝える。
オフィスアワー・連絡先	金曜日の12:00から13:00 染谷奈々子：nsomeya@soei.ac.jp 山下麻実：a.yamashita@soei.ac.jp
備考	授業中にICTを活用することは許可しますが、写真の撮影・録音・録画は認めません。 この科目におけるレポートは、学生が学修の積み重ねを経て作成することを前提としているため、生成系AIを用いて作成することは認めません。

講義科目名称： 小児看護学方法論Ⅰ　　授業コード： 25G213

英文科目名称： Pediatric NursingⅠ：Care & Methodology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	２年	１単位	必修
担当教員			
山下　麻実/看護学部　染谷　奈々子/看護学部　瀧田　浩平/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。 看護の専門的知識・技術(及び倫理的態度)に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる。
履修条件	小児看護学概論を履修していること
授業概要	小児の健全な成長発達に関連する制度および保健活動について学修する。また障害（発達障害等）が小児やその家族に及ぼす影響と反応について学修し、その小児と家族に共通する基本的な看護援助について学修する。小児の成長・発達の段階と健康の段階に応じた日常生活の援助に必要な技術を学修する。さらに、健康障害をもつ小児特有の看護技術を学修する。
履修目標	①健康問題のあるこどもと家族を取り巻く環境について様々な資料を用いて分析できる。 ②こどもの健康障害の特徴と看護の特徴について関連付けて記述できる。 ③健康障害や入院に対するこどもと家族の反応と援助について解釈できる。 ④こどもの健康障害に伴う問題と看護について批判的に評価できる。
授業計画・授業外学修課題	1　健康障害や入院がこどもと家族に及ぼす影響と看護 こどもの病気の理解 健康障害に伴うこどものストレス こどものストレス対処の支援 授業外事前学修課題：小児看護学概論の知識をもとにこどもの身体・情緒・社会的特徴を復習する。(30分) 授業外事後学修課題：授業で学修した内容を整理しまとめる(30分) 2　呼吸器/アレルギー疾患と看護 ・気管支喘息のこどもと家族の看護 授業外事前学修課題：呼吸器系の機能と構造を学習する(30分) 授業外事後学修課題：気管支喘息の病態・症状・治療・看護について整理する。(30分) 3　循環器疾患と看護 ・心室中隔欠損 ・ファロー四徴症 授業外事前学修課題：心臓の機能と構造を学習する。(30分) 授業外事後学修課題：先天性心疾患の病態について、テキストを活用し整理する。(30分) 4　免疫系疾患と看護 ・川崎病のこどもと家族の看護 授業外事前学修課題：こどもの発熱・脱水について再確認する。(30分) 授業外事後学修課題：川崎病の病態・症状を急性期および回復期ごとに治療と看護を整理する。(30分) 5　消化器系疾患と看護 ・腸重積のこどもと家族の看護 ・鎖肛のこどもと家族の看護 授業外事前学修課題：消化器系の機能と構造を学習する。(30分) 授業外事後学修課題：腸重積・鎖肛の病態・症状・治療・看護について整理する。(30分) 6　腎・泌尿器疾患と看護 ・ネフローゼ症候群のこどもと家族の看護 授業外事前学修課題：腎臓の機能と構造を学習する (30分) 授業外事後学修課題：ネフローゼ症候群の【急性期】【安定期】【完解期】の治療・看護について整理できる。(30分) 7　代謝系疾患と看護 ・1型糖尿病をもつこどもと家族の看護 授業外事前学修課題：ホルモンの分泌と作用機序について学習する。(30分) 授業外事後学修課題：1型糖尿病をもつこどもが学校生活うまく送るための必要な調整を考察する(30分)

	8	血液・腫瘍系疾患と看護 ・白血病のこどもと家族の看護 授業外事前学学修課題：こどもの死の捉え方について概論の知識を活用して学習する。（30分） 授業外事後学修課題：長期療養を必要とするこどもの成長発達に伴うセルフケア、移行医療について整理する。（30分）
	9	神経系疾患と看護 ・てんかんをもつこどもと家族の看護 ・髄膜炎のこどもと家族の看 授業外事前学修課題：大脳・神経系の機能や構造を学習する。(30分) 授業外事後学修課題：髄膜炎の病態・症状・治療・看護について整理する。(30分)
	10	感染症と看護 ・こどもの免疫機能の特徴 ・特徴的にみられるこどもの感染症 授業外事前学修課題：感染症が成立する仕組みを学習する。(30分) 授業外事後学修課題：各感染症ごとに、感染経路、潜伏期間、症状、治療、看護、出席停止の基準について整理する。(60分)
	11	神経発達症・心身的問題と看護　【特別講師】 ・発達障害 ・摂食障害のこどもと家族の看護 授業外事前学修課題：一般的なこどもの運動・認知・社会性の各発達を学習する。（30分） 授業外事後学修課題：発達障害・摂食障害のこどもと家族への看護・多職種連携について整理する。（30分）
	12	新生児疾患と看護 ・低出生体重のこどもと家族の看護 授業外事前学修課題：妊娠成立から出産まで胎児の成長過程を学習する。（30分） 授業外事後学修課題：低出生体重児と家族への看護ついて整理する。（30分）
	13	地域における医療的ケア児と家族への看護　【特別講師】 ・医療的ケア児と家族への看護 授業外事前学修課題：一般的なこどもの運動・認知・社会性の各発達を学習する。（30分） 授業外事後学修課題：医療的ケア児と家族への看護・多職種連携について整理する。（30分）
	14	手術を受けるこどもと家族の看護 手術を受けるこどもと家族の看護 授業外事前学修課題：こどもの生理的特徴や認知発達について再確認する。（30分） 授業外事後学修課題：小児期の手術に値する特徴をまとめる。（30分）
	15	まとめ【健康障害をもつこどもを家族への看護師のあり方】 ディスカッションとプレゼンテーション 授業外事前学修課題：【健康障害をもつこどもを家族への看護師のあり方】について自己の考えを整理する。（60分） 授業外事後学修課題：ディスカッション後【健康障害をもつこどもを家族への看護師のあり方】について自己の考えを整理する。（60分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワークを取り入れながら、授業を展開していく。ICTを活用し、最新の予防接種情報を取り入れる。	
課題のフィードバック方法と時期	リフレクションのフィードバックは、次の授業におこなう。 提出された成果物は授業最終回までに返却する。 試験のフィードバックはGoogleclassroomを活用する。	
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：60％ 評価基準：こどもに特徴的な疾患について基本的な病態や治療や看護に関する解釈や分析ができる。 履修目標との対応：①②③④ 評価方法：小テスト 評価割合：15％ 評価基準：こどもに特徴的な疾患について基本的な病態や治療や看護が答えることができる。 履修目標との対応：①②③ 評価方法：レポート 評価割合：15％ 評価基準：こどもにみられる感染症の感染経路・症状・看護・出席停止事項が整理できる。 健康障害を持つこどもと家族への看護のあり方について考察できる。 履修目標との対応：①②④ 評価方法：授業の取り組み 評価割合：10％	

	評価基準：各回ごとの授業の取り組みができる。授業の要点をまとめることができる。 履修目標との対応：①②
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	【テキスト】 メディカ出版：ナーシンググラフィカ　小児看護学③小児の疾患と看護 メディカ出版：ナーシンググラフィカ　小児看護学①小児の発達と看護 【参考図書】 メディックメディア：病気がみえる小児科 医学書院：発達段階からみた 小児看護過程　第4版＋病態関連図 中央法規出版：エビデンスに基づく小児看護ケア関連図 中央法規出版：疾患別小児看護　基礎知識・関連図と実践事例 講談社：こどもの病気の地図帳 へるす出版 ：いい顔生まれる こどもまんなか小児看護技術
実務経験のある教員による授業	看護師の資格を所有し、小児病棟での実務経験を活用した講義を行います。
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワー　金曜日 12:10～13:00 山下　麻実：a.yamashita@soei.ac.jp 染谷 奈々子：nsomeya@soei.ac.jp 瀧田　浩平：ktakita@soei.ac.jp
備考	授業中にICTを活用することは許可しますが、写真の撮影・録音・録画は認めません。 この科目におけるレポートは、学生が学修の積み重ねを経て作成することを前提としているため、生成系AIを用いて作成することは認めません

講義科目名称： 小児看護学方法論Ⅱ　　授業コード： 25G214

英文科目名称： Pediatric Nursing Ⅱ：Care & Methodology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	３年	１単位	必修
担当教員			
山下　麻実/看護学部　染谷　奈々子/看護学部　瀧田　浩平/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。 看護の専門的知識・技術（及び倫理的態度）に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる。
履修条件	小児看護学方法論Ⅰを履修していること
授業概要	既得した小児及び小児看護の知識・技術を踏まえて、小児期の特徴的な疾患や症状をもつ小児とその家族への看護について事例展開や演習を通して学修する。とくに手術を要する小児の看護、小児がん、心疾患及び腎疾患を抱える小児、アレルギー疾患、糖尿病など慢性的に経過する疾患を持ち入退院を繰り返すなどの健 康障害の種類、健康の段階、成長・発達の段階を踏まえた、小児と家族への看護、援助方法について学修する。
履修目標	①さまざまな状況にあるこどもと家族への看護を様々な資源を用いて分析できる。 ②健康問題を持つこどもと家族の状況を理解し、必要な援助について計画を立案することができる。 ③こどもの成長発達に応じた看護を具体的に考えること（活用）ができる。 ④こどもに必要な看護技術を理解し実施できる。
授業計画・授業外学修課題	1　ガイダンス　看護過程①事例を用いたこどもと家族の看護過程の展開 ・情報収集と情報整理 ・フェイスシート（様式1)を作成 授業外事前学修課題：人体の機能と構造などの知識を再学習する。こどもの成長発達、基礎看護学で学習した看護過程、小児看護学方法論Iで学習した内容を振り返り授業に参加する。(30分) 授業外事後学修課題：こどもの身体的特徴、成長発達過程について学習する。(30分) 2　看護過程②こどものアセスメント ・こどもの症状における常在条件と病理的条件（水分バランス、栄養状態の評価、検査値のみかた） ・こどもの発達段階　成長発達の評価（様式4) 授業外事前学修課題：人体の機能と構造などの知識や小児臨床看護総論を用いて、こどもの主な症状について学習しておく。看護過程展開論Ⅲのヘンダーソンの看護理論について復習する。(30分) 授業外事後学修課題：指定された疾患、こどもの身体的特徴、成長発達過程について学習する。(30分) 3　看護過程③病態の理解とアセスメント ・こどもの症状の常在条件と病理的条件 ・病態関連図（様式2の作成） 授業外事前学修課題：小児臨床看護総論を用いてこどもの主な症状について学習しておく。看護過程展開論Ⅲの関連図について復習する。(30分) 授業外事後学修課題：指定された疾患について復習し関連図を描く(60分) 4　こどもの看護技術① ・こどもに特徴的な看護技術① 授業外事前学修課題：指示された技術確認項目をテキスト【いい顔うまれるこどもまんなか小児看護技術】の該当箇所を精読する。(30分) 授業外事後学修課題：授業資料に基づき技術手順及び根拠について学習する。十分体験できない技術や再度確認したい技術について各自で練習する(30分) 5　こどもの看護技術② ・こどもに特徴的な看護技術② 授業外事前学修課題：指示された技術確認項目をテキスト【いい顔うまれるこどもまんなか小児看護技術】の該当箇所を精読する。(30分) 授業外事後学修課題：授業資料に基づき技術手順及び根拠について学習する。十分体験できない技術や再度確認したい技術について各自で練習する(30分) 6　こどもの与薬① ・与薬の原則 ・経口与薬　点滴の計算 授業外事前学修課題：薬に関する基礎知識及び基礎看護技術を復習する。こどもの認知発達について復習する。（30分）

	授業外事後学修課題：こどもの与薬方法と身体への侵襲、事故防止など再考する。(30分) 7　こどもの与薬② ・注射薬の作成 授業外事前学修課題：与薬に関する基礎知識及び基礎看護技術を復習する。こどもの認知発達について復習する(30分) 授業外事後学修課題：こどもの与薬方法と身体への侵襲、事故防止など再考する。(30分) 8　看護過程④こどもの発達の理解とアセスメント ・対象となるこどもの発達と生活を理解し、病態関連図～全体像への拡充 授業外事前学修課題：小児臨床看護総論を用いてこどもの主な症状について学習しておく。(30分) 授業外事後学修課題：対象のこどもの発達について復習し、全体像を拡充する(60分) 9　看護過程⑤全体像の完成 ・看護問題の明確化 授業外事前学修課題：全体像を拡充し、授業に臨む(30分) 授業外事後学修課題：全体像を完成し、看護問題を抽出する(60分) 10　看護過程⑥看護問題の優先順位の選定 ・全体像の追加・修正 ・優先順位の検討 授業外事前学修課題：看護問題を抽出する(30分) 授業外事後学修課題：看護問題の優先度を再確認する(30分) 11　看護過程⑦看護計画の作成 ・こどもの疾患や発達に応じた看護計画の作成 ・看護計画 様式３の作成 授業外事前学修課題：看護問題の優先度を再確認する(30分) 授業外事後学修課題：看護計画を追加修正する(30分) 12　看護過程⑧看護計画の検討 ・立案した看護計画の追加・修正 ・小グループによる立案した看護計画の検討 授業外事前学修課題：看護計画を追加修正する(30分) 授業外事後学修課題：小グループによる立案した看護計画の発表の準備（30分） 13　看護過程⑧看護計画の発表 ・全体討議 授業外事前学修課題：小グループによる立案した看護計画の発表の準備（30分） 授業外事後学修課題：様式1～様式3まで追記修正する。（60分） 14　こどもの在宅ケアの実際　【特別講師】 ・在宅で療養するこどもと家族 授業外事前学修課題：健康障害を持つこどもが在宅で生活するための社会資源を整理する。（60分） 授業外事後学修課題：授業で学んだことを整理する。(30分) 15　まとめ【健康障害をもつこどもと家族への看護技術のあり方】 ・テーマについてディスカッションとプレゼンテーション 授業外事前学修課題：【健康障害をもつこどもと家族への看護技術のあり方】について自己の考えをまとめる、(60分) 授業外事後学修課題：ディスカッション後健康障害をもつこどもと家族への看護技術のあり方】について自己の考えをまとめる。(60分)
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワークや技術演習を取り入れながら、授業を展開していく。適切な看護技術の習得のために!CTを活用する
課題のフィードバック方法と時期	リフレクションのフィードバックは、次の授業におこなう。 提出された成果物は授業最終回に返却する。 試験のフィートハックはGoogleclassroomを活用する。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：60％ 評価基準：健康問題にあるこどもの発達に応じた看護がエビデンスに基づき回答することができる。 履修目標との対応：①②③④ 評価方法：レポート（看護過程） 評価割合：25％ 評価基準：看護過程授業時にルーブリックを配布する。 履修目標との対応：①②③④ 評価方法：レポート（健康障害を持つこどもへの看護技術のあり方について考察できる。）

	評価割合：10％ 評価基準：健康障害を持つこどもへの看護技術のあり方について考察できる。 履修目標との対応：①③ 評価方法：授業の取り組み 評価割合：5％ 評価基準：各回ごとの授業の取り組みができる。授業の要点をまとめることができる。 履修目標との対応：①②③④
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	【テキスト」 医学書院：小児看護学概論　小児臨床看護総論 医学書院：小児臨床看護学各論 へるす出版　：いい顔生まれる こどもまんなか小児看護技術 【参考図書】 メディックメディア：病気がみえる小児科 医学書院：発達段階からみた 小児看護過程　第4版＋病態関連図 中央法規出版：エビデンスに基づく小児看護ケア関連図 中央法規出版：疾患別小児看護　基礎知識・関連図と実践事例 講談社：こどもの病気の地図帳 その他随時、授業時に紹介する。
実務経験のある教員による授業	小児病棟NICU・障害児施設で看護師としての実務があり、その経験を活用した講義を行います。
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワー：金曜日 12:10～13:00 山下　麻実：a.yamashita@soei.ac.jp 染谷　奈々子：nsomeya@soei.ac.jp 瀧田　浩平：ktakita@soei.ac.jp
備考	授業中にICTを活用することは許可しますが、写真の撮影・録音・録画は認めません。 この科目におけるレポートは、学生が学修の積み重ねを経て作成することを前提としているため、生成系AIを用いて作成することは認めません

講義科目名称： 小児看護学実習Ⅰ　　授業コード： 25G215

英文科目名称： Pediatric NursingⅠ : Clinical practicum

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	２年	１単位	必修
担当教員			
山下　麻実/看護学部　染谷　奈々子/看護学部　瀧田　浩平/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。 臨床場面や状況への関心をもち、看護実践の内省を通して、臨床判断能力を研鑽することができる。
履修条件	1年次の専門基礎分野・専門分野の必修科目の単位を修得し、小児看護学概論の単位を修得していること
授業概要	地域・集団（保育所・幼稚園）の中で生活している健康な小児と発達障害のある小児の日常生活行動を実際の保育活動に参加・観察し、子どもと家族の支援に必要な基本的観察技術を修得する。さらに子どもの成長・発達、及び生活と環境との関連で理解し、子どもを取り巻く家庭・地域のサポートシステム及び施設における子どもの健康管理の概要を知る。
履修目標	①保育所・幼稚園における健康な小児の発達段階に応じた生活について説明できる。 ②こどもの日常生活行動の実際とその支援方法について指導を受け実施できる。 ③こどもを取り巻く家庭・地域が果たす役割やサポートシステムについて説明できる。 ④こどもを守り育てるための自らの役割や課題について説明できる。
授業計画・授業外学修課題	1　　保育所・幼稚園・こども園で1週間の実習を行う 実習時期、期間、実習施設・学生配置、実習内容、方法等の詳細は小児看護学実習1実習要項参照 臨地実習要項（共通）を実習ファイルに綴じて実習時に携帯すること。
アクティブラーニングを用いた授業方法	地域で生活する健康なこどもを対象とした保育所・幼稚園・こども園での実習です。
課題のフィードバック方法と時期	実習中に生じた課題については、実習中にフィードバックする。また、実習終了時には学内で、実習全体を通したフィードバックを行う。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：その他 評価割合：100% 評価基準：実習評価表参照 履修目標との対応：①②③④
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	メディカ出版：ナーシンググラフィカ　小児看護学①小児の発達と看護 メディカ出版：ナーシンググラフィカ　小児看護学③小児の疾患と看護
実務経験のある教員による授業	教員は看護師資格を有しており、病院をはじめとする施設での実務経験を活かして指導します。
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワー：金曜日 12:10～13:00 山下　麻実：a.yamashita@soei.ac.jp 染谷　奈々子：nsomeya@soei.ac.jp 瀧田　浩平：ktakita@soei.ac.jp
備考	この科目におけるレポートは、学生が学修の積み重ねを経て作成することを前提としているため、生成系AIを用いて作成することは認めません。

講義科目名称： 小児看護学実習Ⅱ　　授業コード： 25G216

英文科目名称： Pediatric NursingⅡ： Clinical practicum

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	４年	１単位	必修
担当教員			
染谷　奈々子/看護学部　山下　麻実/看護学部　瀧田　浩平/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	臨床場面や状況への関心をもち、看護実践の内省を通して、臨床判断能力を研鑽することができる。 看護の専門的知識・技術(及び倫理的態度)に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる。 保健医療福祉チームの中で協働・連携し、自らの役割を果たすことができる。
履修条件	2年次までの必修科目、小児看護学方法論Ⅱの単位を修得していること。
授業概要	病気や障害を抱えて入院生活を送っている小児と家族への基礎的な看護実践能力を身につける。具体的に小児とその家族の発達段階や健康レベルに応じたアセスメント、適切な看護を計画・実践（指導者とともに行う）・評価できるための基礎的知識・技術・態度を身につける。さらに医療チームの一員としての小児看護の役割を理解し、連携・協働の実際を学ぶ。
履修目標	①病気や障害を抱えて治療や生活を送っているこどもと家族の現状を説明できる。 ②こどもの発達段階について理解し、成長発達を促進するための看護を実施できる。 ③家族の状況やこどもと家族の関係性について理解し、家族の力を生かす支援方法について説明できる。 ④小児看護におけるチーム医療の一員として求められる役割や課題について理解し意見交換ができる。
授業計画・授業外学修課題	病院・施設において１週間、実習を行う。 実習時期、期間、実習施設・学生配置、実習内容、方法等の詳細は小児看護学実習Ⅱ実習要項参照 臨地実習要項（共通）を実習ファイルに綴じて実習時に携帯すること。
アクティブラーニングを用いた授業方法	健康障害を持つこどもが療養する施設における実習です。
課題のフィードバック方法と時期	実習中に生じた課題については、実習中にタイムリーにフィードバックする。また、実習終了時には学内で、実習全体を通したフィードパックを行います。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：その他 評価割合：100% 評価基準：実習評価表参照 履修目標との対応：①②③④
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：奈良間美保医学書院小児看護学概論・小児臨床看護総論　医学書院 奈良間美保医学書院小児臨床看護各論　医学書院 山本恵子インターメディカ写真でわかる小児看護技術アドバンス
実務経験のある教員による授業	教員は看護師資格を有しており、病院をはじめとする施設での実務経験を活かして指導します。
オフィスアワー・連絡先	金曜日　12:10～13：00 染谷　奈々子：nsomeya@soei.ac.jp 山下　麻実　：a.yamashita@soei.ac.jp 瀧田　浩平　：ktakita@soei.ac.jp
備考	この科目におけるレポートは、学生が学修の積み重ねを経て作成することを前提としているため、生成系AIを用いて作成することは認めません。

講義科目名称： 母性看護学概論　　授業コード： 25G217

英文科目名称： Introduction to Women's Health Nursing

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	２単位	必修
担当教員			
山本　洋美/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。 看護の専門的知識・技術(及び倫理的態度)に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる。
履修条件	特になし
授業概要	人のライフサイクルにおける母性とは何か、セクシュアリティ、リプロダクティブヘルス・ライツ、いのち（自他）の観点から理解する。また母性の対象者を母性を取り巻く環境や統計・施策との関連性でとらえ、母性の各ライフステージにおける健康課題と看護について理解する。
履修目標	①母性看護の基盤となる概念・リプロダクティブヘルスに関する概念について理解する。 ②リプロダクティブヘルスに関する動向や倫理・いのち（自他）について理解を深め考えることができる。 ③リプロダクティブヘルスに関する法や施策と支援について理解する。 ④生殖に関する生理について理解する。 ⑤各ライフステージにおける健康問題と看護について理解する
授業計画・授業外学修課題	1 ガイダンス母性看護の基盤となる概念リプロダクティブヘルスに関する概念 授業外事前学修課題：課題内容（時間）テキストｐ16～45を読む 授業外事後学修課題：課題内容（時間）授業で配布した資料とテキストｐ16～45を復習し理解を深める 2 映画視聴「あわひⅡ」 授業外事前学修課題：課題内容（時間）看護師がかかわる出産について考える 授業外事後学修課題：課題内容（時間）授業で配布した資料とテキストｐ16～46を復習し理解を深める 3 リプロダクティブヘルスに関する統計 授業外事前学修課題：課題内容（時間）テキストｐ48～68を読む 授業外事後学修課題：課題内容（時間）授業で配布した資料とテキストｐ48～68を復習し理解を深める 4 リプロダクティブヘルスに関する法や施策と支援 授業外事前学修課題：課題内容（時間）テキストｐ70～104を読む 授業外事後学修課題：課題内容（時間）授業で配布した資料とテキストｐ70～104を復習し理解を深める 5 リプロダクティブヘルスに関する倫理 授業外事前学修課題：課題内容（時間）テキストｐ106～136を読む 授業外事後学修課題：課題内容（時間）授業で配布した資料とテキストｐ106～136を復習し理解を深める 6 生殖に関する生理① 授業外事前学修課題：課題内容（時間）テキストｐ138～164読む 授業外事後学修課題：課題内容（時間）授業で配布した資料とテキストｐ106～164を復習し理解を深める 7 生殖に関する生理② 授業外事前学修課題：課題内容（時間）テキストｐ166～198を読む 授業外事後学修課題：課題内容（時間）授業で配布した資料とテキストｐ166～198を復習し理解を深める 8 生殖における健康問題と看護①LGBT 授業外事前学修課題：課題内容（時間）テキストｐ32-46を読む 授業外事後学修課題：課題内容（時間）授業で配布した資料とテキストｐ32～46を復習し理解を深める 9 生殖における健康問題と看護② 授業外事前学修課題：課題内容（時間）テキスト166～198を読む 授業外事後学修課題：課題内容（時間）授業で配布した資料とテキスト166～198を復習し理解を深める 10 生殖における健康問題と看護③不妊症 授業外事前学修課題：課題内容（時間）テキストｐ200～216を読む 授業外事後学修課題：課題内容（時間）授業で配布した資料とテキストｐ200～216を復習し理解を深める 11 生殖における健康問題と看護④ 授業外事前学修課題：課題内容（時間）テキスト166～198を読む 授業外事後学修課題：課題内容（時間）授業で配布した資料とテキスト166～198を復習し理解を深める 12 生殖における健康問題とその看護⑤ 授業外事前学修課題：課題内容（時間）テキスト166～198を読む 授業外事後学修課題：課題内容（時間）授業で配布した資料とテキスト166～198を復習し理解を深める

	13　母性の看護/グループワーク 授業外事前学修課題：課題内容（時間）第1回～12回までの資料を復習する 授業外事後学修課題：課題内容（時間）授業で配布した資料と自己学習で自己の理解を深める 14　妊娠期の身体的特性 授業外事前学修課題：課題内容（時間）母性看護の実践テキストｐ28～36を読む 授業外事後学修課題：課題内容（時間）授業で配布した資料と母性看護の実践テキストｐ28～36を復習し理解を深める 15　妊娠期の身体的特性 授業外事前学修課題：課題内容（時間）母性看護の実践テキストｐ28～36を読む 授業外事後学修課題：課題内容（時間）授業で配布した資料と母性看護の実践テキストｐ28～36を復習し理解を深める
アクティブラーニングを用いた授業方法	体験学習、グループワークを行います。
課題のフィードバック方法と時期	出席カードに授業でわからなかったところ質問を記述してもらい次回の授業でフィードバックする
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法　：　期末試験 評価割合　：　70％ 評価基準　：　到達目標で示す範囲にある。 母性看護学概論としての学習内容の理解を問う設問で、記述選択方式で評価する。 履修目標との対応　：　①②③④⑤ 評価方法　：　小テスト 評価割合　：　20％ 評価基準　：　重要な知識や理解が求められる項目を重点的に出題し、その理解度を確認する。 履修目標との対応　：　①③④⑤ 評価方法　：　参加度 評価割合　：　10％ 評価基準　：　教科書や予習、復習などの準備状況、授業中の態度や発言など、ルーブリック参照 履修目標との対応　：　①②③④⑤
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：ナーシング・グラフィカ母性看護学①概論・リプロダクティブヘルスと看護　メディカ出版 ナーシング・グラフィカ母性看護学②母性看護の実践　メディカ出版　（第9回目以降） 参考文献：病気がみえるvol.10　産科　MEDICMEDIA
実務経験のある教員による授業	担当教員は助産師・保健師・公認心理士における臨床経験を活用し、母子の看護に必要な看護実践、将来を見据えた生きた実践学の知を伝える。 また、母性看護学概論主担当は10年以上であり、ブラッシュアップをしている。
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワー：月曜日12時10分～13時 連絡先：hyamamoto@soei.ac.jp
備考	

講義科目名称： 母性看護学方法論Ⅰ　　授業コード： 25G218

英文科目名称： Maternal Nursing Ⅰ： Care & Methodology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年	１単位	必修
担当教員			
藍木　桂子/看護学部　上村　いずみ/看護学部　山本　洋美/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1.看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。 3.看護の専門的知識・技術（及び論理的態度）に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる。
履修条件	母性看護学概論を履修していること
授業概要	妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期の身体的・心理的・社会的特性について学び、各期におけるハイリスクと異常のメカニズムを理解する。また健康の保持増進、疾病の予防、健康回復の過程における看護について学修することを目的とする。
履修目標	①妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期の身体的・心理的・社会的特性について説明できる ②妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期のヘルスプロモーションを理解し、看護を説明できる ③妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期のハイリスクと異常のメカニズムとその影響を理解し、安全・安楽のための看護を説明できる ④母児の愛着、絆の形成と発達課題を理解し、必要な看護を説明できる ⑤産褥期・新生児期の健康生活・問題を理解し、母子と家族への育児支援、母子保健システム、他職種連携を説明できる
授業計画・授業外学修課題	1　ガイダンス　妊娠期の生理（藍木） ガイダンス：母性看護学方法論Ⅰの概要、授業の受け方について説明 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストP36-90を熟読し、不明な用語を調べておく。（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（30分） 2　妊娠期の看護（山本） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストP94-111を熟読し、不明な用語を調べておく。（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（30分） 3　妊娠の異常、ハイリスク妊婦の看護 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストP102-129を熟読し、不明な用語を調べておく。（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（30分） 4　分娩の三要素と分娩の経過（上村） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストP134-160を熟読し、不明な用語を調べておく。（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（30分） 5　産婦と家族の看護（上村） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストP161-170を熟読し、不明な用語を調べておく。（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（30分） 6　産道・娩出力・胎児・付属物の異常（上村） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストP161-204を熟読し、不明な用語を調べておく。（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（30分） 7　分娩時の異常と産科処置、異常分娩の看護（上村） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストP161-210を熟読し、不明な用語を調べておく。（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（30分） 8　新生児の生理（藍木） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストP298-307を熟読し、不明な用語を調べておく。（30分）

	授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（30分） 9　新生児期の看護（藍木） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストP308-322を熟読し、不明な用語を調べておく。（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（30分） 10　新生児期の異常と看護（藍木） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストP324-346を熟読し、不明な用語を調べておく。（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（30分） 11　産褥期の身体的特性（藍木） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストP216-223，252-259を熟読し、不明な用語を調べておく。（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（30分） 12　産褥期の看護（藍木） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストP225-237，260-273を熟読し、不明な用語を調べておく。（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（30分） 13　産褥期の異常と看護（藍木） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストP284-291を熟読し、不明な用語を調べておく。（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（30分） 14　帝王切開と看護（藍木） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストP206-210,239-244を熟読し、不明な用語を調べておく。（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（30分） 15　産褥期の心理・社会的特性（山本） 講義を受けた上、小課題に取り組む 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストP224-225,244-249を熟読し、不明な用語を調べておく。（30分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（30分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	小人数でのグループ・ディスカッション、及びリフレクションペーパー・資料の記述や発言、意見を述べる
課題のフィードバック方法と時期	各講義リフレクションペーパーのフィードバックはGoogle Classroom上でコメントを配信、あるいは次の講義の中で行う
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：60％ 評価基準：授業で学んだことを理解できれば60点 履修目標との対応：①○ ②○ ③○ ④○ ⑤○ 評価方法：小テスト 評価割合：20％ 評価基準：各単元における授業内での小テストが理解できれば60点 履修目標との対応：①○ ②○ ③○ ④○ ⑤○ 評価方法：平常点・リフレクションペーパー 評価割合：15％ 評価基準：授業への取り組み、成果物、積極性、態度 評価方法：小課題 評価割合：5％ 評価基準：ルーブリックに準じる 履修目標との対応：①○ ②○ ③○ ④○ ⑤○
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：ナーシング・グラフィカ母性看護学(2)母性看護の実践　第3版　メディカ出版　2024年発行 ISBN：978-4-8404-8161-8 参考文献：病気がみえるvol.10　産科　第４版　MEDICMEDIA　2018年発行　ISBN：978-4-89632-713-7
実務経験のある教員による授業	担当教員は助産師・保健師における臨床経験を活用し、母子の看護に必要な看護実践、将来を見据えた生きた実践学の知を伝える。
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワーは水曜日の１限と昼休み、３限 連絡先はkaiki@soei.ac.jp
備考	授業への主体的な参加を期待しています。なお20分以内の遅刻・早退３回で欠席１回とみなし、20分以上の遅刻は欠席とみなします。

	授業中は、承認された場合を除き、スマートフォンの使用を禁止します。また、講義スライドの撮影や講義の録音も禁止します。 学修活動における生成AIの利活用に際しては、学内の規定のガイドラインおよび「生成AI利活用時フローチャート≪学生版≫」に準拠してください。

講義科目名称： 母性看護学方法論Ⅱ　　授業コード： 25G219

英文科目名称： Maternal Nursing Ⅱ : Care & Methodology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	３年	１単位	必修
担当教員			
上村　いずみ/看護学部　藍木　桂子/看護学部　山本　洋美/看護学部			
講義/演習			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1.看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。 3.看護の専門的知識・技術（及び倫理的態度）に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる。
履修条件	母性看護学方法論Ⅰを履修していること
授業概要	産褥期・新生児期の身体的・心理的・社会的特性とハイリスクと異常のメカニズムを理解し、健康の保持増進、疾病の予防、健康回復の過程における看護について学修する。 母性看護学概論、母性看護方法論Ⅰで学習した内容を基盤に、妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期において必要な観察・看護技術についてその方法と根拠を理解・実施できることを目的とする。
履修目標	①産褥期・新生児期の身体的・心理的・社会的特性について理解し、アセスメントできる。 ②産褥期・新生児期のヘルスプロモーションを理解し、看護を説明できる。 ③産褥期・新生児期のハイリスクと異常のメカニズムと影響を理解し、安全・安楽のための看護を説明できる。 ④産褥期・新生児期の健康生活・問題を理解し、母子と家族への育児支援、母子保健システム、他職種連携を説明できる。
授業計画・授業外学修課題	1　授業ガイダンス/母性看護過程の展開（講義） 授業外事前学修課題：課題内容（0.5時間）：母性看護学方法論Ⅰの看護過程の授業で配布した資料を事前に復習する。 授業外事後学修課題：課題内容（0.5時間）：授業内で配布した資料を復習し理解を深める。 2　母性看護過程の展開（講義） 授業外事前学修課題：課題内容（0.5時間）：授業内で配布した資料を事前に熟読する。 授業外事後学修課題：課題内容（0.5時間）：授業内で配布した資料を復習し、母性看護過程の展開について理解を深める。 3　母性看護過程の展開（講義） 授業外事前学修課題：課題内容（0.5時間）：授業内で配布した資料を事前に熟読する。 授業外事後学修課題：課題内容（0.5時間）：授業内で配布した資料を復習し、母性看護過程の展開について理解を深める。 4　母性看護過程の展開（講義）/演習オリエンテーション 授業外事前学修課題：課題内容（0.5時間）：授業内で配布した資料を事前に熟読する。 授業外事後学修課題：課題内容（0.5時間）：授業内で配布した資料を復習し、母性看護過程の展開について理解を深める。 5　【技術演習】母性看護技術①妊娠期の観察と援助に必要な技術演習（子宮底・腹囲の計測/レオポルド触診法） 授業外事前学修課題：課題内容（0.5時間）：テキスト②のP45～P48を熟読し、事前課題を仕上げる。 授業外事後学修課題：課題内容（0.5時間）：授業内で配布した資料を復習し、技術演習で学んだことを追加する。 6　【技術演習】母性看護技術②分娩期の観察と援助に必要な技術演習（分娩監視装置CTGの装着と判読） 授業外事前学修課題：課題内容（0.5時間）：テキスト①P181～P186、テキスト②のP122～P124を熟読し、事前課題を仕上げる。 授業外事後学修課題：課題内容（0.5時間）：授業内で配布した資料を復習し、技術演習で学んだことを追加する。 7　【技術演習】母性看護技術③産褥期の観察と援助に必要な技術演習（産褥復古の観察） 授業外事前学修課題：課題内容（2時間）：テキスト②のP172～P175、P182～P186を熟読し、事前課題を仕上げる。 授業外事後学修課題：課題内容（2時間）：授業内で配布した資料を復習し、技術演習で学んだことを追加する。 8　【技術演習】母性看護技術④産褥期の授乳支援（母乳育児のためのケア/ポジショニング/ラッチ・オン） 授業外事前学修課題：課題内容（0.5時間）：テキスト②のP176～P177、P198～P202を熟読し、事前課題を仕上げる。 授業外事後学修課題：課題内容（0.5時間）：授業内で配布した資料を復習し、技術演習で学んだことを追加する。

	9	【技術演習】母性看護技術⑤新生児の観察と援助に必要な技術演習（バイタルサイン測定・全身観察） 授業外事前学修課題：課題内容（0.5時間）：テキスト②のP244～P259を熟読し、事前課題を仕上げる。 授業外事後学修課題：課題内容（0.5時間）：授業内で配布した資料を復習し、技術演習で学んだことを追加する。
	10	産褥期・新生児期の看護過程の展開／演習（個人・グループ）① 授業外事前学修課題：課題内容（0.5時間）：看護過程の展開において必要な授業で学んだ産褥・新生児期の知識を復習する。 授業外事後学修課題：課題内容（0.5時間）：事例の看護過程の展開を実施し、個人およびグループで課題に取り組む。
	11	産褥期・新生児期の看護過程の展開／演習（個人・グループ）② 授業外事前学修課題：課題内容（0.5時間）：看護過程の展開において必要な授業で学んだ産褥・新生児期の知識を復習する。 授業外事後学修課題：課題内容（0.5時間）：事例の看護過程の展開を実施し、個人およびグループで課題に取り組む。
	12	産褥期・新生児期の看護過程の展開／演習（個人・グループ）③ 授業外事前学修課題：課題内容（0.5時間）：看護過程の展開において必要な授業で学んだ産褥・新生児期の知識を復習する。 授業外事後学修課題：課題内容（0.5時間）：事例の看護過程の展開を実施し、個人およびグループで課題に取り組む。
	13	産褥期・新生児期の看護過程の展開／演習（個人・グループ）④ 授業外事前学修課題：課題内容（0.5時間）：看護過程の展開において必要な授業で学んだ産褥・新生児期の知識を復習する。 授業外事後学修課題：課題内容（0.5時間）：事例の看護過程の展開を実施し、個人およびグループで課題に取り組む。
	14	産褥期・新生児期の看護過程の展開／演習（個人・グループ）⑤ 授業外事前学修課題：課題内容（0.5時間）：看護過程の展開において必要な授業で学んだ産褥・新生児期の知識を復習する。 授業外事後学修課題：課題内容（0.5時間）：事例の看護過程の展開を実施し、個人およびグループで課題に取り組む。
	15	産褥期・新生児期の看護過程の展開／全体フィードバック講義 授業外事前学修課題：課題内容（0.5時間）：看護過程の展開において必要な授業で学んだ産褥・新生児期の知識を復習する。 授業外事後学修課題：課題内容（0.5時間）：講義内容をもとに返却課題を見直し、必要に応じて適宜修正する。
アクティブラーニングを用いた授業方法	本授業では、演習を通じて事例の看護過程の展開を学びます。また、看護技術演習では、技術演習の他にグループディスカッションを通してアセスメント演習を行います。アクティブラーニングを活用し、学生の実践的なスキルを向上させ、実務に即した知識と経験を深める機会を提供します。	
課題のフィードバック方法と時期	技術演習の事前課題についてのフィードバックは授業内で行います。また、看護過程の提出課題の評価は、原則、次回の授業までにフィードバックを付けて返却します。	
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：平常点 評価割合：20％ 評価基準：演習への取り組み・態度、事前準備 履修目標との対応：①②③④ 評価方法：演習成果物 評価割合：30％ 評価基準：各課題0～7点、演習参加態度4点を含む合計30点 履修目標との対応：①②③④ 評価方法：筆記試験 評価割合：50％ 評価基準：授業で学んだことを理解できていれば60点 履修目標との対応：①②③④	
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト①: 書名：『ナーシング・グラフィカ母性看護学(2) 母性看護の実践』 第2版 出版社：メディカ出版 ISBN-10：4-8404-7532-6　発行：2022年1月 テキスト②: 書名：『看護実践のための根拠がわかる 母性看護学技術』 第3版 出版社：メディカルフレンド社　編著：北川眞理子・谷口千絵・藏本直子・田中泉香 ISBN：978-4-8392-1693-1　発行：2022年09月 参考文献：病気がみえる vol.10 産科　第4版 出版社：メディックメディア ISBN-10：4896327136　発行：2018年10月6日	
実務経験のある教員による授業	担当教員は助産師・保健師における臨床経験を活用し、母子の看護に必要な看護実践、将来を見据えた生きた実践学の知を伝える。	
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワーは火曜日の１・２限。連絡先はiuemura@soei.ac.jp	

備考	授業への主体的な参加を期待しています。なお20分以内の遅刻・早退３回で欠席１回とみなします。 授業中は、承認された場合を除き、スマートフォンの使用を禁止します。また、講義スライドの撮影や講義の録音も禁止します。 学修活動における生成AIの利活用に際しては、学内の規定のガイドラインおよび「生成AI利活用時フローチャート≪学生版≫」に準拠してください。

講義科目名称： 母性看護学実習　　授業コード： 25G220

英文科目名称： Maternal Nursing ：Clinical Practicum

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	３年	２単位	必修
担当教員			
山本　洋美/看護学部　藍木　桂子/看護学部　上村　いずみ/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。 臨床場面や状況への関心をもち、看護実践の内容を通して、臨床判断能力を研鑽することができる。 看護の専門的知識・技術に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる。 地域社会の動向をふまえて、関連情報を活用し、創造的に看護を発展させることができる。
履修条件	2年次までの必須科目の単位、母性看護学方法論Ⅱを取得していること
授業概要	ヘルスプロモーションの視点から、妊娠・分娩・産褥（育児）期、こどもの健康、家族を含めた身体的・心理的・社会的特性と基礎的な看護を理解することができる。また、母子とその家族野健康を維持増進するために必要な社会資源の活用や保健指導について理解し、看護の役割を学ぶ。
履修目標	①妊娠・分娩・産褥期・新生児期の特徴を理解し、そのうえで根拠に基づいた看護を実践できる。 ②保健医療福祉の専門職者などとの連携・協働を含めた母子とその家族における看護の役割を理解できる。 ③母性看護学を学ぶ学生として対象をあ募集し、適切な実習態度を示すことができる。
授業計画・授業外学修課題	実習要項参照
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワークと発表、カンファレンス
課題のフィードバック方法と時期	
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：実習評価基準をもとに、実習学習内容、実習への取り組む姿勢、出席状況を総合的に評価する。 評価基準：実習評価はルーブリック評価 履修目標との対応：①②③
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	ナーシング・グラフィカ母性看護学②母性看護の実践　メディカ出版 看護実践のための根拠がわかる　母性看護技術第３版　メヂカルフレンド社 ウェルネスの視点にもとづく母性看護過程第４版 病気がみえる産科vol.10　第４版
実務経験のある教員による授業	実務経験、母性看護学実習経験がある教員による授業
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワー：月曜日・金曜日　5限目 連絡先：山本：hyamamoto@soei.ac.jp　藍木：kaiki@soei.ac.jp　上村：iuemura@soei.ac.jp
備考	テキストは母性看護学方法論Ⅰ・Ⅱで使用した資料をもとに実習を行います。

講義科目名称： 精神看護学概論　　授業コード： 25G301

英文科目名称： Introduction to Psychiatric Nursing

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年	１単位	必修
担当教員			
横山　惠子/看護学部			
講義			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	１．看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。 ２．臨床場面や状況への関心をもち、看護実践の内省を通して、臨床判断能力を研鑽することができる。 ５．地域社会の動向を踏まえて、関連情報を活用し、創造的に看護を発展させることができる。
履修条件	精神保健論を履修していること。
授業概要	健全な心の発達の過程、各発達期における課題と危機、心の健康に及ぼす諸因子について理解し、心の健康の保持・増進に向けた看護について学ぶ。また、看護師－患者関係のあり方、発展に向けた知識と技術を学ぶ。諸外国および日本における精神医療と看護の歴史的変遷を通して、日本の現状を捉えるとともに、精神看護における倫理および人権擁護の役割、これからの地域精神保健医療活動のあり方を学ぶ。
履修目標	①精神の発達と健康を支える看護に必要な基礎知識を理解する。 ②精神保健医療福祉の歴史的背景を理解する。 ③精神看護における倫理および人権擁護について理解する。 ④対象者と看護師の人間関係相互作用の意義と成立過程を理解する。 ⑤これからの地域精神保健医療活動について理解する。
授業計画・授業外学修課題	1　精神看護の役割とこころの働き／資料を通して学ぶ 授業外事前学修課題 テキストの授業部分の該当内容を事前に読む（90分） 授業外事後学修課題 課題内容・授業資料の内容を確認する（90分） 2　ストレス、危機と対処（危機理論）／資料を通して学ぶ 授業外事前学修課題 テキストの授業部分の該当内容を事前に読む（90分） 授業外事後学修課題 課題内容・授業資料の内容を確認する（90分） 3　対人関係論、ペプロウの人間関係論（患者－看護師関係）／資料や映像を通して学ぶ 授業外事前学修課題 テキストの授業部分の該当内容を事前に読む（90分） 授業外事後学修課題 課題内容・授業資料の内容を確認する（90分） 4　精神保健医療福祉と看護の歴史的変遷／資料や映像を通して学ぶ 授業外事前学修課題 課題図書「精神科病院を出て、町へ」を読み、レポート（1）提出（90分） 授業外事後学修課題 課題内容・授業資料の内容を確認する（90分） 5　海外の歴史から学ぶ地域精神医療／映画（人生、ここにあり！）を通して、看護者の役割について学ぶ 授業外事前学修課題 「提示文献」を読む（90分） 授業外事後学修課題 提示文献と映画内容を照らし合わせ、学びを整理する（90分） 6　海外の歴史から学ぶ地域精神医療／映画（人生、ここにあり！）を通して、看護者の役割について学ぶ 授業外事前学修課題 前半の映画内容・学びを確認する（90分） 授業外事後学修課題 「映画からの学び」のレポート（2）を提出する（90分） 7　精神看護における基本的人権と倫理／資料を通して、精神科看護における倫理について考える 授業外事前学修課題 テキストの授業部分の該当内容を事前に読む（90分） 授業外事後学修課題 課題内容・授業資料の内容を確認する（90分） 8　これからの地域精神保健医療活動／資料や映像を通して、求められる地域精神医療福祉について考える／まとめ 授業外事前学修課題 テキストの授業部分の該当内容を事前に読む（90分） 授業外事後学修課題 課題内容・授業資料の内容を確認する（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	精神障がい当事者の体験、映画等、体験学習を用いて、主体的に学習します。 適宜、演習を取り入れ、提供資料からの課題発見や対応策の検討、少数でのグループワークを行います。
課題のフィードバック方法と時期	リフレクションペーパーのフィードバックは、次の授業時に行います。

評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法　：　レポート（1） 評価割合　：　20％ 評価基準　：　『精神科病院を出て、町へ』のレポート。内容を要約し、自分の考えを明確に記述できれば80点。ルーブリック参照 履修目標との対応　：　②③⑥ 評価方法　：　レポート（2） 評価割合　：　10％ 評価基準　：　自分の『映画からの学び』を明確に記述できれば80点。ルーブリック参照 履修目標との対応　：　②⑥ 評価方法　：　期末試験 評価割合　：　70％ 評価基準　：　到達目標で示す範囲にある、教科書・講義資料の重要語句の意味が概ね解答できれば60点 履修目標との対応　：　①②③④⑤⑥
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト 系統看護学講座　精神看護学〔１〕精神看護の基礎　医学書院 系統看護学講座　精神看護学〔２〕精神看護の展開　医学書院 精神科病院を出て、町へ　ACTがつくる地域精神医療　岩波ブックレット 参考図書 「看護モデルを使う②ペプロウの発達モデル」医学書院
実務経験のある教員による授業	担当教員は精神科看護の臨床経験を有しており、その経験を活かして、看護職に求められる精神看護のあり方を伝えます。
オフィスアワー・連絡先	毎週木曜日12:10～13:00 授業に関する質問・相談はいつでも遠慮なく連絡して下さい。 横山　惠子　メールドレス　kyokoyama@soei.ac.jp
備考	これまで学んだ、精神保健論を活用してください。精神看護では自分自身がケアの道具です。精神看護はどの領域の看護においても基盤になりますから、積極的に学び、一緒に考えていきましょう。看護実務経験を活かした講義を行います。

講義科目名称： 精神看護学方法論Ⅰ　　授業コード： 25G302

英文科目名称： Psychiatric Nursing Ⅰ：Care & Methodology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	２年	２単位	必修
担当教員			
小川　雅代/看護学部　横山　惠子/看護学部　奥山　聡子/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	１．看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。 ３．看護の専門的知識・技術（及び倫理的態度）に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる。 ５．地域社会の同行を踏まえて、関連情報を活用し、創造的に看護を発展させることができる。
履修条件	精神看護学概論を履修していること。
授業概要	精神障がいをもつ人の回復過程に向けた治療・看護について学ぶとともに、リカバリーの理念を基盤にその人らしい人生が歩めるように支援することを学ぶ。本人とともに歩む様々な家族への支援の在り方を学ぶ。看護者自身がストレスに対処し、メンタルヘルスをよりよく保つ為の方法を考えられる。精神保健医療福祉における多職種連携の重要性、その際の理念、看護者の役割、具体的な支援方法について基本を学ぶ。
履修目標	①統合失調症、気分障害など主な精神疾患の特徴とその治療・看護について理解できる。 ②精神科病院の治療構造を理解し、倫理的課題と看護が理解できる。 ③精神障がいをもつ人にとっての回復の意味を理解し、支援について考えられる。 ④地域における生活支援について学ぶ。 ⑤精神障がいをもつ人の家族に対する支援が理解できる。 ⑥看護師自身のメンタルヘルスケアの必要性を理解できる。
授業計画・授業外学修課題	1　統合失調症、気分障害など主な精神疾患の特徴とその治療・看護について学ぶ① 特別講師：西村康平（神奈川県立病院機構神奈川県立精神医療センター医師） 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所を事前に熟読する（90分） 授業外事後学修課題：講義資料を読み、理解が不十分な箇所については教科書等で調べる（90分） 2　統合失調症、気分障害など主な精神疾患の特徴とその治療・看護について学ぶ② 特別講師：西村康平（神奈川県立病院機構神奈川県立精神医療センター医師） 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所を事前に熟読する（90分） 授業外事後学修課題：小テストでわからなかった個所について教科書等で調べる（90分） 3　統合失調症をもつ人と看護 担当教員：小川雅代 統合失調症をもつ人の看護について資料や映像を通して学ぶ 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所を熟読する（90分） 授業外事後学修課題：講義資料を読み、理解が不十分な箇所について教科書等で調べる（90分） 4　気分障害を持つ人と看護 担当教員：小川雅代 気分障害をもつ人の看護について資料や映像を通して学ぶ 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所を熟読する（90分） 授業外事後学修課題：講義資料を読み、理解が不十分な箇所について教科書等で調べる（90分） 5　嗜癖問題をもつ人と看護 担当教員：奥山聡子 嗜癖問題をもつ人の看護について資料や映像を通して学ぶ 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所を熟読する（90分） 授業外事後学修課題：講義資料を読み、理解が不十分な箇所について教科書等で調べる（90分） 6　ストレングスモデルとリカバリー ストレングスモデルとリカバリーについて資料や映像を通して学ぶ 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所を熟読する（90分） 授業外事後学修課題：講義資料を読み、理解が不十分な箇所について教科書等で調べる（90分） 7　精神科におけるセルフケア 担当教員：小川雅代 精神科におけるセルフケアについて資料や映像を通して学ぶ 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所を熟読する（90分） 授業外事後学修課題：講義資料を読み、理解が不十分な箇所について教科書等で調べる（90分） 8　精神科における倫理的問題と看護 精神科における倫理的問題と看護について、精神科における人権擁護活動を行っている講師および当事者から活動の実際を学ぶ 特別講師：藤井哲也（神奈川精神医療人権センター会長） 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所を熟読する。神奈川精神医療人権センターのホームページを閲覧する（90分） 授業外事後学修課題：講義内容からの学びをまとめレポートを作成する（90分）【レポート

	（１）】 9　認知行動療法と看護 担当教員：小川雅代 認知行動療法と看護について資料や映像を通して学ぶ 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所を熟読する（90分） 授業外事後学修課題：講義資料を読み、理解が不十分な箇所について教科書等で調べる（90分） 10　家族支援と看護 家族支援と看護について資料や映像を通して学ぶ 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所を熟読する（90分） 授業外事後学修課題：講義資料を読み、理解が不十分な箇所について教科書等で調べる（90分） 11　地域精神保健福祉の実際 担当教員：横山恵子 地域精神保健福祉の実際について資料や映像を通して学ぶ 授業外事前学修課題：精神科病院を出て、町へーACTが作る地域精神医療を読む（90分） 授業外事後学修課題：講義資料を読み、理解が不十分な箇所について教科書等で調べる（90分） 12　コミュニケーション理論（治療的援助関係） 担当教員：横山恵子 コミュニケーション理論（治療的援助関係）について資料や映像を通して学ぶ 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所を熟読する（90分） 授業外事後学修課題：講義資料を読み、理解が不十分な箇所について教科書等で調べる（90分） 13　自分自身のメンタルヘルス（WRAPの活用）① 特別講師：増川ねてる（WRAPファシリテーター） 自分自身のメンタルヘルスについてWRAPの体験学習を通じて考える 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所を熟読する（90分） 授業外事後学修課題：WRAPの体験学習からの学び、自分自身のメンタルストレスへの活用について考察しレポートを作成する【レポート(２)】（90分） 14　自分自身のメンタルヘルス（WRAPの活用）② 特別講師：増川ねてる（WRAPファシリテーター） 自分自身のメンタルヘルスについてWRAPの体験学習を通じて考える 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所を熟読する（90分） 授業外事後学修課題：WRAPの体験学習からの学び、自分自身のメンタルストレスへの活用について考察しレポートを作成する【レポート(２)】（90分） 15　リエゾン精神看護 特別講師：精神科専門看護師（調整中） リエゾン精神看護および看護師のメンタルヘルス（感情労働）について学ぶ 授業外事前学修課題：教科書の該当箇所を熟読する（90分） 授業外事後学修課題：講義資料を読み、理解が不十分な箇所について教科書等で調べる（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク、体験学習を行う。
課題のフィードバック方法と時期	冬休み前最後の授業及び第15回の授業で課題のフィードバック及び自己研鑽の方法について資料を用いて口頭で説明する。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験（期末試験） 評価割合：60% 評価基準：到達目標で示す範囲にある、教科書・講義資料の重要語句の意味が概ね解答できれば60/100点。 履修目標との対応：①②③④⑤⑥ 評価方法：筆記試験（中間試験）＊中間試験の実施日は初回授業時に通知する。 評価割合：20% 評価基準：到達目標で示す範囲にある、教科書・講義資料の重要語句の意味が概ね解答できれば60/100点。 履修目標との対応：①②③④⑤⑥ 評価方法：筆記試験（授業内小テスト） 評価割合：10% 評価基準：講義内容に関する問いに概ね解答できれば80/100点。 履修目標との対応：①② 評価方法：レポート試験（2回） 評価割合：10%（1回につき5%） 評価基準：レポート（１）「精神科における倫理的問題と看護」について明確に記述できれば80/100点。レポート（２）「自分自身のメンタルヘルス（WRAPの活用）」についての内容を要約し、自分の考えを明確に記述できれば80/100点。 履修目標との対応：②③④⑥
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：系統看護学講座　精神看護学〔1〕精神看護の基礎　医学書院、系統看護学講座　精神看護学〔2〕精神看護の展開　医学書院 参考文献：精神科病院を出て、町へーACTが作る地域精神医療　岩波ブックレット WRAPを始める！　精神看護出版
実務経験のある教員による授業	担当教員は精神科看護の臨床経験を有しており、その経験を活かして、将来を見据えた活きた実践の知を伝える。

オフィスアワー・ 連絡先	小川　mogawa@soei.ac.jp　毎週木曜日12:10～13:00　但し、臨地実習で本学にいない場合があります。 横山　kyokoyama@soei.ac.jp　毎週木曜日12:10～13:00 奥山　sokuyama@soei.ac.jp
備考	これまで学んだ精神保健論、精神看護学概論を踏まえた上での授業内容です。 精神障がいをもつ人の理解と治療的な関わりを学ぶことは、人間理解や看護の本質を学ぶことになります。 授業への主体的な参加を期待しています。

講義科目名称： 精神看護学方法論Ⅱ　　授業コード： 25G303

英文科目名称： Psychiatric Nursing Ⅱ：Care & Methodology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	３年	１単位	必修
担当教員			
奥山　聡子/看護学部　横山　惠子/看護学部　小川　雅代/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	精神保健論、精神看護学概論、精神看護学方法論Ⅰを履していること。
授業概要	さまざまな対人関係の学習を通して、 自己理解を深め、 患者一看護師関係における自己活用の能力を養う。精神障がいをもつ人と家族への理解を深め、 精神症状や障害によって影響された健康・生活をアセスメントし、当事者の視点をもって生活の質を高める看護方法について学ぶ。また、 多職種連携を基盤に、ストレングスモデルを用いた具体的な地域生活支援の在り方を学ぶ。
履修目標	①再構成を用いて看護場面の検討を行い、自己理解と対象理解を深めることができる。 ②入院している精神障がいをもつ人の具体的な事例について、セルフケアモデルを用いてケアプランを作成できる。 ③地域で生活する精神障がいをもつ人の具体的な事例について、ストレングスモデルを用いてケアプランを作成できる。 ④地域における精神保健医療と看護の実際を説明できる。 ⑤地域のセルフヘルプグループや福祉サービスを活用した支援を説明できる。
授業計画・授業外学修課題	1 セルフケア理論/資料や映像を通して、精神障がいをもつ人の理解を深めるためのセルフイケア理論を学ぶ 授業外事前学修課題：テキストのセルフケア理論に関する内容を熟読する(45分) 授業外事後学修課題：配布資料やテキスト内容など、授業全体について復習する(45分) 2 当事者が語る回復過程/資料や映像を通して、回復過程について学ぶ 授業外事前学修課題：テキストの精神障がいをもっ当事者の体験に関する内容を熟読する(45分) 授業外事後学修課題：配布資料やテキスト内容など、授業全体について復習する(45分) 3 精神障がい者家族の体験/精神障害者家族の体験談から、家族支援のあり方を学ぶ講師精神障がい者家族会の会員 授業外事前学修課題：精神障がい者家族の体験に関する情報を各自で収集する(45分) 授業外事後学修課題：家族の体験談から、家族支援に関する学びをまとめる【レポート】(45分) 4 模擬事例の紹介(情報からプロフィール立案) /示された模擬患者の事例から、プロフィールを整理を学ぶ 授業外事前学修課題：演習に向けて各自で準備に取り組む(45分) 授業外事後学修課題：提供された模擬事例患者の資料を熟読する(45分) 5 入院模擬事例の看護展開(セルフケア理論の活用) / 考察の方法を学ぶ対の情報収集、アセスメント、対象理解のための分析と考察の方法を学ぶ 授業外事前学修課題：演習に向けて各自で準備に取り組む(90分) 授業外事後学修課題：演習を終えて各自で修正作業に取り組む(90分)【レポート(2)】 6 入院模擬事例の看護展開(セルフケア理論の活用) / 考察の方法を学ぶ対の情報収集、アセスメント、対象理解のための分析と考察の方法を学ぶ 授業外事前学修課題：演習に向けて各自で準備に取り組む(90分) 授業外事後学修課題：演習を終えて各自で修正作業に取り組む(90分)【レポート(2)】 7 入院模擬事例の看護展開(セルフケア理論の活用) / 考察の方法を学ぶ対の情報収集、アセスメント、対象理解のための分析と考察の方法を学ぶ 授業外事前学修課題：演習に向けて各自で準備に取り組む(90分) 授業外事後学修課題：演習を終えて各自で修正作業に取り組む(90分)【レポート(2)】 8 入院模擬事例の看護展開(セルフケア理論の活用) / 考察の方法を学ぶ対の情報収集、アセスメント、対象理解のための分析と考察の方法を学ぶ 授業外事前学修課題：演習に向けて各自で準備に取り組む(90分) 授業外事後学修課題：演習を終えて各自で修正作業に取り組む(90分)【レポート(2)】 9 患者一看護師関係における自己活用(対人関係論) /対人関係論を学び、自己理解・他者理解を深める 授業外事前学修課題：テキストの対人関係論に関する内容を熟読する(45分) 授業外事後学修課題：配布資料を読み、授業全体について復習する(45分) 10 看護場面の再構成(ロールプレイ演習) /患者一看護師関係の理論、再構成の記録方法を学び、ロールプレイ場面を再構成する。グループディスカッションを活用して学習を深める。 授業外事前学修課題：演習に向けて各自で準備に取り組む(45分)

	授業外事後学修課題：演習を終えて各自で正作業に取り組む(45分)【レポート(3)】 11 看護場面の再構成(ロールプレイ演習) /患者ー看護師関係の理論、再構成の記録方法を学び、ロールプレイ場面を再構成する。グループディスカッションを活用して学習を深める。 授業外事前学修課題：演習に向けて各自で準備に取り組む(45分) 授業外事後学修課題：演習を終えて各自で正作業に取り組む(45分)【レポート(3)】 12 精神障がいつ人の地域生活支援(地域ケアと看護) /退院支援のプロセス、社会復帰に向けたチーム医療、就労支援、活用できる社会資源について【小テスト】 授業外事前学修課題：テキストの地域生活支援に関する内容を熟読する(45分) 授業外事後学修課題：配布資料やテキスト内容など、授業全体について復習する(45分) 13 セルフヘルプグループから学ぶ (AA) /AAメンバーの体験談から、セルフヘルプグループの役割を学ぶ講師：AA (Alcoholics Anonymous) メンバー 授業外事前学修課題：セルフルプグループに関する教科書を熟読する(45分) 授業外事後学修課題：配布資料やテキスト内容など、授業全体について復習する(45分)【レポート(4)】 14 地域模擬事例の看護展開 (ストレングスモデルの活用) /対象の情報収集～アセスメント方法～対象理解のための分析と考察のトレーニングリカバリーストレングスモデルの概念間の関連、ストレングスモデルの目的、原則、ストレングスアセスメント、個別計画について模擬事例をもとに学ぶ 授業外事前学修課題：演習に向けて各自で準備に取り組む(45分) 授業外事後学修課題：復習内容演習を終えて各自で修正作業に取り組む(45分)【レポート(5)】 15 地域模擬事例の看護展開 (ストレングスモデルの活用) /対象の情報収集～アセスメント方法～対象理解のための分析と考察のトレーニングリカバリーストレングスモデルの概念間の関連、ストレングスモデルの目的、原則、ストレングスアセスメント、個別計画について模擬事例をもとに学ぶ 授業外事前学修課題：演習に向けて各自で準備に取り組む(45分) 授業外事後学修課題：復習内容演習を終えて各自で修正作業に取り組む(45分)【レポート(5)】
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク、プレゼンテーションを行う。
課題のフィードバック方法と時期	各回の事前課題をもとに授業で発表・討議する。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	【評価方法・評価割合・評価基準】 筆記試験 (30%) 小テスト講義で学んだ重要語句の意味が概ね解答できれば60/100点 その他 (70%) レポート① (10%)『精神障がい者家族の体験』の学びを明確に記述できれば80/100点 レポート② (20%)『入院模擬事例・看護過程展開記録(演習)』が記述できれば80/100点 レポート③ (10%)『再構成』場面の再構成と自己評価を記述する。自分の考えも含めて記述できれば80 /100点 レポート④ (10%)『セルフヘルプグループから学ぶ』AAメンバーの体験談からの学びが明確に記述できれば80/100点 レポート⑤ (20%)『地域模擬事例・看護過程展開記録(演習)』が記述できれば80/100点 これまで学んだ、精神保健論、精神看護学概論、精神看護学方法論Iを活用してください。後期の実習に向けて、実習がイメージしやすいような授業を考えていますので、積極的に学んでください。
テキスト・参考文献・その他 (必要物品など)	【テキスト】 系統看護学講座　精神看護学 [1] 精神看護の基礎　医学書院　第6版 系統看護学講座　精神看護学 [2] 精神看護の展開　医学書院　第6版 【参考文献】 精神看護学　第3版　学生-患者のストーリーで綴る実習展開　医歯出版㈱ リカバリー・退院支援・地域連携のためのストレングスモデル実践活用術　医学出版　第２版 看護場面の再構成　改訂版　日本看護協会出版
実務経験のある教員による授業	担当教員は精神科看護の臨床経験を有しており、その経験を活かして、実践的な看護援助を伝える。
オフィスアワー・連絡先	毎週月曜日　12:00～13:00 臨地実習で不在の時もありますので、 質問のある時はいつでもメールをして下さい。 【連絡先】奥山聡子　sokuyama@soei.ac.jp
備考	

講義科目名称： 精神看護学実習　　授業コード： 25G304

英文科目名称： Psychiatric Nursing ： Clinical Practicum

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	３年	２単位	必修
担当教員			
横山　惠子/看護学部　小川　雅代/看護学部　奥山　聡子/看護学部			
実習			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	２．臨床場面や状況への関心をもち、看護実践の内省を通して、臨床判断能力を研鑽することができる。 ３．看護の専門的知識・技術 及び倫理的態度 に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる。 ４．保健医療福祉チームの中で協働・連携し、自らの役割を果たすことができる。
履修条件	2年次までの必修科目、精神保健論、精神看護学概論、精神看護学方法論Ⅰ・Ⅱを修得していること。
授業概要	精神科病院および地域リハビリテーション施設の機能を知るとともに、精神障がいをもつ人の社会復帰に向けた回復過程の実際、地域で安定して生活する上で必要な看護援助について学ぶ。また、自己理解、他者理解を深め、有意義な人間関係を築いていく力を養うとともに、精神保健医療福祉の連携・協働における看護師の役割を学ぶ。
履修目標	精神障がいをもつ人の理解を深めその人らしい生活を支援するために必要な看護の基礎的実践能力を習得する。 ①自己理解、他者理解を深め、有意義な人間関係を築いていく力を養う。 ②精神障がいをもつ人とその環境を理解し、看護を提供するために知識と技術を習得する。
授業計画・授業外学修課題	隣地実習及び学内実習 1.実習期間：３年生後期の２週間 2.実習施設：精神科病院・地域活動支援センター・就労支援事業所 詳細は実習要項を参照 事前課題：代表的な疾患（統合失調症など）の治療・検査、看護などで学ぶ 事後課題：実習記録、レポート作成
アクティブラーニングを用いた授業方法	体験学習、グループワーク、個人ワーク、プレゼンテーションを行う。
課題のフィードバック方法と時期	各回の事前課題をもとに、担当教員が適時説明します。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：実習評価表 評価割合：100% 評価基準：出席状況、実習の取り組み方、実習内容、実習記録により総合的に評価する。計画に沿ってできれば70点。ルーブリック参照 履修目標との対応：①②
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：必要に応じてプリントや資料を配布する 参考文献：授業時に随時紹介する
実務経験のある教員による授業	担当教員は専門領域看護の臨床経験を有しており、その経験を活かして、学生に実習指導を行います。
オフィスアワー・連絡先	担当教員と連絡を密に取り、取り組んでください。 横山　惠子　メールアドレス kyokoyama@soei.ac.jp 小川　雅代　メールアドレス mogawa@soei.ac.jp 奥山　聡子　メールアドレス sokuyama@soei.ac.jp
備考	１．精神看護学実習では、病院だけでなく、地域の施設にも出向き、障がいの有無にかかわらず、誰もがその人らしく生活ができるよう、支援の実際を学びます。 ２．学内での学びの整理、事前学習を行い、積極的に実習に臨んでください。

講義科目名称： 家族看護論　　授業コード： 25G309

英文科目名称： Family Nursing

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年	１単位	必修
担当教員			
西出　久美/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	1. 看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。 2. 臨床場面や状況への関心をもち、看護実践の内省を通して、臨床判断能力を研鑽することができる。 3. 看護の専門的知識・技術（及び倫理的態度）に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる。 4. 保健医療福祉チームの中で協働・連携し、自らの役割を果たすことができる。 5. 地域社会の動向を踏まえて、関連情報を活用し、創造的に看護を発展させることができる。
履修条件	特になし
授業概要	看護の対象となる人々について考えるとき、看護の提供を受ける人の「生活」を年頭において考える必要がある。その際には対象者個人のみならず生活を共にする「家族」も看護の対象となる。家族看護学の基本理論である「家族発達理論」と「家族システム理論」に基づいた家族アセスメントの実際を事例を通して家族への介入まで学び、看護師としての役割について考える。少子高齢化の加速の中の現代の日本社会における家族の在り様を理解し、Family Diversity（家族の多様性）への感受性を高めることも本科目のねらいであり、家族看護学における課題と将来の展望について考える。
履修目標	①患者とともに生活するものとしての家族及び家族の機能について説明できる。 ②現在の日本の家族の在り様の変化を説明できる。 ③家族看護学に関係する基本理論について説明できる。 ④家族看護の意義が理解できる。 ⑤家族看護に生かすための代表的なアセスメントツールが説明できる。 ⑥健康障害をもつ家族の事例をもとに家族アセスメントおよび介入計画を立案できる。 ⑦家族看護における看護職の役割について説明できる。
授業計画・授業外学修課題	1　家族看護学の発展と動向 1. 看護学における家族の概念 2. 家族看護学の発展と動向 1）家族看護学の歴史 2）家族看護の意義：患者をとりまく家族として/対象としての家族 授業外事前学修課題：テキスト当該ページの精読（90分） 授業外事後学修課題：授業資料を振り返り、もう一度該当ページを精読し、わからない箇所は調べて理解する。（90分） 2　家族看護学における対象理解 1. 家族を取り巻く社会的・文化的背景 1）統計データから考える日本の家族を取り巻く状況 2）「あいまいな喪失」 2. 家族とは 3. 家族の機能 4. 家族発達理論 5. 家族システム理論 授業外事前学修課題：テキスト当該ページの精読（90分） 授業外事後学修課題：授業資料を振り返り、もう一度該当ページを精読し、わからない箇所は調べて理解する。（90分） 3　家族看護過程に用いる考え方①【健康な家族についての考え方】 1. 家族ストレス対処理論 2. 家族構造－機能理論 授業外事前学修課題：テキスト当該ページの精読（90分） 授業外事後学修課題：授業資料を振り返り、もう一度該当ページを精読し、わからない箇所は調べて理解する。（90分） 4　家族看護過程に用いる考え方②【家族の健康を引き出す考え方】 1. セルフケア概念の家族看護への適応 2. パートナーシップ 3. 家族エンパワメント 授業外事前学修課題：テキスト当該ページの精読（90分） 授業外事後学修課題：授業資料を振り返り、もう一度該当ページを精読し、わからない箇所は調べて理解する。（90分） 5　家族看護過程に用いる考え方③【家族アセスメントモデル】 1. フリードマン家族アセスメントモデル 2. ハンソンの家族看護過程 3. 渡辺式家族アセスメント/支援モデル 授業外事前学修課題：テキスト当該ページの精読（90分） 授業外事後学修課題：授業資料を振り返り、もう一度該当ページを精読し、わからない箇所は調

	べて理解する。（90分） 6　家族看護過程【家族の看護問題の明確化】 1. 患者の健康問題に伴う問題の分析 2. 家族に対する援助の必要性の判断 3. 家族看護計画の立案 授業外事前学修課題：テキスト当該ページの精読（90分） 授業外事後学修課題：授業資料を振り返り、もう一度該当ページを精読し、わからない箇所は調べて理解する。（90分） 7　家族看護過程の実際①【講義・GW】 〇意思決定過程にあるがん患者（急性期）と家族の事例についてグループワークをし、具体的看護計画を立案する。 〇グループ発表と質疑応答 授業外事前学修課題：事例についてわからない用語等があれば、調べてわかるようにして授業に臨むこと。（120分） 授業外事後学修課題：課題の意図を考え多様な意見を参照し自己の考えを深化させる。（60分） 8　家族看護過程の実際②【講義・GW】 〇終末期患者と家族の看取りの事例についてグループワークをし、具体的看護計画を立案する。 〇グループ発表と質疑応答 授業外事前学修課題：事例についてわからない用語等があれば、調べてわかるようにして授業に臨むこと。（120分） 授業外事後学修課題：課題の意図を考え多様な意見を参照し自己の考えを深化させる。（60分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	事例の展開の際にはグループワーク及びプレゼンテーションを活用する。
課題のフィードバック方法と時期	グループワーク内でのコメント及び各回のGoogleClassroomへのリフレクションペーパーの提出に対してコメントを配信また次の回の授業時にコメントする。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：①定期筆記試験、②演習ワーク参加度、意図を理解しての課題作成・意見交換 評価割合：①70％、②30％ 評価基準：①最終試験、授業で学んだことを理解した上で、さらに自分の意見を記述できるかどうか。 ②課題・リフレクションペーパー、授業の要点や自分の意見を端的にまとめることができるかどうか。 履修目標との対応：①～⑦〇
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	山崎あけみ　原礼子編：家族看護学論　改訂第3版　南江堂 他、適時紹介、資料提供します。
実務経験のある教員による授業	臨床で体験した家族支援について事例を提示しながら講義を進めます。
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワーは毎週水曜日昼休みです。knishide@soei.ac.jp
備考	

講義科目名称： リハビリテーション看護論　　授業コード： 25G310

英文科目名称： Rehabilitation Nursing

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	３年	１単位	必修
担当教員			
佐野　望/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	③看護の専門的知識・技術（及び倫理的態度）に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる。 ④保健医療福祉チームの中で協働・連携し、自らの役割を果たすことができる。
履修条件	特になし
授業概要	リハビリテーションの理念・定義を概観したうえで、リハビリテーション看護の役割を講義する。生活再構築を必要とする人々が、その人らしく日常生活を営むための看護について学ぶ。各論では主要な障害別のリハビリテーション看護とその実際を学び、リハビリテーションチームにおける看護職の目的、役割、機能について学修する。
履修目標	①リハビリテーションの理念・定義を理解し、リハビリテーションケアの意義を説明できる ②リハビリテーション各期の特徴を踏まえて生活の視点からリハビリテーション看護を考え説明できる ③リハビリテーション看護が必要な人および家族の心理・社会的側面について説明できる ④障害ごとの安全な生活再構築のために必要なリハビリテーション看護技術を提供できる ⑤リハビリテーションチームにおける看護職の役割、機能を説明できる
授業計画・授業外学修課題	1　導入1.リハビリテーション総論 科目の概要、授業項目・内容、成績評価についてのガイダンス リハビリテーションの概念、領域 リハビリテーション看護の概要、対象、法制度 授業外事前学修課題： 教科書に書かれているリハビリテーションの意味についてまとめる（60分） 授業外事後学修課題： 授業内容を復習する（60分） 2　2.ステージ別リハビリテーション看護 経過別リハビリテーション看護 発達段階別リハビリテーション看護 リハビリテーション看護の展開 授業外事前学修課題： 医療施設と介護施設におけるリハビリテーション看護についてまとめて置く（60分） 授業外事後学修課題： 授業内容を復習する（60分） 3　３．生活者としての対象を支えるリハビリテーション看護　１）運動機能障害 運動機能障害の原因と特徴 運動機能の評価尺度 運動機能障害をもつ人への支援 授業外事前学修課題： 運動機能を支えるメカニズムの復習（60分） 授業外事後学修課題： 授業内容を復習する（90分） 4　３．生活者としての対象を支えるリハビリテーション看護　２）摂食嚥下機能障害３）排泄機能障害 摂食嚥下機能・排泄機能障害の原因と特徴 摂食嚥下機能・排泄機能の評価尺度 摂食嚥下機能障害をもつ人・排泄機能障害をもつ人への支援 授業外事前学修課題： 摂食嚥下機能と排泄機能を支えるメカニズムの復習（90分） 授業外事後学修課題： 授業内容を復習する（60分） 5　３．生活者としての対象を支えるリハビリテーション看護　４）呼吸循環機能障害 呼吸機能障害の原因と特徴 呼吸機能の評価尺度 呼吸機能障害をもつ人への支援 授業外事前学修課題： 呼吸機能と循環機能を支えるメカニズムの復習（90分） 授業外事後学修課題： 授業内容を復習する（60分） 6　３．生活者としての対象を支えるリハビリテーション看護　５）高次脳機能障害 言語障害・高次脳機能障害の原因と特徴 脳神経機能の評価尺度 脳神経機能障害をもつ人への支援 授業外事前学修課題： 高次脳機能について学習する（60分） 授業外事後学修課題： 授業内容を復習する（60分） 7　３．生活者としての対象を支えるリハビリテーション看護　６）感覚機能障害

	視覚・聴覚機能障害の原因と特徴 視覚・聴覚機能の評価尺度 視覚・聴覚脳機能障害をもつ人への支援 授業外事前学修課題： 視覚・聴覚機能を支えるメカニズムの復習（60分） 授業外事後学修課題： 授業内容を復習する（60分） 8　３．生活者としての対象を支えるリハビリテーション看護　演習７）生活再構築のために必要なリハビリテーション看護技術 日常生活における運動機能障害をもつ人を支える看護技術 授業外事前学修課題： 運動機能障害をもつ人への支援 運動機能の評価尺度、関節可動域の評価・筋力の評価　についての復習（60分） 授業外事後学修課題： 演習内容をまとめる（60分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワークによる学習を通して、自己の学びを深める。
課題のフィードバック方法と時期	講義時およびGoogle Classroom上でコメントを配信する
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法・評価割合・評価基準： 評価方法；筆記試験 評価割合；60％ 評価基準；学習到達目標が評価できる発問に正解できれば60% 履修目標との対応；①○　②○　③○　④○　⑤○ 評価方法；ミニテスト 評価割合；20％ 評価基準；授業内容を確認するミニテストに正解できれば60% 履修目標との対応；①○　②○　③○　④○　⑤○ 評価方法；演習内容のレポート 評価割合；20％、 評価基準；演習時に提示する 履修目標との対応；④○
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	酒井郁子、看護学テキスト NiCE　リハビリテーション看護（改訂第3版）　障害のある人の可能性とともに歩む、南江堂
実務経験のある教員による授業	看護師としての実務経験を生かした講義を行う
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワー；火曜日　12：10～13：00 連絡先；佐野望　nsano@soei.ac.jp
備考	

講義科目名称： 公衆衛生看護学概論　　授業コード： 25G311

英文科目名称： Introduction to Public Health Nursing

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年	２単位	選択
担当教員			
山口　智美/看護学部　久保木　紀子/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	看護の対象となる人々の尊厳を守り，考えて行動することができる。 保健医療福祉チームの中で協働・連携し、自らの役割を果たすことができる。 地域社会の動向を踏まえて、関連情報を活用し、創造的に看護を発展させることができる。
履修条件	特になし
授業概要	公衆衛生看護成立の歴史、理念・目的及び活動を理解し、健康問題を地域社会情勢との関連で捉え、保健師の役割及び課題について学修する。また保健師の役割を遂行するために必要な能力と到達レベルについて深く理解する。
履修目標	①公衆衛生の理念、公衆衛生看護の理念・目的、基盤となる概念について説明できる。 ②公衆衛生看護の歴史的変遷が説明できる。 ③公衆衛生看護の対象と活動の場について説明できる。 ④社会環境の変化と健康課題について説明できる。 ⑤公衆衛生看護活動の基盤となる理論及び展開方法・活動方法・地域診断について説明できる。 ⑥公衆衛生看護活動における保健師の役割、必要な能力について説明できる。。
授業計画・授業外学修課題	1（4/9）　公衆衛生看護の基本理念① １．公衆衛生看護のの理念 ２．公衆衛生の理念 授業外事前学修課題：教科書の授業内容の部分を読む。1年次の「第5回地域･在宅看護論」の教科書・授業資料を読み復習してくる。（90分） 授業外事後学修課題：授業内容についてまとめる。課題について取り組む（90分） 2（4/16）　.公衆衛生看護の基本理念② １．公衆衛生看護の基盤となる概念 ２．課題「社会環境の変化と健康課題」についての説明 授業外事前学修課題：教科書の授業内容の部分を読む。 1年次の「第5回地域･在宅看護論」の教科書・授業資料を読み復習してくる。（90分） 授業外事後学修課題：授業内容についてまとめる。課題について取り組む（90分） 3（4/23）　公衆衛生看護の基本理念③ １．公衆衛生看護における倫理 ２．事例検討（ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ） 授業外事前学修課題：教科書の授業内容の部分を読む。 授業外事後学修課題：授業内容についてまとめる。課題について取り組む（90分） 4（4/30）　公衆衛生看護の歴史 １．日本における公衆衛生看護の歴史 ２．米国と英国の公衆衛生の歴史と公衆衛生看護の歴史 授業外事前学修課題：教科書の授業内容の部分を読む。（60分） 授業外事後学修課題：授業内容についてまとめる。課題について取り組む（120分 5（5/7）　公衆衛生看護の対象 １．公衆衛生看護の対象としての個人・家族とその健康課題 ２．公衆衛生看護の対象としての集団・組織，地域とその健康課題 授業外事前学修課題：教科書の授業内容の部分を読む。 1年次の「第4回･第6回地域･在宅看護論」の教科書･授業資料を読み復習してくる。 「国民衛生の動向2023/2024：第2編衛生の主要指標」を読んでくる（90分） 授業外事後学修課題：授業内容についてまとめる。課題について取り組む（90分 6（5/14）　公衆衛生看護の場① １．行政機関 ２．医療施設 ３．福祉施設 ４．国際 授業外事前学修課題：教科書の授業内容の部分を読みむ。（60分） 授業外事後学修課題：授業内容についてまとめる。課題について取り組む（120分） 7（5/21）　公衆衛生看護活動の展開の基盤① １．公衆衛生看護活動の基盤－理論及び展開方法－ ２．公衆衛生看護活動における地域アセスメント ３．地区踏査計画の立案のための地域の状況と健康の関係（グループワーク）

	授業外事前学修課題：教科書の授業内容の部分を読む。（60分） 授業外事後学修課題：授業内容についてまとめる。地区踏査計画を立案する（120分）
	8（5/28）　公衆衛生看護活動の展開の基盤② １．公衆衛生看護活動の基本的な展開方法 1）総合的な地区活動 2）個別・家族へのアプローチ 3）集団・グループへのアプローチ 4）地域へのアプローチ 5）施策化・事業化へのアプローチ 授業外事前学修課題：教科書の授業内容の部分を読みむ。横浜市緑区福祉保健センターの個人・集団への事業を調べる。（90分） 授業外事後学修課題：授業内容についてまとめる。課題について取り組む（90分）
	9（6/4）　社会環境の変化と健康課題① １．下記の課題について、調べたことを発表し、デイスカッションを行う。 ①人口および疾病構造の変化 ②社会構造・文化的背景の変化 ③社会情勢・政治・経済・産業構造の変化 ④環境の変化と健康課題 授業外事前学修課題：教科書の授業内容の部分を読む。 1年次「第1回･第3回地域・在宅看護論」の教科書･授業資料を読み復習してくる（90分） 各自の担当課題について調べ、レポートと発表資料を作成する。 授業外事後学修課題：・授業内容についてまとめる。課題について取り組む（90分）
	10（6/11）　社会環境の変化と健康課題① １．下記の課題について、調べたことを発表し、デイスカッションを行う。 ①人口および疾病構造の変化 ②社会構造・文化的背景の変化 ③社会情勢・政治・経済・産業構造の変化 ④環境の変化と健康課題 ２．地区踏査計画の修正 授業外事前学修課題：教科書の授業内容の部分を読む。 1年次「第1回･第3回地域・在宅看護論」の教科書･授業資料を読み復習してくる（90分） 各自の担当課題について調べ、レポートと発表資料を作成する。 授業外事後学修課題：・授業内容についてまとめる。課題について取り組む（90分）
	11（6/18）　公衆衛生看護活動の計画・実践・評価 １．公衆衛生看護活動の計画・実践・評価 1）計画策定・主な流れ 2）計画策定・実施による波及効果　3）公衆衛生看護活動の評価 ２．地区踏査計画の発表・修正 授業外事前学修課題：教科書の授業内容の部分を読む。横浜市・川崎市の地域保健計画を調べる。地区踏査計画を作成する（90分） 授業外事後学修課題：授業内容についてまとめる地区踏査計画案を見直し、修正する.（90分）
	12（6/25）　公衆衛生看護の場② １．学校保健活動と養護教諭の職務：ゲストスピーカー（養護教諭） 授業外事前学修課題：学校保健とは、学校保健活動とは、養護教諭とはについてまとめる。（60分） 授業外事後学修課題：学習内容を復習し、まとめる。レポート「学校保健活動と養護教諭の職務の講義からの学び」を作成する。（120分）
	13（7/2）　公衆衛生看護の場③ １．行政保健師の役割・活動－横浜市の保健師活動の実際－：ゲストスピーカー（横浜市保健師） 授業外事前学修課題：行政保健師の役割についてまとめる。横浜市の保健師活動について調べる（60分） 授業外事後学修課題：学習内容を復習、まとめる。レポート「横浜市の保健師活動の実際の講義からに学び」を作成する。（120分）
	14（7/9）　地区踏査結果の発表 １．地区踏査の発表を行い、学生間で質疑応答を行い、霧が丘地区の地域特性から健康課題を明らかにする。 授業外事前学修課題：地区踏査結果と地区踏査からの学びのレポートから発表資料をまとめる。(90分) 授業外事後学修課題：他の学生の発表、教員のコメントより、地区踏査レポートを修正する。(90分)
	15（7/16）　まとめ １．第1回～14回の授業資料・教科書のまとめ 授業外事前学修課題：第1回～14回の授業資料･教科書を見直しわからないところを明らかにしてくる。(90分) 授業外事後学修課題：第1回～14回の授業資料･教科書等を復習しする。(90分)
アクティブラーニングを用いた授業方法	課題についてグループワークを行う。 大学周辺の地区踏査を行い、地域特性と生活・健康の関連についてグループワークを行う。

課題のフィードバック方法と時期	授業時に課題等について発表・討議を行う 毎回の授業時にグーグルフォームで学んだことや質問等を確認し、授業後または次回の授業時にフィードバックを行う。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：70% 評価基準：最終試験.授業で学んだことを理解でき、6割の点数がとれていれば 履修目標との対応：①○、②○、③○、④○、⑤○、⑥○ 評価方法：課題レポート 評価割合：30% 評価基準：課題について指示された内容、指示された書式での作成ができれば6割.ルーブリック参照 履修目標との対応：④○、⑤○
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	標準保健師講座1　公衆衛生看護学概論，医学書院，2024. 上記以外は授業時に説明する。
実務経験のある教員による授業	保健師の経験を活かした授業を行います。
オフィスアワー・連絡先	山口智美：tyamaguchi@soei.ac.jp　水曜日の昼休み 久保木紀子：nkuboki@soei.ac.jp　水曜日の昼休み
備考	事前・事後の学習はしっかりと行うこと 30分以上の遅刻は欠席扱いとする。 私語は禁止、離席する場合は教員に報告の上、離席すること 保健師活動を学習するための基本的な考え方等を学ぶ科目です。積極的に参加してください。 授業の進行状況等により、授業予定が変更する可能性がある。 ｹﾞｽﾄスピーカーの日程は変更する可能性がある。

講義科目名称： 健康生活支援論Ⅰ　　授業コード： 25G312

英文科目名称： Healthy Living Support TheoryⅠ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	３年	２単位	選択
担当教員			
山口　智美/看護学部　久保木　紀子/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	3.専門的知識・技術(及び倫理的)に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護実践することができる。 4.保健医療福祉チームの中で協働・連携し、自らの役割を果たすことができる。 5.地域社会の動向を踏まえて、関連情報を活用し、創造的に看護を発展させることができる。
履修条件	公衆衛生看護学概論の単位を修得していること。
授業概要	地域で生活する人々の発達段階 健康レベルの特徴に応じた地域看護活動の基本と実際について理解するとともに、地域の人々が主体的に問題解決できるよう適切な接近方法・技術を選択し介入できる基礎を学ぶ。
履修目標	①地域で生活する人々のライフサイクル・健康レベルの特徴を説明できる。 ②地域で生活する人々の健康問題に応じた公衆衛生看護活動と、 地域ヘルスケアシステムの成り立ちとの関連を説明できる。 ③法的根拠や国の政策に基づいて行われる各ライフサイクル・健康問題に応じた保健活動の実際を説明できる。
授業計画・授業外学修課題	1　母子（親子）保健活動① 母子保健（親子保健）活動の動向、 理念歴史、施策 /母子保健における健康課題 授業外事前学修課題：学習内容についての教科書を読み、わからないところを自分で調べる（90分） 授業外事後学修課題：学修した内容のノートを整理する。 課題がある場合は、 課題に取り組む(90分) 2　母子（親子）保健活動 ② 乳幼児期の成長発達と健康課題への支援 乳幼児の歯科保健活動 思春期の健康課題と保健師活動 授業外事前学修課題：学習内容についての教科書を読み、わからないところを自分で調べる（90分） 授業外事後学修課題：学修した内容のノートを整理する。 課題がある場合は、 課題に取り組む(90分) 3　母子（親子）保健活動 ③ 支援ニーズが高い親子の健康課題と支援（GW）［動画］個から集団へ、そして地域へ丸森町の子育て支援 授業外事前学修課題：学習内容についての教科書を読み、わからないところを自分で調べる（90分） 授業外事後学修課題：学修した内容のノートを整理する。 課題がある場合は、 課題に取り組む(90分) 4　成人保健活動 ① 成人保健活動の動向、 成人期の保健活動の進め方 授業外事前学修課題：学習内容についての教科書を読み、わからないところを自分で調べる（90分） 授業外事後学修課題：学修した内容のノートを整理する。 課題がある場合は、 課題に取り組む(90分) 5　成人保健活動 ② 生活習慣病の予防、地域のサポートシステム・社会資源、成人期の歯科保健活動 授業外事前学修課題：学習内容についての教科書を読み、わからないところを自分で調べる（90分） 授業外事後学修課題：学修した内容のノートを整理する。 課題がある場合は、 課題に取り組む(90分) 6　障害者(児）保健活動 障害者(児）保健の動向、 理念 施策/障害者(児）保健活動 授業外事前学修課題：学習内容についての教科書を読み、わからないところを自分で調べる（90分） 授業外事後学修課題：学修した内容のノートを整理する。 課題がある場合は、 課題に取り組む(90分) 7　難病保健活動 難病対策の動向、 難病患者の生活と保健活動 授業外事前学修課題：学習内容についての教科書を読み、わからないところを自分で調べる（90分） 授業外事後学修課題：学修した内容のノートを整理する。 課題がある場合は、 課題に取り組む

		(90分)
	8	精神保健活動 1.精神保健医療福祉の動向: 理念,歴史, 施策 2. 精神障害者の生活と支援: 生活のとらえ方と支援 3. 社会病理を背景とする精神的問題 授業外事前学修課題：学習内容についての教科書を読み、わからないところを自分で調べる（90分） 授業外事後学修課題：学修した内容のノートを整理する。 課題がある場合は、 課題に取り組む（90分）
	9	高齢者保健活動 ① 高齢者保健の動向、 高齢者の健康などの状況 授業外事前学修課題：学習内容についての教科書を読み、わからないところを自分で調べる（90分） 授業外事後学修課題：学修した内容のノートを整理する。 課題がある場合は、 課題に取り組む（90分）
	10	高齢者保健活動 ② 高齢者の健康課題への支援、高齢者の歯科保健 授業外事前学修課題：学習内容についての教科書を読み、わからないところを自分で調べる（90分） 授業外事後学修課題：学修した内容のノートを整理する。 課題がある場合は、 課題に取り組む（90分）
	11	地域包括ケア①（ゲストスピーカー） 地域包括ケアの動向、地域包括ケアと保健師活動、地域包括ケアの実際 授業外事前学修課題：学習内容についての教科書を読み、わからないところを自分で調べる。自分の住んでいる地域の地域包括支援センターの活動等について調べる（90分） 授業外事後学修課題：学修した内容のノートを整理する（90分）
	12	地域包括ケア②（ゲストスピーカー） 地域包括ケアの動向、地域包括ケアと保健師活動、地域包括ケアの実際 地域包括ケアにおける看護職の役割（GW） 授業外事前学修課題：学習内容についての教科書を読み、わからないところを自分で調べる（90分） 授業外事後学修課題：「地域包括ケアシステムにおける保健師の役割」 についてレポートを作成する（90分）
	13	感染症保健活動 感染症保健の動向、 感染症保健施策と保健師活動 授業外事前学修課題：学習内容についての教科書を読み、わからないところを自分で調べる。既習の感染症法を復習しておく(90分) 授業外事後学修課題：学修した内容のノートを整理する （90分）
	14	学校保健・学校看護の基本① 学校保健の目的と対象、学校保健計画・学校安全計画、学校保健に関する人材について 授業外事前学修課題：学習内容についての教科書を読み、わからないところを自分で調べる（90分） 授業外事後学修課題：学修した内容のノートを整理する。 課題がある場合は、 課題に取り組む（90分）
	15	学校保健・学校看護の基本② 学校安全危機管理について事例を用いた演習 グループワーク、プレゼンテーション 授業外事前学修課題：学習内容についての教科書を読み、わからないところを自分で調べる（90分） 授業外事後学修課題：学修した内容のノートを整理する。 課題がある場合は、 課題に取り組む（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法		事例等を用いてグループ・ワーク、プレゼンテーションを行う。
課題のフィードバック方法と時期		授業ごとにグーグルフォームで学んだことについて内容を確認し、 授業後に全員にフィードバックを行う。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応		評価方法：筆記試験 評価割合：80％ 評価基準：6割以上の点数が取れれば合格 履修目標との対応：①②③ 評価方法：レポート課題 評価割合：20％ 評価基準：ルーブリック参照 履修目標との対応：③
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）		テキスト: 標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護論 医学書院 2025 参考文献: 国民衛生の動向 2024/2025 厚生労働統計協会 2024
実務経験のある教員による授業		行政保健師の経験を活かして講義を行います。

オフィスアワー・ 連絡先	連絡先: 山口　tyamaguchi@soei.ac.jp　久保木　nkuboki@soei.ac.jp オフィスアワーは火曜日の昼休み
備考	保健師課程必修科目です。事前学修・事後学習を必ず行い、積極的に授業に臨んでください。 受講上の注意 ・３０分以上の遅刻は欠席とみなします。 ・離席をする際は教員に報告すること。 ・私語は慎むこと。

講義科目名称： 健康生活支援論Ⅱ　　授業コード： 25G313

英文科目名称： Healthy Living Support TheoryⅡ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	３年	２単位	選択
担当教員			
久保木　紀子/看護学部　　山口　智美/看護学部			
講義　演習			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	3.専門的知識・技術(及び倫理的)に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護実践することができる。 4.保健医療福祉チームの中で協働・連携し、自らの役割を果たすことができる。 5.地域社会の動向を踏まえて、関連情報を活用し、創造的に看護を発展させることができる。
履修条件	公衆衛生看護学概論の単位を修得していること。
授業概要	地域に顕在あるいは潜在する健康問題について、 情報収集、アセスメント、課題解決のための目標設定、 介入の実践、 評価の過程を学ぶ。 課題の明確化と解決･改善のための計画立案・評価に関しては具体的レベルまで理解する。
履修目標	① 公衆衛生看護活動における地域診断の目的意義について説明できる。 ② 地域診断は、情報収集、アセスメント、診断、計画、評価の一連の過程をPDCAサイクルによって行われていることを説明できる。 ③ 地域診断に活用できる理論について説明できる。 ④ コミュニティ・アズ・パートナーモデルを使用し、 実習区の地域診断過程が展開できる。
授業計画・授業外学修課題	1　地域診断の実際について地域診断に活用できる理論 ・地域診断の概念、目的、意義 ・地域診断の展開方法 ・地域診断の方法論のモデル 授業外事前学修課題：テキストを熟読し、わからないことを調べておく（90分） 授業外事後学修課題：授業の内容を復習し、要点をノートにまとめる（90分） 2　地域診断の実際 ・コミュニティ・アズ・パートナーモデルを用いて実習地域のコア情報をアセスメントする。 ・グループ・ワークを行い、アセスメントを深める。 授業外事前学修課題：テキストを熟読し、わからないことを調べておく。 実習地域のコア情報を収集しておく（90分） 授業外事後学修課題：コア情報、アセスメントの不足部分を加筆・修正する（90分） 3　地域診断の実際 ・コミュニティ・アズ・パートナーモデルを用いて実習地域のコア情報をアセスメントする。 ・グループ・ワークを行い、アセスメントを深める。 授業外事前学修課題：テキストを熟読し、わからないことを調べておく。 実習地域のコア情報を収集しておく（90分） 授業外事後学修課題：コア情報、アセスメントの不足部分を加筆・修正する（90分） 4　地域診断の実際 ・コミュニティ・アズ・パートナーモデルを用いて実習地域のコア情報をアセスメントする。 ・グループ・ワークを行い、アセスメントを深める。 授業外事前学修課題：テキストを熟読し、わからないことを調べておく。 実習地域のコア情報を収集しておく（90分） 授業外事後学修課題：コア情報、アセスメントの不足部分を加筆・修正する（90分 5　地域診断の実際 ・コミュニティ・アズ・パートナーモデルを用いて実習地域の８つのサブシステムの情報収集とアセスメント をする。 ・グループ・ワークを行い、アセスメントを深める。 授業外事前学修課題：テキストを熟読し、わからないことを調べておく。 実習地域のサブシステムの情報を収集しておく（90分） 授業外事後学修課題：サブシステムの情報、アセスメントの不足部分を加筆・修正する（90分 6　地域診断の実際 ・コミュニティ・アズ・パートナーモデルを用いて実習地域の８つのサブシステムの情報収集とアセスメント をする。 ・グループ・ワークを行い、アセスメントを深める。 授業外事前学修課題：テキストを熟読し、わからないことを調べておく。実習地域のサブシステムの情報を

	収集しておく（90分） 授業外事後学修課題：サブシステムの情報、アセスメントの不足部分を加筆・修正する（90分） 7　地域診断の実際 ・コミュニティ・アズ・パートナーモデルを用いて実習地域の８つのサブシステムの情報収集とアセスメントを する。 ・グループ・ワークを行い、アセスメントを深める。 授業外事前学修課題：テキストを熟読し、わからないことを調べておく。実習地域のサブシステムの情報を 収集しておく（90分） 授業外事後学修課題：サブシステムの情報、アセスメントの不足部分を加筆・修正する（90分） 8　地域診断の実際 ・コミュニティ・アズ・パートナーモデルを用いて実習地域の８つのサブシステムの情報収集とアセスメントを する。 ・グループ・ワークを行い、アセスメントを深める。 授業外事前学修課題：テキストを熟読し、わからないことを調べておく。実習地域のサブシステムの情報を 収集しておく（90分） 授業外事後学修課題：サブシステムの情報、アセスメントの不足部分を加筆・修正する（90分） 9　地域診断の実際 ・コミュニティ・アズ・パートナーモデルを用いて実習地域の８つのサブシステムの情報収集とアセスメントを する。 ・グループ・ワークを行い、アセスメントを深める。 授業外事前学修課題：テキストを熟読し、わからないことを調べておく。実習地域のサブシステムの情報を 収集しておく（90分） 授業外事後学修課題：サブシステムの情報、アセスメントの不足部分を加筆・修正する（90分） 10　地域診断の実際 ・コミュニティ・アズ・パートナーモデルを用いて実習地域の８つのサブシステムの情報収集とアセスメントをする。 ・グループ・ワークを行い、アセスメントを深める。 授業外事前学修課題： テキストを熟読し、わからないことを調べておく。実習地域のサブシステムの情報を収集しておく（90分） 授業外事後学修課題： サブシステムの情報、アセスメントの不足部分を加筆・修正する（90分 11　地域診断の実際 ・コミュニティ・アズ・パートナーモデルを用いて実習地域の８つのサブシステムの情報収集とアセスメント をする。 ・グループ・ワークを行い、アセスメントを深める。 授業外事前学修課題：テキストを熟読し、わからないことを調べておく。 実習地域のサブシステムの情報を収集しておく（90分） 授業外事後学修課題：サブシステムの情報、アセスメントの不足部分を加筆・修正する（90分） 12　地域診断の実際 ・コミュニティ・アズ・パートナーモデルを用いて実習地域の８つのサブシステムの情報収集とアセスメントをする。 ・グループ・ワークを行い、アセスメントを深める。 授業外事前学修課題：テキストを熟読し、わからないことを調べておく。 実習地域のサブシステムの情報を収集しておく（90分） 授業外事後学修課題：サブシステムの情報、アセスメントの不足部分を加筆・修正する（90分） 13　地域診断の実際 ・コミュニティ・アズ・パートナーモデルを用いて実習地域の健康課題を抽出する。 ・グループ・ワークを行い、アセスメントを深める。 授業外事前学修課題：テキストを熟読し、わからないことを調べておく。 実習地域の健康課題を考察しておく（90分） 授業外事後学修課題：アセスメントの不足部分、健康課題を加筆・修正する（90分） 14　地域診断のプレゼンテーション（山口　久保木） ・担当した実習地域の情報・アセスメント結果、不足している情報、健康課題を発表する。 授業外事前学修課題：プレゼンテーションの準備を行う（90分） 授業外事後学修課題：プレゼンテーションでの質問や意見を踏まえて、不足している情報を明らかにし、収集

	する。 その上で、 再度アセスメントを行い、健康課題を抽出する（90分 15　地域診断のプレゼンテーション・まとめ（山口　久保木） ・グループ・ディスカッションを行い、アセスメント・健康課題について深める。 授業外事前学修課題：プレゼンテーションでの質問や意見を踏まえて、不足している情報を明らかにし、収集 する。（90分） 授業外事後学修課題：ディスカッションをふまえ、再度アセスメントを行い、健康課題を抽出する（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループ・ワーク、グループ・ディスカッション、問題解決学習
課題のフィードバック方法と時期	授業ごとにグーグルフォームで学んだことについて内容を確認し、 授業後に全員にフィードバックを行う。 課題については、授業で発表・ディスカッションを行います。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：４０％ 評価基準：授業で学んだことを理解できれば６０点 履修目標との対応：①②③ 評価方法：課題レポート 評価割合：５０％ 評価基準：グループ・ワーク、グループ・ディスカッションに積極的な参加、コアと８つのサブシステムの情報を収集、アセスメント、健康課題が抽出できていれば６０点　ルーブリック参照（授業時に配布） 履修目標との対応：②④ 評価方法：プレゼンテーション 評価割合：１０％ 評価基準：課題を指定された時間内にわかりやすく発表できていれば６０点 履修目標との対応：④
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	金川克子他編 「地域看護診断」 東大出版会 国民衛生の動向 2024/2025 厚生労働統計協会 国民衛生の動向 2025/2026 厚生労働統計協会
実務経験のある教員による授業	行政保健師としての経験を活かして授業を行います。
オフィスアワー・連絡先	連絡先: 久保木　nkuboki@soei.ac.jp　山口　tyamaguchi@soei.ac.jp オフィスアワー：火曜日のお昼休み（但し、臨地実習で本学に居ない場合があります）
備考	保健師課程必修科目です。事前学修・事後学習を必ず行い、積極的に授業に臨んでください。 受講上の注意 ・３０分以上の遅刻は欠席とみなします。 ・離席をする際は教員に報告すること。 ・私語は慎むこと。

講義科目名称： 公衆衛生看護活動論　　授業コード： 25G314

英文科目名称： Public Health Nursing Process

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	３年	２単位	選択
担当教員			
久保木　紀子/看護学部　　山口　智美/看護学部			
講義　演習			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	3.専門的知識・技術(及び倫理的)に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護実践することができる。 4.保健医療福祉チームの中で協働・連携し、自らの役割を果たすことができる。 5.地域社会の動向を踏まえて、関連情報を活用し、創造的に看護を発展させることができる。
履修条件	公衆衛生看護学概論の単位を修得していること。
授業概要	個人・集団・地域に対する公衆衛生看護活動の展開に必要な理論や方法論を学ぶ。 また、個別支援及ぶグループ支援の公衆衛生看護活動の基本技術「保健指導」 「家庭訪問」 「健康相談」「健康教育」 「グループ支援・組織化」 を理解し修得する。
履修目標	① 公衆衛生看護（学校・産業も含む）における技術について説明できる。 ② 公衆衛生看護の基盤となる理論について説明できる。 ③ 家庭訪問 健康相談、 健康診査の目的・対象・方法について説明できる。 ④ 特定保健指導案の立案・実施・評価および家庭訪問計画を立案・実施・評価ができる。 ⑤ 地域における健康教育の位置づけおよび展開方法について説明できる。 ⑥ 健康教育の企画書・指導案の作成、健康教育の実施・評価ができる。 ⑦ 地域組織活動に関わる概念、組織の種類、組織への保健師の役割・支援技術について説明できる。
授業計画・授業外学修課題	1　公衆衛生看護における機能と技術（山口） １．公衆衛生看護における機能と技術とはなにか ２．地域保健活動 授業外事前学修課題 ・教科書の第1章と第4章A・Bテキストを熟読し、分からないことは調べる。2年次の「公衆衛生看護学概論」の教科書第1章,第5章を読み復習する。（90分） 授業外事後学修課題： ・学習した内容について復習しまとめる。課題がある場合は課題に取り組む。(90分) 2　公衆衛生看護の基盤となる理論（久保木） １．保健行動理論について ２．保健行動理論を用いた事例検討 グループ・ワーク、プレゼンテーション 授業外事前学修課題 ・保健行動理論について調べてまとめる。 ・保健行動理論についてわからないことを明らかにしてくる（90分） ※担当理論は、4/4に配布 授業外事後学修課題 ・すべての保健行動理論を事例をとおして理解できるようにまとめる。（90分） 3　公衆衛生看護における対象(個人・家族）の理解と対人支援活動の展開（久保木） 1.生活者としての個人の理解と支援技法 2.家族を単位とした対象の理解と支援技法 3.対人支援の基本 4.対人支援の技術 5.健康相談、健康診査における保健指導（ICTを用いた保健指導含） 授業外事前学修課題 ・教科書の第2章Aの1・2、第4章D・E・Fを教科書を読み、わからないところを調べてまとめる(90分) 授業外事後学修課題： ・学修した内容のノートを整理する。 課題がある場合は、 課題に取り組む（90分） 4　特定保健指導（山口） １．特定保健指導の理論と考え方 ２．特定保健指導の指導案の作成について 授業外事前学修課題： ・特定健康診査・特定保健指導について復習する。 学習内容についての教科書を読み、わからないところを自分で調べる（90分） 授業外事後学修課題： ・学修した内容のノートを整理する。 ・事例の指導案を作成する（90分） 5　特定保健指導の実際①（久保木） １．事例への特定保健指導の指導案の発表 ２．指導案についてグループ・ディスカッションを行う

		授業外事前学修課題： ・事例の特定保健指導の指導案を作成する（90分） 授業外事後学修課題： ・特定保健指導の指導案を見直し修正する（90分
	6	特定保健指導の実際②（山口　久保木） １．特定保健指導のロールプレイを行う 授業外事前学修課題： ・事例の特定保健指導の指導案をもとにロールプレイの準備をする（90分） 授業外事後学修課題： ・特定保健指導のロールプレイの実施記録を作成し、保健指導における保健師の支援技術について考察する（90分）
	7	家庭訪問による支援の実際①（山口） １．家庭訪問の支援技術について講義 ２．DVD視聴 ３．視聴した内容から保健師の支援技術についてディスカッションを行う 授業外事前学修課題： ・学習内容についての教科書を読み、わからないところを自分で調べる（90分） 授業外事後学修課題： ・学修した内容のノートを整理する。 課題がある場合は、 課題に取り組む（90分）
	8	家庭訪問による支援の実際②（久保木） １．家庭訪問計画の立案について講義 ２．家庭訪問計画の作成 授業外事前学修課題： ・事例の家庭訪問計画を作成する（90分） 授業外事後学修課題： ・家庭訪問計画を見直し修正する（90分）
	9	家庭訪問による支援の実際③（山口　久保木） 立案した家庭訪問計画をもとにロールプレイを行う 授業外事前学修課題： ・事例の家庭訪問計画のロールプレイの準備をする（90分） 授業外事後学修課題： ・ロールプレイ実施記録をまとめ、家庭訪問における保健師の支援技術について考察する（90分）
	10	家庭訪問による支援の実際④（山口　久保木） 立案した家庭訪問計画をもとにロールプレイを行う 授業外事前学修課題： 事例の家庭訪問計画のロールプレイの準備をする（90分） 授業外事後学修課題： ロールプレイ実施記録をまとめ、家庭訪問における保健師の支援技術について考察する（90分）
	11	家庭訪問による支援の実際⑤（山口　久保木） 家庭訪問実施記録から保健師の支援技術について考える グループ・ワーク、ディスカッション、記録の修正 授業外事前学修課題： ロールプレイ実施記録をまとめ、家庭訪問における保健師の支援技術について整理しておく（90分） 授業外事後学修課題： 家庭訪問における一連の過程を整理し、気づきや学びをまとめる（90分）
	12	地域組織活動の展開①（久保木） 1.グループ・組織の理解と支援技法 2.地域組織活動にかかわる概念 3.地域組織活動の歴史 授業外事前学修課題： 教科書の第2章Aの3，7章のA・Dを読み、わからないところを自分で調べる（90分） 授業外事後学修課題： 学修した内容のノートを整理する。 課題がある場合は、 課題に取り組む（90分）
	13	地域組織活動の展開②（久保木） 1.当事者組織とその支援 2.住民の自立支援と地域組織活動の実際 授業外事前学修課題： 教科書の7章のB・Cを読み、わからないところを自分で調べる（90分） 授業外事後学修課題： 学修した内容のノートを整理する。 課題がある場合は、 課題に取り組む（90分）
	14	地域組織活動の展開③（山口） 1.地域組織活動のDVD視聴 2.DVD視聴から保健師の役割についてグループワーク、プレゼンテーション 授業外事前学修課題： 学習内容についての教科書を読み、わからないところを自分で調べる。支援技術についてまとめる（90分） 授業外事後学修課題： 学修した内容のノートを整理する。支援技術について加筆・修正する（90分）
	15	.地域組織活動の展開④（山口） 1.川崎市・横浜市の地域組織活動の種類とその歴史について調べて、発表、デイスカッションす

		る。 2. 地域組織活動・グループへの保健師への支援について検討する。 授業外事前学修課題： 川崎市・横浜市の地域組織活動の種類とその歴史について調べてくる。（90分） 授業外事後学修課題： 学修した内容のノートを整理する。組織活動における保健師の専門性と支援技術について加筆・修正する（90分）
	16	地域における健康教育の展開①（久保木） 健康教育の位置づけ、 健康教育の方法と特徴、 健康教育の展開過程（準備企画･実施・評価） 授業外事前学修課題： 学習内容についての教科書を読み、わからないところを自分で調べる（90分） 授業外事後学修課題： 指定されたテーマについての健康教育企画書を作成する（９０分）
	17	地域における健康教育の展開②（久保木） 健康教育企画書の作成 授業外事前学修課題： 指定されたテーマについて調べ、知識を深めておく（90分） 授業外事後学修課題： 企画書を作成する（90分）
	18	地域における健康教育の展開③（久保木） 健康教育企画書の作成 授業外事前学修課題： 指定されたテーマについて調べ、知識を深めておく（90分） 授業外事後学修課題： 企画書を作成する（90分）
	19	地域における健康教育の展開④（久保木） 健康教育企画書のプレゼンテーション、ディスカッション、見直し 授業外事前学修課題： 企画書のプレゼンテーションの準備をする（90分） 授業外事後学修課題： 企画書をディスカッションをもとに修正する（90分）
	20	地域における健康教育の展開⑤（久保木） 健康教育指導案１の作成 授業外事前学修課題： 指導案１を作成する（90分） 授業外事後学修課題： 指導案１の加筆・修正をする（90分）
	21	地域における健康教育の展開⑥（久保木） 健康教育指導案１の作成 授業外事前学修課題： 指導案１を作成する（90分） 授業外事後学修課題： 指導案１の加筆・修正をする（90分）
	22	地域における健康教育の展開⑦（久保木） 健康教育指導案１のプレゼンテーション、ディスカッション、見直し 授業外事前学修課題： 健康教育指導案１のプレゼンテーションの準備をする（90分） 授業外事後学修課題： 健康教育指導案１をディスカッションをもとに修正する（90分）
	23	地域における健康教育の展開⑧（久保木） ４年生健康教育デモンストレーションへの参加 健康教育指導案２の作成 授業外事前学修課題： 健康教育指導案１のプレゼンテーションの準備をする（90分） 授業外事後学修課題： 健康教育指導案１をディスカッションをもとに修正する（90分）
	24	地域における健康教育の展開⑨（久保木） 健康教育指導案２の作成 授業外事前学修課題： 指導案２を作成する（90分） 授業外事後学修課題： 指導案２の加筆・修正をする（90分）
	25	地域における健康教育の展開⑩（久保木） 健康教育指導案２のプレゼンテーション、ディスカッション、見直し 授業外事前学修課題： 健康教育指導案２のプレゼンテーションの準備をする（90分） 授業外事後学修課題： 健康教育指導案２をディスカッションをもとに修正する（90分）

	26　地域における健康教育の展開⑪（久保木） 健康教育で使用する媒体作成 授業外事前学修課題： 効果的な媒体について調べてくる（90分） 授業外事後学修課題： 媒体を作成する（90分） 27　地域における健康教育の展開⑫（久保木） 健康教育で使用する媒体作成 授業外事前学修課題： 効果的な媒体について調べてくる（90分） 授業外事後学修課題： 媒体を作成する（90分） 28　地域における健康教育の展開⑬（久保木） 健康教育デモンストレーション、ディスカッション、見直し 授業外事前学修課題： 健康教育のデモンストレーションの準備をする（90分） 授業外事後学修課題： 健康教育デモンストレーションの結果のディスカッションをもとに修正する（90分） 29　地域における健康教育の展開⑭（山口　久保木） 健康教育プレゼンテーション準備、実施、ディスカッション 授業外事前学修課題： 健康教育プレゼンテーションの準備をする（90分） 授業外事後学修課題： 健康教育プレゼンテーションのディスカッションをもとに修正する（90分） 30　地域における健康教育の展開⑮（山口　久保木） 健康教育プレゼンテーション、まとめ 授業外事前学修課題： 健康教育プレゼンテーションの準備をする（90分） 授業外事後学修課題： 健康教育プレゼンテーションのディスカッションをもとに修正する。地域における健康教育の保健師の専門性と技術について考察する（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループ・ワーク、ロールプレイング、プレゼンテーション
課題のフィードバック方法と時期	課題については、授業で発表・ディスカッションを行います。 学んだことや質問についてグーグルフォームで内容を確認し、フィードバックを行う。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：５０％ 評価基準：6割以上の点数をとれること 履修目標との対応：①②③④⑤⑥ 評価方法：課題レポート 評価割合：５０％ 評価基準：課題の目的に沿っていれば６０点　（別途ルーブリック配布） 履修目標との対応：①②③④⑤⑥
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	標準保健師講座2 公衆衛生看護技術 第5版，医学書院
実務経験のある教員による授業	行政保健師としての実務経験を活かした授業を行います。
オフィスアワー・連絡先	連絡先：久保木　nkuboki@soei.ac.jp　山口　tyamaguchi@soei.ac.jp オフィスアワー:火曜日のお昼休み（但し、臨地実習で本学に居ない場合があります）
備考	保健師課程必修科目です。 保健師活動で重要な技術の演習（特定保健指導、家庭訪問、 健康教育）を行いますので、事前学修を必ず行い、積極的に授業に参加してください。 事前・事後学習はしっかりと行うこと ※受講上の注意 ・３０分以上の遅刻は欠席とみなします。 ・離席をする際は教員に報告すること。 ・私語は慎むこと。 ※授業内容は、授業の進行状況によって変更することがあります。

講義科目名称： 産業保健活動論　　授業コード： 25G315

英文科目名称： Occupational Health Activities

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	３年	１単位	選択
担当教員			
大神　あゆみ			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	３．看護の専門的知識・技術（及び倫理的態度）に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる。 ４．保健医療福祉チームの中で協働・連携し、自らの役割を果たすことができる。 ５．地域社会の動向を踏まえて、関連情報を活用し、創造的に看護を発展させることができる。
履修条件	保健師資格取得を予定している者に限る
授業概要	１．産業保健の目的、制度とシステム、管理の特徴とともに、働く人々の健康問題、作業環境や労働条件が健康に及ぼす影響について理解する。 ２．公衆衛生看護を基盤とした保健医療専門職として、働く人々のQOL向上を目指して提供する支援やケアの方法についての理解を深める。 ３．現在の産業保健における健康課題や健康保持・増進の対策を、実際の取組を紹介しつつ、学生間で保健活動のあり方や保健師の役割を討議できるようにする。
履修目標	①産業保健活動の考え方の特徴について説明することができる。 ②成人期の個人や集団・組織について「労働」の側面からアセスメントできる。 ③産業保健活動における保健師の役割や活動方法について説明することができる。
授業計画・授業外学修課題	1　オリエンテーション，産業保健（労働衛生）の概要 定義，歴史，制度，産業構造の変化と労働者の健康課題の概要について解説する。 身近な事例を用いた小討議を行い、理解を深める。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 「公衆衛生看護」の考え方を基本とするため、講義前に、他の講義科目で学修した「公衆衛生看護」の独自性について確認する。 また、他の講義科目で学習した中での産業保健に関連する用語について確認しておく。（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義の内容を復習し、要点を整理しておく。（45分） 2　産業保健を推進する体制（1） 事業場における労働衛生管理体制とそれを支援する機関と労働衛生の5管理について解説する。 身近な事例を用いた小討議を行い、理解を深める。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 「公衆衛生看護」の考え方を基本とするため、講義前に、他の講義科目で学修した「公衆衛生看護」の独自性について確認する。 また、他の講義科目で学習した中での産業保健に関連する用語について確認しておく。（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義の内容を復習し、要点を整理しておく。（45分） 3　産業保健を推進する体制（2） 産業保健領域で働く保健師の保健師活動の特徴について解説する。 身近な事例を用いた小討議を行い、理解を深める。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 他の領域の保健師活動の特徴から、産業保健領域の保健師活動の特徴（共通点・相違点）を考えておく。（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義の内容を復習し、要点を整理しておく。（45分） 4　産業保健における健康課題への対応（1） 保健師の視点からの5管理への関与，職業性疾病・作業関連性疾患対策について解説する。 身近な事例を用いた小討議を行い、理解を深める。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 保健師の職能の特徴から、どのような活動が可能か考えておく。（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義の内容を復習し、要点を整理しておく。（45分） 5　産業保健における健康課題への対応（2） 保健師の視点からの健康管理として健康診断の事後措置と健康の保持増進対策について解説する。 身近な事例を用いた小討議を行い、理解を深める。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 保健師の職能の特徴から、どのような活動が可能か考えておく。（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）

	講義の内容を復習し、要点を整理しておく。（45分） 6　産業保健における健康課題への対応（3） 保健師の視点からの健康管理として過重労働対策やメンタルヘルス対策について解説する。 身近な事例を用いた小討議を行い、理解を深める。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 保健師の職能の特徴から、どのような活動が可能か考えておく。（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義の内容を復習し、要点を整理しておく。（45分） 7　産業保健の今日的課題への対応 リスクアセスメントと労働安全衛生マネジメントシステム、さまざまな両立支援について解説する。 身近な事例を用いた小討議を行い、理解を深める。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 参考となる講義中に提示された情報（記事）を読んでおく（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義の内容を復習し、要点を整理しておく。（45分） 8　産業保健に関するケーススタディとまとめ 科目の前講義内容のポイントを振り返り、ケーススタディを元に討議する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 参考となる講義中に提示された情報（記事）を読んでおく（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義の内容を復習し、要点を整理しておく。（45分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	講義中心ではあるが、随時、双方向のやりとりや小演習を行う。
課題のフィードバック方法と時期	講義の初めに前回の講義のリフレクションペーパーを元にフィードバックを行う。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：90% 評価基準：最終試験：授業で学んだことを的確に理解しているかどうか 履修目標との対応：①②③ 評価方法：リフレクションペーパー 評価割合：10% 評価基準：授業の要点をまとめられるかどうか、授業を的確に理解して考察できるかどうか 履修目標との対応：①②③
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：レジュメ等の配布資料を中心としながら、以下のテキストも参照する。 ・産業保健ハンドブック　改訂22版（産業保健ハンドブックシリーズ），森晃爾（編），労働調査会，2024，ISBN:9784867880487. 参考文献：※ 以下のテキスト名が一致していれば発行年が1-3年異なるものでもかまわない。 同じ領域内の講義で使用される以下のテキストも適宜参考にする ・系統看護学講座　専門基礎分野　健康支援と社会保障制度[2]公衆衛生，神馬 征峰（著），医学書院，2024，ISBN:9784260053129. ・国民衛生の動向2024/2025，一般財団法人 厚生労働統計協会（著），一般財団法人 厚生労働統計協会，2023,ISBN:9784875118725 ・標準保健師講座1　公衆衛生看護学概論，標 美奈子 他（著），医学書院，2022，ISBN:9784260047074. ・標準保健師講座2　公衆衛生看護技術論，中村 裕美子 他（著），医学書院，2023，ISBN:9784260050029. ・健康生活支援論Ⅰ：標準保健師講座3　対象別公衆衛生看護活動，中谷 芳美 他（著），医学書院，2024，ISBN:9784260031875.
実務経験のある教員による授業	担当教員は保健師および労働衛生コンサルタントの経験を有しており、その経験を活かして実践例をイメージできる知を伝える。
オフィスアワー・連絡先	講義前後の時間のみ質問や相談を受けます。
備考	「公衆衛生学」「保健医療福祉行政論Ⅰ」「公衆衛生看護学概論」を履修し、その内容を理解した上で、積極的に授業に臨まれることを前提とします。なお、再試は行いません。毎回の講義および予習復習でしっかり知識を定着させるように講義に臨んでください。

講義科目名称： 学校保健論　　授業コード： 25G316

英文科目名称： Theory of School Health

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	３年	２単位	選択
担当教員			
藤原　瑞穂/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	３．看護の専門的知識・技術(及び倫理的態度)に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる。 ４．保健医療福祉チームの中で協働・連携し、自らの役割を果たすことができる。 ５．地域社会の動向を踏まえて、関連情報を活用し、創造的に看護を発展させることができる。
履修条件	養護教諭課程必修科目
授業概要	学校教育目標の具現化としての学校保健の位置づけを理解し、学校保健の実践が児童生徒の発達にどのような役割を担っているかを学ぶ。学校保健の意義と目的、行政と学校保健、法規に基づく学校保健の内容と組織、保健主事や養護教諭等の関係職員の役割になどについて具体的な実践例を通して学ぶ。
履修目標	①学校保健安全に関する法規を理解する ②学校保健の意義と目的を理解し、説明することができる ③児童生徒等の健康状態を把握する方法を理解し、説明することができる ④ヘルスプロモーションと学校保健の関係について説明することができる ⑤学校保健活動の実際について計画し、討議することができる ※適宜加減してください。
授業計画・授業外学修課題	1　オリエンテーション 授業の進め方、学修方法について 授業外事前学修課題：学校、児童・生徒等に関わる昨今のトピックについて情報を収集し、ノートにまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：学校保健とは何かや、子どもの現代的な健康課題について、授業資料をもとに復習する。学校保健に関する関心事項について、情報収集・整理する。（90分） 2　学校保健行政と学校教育 学校保健行政と学校保健との関連について 授業外事前学修課題：テキスト第2講『重要語句』を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：テキスト第2講『プラスワン』の確認および『復習問題』に取り組む。（90分） 3　学校保健・学校安全計画、保健室経営 学校教育目標を具現化するための計画・活動の重要性について 授業外事前学修課題：テキスト第3講『重要語句』を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：テキスト第3講『プラスワン』の確認および『復習問題』に取り組む。（90分） 4　健康観察・保健調査・健康診断 健康観察・保健調査・健康診断の概要と役割について 授業外事前学修課題：テキスト第6講『重要語句』を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：テキスト第6講『プラスワン』の確認および『復習問題』に取り組む。（90分） 5　健康相談、学校環境衛生（特別講師） １）学校における健康相談について ２）学校環境衛生の関係法令、活動の実際について 授業外事前学修課題：テキスト第7講・第12講『重要語句』『プラスワン』を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：テキスト第7講・第12講『復習問題』に取り組む。（90分） 6　学校における感染症の予防と対応 学校における感染症予防の意義、対応策について 授業外事前学修課題：テキスト第8講『重要語句』を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：テキスト第8講『プラスワン』の確認および『復習問題』に取り組む。（90分） 7　学校生活で特に注意すべき病気 学校生活でよくみられる子どもの疾患や異常について 授業外事前学修課題：テキスト第9講『重要語句』『語句説明』を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：テキスト第9講『プラスワン』の確認および『復習問題』に取り組む。（90分） 8　心の健康問題 児童・生徒の心の健康問題の現状と対応について 授業外事前学修課題：テキスト第10講『重要語句』を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：テキスト第10講『プラスワン』の確認および『復習問題』に取り組む。

	（90分） 9　特別支援教育と学校保健 特別支援教育の動向と学校保健との関わりについて 授業外事前学修課題：テキスト第11講『重要語句』『プラスワン』を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：テキスト第11講『復習問題』および『ノートテイキングページ』に取り組む。（90分） 10　学校安全と学校危機管理（特別講師） 子どもたちにまつわる事件・事故・災害の実情と危機管理について 授業外事前学修課題：テキスト第13講『重要語句』『プラスワン『語句説明』を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：テキスト第13講義『復習問題』に取り組む。（90分） 11　保健教育① 学校における保健教育の基礎的事項および指導計画について 授業外事前学修課題：テキスト第4講および第5講の『重要語句』『プラスワン』を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：テキスト第4講および第5講『復習問題』に取り組む。（90分） 12　保健教育の実際① 指導計画に基づく教材作成について（模擬授業練習含む） 授業外事前学修課題：模擬授業の実践グループで共有された指導計画をもとに、作成教材を検討をする。（90分） 授業外事後学修課題：模擬授業の実践グループで分担した指導内容について各自準備・練習する。（90分） 13　保健教育の実際② 模擬授業実践 授業外事前学修課題：模擬授業の実践グループで分担した指導内容について各自準備・練習する。（90分） 授業外事後学修課題 模擬授業終了グループ：テキスト第5講『ノートテイキングページ』に取り組む。（90分） 模擬授業未実施グループ：模擬授業の実践グループで分担した指導内容について各自準備・練習する。（90分） 14　保健教育の実際③ 模擬授業実践 授業外事前学修課題 模擬授業終了グループ：テキスト第4講、第5講の『知っておくと役立つ話』を確認する。（90分） 模擬授業未実施グループ：模擬授業の実践グループで分担した指導内容について各自準備・練習する。（90分） 授業外事後学修課題：テキスト第12講『プラスワン』を確認する。（90分） 15　これからの学校保健（特別講師） ２）学校保健の充実を図るために 授業外事前学修課題：テキスト第15講の内容を確認しておく。（90分） 授業外事後学修課題：これまで学んだ学校保健の内容を整理する。（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	各回にて、グループディスカッション、グループワークやペアワーク、チーム基盤型学習、プレゼンテーション、模擬授業実践等を行います。
課題のフィードバック方法と時期	・レポートについては、次の授業回で振り返りや質疑応答を行います。 ・各回のリフレクションペーパーのフィードバックは、次の授業時に行います。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：50％ 評価基準：授業で学んだことを理解できれば60点 履修目標との対応：①○　②○　③○　④○ 評価方法：レポート 評価割合：20％ 評価基準：根拠をもとに自分の意見を端的にまとめることができ、指示された文字数であれば60点 履修目標との対応：①○　②○　③○　④○　⑤○ 評価方法：授業への取り組み 評価割合：30％ 評価基準：グループワークや発表、リフレクションペーパーの内容等、他者と協力し、主体的に取り組む様子が見られれば60点 履修目標との対応：①○　②○　③○　④○　⑤○
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：「学校保健」柳園順子編著,ミネルヴァ書店,2019, ISBN：9784623081837 参考文献：「学校保健実務必携」第一法規　ほか授業時に適宜紹介する
実務経験のある教員による授業	該当 小学校、高等学校、大学での現場経験を活かし、理論とともに実践的な知見を伝える。
オフィスアワー・連絡先	火曜日　9：00-12：00 金曜日　9：00-12：00 連絡先：藤原瑞穂　mfujiwara@soei.ac.jp
備考	

講義科目名称： 公衆衛生看護技術演習　　授業コード： 25G317

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	４年	２単位	選択
担当教員			
久保木　紀子/看護学部　山口　智美/看護学部			
演習			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	3.専門的知識・技術(及び倫理的)に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護実践することができる。 4.保健医療福祉チームの中で協働・連携し、自らの役割を果たすことができる。 5.地域社会の動向を踏まえて、関連情報を活用し、創造的に看護を発展させることができる。
履修条件	4年次前期までに修得すべき必修科目及び保健師課程の必修科目を履修していること。
授業概要	公衆衛生看護学実習Ⅱで実施する公衆衛生看護技術（地域診断・家庭訪問・健康教育・健康相談・健康診査等）について、実習施設のデータや保健事業をもとに演習を実施し、保健師に必要な公衆衛生看護技術を修得する。
履修目標	① 公衆衛生看護の定義・理念を理解し、保健師の専門性について述べることができる。 ② 実習する地域について、必要なデータから地域診断を行い、地域の健康課題を明確化する。 ③ 家庭訪問、健康相談、健康診査の目的・対象・方法について理解することができる。 ④ 特定保健指導案の立案・実施・評価および家庭訪問計画を立案・実施・評価について理解できる。 ⑤ 地域における健康教育の位置づけおよび展開方法について理解できる。 ⑥ 健康教育の企画書・指導案の作成、健康教育の実施・評価ができる。 ⑦ 地域組織活動に関わる概念、組織の種類、組織への保健師の役割・支援技術について説明できる。
授業計画・授業外学修課題	1回目　授業ガイダンス/公衆衛生看護活動について（久保木） 公衆衛生看護の定義、概念、保健師の専門性について復習し、実習目標を作成する。 公衆衛生看護活動に必要な知識を確認する。 授業外事前学修課題：既習の内容を復習（別途課題を提示）し、保健師の専門性について考える。 実習目標を作成する　（120分） 授業外事後学修課題：実習目標について再考する（60分） 2回目　地域診断（久保木） 実習地域の地域診断のために必要な情報を収集し、アセスメンを行う。 既習の健康生活支援論Ⅱのコアデータ、サブデータを見直す。 コミュニティ・アズ・パートナーモデルを用いて、コアデータ・サブシステムについて系統的に整理してまとめる。 授業外事前学修課題：健康生活支援論Ⅱで学修した地域診断の内容を確認しておく（90分） 授業外事後学修課題：収集した情報からアセスメントを行う（90分） 3回目　地域診断（久保木） 実習地域の地域診断のために必要な情報を収集し、アセスメンを行う。 コミュニティ・アズ・パートナーモデルを用いて、コアデータ・サブシステムについて系統的に整理してまとめる。 授業外事前学修課題：健康生活支援論Ⅱで学修した地域診断の内容を確認しておく（90分） 授業外事後学修課題：収集した情報からアセスメントを行う（90分） 4回目　地域診断（久保木） 実習地域の地域診断のために必要な情報を収集し、アセスメンを行う。 コミュニティ・アズ・パートナーモデルを用いて、コアデータ・サブシステムについて系統的に整理してまとめる。 授業外事前学修課題：健康生活支援論Ⅱで学修した地域診断の内容を確認しておく（60分） 授業外事後学修課題：収集した情報からアセスメントを行う（120分） 5回目　地域診断：地区踏査　（山口・久保木） 実習地域の地区踏査計画の作成、地区踏査の実施 授業外事前学修課題：地区踏査計画を作成する（60分） 授業外事後学修課題：地区踏査実施記録を作成する（120分） 6回目　地域診断：地区踏査（山口・久保木） 地区踏査の実施・地区踏査実施記録の作成 授業外事前学修課題：地区踏査実施記録を作成する（90分） 授業外事後学修課題：作成した地区踏査実施記録を修正する（90分） 7回目　地域診断（久保木） 実習地域の地区踏査で得た情報をデータ化する。 授業外事前学修課題：地区踏査で得た情報をまとめる。（60分） 授業外事後学修課題：地区踏査で得た情報をデータ化し、地域診断に追加する（120分） 8回目　地域診断（久保木）

		健康問題を根拠を明らかにして抽出し、実習地域の健康課題を検討する。 授業外事前学修課題：実習地域の健康問題を考える（90分） 授業外事後学修課題：実習地域の健康課題を考える（90分）
	9回目	地域診断（久保木） 実習地域の健康課題を優先順位を明確にしてまとめる。 授業外事前学修課題：実習地域の健康課題の優先順位を考える（60分） 授業外事後学修課題：実習地域の健康課題の優先順位を再考する（120分）
	10回目	地域診断の中間発表/プレゼンテーション（山口　久保木） 実習地域の地域診断の中間発表を行う。 授業外事前学修課題：プレゼンテーションの準備をする（90分） 授業外事後学修課題：地域診断の修正をする（90分）
	11回目	地域診断（久保木） 健康課題解決のために取り組まれている保健事業や社会資源の情報収集をし、健康課題との関連をまとめる。 授業外事前学修課題：4月実施の実習資料の情報を確認する（90分） 授業外事後学修課題：保健事業や社会資源の健康課題との関連を整理する（90分）
	12回目	地域診断（久保木） 地域診断での不足な情報、実習で明らかにしたいことを明確にしてまとめる。 地域診断のプレゼンテーション資料を作成する。 授業外事前学修課題：不足な情報を確認する（90分） 授業外事後学修課題：地域診断のプレゼンテーションの準備をする（90分）
	13回目	地域診断発表（山口　久保木） 実習地域の地域診断・健康課題を、資料を用いてプレゼンテーションをし、ディスカッションする。 プレゼンテーションは、明瞭で理解しやすい内容とし、決められた時間を守り発表する。 授業外事前学修課題：発表資料の準備をしておく（90分） 授業外事後学修課題：地域診断・健康課題の内容を確認し、適宜、加筆修正する（90分）
	14回目	地域診断（久保木） 実習地域の地域診断・健康課題を様式にまとめる。 実習でプレゼンテーションできるように準備する。 授業外事前学修課題：地域診断の加筆修正を行う（90分） 授業外事後学修課題：地域診断・健康課題の内容を確認し、適宜、加筆修正する（90分）
	15回目	技術演習：家庭訪問（久保木） 家庭訪問（母子保健） 事例のアセスメント、家庭訪問計画の作成、ロールプレイ、評価（ディスカッション） 授業外事前学修課題：既習の母子保健、小児看護を復習する。事例のアセスメントを行い、訪問目的、長期目 標、短期目標を考える（90分） 授業外事後学修課題：ロールプレイを振り返り、家庭訪問計画の修正および支援技術についてまとめる（90分）
	16回目	技術演習：家庭訪問（久保木） 家庭訪問（母子保健） 家庭訪問の記録作成、振り返り、ブラッシュアップを行い、家庭訪問計画を修正する。 ロールプレイを再度実施し、評価、記録作成。 授業外事前学修課題：既習の母子保健、小児看護を復習する。事例のアセスメントを行い、訪問目的、長期目 標、短期目標を考える（60分） 授業外事後学修課題：ロールプレイを振り返り、家庭訪問計画の修正および支援技術についてまとめる （120分）
	17回目	技術演習：健康診査（久保木） 健康診査（4か月児健診・1歳6か月児健診・3歳児健診）の法的根拠、目的を再考する。 対象者の生活背景を理解して問診票からアセスメントを行い、支援のあり方を考えて記録する。 健診の一連の過程、多職種連携について調べ、それぞれの職種の役割をまとめる。 授業外事前学修課題：既習の健康診査の内容および成長・発達について復習する（90分） 授業外事後学修課題：健康診査について、調べて学んだことを復習しまとめる（90分）
	18回目	技術演習：健康診査（久保木） 健康診査（4か月児健診・1歳6か月児健診・3歳児健診）の事後フォローについて調べてまとめる。 健康診査における保健師の専門性についての考えをまとめる。 授業外事前学修課題：既習の健康診査の内容および事後フォローについて復習する（90分） 授業外事後学修課題：健康診査について、調べて学んだことを復習しまとめる（90分）
	19回目	技術演習：健康相談（久保木） 健康相談（特定保健指導について、事例のアセスメント、保健指導計画の作成、ロールプレイ、評価（ディスカッション）を行う。 授業外事前学修課題：既習の特定保健指導について復習する。事例のアセスメントを行い、保健指導の目的、長 期目標、短期目標を考える（90分）

		授業外事後学修課題：ロールプレイを振り返り、保健指導計画の修正および支援技術についてまとめる（90分）
	20回目	公衆衛生看護学実習Ⅱで取り組む保健事業の法的根拠および事業内容（久保木） 保健事業について、法的根拠を確認し、事業内容を調べる 保健事業における保健師の役割と専門性についてまとめる 授業外事前学修課題：実習地域の保健事業の法的根拠を調べる（90分） 授業外事後学修課題：保健事業における保健師の役割と専門性についてまとめる（90分）
	21回目	公衆衛生看護学実習Ⅱで取り組む保健事業の法的根拠および事業内容（久保木） 保健事業について、法的根拠を確認し、事業内容を調べる 地域組織活動に関わる概念、組織の種類、組織への保健師の役割・支援技術についてまとめる。 実習で学びたい内容を明確にする 授業外事前学修課題：実習地域の保健事業の法的根拠を調べる（90分） 授業外事後学修課題：保健事業における保健師の役割と専門性についてまとめる（90分）
	22回目	健康教育の企画立案（久保木） 実習地域の健康教育のテーマの健康教育の企画書を立案する。 事前に学修した、実習地域の実態をもとに作成する。 対象者観、教材観、指導観について熟考して作成する。 授業外事前学修課題：健康教育のテーマに関する内容を調べてまとめておく 対象者観、指導観、教材観について考えておく　（90分） 授業外事後学修課題：健康教育のテーマに関する内容の不足部分を調べる 対象者観、指導観、教材観の不足部分について加筆修正する（90分）
	23回目	健康教育の企画立案（久保木） 実習地域の健康教育のテーマの健康教育の企画書を立案する。 事前に学修した、実習地域の実態をもとに作成する。 対象者観、教材観、指導観について熟考して作成する。 授業外事前学修課題：健康教育のテーマに関する内容を調べてまとめておく 対象者観、指導観、教材観について考えておく　（90分） 授業外事後学修課題：健康教育のテーマに関する内容の不足部分を調べる 対象者観、指導観、教材観の不足部分について加筆修正する（90分）
	24回目	健康教育指導案の作成（久保木） 健康教育指導案１を作成する。 健康教育の目的や展開方法を検討し、実習地域の健康教育の目標やテーマに則した内容とする。 授業外事前学修課題：健康教育の展開方法の案を考えておく（90分） 授業外事後学修課題：健康教育の展開内容について加筆修正する（90分）
	25回目	健康教育指導案の作成（久保木） 健康教育指導案１を作成する。 健康教育の目的や展開方法を検討し、実習地域の健康教育の目標やテーマに則した内容とする。 授業外事前学修課題：健康教育の展開方法の案を考えておく（90分） 授業外事後学修課題：健康教育の展開内容について加筆修正する（90分）
	26回目	健康教育指導案の作成（久保木） 健康教育指導案２を作成する。 実習で事前のデモンストレーションができるようにシナリオを具体的に作成する。 授業外事前学修課題：健康教育の具体的な進め方を考えておく（90分） 授業外事後学修課題：健康教育の進め方について、不足部分を加筆修正する（90分）
	27回目	健康教育教材の作成（久保木） 健康教育の教材案を作成する。 実習で事前のプレゼンテーションができるように具体的に作成する。 授業外事前学修課題：健康教育の教材案を考えておく（90分） 授業外事後学修課題：健康教育の教材案の不足部分を加筆修正する（90分）
	28回目	健康教育教材の作成（久保木） 健康教育の教材案を作成する。 実習で事前のプレゼンテーションができるように具体的に作成する。 授業外事前学修課題：健康教育の教材案を考えておく（90分） 授業外事後学修課題：健康教育の教材案の不足部分を加筆修正する（90分）
	29回目	健康教育のデモンストレーション（山口　久保木） 健康教育のデモンストレーションをする。 健康教育の内容で、不足している部分や、修正が必要な箇所を確認する。 授業外事前学修課題：健康教育のデモンストレーションを準備する（90分） 授業外事後学修課題：健康教育の修正部分を確認し、加筆修正する（90分）
	30回目	健康教育・まとめ（久保木） 健康教育の内容で、不足している部分や、修正が必要な箇所を確認する。 公衆衛生看護技術演習のまとめ 授業外事前学修課題：健康教育の修正部分を確認し、加筆修正する（90分） 授業外事後学修課題：公衆衛生看護技術演習の重要なポイントをまとめる（90分）
アクティブラーニングを用いた授業		グループワーク・ロールプレイ・プレゼンテーション

方法	
課題のフィードバック方法と時期	課題については、授業で発表・ディスカッションを行います。 学んだことや質問についてグーグルフォームで内容を確認し、フィードバックを行います。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：２０％ 評価基準：学んだことを理解できていれば　６０点 履修目標との対応：①②③④⑤⑥⑦ 評価方法：課題レポート（ルーブリック参照：授業時に配布） 評価割合：７０％ 評価基準：実習地域の地域診断、健康課題の抽出　　４０点 家庭訪問、健康相談、健康診査　各１０点　３０点 健康教育企画書・指導案の作成　　３０点 事前学修課題・実習目標の作成　　２０点 保健事業のまとめ　　１０点 履修目標との対応：①②③④⑤⑥⑦ 評価方法：プレゼンテーション 評価割合：１０％ 評価基準：課題を指定された時間内に明瞭に発表できていれば６０点 履修目標との対応：②⑥
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	既習の教科書、授業資料 必要な教科書等は授業の初回時に連絡します。
実務経験のある教員による授業	行政保健師の経験を活かして授業を行います。
オフィスアワー・連絡先	久保木紀子　nkuboki@soei.ac.jp 山口　智美　tyamaguchi@soei.ac.jp オフィスアワー:火曜日のお昼休み（但し、臨地実習で本学に居ない場合があります）
備考	すべてのライフステージ、健康レベルにある人々とその生活をライフサイクル、健康課題別にとらえ、個人・家族・集団・地域を対象とした公衆衛生看護活動を展開するために必要な知識と方法について具体的に理解し考えるための授業です。 自ら考え学びが深められるように、既習の内容を復習して社会情勢に関心をもって授業に臨んでください。 受講上の注意 ・３０分以上の遅刻は欠席とみなします。 ・離席をする際は教員に報告すること。 ・私語は慎むこと。

講義科目名称： 公衆衛生看護管理論　　授業コード： 25G318

英文科目名称： Public Health Nursing Administration

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	４年	１単位	選択
担当教員			
久保木　紀子/看護学部　山口　智美/看護学部			
講義　演習			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	3.専門的知識・技術(及び倫理的)に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護実践することができる。 4.保健医療福祉チームの中で協働・連携し、自らの役割を果たすことができる。 5.地域社会の動向を踏まえて、関連情報を活用し、創造的に看護を発展させることができる。
履修条件	4年次前期までに修得すべき必修科目及び保健師課程の必修科目の単位を修得していること
授業概要	公衆衛生看護管理について理解し、コミュニティの健康増進や生活を守る公衆衛生看護活動について学修する。 地域の健康危機管理体制を整える過程を理解し、地域の健康危機管理に対応できる知識･技術を学ぶ。 あわせて、健康危機を予防するための実践活動の進め方を学修する。
履修目標	①公衆衛生看護管理の目的・機能・特色･基本となるものについて説明できる ②住民の健康の保持・増進、地域ケアの質の確保のための公衆衛生看護活動について説明できる。 ③健康課題解決のための事業企画・事業計画(評価含) を立案できる。 ④住民の権利保障と健康危機管理・リスクマネジメントの必要性について説明できる。
授業計画・授業外学修課題	1　公衆衛生看護管理①（久保木） 情報管理 組織運営・管理 事業・業務管理 授業外事前学修課題：学習内容についての教科書を読み、わからないところを自分で調べる(90分) 授業外事後学修課題：学修した内容のノートを整理する。 課題がある場合は、課題に取り組む(90分) 2　公衆衛生看護管理②（久保木） 人事管理、人材育成、地域ケアの質の保障 授業外事前学修課題：学習内容についての教科書を読み、わからないところを自分で調べる(90分) 授業外事後学修課題：学修した内容のノートを整理する。 課題がある場合は、課題に取り組む(90分) 3　健康危機管理①（ゲストスピーカー） 健康危機管理の基本 ・健康危機管理の理念と目的：健康危機管理の定義・分類、目的 ・様々な要因による健康上の危機的影響：災害（自然災害、人為災害）、感染症、食中毒（食品、飲料水） 化学物質、放射性物質、事故、ドメスティック・バイオレンス、虐待 ・リスクマネジメントの過程と保健師の役割の基本：リスクアセスメント、リスク分析、リスクへの対応と評価 リスクコミュニケーション、事業継続計画 4　健康危機管理②（久保木） 健康上の危機的状態である、虐待、ドメスティック・バイオレンスにおける、保健師の支援 事例についてグループワーク 授業外事前学修課題：学習内容について、教科書を読み、わからないところを自分で調べる。事例の課題を行う(90分) 授業外事後学修課題：学修した内容のノートを整理する。事例課題について考察を深め保健師の役割について まとめる(90分) 5　健康危機管理③（久保木） 健康危機管理（災害対応）　DVD視聴 災害に対応した保健活動、災害予防と事前対策 授業外事前学修課題：学習内容について教科書を読み、わからないところを自分で調べる。健康危機管理の 保健師活動について、活動マニュアルを熟読する ※マニュアルは別途連絡します(90分) 授業外事後学修課題：学修した内容のノートを整理する。 DVDを視聴した気づきや学びをまとめる（90分) 6　健康危機管理④（久保木） 事例を通して健康危機管理（災害対応）における保健師の役割と専門性を考える グループワーク 授業外事前学修課題：学習内容についての教科書を読み、わからないところを自分で調べる。災害対応事例の課題を行う(90分) 授業外事後学修課題：学修した内容のノートを整理する。事例課題について考察を深め保健師の

	役割について まとめる(90分) 7 健康危機管理⑤（久保木） 健康危機管理（感染症対策）　DVD視聴 感染症集団発生時の保健活動、感染症の集団発生予防のための保健活動 授業外事前学修課題：学習内容についての教科書を読み、わからないところを自分で調べる。健康危機管理 （感染症対策）の保健師活動についての資料や文献を調べる（90分） 授業外事後学修課題：学修した内容のノートを整理する。DVDを視聴した気づきや学びをまとめる(90分) 8 健康危機管理⑥（久保木） 事例を通して健康危機管理（感染症対策）における保健師の役割を考える プレゼンテーション 授業外事前学修課題：学習内容についての教科書を読み、わからないところを自分で調べる。 プレゼンテーションの準備をする(90分) 授業外事後学修課題：学修した内容のノートを整理する。 事例課題について考察を深め、保健師の役割についてまとめる(90分)
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク・プレゼンテーション
課題のフィードバック方法と時期	授業ごとにグーグルフォームで学んだことについて内容を確認し、全員にフィードバックを行う。 課題については、授業で、発表・ディスカッションを行いフィードバックをする。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：50％ 評価基準：授業で学んだことを理解できれば60点 履修目標との対応：①②③④ 評価方法：課題レポート 評価割合：50％ 評価基準：課題内容に基づいたレポートであれば60点　別途ルーブリック配布 履修目標との対応：③④
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	標準保健師講座　公衆衛生看護学概論 標準保健師講座　対象別公衆衛生看護活動 ※２年次、３年次に使用した教科書を使用
実務経験のある教員による授業	行政保健師の経験を活かして講義を行います。
オフィスアワー・連絡先	連絡先: 久保木　nkuboki@soei.ac.jp　山口　tyamaguchi@soei.ac.jp オフィスアワー：火曜日のお昼休み（但し、臨地実習で本学に居ない場合があります）
備考	保健師課程必修科目です。事前学修・事後学習を必ず行い、積極的に授業に臨んでください。 受講上の注意 ・３０分以上の遅刻は欠席とみなします。 ・離席をする際は教員に報告すること。 ・私語は慎むこと。

講義科目名称： 公衆衛生看護学実習Ⅰ　　授業コード： 25G319

英文科目名称： Public Health NursingⅠ : Clinical practicum

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	３年	１単位	選択
担当教員			
久保木　紀子/看護学部　山口　智美/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	3.専門的知識・技術(及び倫理的)に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護実践することができる。 4.保健医療福祉チームの中で協働・連携し、自らの役割を果たすことができる。 5.地域社会の動向を踏まえて、関連情報を活用し、創造的に看護を発展させることができる。
履修条件	3 年次前期までに修得すべき必修科目及び保健師課程の必修科目の単位を修得していること。
授業概要	公衆衛生看護の場の1つである学校・産業(事業場)の特定集団への疾病予防、健康保持・増進及び健康管理について学修する。各々の対象集団の特徴をとらえながら、地域保健との連携についても学ぶ。
履修目標	◆学校保健実習学修到達目標 《目的》 学校保健管理と保健教育について児童・生徒及び教職員の実際を理解し、学校教育活動における養護教諭の役割を関係職種との連携を学ぶ。 ① 学校保健安全の制度とシステムを説明できる。 ② 学校保健計画 学校安全計画の企画と運営について説明できる。 ③ 学校保健の対象と生じている健康課題について説明できる。 ④ 学校保健と地域保健の活動の連携・協力の必要性について説明できる。 ◆産業保健実習学修到達目標 《 目的》 産業現場で働く労働者の実際から労働環境や労働条件から生じる健康課題とその予防活動と労働衛生の基本となる5分野3管理を理解し、労働と　　健康の調和を図る産業保健活動の実際と保健師（産業保健スタッフ)の役割を学ぶ。 ① 産業保健活動を支える安全衛生管理体制について説明できる。 ② 環境や労働条件から生じる健康課題とその予防活動について説明できる。 ③ 産業保健活動における健康保険組合 労働衛生機関の役割と機能について説明できる。 ④ 産業現場における看護活動の実際と課題について説明できる。
授業計画・授業外学修課題	学校保健実習：横浜創英中学高等学校、 横浜翠陵中学高等学校産業保健実習：日新工業株式会社 1. 実習期間：3年後期の1週間 2. 実習内容（詳細は実習要項を参照のこと） 1）学校保健実習：校長および養護教諭からの講義 学校施設見学等 2）産業保健実習：会社の概要および健康管理についての講義、 工場見学 等 授業外事前学修課題： 実習施設の概要と産業保健活動及び、 学校保健活動の対象、方法、 具体的な支援内容についてまとめる（90分×5日） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 実習内容、産業保健活動及び、 学校保健活動の対象、方法、 具体的な支援内容についてまとめる（90分×5日）
アクティブラーニングを用いた授業方法	実習要項に基づき、オリエンテーション、実習を行います。
課題のフィードバック方法と時期	実習事前課題への個別指導、 実習施設での指導、 実習後の個別指導を行う。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：事前課題 評価割合：30％ 評価基準：指示された課題について作成されていれば60点　ルーブリック参照（別途配布します） 履修目標との対応：①②（学校保健実習、産業保健実習） 評価方法：実習態度 評価割合：10％ 評価基準：積極的に参加していれば60点　ルーブリック参照（別途配布します） 履修目標との対応：①②③④（学校保健実習、産業保健実習） 評価方法：実習レポート 評価割合：60％ 評価基準：テーマに沿って自分の考えが述べられていれば60点　ルーブリック参照（別途配布します） 履修目標との対応：①②③④（学校保健実習、産業保健実習）
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	公衆衛生看護学概論、保健医療福祉行政論Ⅰ・Ⅱ、健康生活支援論Ⅰ、 産業保健活動論で使用したテキストおよび授業資料
実務経験のある教員による授業	保健師の経験を活かして実習指導を行います。
オフィスアワー・連絡先	連絡先：久保木　nkuboki@soei.ac.jp　山口　tyamaguchi@soei.ac.jp

備考	保健師課程必修科目です。 既習の産業保健活動論、 学校保健について復習して、 実習に臨んでください。

講義科目名称： 公衆衛生看護学実習Ⅱ　　授業コード： 25G320

英文科目名称： Public Health NursingⅡ : Clinical practicum

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	４年	４単位	選択
担当教員			
久保木　紀子/看護学部　山口　智美/看護学部			
実習	NI700		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	3.専門的知識・技術(及び倫理的)に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護実践することができる。 4.保健医療福祉チームの中で協働・連携し、自らの役割を果たすことができる。 5.地域社会の動向を踏まえて、関連情報を活用し、創造的に看護を発展させることができる。
履修条件	４年次前期までに修得すべき必修科目及び保健師課程の必修科目の単位の修得および公衆衛生看護技術演習を履修していること。
授業概要	地域で生活する人々の健康と予防活動を生活者の視点でとらえ、組織的に展開する公衆衛生看護の役割を理解し、公衆衛生看護活動の意義と保健師に必要な基礎的能力(知識・技術・態度等）について学修する。
履修目標	①実習目的:地域で生活する人々の健康と予防活動を生活者の視点でとらえ、組織的に展開する公衆衛生看護の役割を理解し、公衆衛生看護活動の意義と保健師に必要な基礎的能力を養う。
授業計画・授業外学修課題	公衆衛生看護学実習Ⅱ 実習施設: 横浜市福祉保健センター、 川崎市地域みまもり支援センター 1. 実習期間: 4年後期の4週間 2. 実習時間: 月~金曜日 8:30～17:15 3. 主な実習内容（詳細は実習要項を参照のこと） ・地域診断、 保健事業への参加、 家庭訪問、 健康教育、地域組織活動および会議等へ参加し保健師の役割と専門性について考察を深める。 授業外学修時間 【事前】 既習の公衆衛生看護活動についてまとめのファイルを作成する。実習参加予定の事業について、目的、対象、事業の流れ、保健師の役割、保健師の支援内容、支援技術についてまとめる（60分以上） 【事後】 参加した事業等の概要について整理する事業に参加した人の特性について整理し、 対象者への保健師の支援内容 支援技術、保健師の役割についてまとめる（60分以上）
アクティブラーニングを用いた授業方法	実習要項に基づき、オリエンテーション、 実習を行います。
課題のフィードバック方法と時期	実習施設巡回時の面接、 日々の記録、カンファレンス、 実習終了時の面接等で指導を行う。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価 ・実習記録及び実習レポート 公衆衛生看護学実習ⅡⅠ 評価表参照 ・臨地実習の取組み（事前準備含）公衆衛生看護学実習 ⅡⅠ 評価表参照 履修目標との対応：①
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	保健師課程必修科目で使用したテキスト・参考書・授業資料
実務経験のある教員による授業	行政保健師の経験を経験を活かして実習指導を行います。
オフィスアワー・連絡先	連絡先: 久保木　nkuboki@soei.ac.jp　山口　tyamaguchi@soei.ac.jp
備考	保健師課程必修科目です。 ４年前期までの学習内容をまとめ、実習の事前学修を行い、積極的に実習に臨んでください。

講義科目名称： がん看護　　授業コード： 25G401

英文科目名称： Cancer Nursing

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	３年	１単位	必修
担当教員			
西出　久美/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	○看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。 ○臨床場面や状況への関心をもち、看護の専門的知識・技術を学び、倫理的態度を養う。 ○看護の専門的知識・技術（及び倫理的態度）に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる。 ○保健医療福祉チームの中で協働・連携し、自らの役割を果たすことができる。 ○地域社会の動向を踏まえて、関連情報を活用し、創造的に看護を発展させることができる。
履修条件	特になし
授業概要	がん予防から診断と治療における対象と家族を取り巻く状況を、看護の視点からとらえ、がんの治療を受ける対象とその家族の看護について理解する。対象や家族が抱える全人的苦痛の理解とそれらを和らげる緩和ケアについて学び、がん看護における看護師の役割と看護活動について理解する。また、長期にわたりがんとともに生きる人と家族を総合的に援助することの重要性を学ぶ。ここでは人間の生と死について考え、生命への畏敬、人間の尊厳について考えるとともに、日本人の死生観についても学習を深める。また、人生の終末を迎える人とその家族に対して、その人らしい悔いのない人生を送ってもらうためのケアについて学習するとともに、家族へのグリーフケアについても学習する。また人生最期の時を迎える人の看取りのケア、エンゼルケアについても学ぶ。
履修目標	①がんの治療を受けている患者および家族を理解する。 ②がんに対する診断と治療の特殊性について理解する。 ③がんに対する治療の実際について理解する。 ④緩和医療の目的と看護について理解する。 ⑤治療に伴う副反応の発生機序を理解し、予防ケアと症状緩和の方法を理解する。 ⑥がん患者に特有な症状の発生機序と症状マネジメント方法を理解する。 ⑦がん治療・看護をめぐる倫理的課題を理解する。
授業計画・授業外学修課題	1　がんおよびがん患者・家族の理解①（疫学・病態、臨床経過と患者・家族心理） Ⅰがんの疫学 1．日本におけるがん患者の統計　2．部位別がん死亡率・罹患率　3．５年（10年）対生存率 4．年齢別がん罹患率　5．小児・AYA世代のがん統計 Ⅱ．がん対策 1．がん対策の歴史　2．がん対策推進基本計画　3．がん患者の社会的な課題　就労に関する課題 Ⅲがんの病態 1．がんとは何か　2．遺伝子異常の種類　3．多段階発がん　4．局所浸潤と転移　5．発生部位によるがんの分類 Ⅳ.がんの治療・療養経過と患者の状態 1．療養経過　2．がんサバイバーシップ　3．診断まで　4．治療開始まで　5．治療の期間の心理 6．再発の時期 Ⅴ.がん患者の家族の体験 Ⅵ.がんの治療・療養過程に応じたケア 授業外事前学修課題：テキスト（症候論テキスト含む）の該当ページ精読（60分） 授業外事後学修課題：授業資料を振り返り該当ページをもう一度精読し、わからない箇所を調べて理解する。がんを取り巻く状況・がん疫学・政策・主な疫学データの動向、がんの病態・がんの診断、症候論当該箇所の復習（120分） 2　がん治療に伴う看護①（集学的治療、手術療法、薬物療法） Ⅰがん治療の種類 Ⅱがんに特有の病態とその治療 1．がんがあることによる影響　2．腫瘍の直接症状　例：肺がん　3．腫瘍随伴症候群　4．オンコロジーエマージェンシー　5．転移に関わる合併症 Ⅲがん手術療法の特性 1．がん治療における手術療法の位置づけ　2．がんの特徴（増殖・転移）と手術　3．集学的治療と手術療法　4．がん手術療法の目的 5．がん手術の特徴　6．手術による障害とリハビリテーション内容 Ⅳ.がん薬物療法とは 1．がん治療における薬物療法の位置づけ　2．がんに対する薬物療法の種類　3．薬物療法のレジメン（治療計画）・治験 授業外事前学修課題：テキスト（症候論テキスト含む）当該ページの精読（60分） 授業外事後学修課題：授業資料を振り返り、該当ページをもう一度精読し理解する。集学的治療・手術療法、症候論当該箇所の復習 3　がん治療に伴う看護②（薬物療法） Ⅱ薬物療法時のケア 1．治療開始前のケア　2．有害事象の病態とその治療とケア　1）過敏症　2）骨髄抑制　3）悪心・嘔吐　4）下痢・便秘　5）皮膚・爪の障害　6）口内炎（粘膜刺激症状）　7）末梢神経障害　8）血管外漏出　9）脱毛　アピアランスケア　10）性機能障害

		Ⅲ曝露対策 1．ハザーダス・ドラッグの取り扱い　2．投与プロセスにおける曝露対策　3．抗がん剤の尿・便または胆汁中検出期間　4．汚染発生時の対応 授業外事前学修課題：テキスト該当ページの精読（60分） 授業外事後学修課題：授業資料を振り返り、該当ページをもう一度精読しわからない箇所を調べ理解する。抗悪性腫瘍薬の種類と特徴・治療効果判定・レジメン・副作用に対する看護（120分）
	4	がん治療に伴う看護③（放射線療法） Ⅰ放射線療法 1．放射線療法の特徴　2．放射線療法の種類　3．目的・適応による分類　4．放射線療法の実際 5．放射線療法の有害事象 Ⅱ放射線療法における看護 1．放射線療法における看護の役割 2．治療を受ける人への看護　1）治療計画時　2）実施中　3）主な有害事象発生時　4）スキンケア　5）口腔ケア　6）晩期有害事象へのケア 3．放射線防護　放射線防護3原則 授業外事前学修課題：テキスト該当ページの精読（60分） 授業外事後学修課題：授業資料を振り返り、該当ページをもう一度精読し、わからない箇所を調べ理解する。放射線療法の特徴有害事象への対策（120分）
	5	がん治療に伴う看護④（造血幹細胞移植） Ⅰ造血幹細胞移植 1．造血幹細胞移植とは　2．適用となる疾患　3．造血幹細胞移植の特徴　4．造血幹細胞移植の種類　5．骨髄破壊的前処置　6．治療に伴う有害事象 Ⅱ造血幹細胞移植に伴う看護 1．全身放射線照射（TBI）時の看護　2．骨髄幹細胞採取時の看護　3．末梢血幹細胞採取時の看護　4．造血幹細胞輸注時の看護　5．無菌管理　6．造血幹細胞移植における合併症の看護　7．退院指導　8．レシピエントへの心理的支援　9．ドナーへの心理的支援 授業外事前学修課題：テキスト該当ページの精読（60分） 授業外事後学修課題：授業資料を振り返り、該当ページをもう一度精読し、わからない箇所を調べ理解する。放射線療法の特徴有害事象への対策（120分）
	6	緩和ケア①（終末期がん患者の症状マネジメント） 1．がんの終末期にある人の身体的特徴 1）がんの増大・浸潤・転移による病態　2）悪液質（カヘキシア）　3）浮腫 2．がん疼痛の特性 3．疼痛の分類と特徴 4．疼痛のメカニズム 5．疼痛のマネジメント 6．がん疼痛に用いられる鎮痛薬 1）WHO3段階除痛ラダー　2）がん疼痛治療の目標　3）鎮痛薬投与の4原則 7．緩和ケア（パリアティブケア）の目標 1．多様な価値観と死をめぐる倫理的課題 1）真実を伝える　2）意思決定を支える看護師の役割　3）アドバンスディレクティブ　○治療拒否の権利　○尊厳死・リビングウィル　○DNAR　○セデーション（鎮静） 2．終末期における家族の理解 1）家族のもつニード　2）家族の予期悲嘆・グリーフ　3）家族アセスメント 3．家族への看護実践 授業外事前学修課題：テキスト当該ページの精読（90分） 授業外事後学修課題：授業資料を振り返り、もう一度該当ページを精読し、わからない箇所は調べて理解する。全人的苦痛、がん疼痛治療、カヘキシア
	7	緩和ケア②（臨死期・臨終後の看護） 1．臨死期のケアの特性 2．臨死期に特徴的な症状 3．臨死期における家族への具体的ケア 4．臨終後のケア 1）臨終後の実際 2）死後のケア（エンゼルケア）　(1）死後のケアの意義　(2）死後の身体の変化　(3）死後のケアの内容　(4）死後のケアの実際 授業外事前学修課題：事例についてわからない用語や処置や薬剤などがあれば、調べてわかるようにして授業に臨むこと。（120分） 授業外事後学修課題：事例について調べ、発表の準備を行う。グループ内他のメンバーの発表資料を精読、内容の確認・質問事項の整理を行う。（90分）
	8	がん患者とのコミュニケーション（GW演習・講義） 1.がんの予後不良患者との対話の具体的方法（O-P、T-P）をグループで立案する。 1）子宮頸がん患者の事例の確認：病期と治療、全人的苦痛の状況、家族背景等より看護問題と看護目標を知る。 2）場面設定を確認し、ある場面での具体的コミュニケーション方法を立案する。 2．グループ毎発表 3．「患者のこころによりそう看護コミュニケーション：ケアに生かすコミュニケーション」の視聴 4．自分のコミュニケーションを振り返る方法：プロセスレコードの意義、書き方を理解する。 授業外事前学修課題：事例について調べ、発表の準備を行う。グループ内他のメンバーの発表資料を精読、内容の確認・質問事項の整理を行う。（90分） 授業外事後学修課題：課題の意図を考え多様な意見を参照し自己の考えを深化させる。健康レベル・病状の捉え方、看護診断、症状マネジメント、コミュニケーション技術（積極的傾聴）、プ

	ロセスレコード（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク、プレゼンテーションを行う。
課題のフィードバック方法と時期	課題及びリフレクションペーパーは各回GoogleClassroom上でコメントを配信する。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	・評価方法：筆記試験 評価割合：80% 評価基準：最終試験－授業で学んだことを理解しているかどうか。 履修目標との対応：①②③④⑤⑥ ・評価方法：課題 評価割合：10％ 評価基準：提出期限様式の遵守、課題の意図の理解 履修目標との対応：①②④⑥ ・評価方法：レポート試験（小児） 評価割合：10% 評価基準：参考資料の妥当性、課題意図の理解、多様な意見の参照度と自己の意見の洗練の程度 履修目標との対応：①③④
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	系統看護学講座別巻　がん看護学　医学書院 緩和ケア　改訂第2版　南江堂
実務経験のある教員による授業	看護師としての実務経験を生かした講義・演習を行います。
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワーは毎週水曜日昼休みとします。knishide@soei.ac.jp
備考	人の形態と生活・機能、症候論、成人看護学概論・成人看護学方法論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲで学んだ知識が土台となります。積極的に学ぶことを期待します。

講義科目名称： 国際看護論　　授業コード： 25G402

英文科目名称： Global Health Nursing

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	３年	１単位	選択
担当教員			
山下　麻実/看護学部　上村　いずみ/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	保健医療福祉チームの中で協働・連携し、自らの役割を果たすことができる。 地域社会の動向を踏まえて、関連情報を活用し、創造的に看護を発展させることができる。
履修条件	特になし
授業概要	世界の人々を看護の対象としてとらえ、世界の保健医療の現状と課題およびその対策について考察する。同時に社会文化を背景とする健康・疾病概念および保健行動の多様性を知り、看護の普遍性と多様性を理解し、より広い視野からの看護の果たすべき役割を考察する。
履修目標	①国際看護の主要概念を説明できる。 ②世界の保健医療に関する課題と看護の役割を関連付けることができる。 ③多様な文化・社会的背景を持つ対象者の看護について考察できる。
授業計画・授業外学修課題	1　オリエンテーション・総論 授業外事前学修課題：国際協力・ミレニアム開発目標（MDGs）・持続可能な目標（SDGs）の語句を調べる。（100分） 授業外事後学修課題：授業で学んだことを復習する。（100分） 2　JICA/NGOにおける看護活動の実際 授業外事前学修課題：ODA・NGOについて調べる。（100分） 授業外事後学修課題：授業で学んだことを復習する。（100分） 3　在外日本人の医療と看護 授業外事前学修課題：在外日本人の推移を調べる。（100分） 授業外事後学修課題：授業で学んだことを復習する。（100分） 4　異文化理解セッション（事前準備） 授業外事前学修課題：在日外国人の推移を調べる。（100分） 授業外事後学修課題：セッションテーマに関する質問を考える。インタビューの練習をする。（100分） 5　異文化理解セッション　【特別講師】 授業外事前学修課題：セッションテーマに関する質問の準備をする。インタビューの練習をする。（100分） 授業外事後学修課題：セッション後、グループで【異なる文化背景をもつ人々に対する看護実践】についてプレゼンテーションの準備をする。（100分） 6　異文化理解セッション（プレゼンテーション） 授業外事前学修課題：プレゼンテーション準備をする。（100分） 授業外事後学修課題：プレゼンテーション後、【異なる文化背景をもつ人々に対する看護実践】について考察する。（100分） 7　異文化理解セッション（まとめ） 授業外事前学修課題：ほかのグループのセッションテーマで分からない用語を調べる。（100分） 授業外事後学修課題：プレゼンテーション後【異なる文化背景をもつ人々に対する看護実践】について考察する。（100分） 8　演習（世界の人々の健康にかかわる諸要因） 授業外事前学修課題：これまでの授業内容を振り返る。（100分） 授業外事後学修課題：世界の人々の健康にかかわる諸要因を考察する。（100分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワークやグループでのプレゼンテーションを取り入れて授業を展開していく。 諸外国の文化をはじめ保健医療の実際についてICTを活用して調べる。
課題のフィードバック方法と時期	リフレクションのフィードバックは次の授業におこなう。 提出された成果物は返却する。 試験のフィードバックはGoogleclassroomを活用する。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：平常点 評価割合：60％ 評価基準：授業への取り組み・態度 履修目標との対応：①②③ 評価方法：筆記試験 評価割合：40％ 評価基準：授業で学んだことを理解できていれば60点/100点満点（40点に換算）

	履修目標との対応：①②③
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	【参考図書】 医学書院：国際看護学入門　第2版 メジカルフレンド社：国際看護学　第4版 メディカ出版：国際化と看護 南江堂：国際看護 - 国際社会の中で看護の力を発揮するために - その他、適宜、紹介します。
実務経験のある教員による授業	海外で看護師として実務があり、経験を活用した授業を行います。
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワー：水曜日 12:10～13:00 山下　麻実：a.yamashita@soei.ac.jp 上村　いずみ：iuemura@soei.ac.jp
備考	この科目は講義形式の授業ではなく、近隣で生活する外国の方をお招きして、英語でコミュニケーションを取りながら、異なる文化背景をもつ人々に対する看護実践を考察します。 アクティブラーニングを主とした授業であり、主体的に学修できる方の受講をお勧めします。

講義科目名称： 災害看護学　　授業コード： 25G403

英文科目名称： Disaster Nursing

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	４年	１単位	必修
担当教員			
杉山　洋介/看護学部　　西出　久美/看護学部　藤田　文子/看護学部　上田　佳余子/看護学部　岩谷　正美/看護学部　那須　実千代/看護学部　中田　千恵子/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。 臨床場面や状況への関心をもち、看護実践の内省を通して、臨床判断能力を研鑽することができる。 看護の専門的知識・技術(及び倫理的態度)に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる。 保健医療福祉チームの中で協働・連携し、自らの役割を果たすことができる。 地域社会の動向を踏まえて、関連情報を活用し、創造的に看護を発展させることができる。
履修条件	なし
授業概要	災害時の医療体制及び看護に必要な基礎的事項を理解するとともに、静穏時、発災時以降の長期的視点を持った生活支援に関する知識・技術（自助・共助・公助）を学修する。併せて災害時の被災者（その人と家族）の心理的ケアに触れながら、災害の特性及び時間的経過による看護の役割について学修する。
履修目標	1.　災害看護の特殊性、多様性について説明できる。 2.　災害看護における倫理的側面について説明できる。 3.　災害看護に必要な技術を習得し実施できる。 ・災害サイクルに沿った対応について理解し実践できる。 ・災害時のトリアージが実践できる。 4.　災害発生後の長期的視点での生活支援・メンタルケアについて理解し説明できる。 5.　上記の学修を通して災害時におけるひとの発達段階の特徴をふまえたアセスメントや技術の提供のありかたについて考えることができる。
授業計画・授業外学修課題	1　災害看護学の基礎と災害看護の特殊性・多様性 目標：災害看護の基本的な概念を理解し、その特殊性と多様性について説明できる。 1) 災害看護の定義と重要性 2) 災害看護の特殊性（災害の種類、規模、環境による多様性） 3) 自助・共助・公助の役割分担とその実際 4) 災害の種類（地震、津波、火災など）による対応の違い 授業外事前学修課題：教科書の第１章を熟読し重要項目ををまとめ、わからないことを明らかにする（90分） 授業外事後学修課題：「災害看護の特殊性、多様性」について理解したことを自己の言葉でまとめる（90分） 2　災害看護の倫理的側面と看護師の役割 目標：災害看護における倫理的な課題と看護師の役割を理解し、説明できる。 1) 災害時の医療倫理（患者選別、限られたリソースの配分） 2) 看護師の倫理的な判断（命の選別、家族への対応） 3) 心理的・精神的ケアの倫理 授業外事前学修課題：教科書の第２章を熟読し、災害時の看護師の役割（平時との違い）についてまとめる（90分） 授業外事後学修課題：「災害看護における倫理」について理解したことを自己の言葉でまとめる（90分） 3　災害サイクルに沿った対応と看護技術の実践 目標：災害サイクルに基づき、災害発生から復旧までの対応を理解し、実践的な看護技術を習得する。 1)災害サイクル（予防、準備、対応、復旧）の各段階における看護師の役割 2)災害時の初期対応と医療支援の重要性 授業外事前学修課題：教科書の第３章を熟読し災害サイクルについてまとめる。（45分）災害の初期対応に関連した動画を視聴し、その動画内の初期対応についてのイメージをまとめる。 授業外事後学修課題：「災害サイクルに沿った対応」について理解したことを自己の言葉でまとめる。（90分） 4　トリアージ技術と災害看護の実践 目標: 災害時におけるトリアージの概念と目的、方法を理解する。 1)トリアージの概念と目的（START法、PAT法） 2)トリアージの実施方法と判断基準 3)トリアージにおける看護師の役割と重要性 4)災害看護の実践 授業外事前学修課題：教科書の第４章を熟読し2次トリアージ、2次トリアージについてまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：トリアージタグの書き方、取り扱いを習得する。（90分） 5　トリアージ演習 目標: 災害時におけるトリアージの技術を習得し、実践できるようになる。 1)1次トリアージ（START法）

		2)2次トリアージ（PAT法） 授業外事前学修課題：別途課題を提示する（90分） 授業外事後学修課題：演習の内容を振り返り、トリアージの概念、目的とその意義について自己の言葉でまとめる。（60分）
	6	長期的視点における生活支援とメンタルケア 目標：災害発生後の長期的な生活支援とメンタルケアについて理解し、実施方法を説明できるようになる。 1）長期的な避難所での生活支援と看護師の役割 2）災害後のメンタルケア（PTSD、ストレス管理） 3）被災者への精神的ケアの方法と実践 4）各発達段階（乳児、子供、成人、高齢者）における特性と看護ケア 5）発達段階を踏まえた災害看護のアセスメント方法 6）災害時における各層の支援技術（精神的支援、医療支援） 授業外事前学修課題：教科書の第５・6章を熟読する。（90分） 授業外事後学修課題：スフィア基準とは何か、概要についてまとめる。（90分）
	7	災害時の応急処置 目標：災害時に必要な応急処置の基本技術を理解する。 1）インクルーシブ防災と一次救命処置 2）AEDの使用方法と注意点 3）呼吸・循環停止の患者への対応 4）災害現場での一次救命処置の流れ 5）災害現場で遭遇する様々な外傷 授業外事前学修課題：教科書の第４章を熟読する。（15分）一般市民向け一次救命処置を調べ、プロトコールを想起する。（60分） 授業外事後学修課題：一般市民向け一次救命処置と業務上の一次救命処置に求められる技術の違いについてまとめる。（90分）
	8	応急処置演習 目標：災害時に必要な応急処置の基本技術を習得する。 1）一次救命処置（AEDの使用、人工呼吸含） 2）外傷の観察・処置 科目のまとめ 授業外事前学修課題：第7回で解説した処置について実践できるように基本手技を暗記しポイントをまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：全8回の授業と事前学習・事後学習を振り返り、それぞれの自己学習に加筆する。（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク、実技演習を行う。	
課題のフィードバック方法と時期	課題に関するフィードバックは授業内で行う。	
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	1.　筆記試験 評価割合：80% 評価基準：災害看護の基礎的な知識を答えられれば60％ 履修目標との対応：1・2・4・5 2.　課題 評価割合：20％ 評価基準：提出期限様式の遵守、課題のテーマに沿った内容が記載できれば60％ 履修目標との対応：1・2・3・4・5 3.　演習の取り組み 評価割合：10％ 評価基準：演習（グループワーク含）でメンバーシップを発揮できれば60％ 履修目標との対応：3	
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	教科書 1.　系統看護学講座　看護の統合と実践〔3〕災害看護学・国際看護学　第５版　医学書院 参考文献 1.　スフィアハンドブック　人道憲章と人道支援における最低基準 https://jqan.info/wpJQ/wp-content/uploads/2019/10/spherehandbook2018_jpn_web.pdf	
実務経験のある教員による授業	看護師としての災害実務経験を生かした講義・演習を行います	
オフィスアワー・連絡先	月～木曜日の昼休み 連絡先：杉山洋介 E-mail: ysugiyama@soei.ac.jp	
備考	日本は地震や台風による災害が多い国です。看護師として災害時に必要な知識や技術を身につけましょう。 提示された内容を予習・復習して学修を進めましょう。 演習はクラスを分けて実施します。クラスは後日提示します。 演習時は動きやすい服装で参加してください。	

講義科目名称： 科学の進歩と看護　　授業コード： 25G404

英文科目名称： Advanced Medical Care and Nursing

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	４年	１単位	必修
担当教員			
山下　麻実/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	・.保健医療福祉チームの中で協働・連携し、自らの役割を果たすことができる。 ・地域社会の動向を踏まえて、関連情報を活用し、創造的に看護を発展させることができる。
履修条件	特になし
授業概要	海外とわが国における医療システムと看護の動向について学ぶ他、最新のがん治療、心臓治療、臓器移植とこれれら先端医療を必要とする対象の看護実践に必要な基礎知識について学修する。 また、最新の治療に伴う法律、社会制度、倫理と課題、対象や家族の身体的・心理的・社会的特徴をふまえた医療チームのあり方と看護の役割について学修する。現代社会のニーズに応えるための看護師の役割の一つとして、高度実践看護師に関する教育制度や実践活動について学び、理解を深める。
履修目標	①社会・医療の実情と課題、看護の動向について理解し説明できる。 ②高度実践看護師教育と動向、活動や役割について理解し説明できる。 ③ 最新の心臓治療と看護の現状・課題を理解し説明できる。 ④移植医療と看護の現状・課題を理解し説明できる。 ⑤最新の遺伝子治療と看護の現状・課題を理解し説明できる。
授業計画・授業外学修課題	1　先端医療と看護 授業外事前学修課題：シラバスを読み、分からない用語について調べ準備する(90分) 授業外事後学修課題：：「先端医療と看護」をどのような視点で学ぶかについてレポートにまとめる(90分) 2　移植医療と看護１：移植コーディネーター　【特別講師】 授業外事前学修課題：移植医療についての歴史と脳死移植についての法制度について調べ確認する(90分) 授業外事後学修課題：講師の課題に応え、ドナー、及び、レシピエントの立場に立ち、看護学生としてどのように向き合うかについて レポートする（90分） 3　移植医療と看護2１：移植コーディネーター　【特別講師】 授業外事前学修課題：移植医療についての歴史と脳死移植についての法制度について調べ確認する(90分) 授業外事後学修課題：講師の課題に応え、ドナー、及び、レシピエントの立場に立ち、看護学生としてどのように向き合うかについて レポートする（90分） 4　遺伝子治療と看護1：遺伝専門看護師　【特別講師】 授業外事前学修課題：母性看護学、がん看護で学んだ遺伝子治療につい復習する（90分） 授業外事後学修課題：遺伝子学の基礎知識、出生前診断の事例等から講師の提示した課題をレポートにまとめる（90分） 5　遺伝子治療と看護2：遺伝専門看護師　【特別講師】 授業外事前学修課題：母性看護学、がん看護で学んだ遺伝子治療につい復習する（90分） 授業外事後学修課題：遺伝子学の基礎知識、出生前診断の事例等から講師の提示した課題をレポートにまとめる（90分） 6　最新の心臓治療と看護：不整脈に治療における植え込み型心臓デバイスナース　【特別講師】 授業外事前学修課題：最新の心臓治療と看護:不整脈治療における心臓疾患と治療について復習する。 不整脈治療の最前線の情報、記事などからイメージづくりをする。(90分) 授業外事後学修課題：具体的な心臓治療の方法やデバイスナースの役割について振り返り、講師の提示した課題をレポートにまとめる(90分) 7　わが国の医療と高度実践看護師の活動1：ナースプラクティショナー、特定行為看護師　【特別講師】 授業外事前学修課題：高度実践看護師と特定行為について、看護管理学の授業や臨地実習で得た知識を復習する。 授業外事後学修課題：日本の医療の問題意識をもとに、臨床における看護師の役割について振りかえり、講師の提示した課題をレポートにまとめる(90分) 8　わが国の医療と高度実践看護師の活動2：ナースプラクティショナー、特定行為看護師　【特別講師】 授業外事前学修課題：高度実践看護師と特定行為について、看護管理学の授業や臨地実習で得た知識を復習する。(90分) 授業外事後学修課題：日本の医療の問題意識をもとに、臨床における看護師の役割について振り

	かえり、講師の提示した課題をレポートにまとめる(90分)
アクティブラーニングを用いた授業方法	医療の最先端で活躍しているプロフェッショナル、質疑とディスカッションの形式で授業を展開していく。
課題のフィードバック方法と時期	課題のフィードバックは適宜行う。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：レポートおよび授業参加度 評価割合：レポート60％　授業参加度40％ 評価基準：初回授業時に提示します。 履修目標との対応：レポート①②③④⑤　授業参加度①②③④⑤
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキストは使用せず、必要に応じてレジュメ等の資料を配布予定。
実務経験のある教員による授業	各々の専門分野で最先端な看護の実務経験を活かした講義を行います。 実務経験の内容は、遺伝護専門看護師、ナースプラクティショナー(クリティカルケア・プライマリケア)、特定行為看護師、移植コーディネーター、不整脈治療における心臓植込みデバイスナース(米国)
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワー　金曜日12:10～13:00 質問などアポイントはa.yamashita@soei.ac.jp
備考	授業中の写真撮影・録音・録画は認めません。 この科目におけるレポートは、学生が学修の積み重ねを経て作成することを前提としているため、生成系AIを用いて作成することは認めません。

講義科目名称： 看護実践と倫理　　授業コード： 25G405

英文科目名称： Nursing practice and ethics

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	４年	１単位	選択
担当教員			
横山　惠子/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	１．看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。 ２．臨床場面や状況への関心をもち、看護実践の内省を通して、臨床判断能力を研鑽することができる。
履修条件	特になし
授業概要	看護実践における倫理とは何か、職業倫理を看護実践と関連づけて学修する。実践の場で遭遇しやすい倫理的ジレンマを取り上げ、事例に含まれる多様な価値観に気づき、倫理原則や倫理綱領などの活用により最良の判断を導く過程を学修する。さらに、自らの体験も含めて、様々な看護実践場面を、倫理的視点から振り返り、看護者としての行動指針に照らし、あるべき姿について考察を深め、それまでの学習のまとめとする。
履修目標	①看護専門職に必要な倫理の基礎的知識について説明できる。 ②看護専門職に求められる倫理的責任・法的責任について説明できる。 ③看護実践の場で看護職が遭遇する倫理的問題・ジレンマについて分析し考察する。 ④倫理的意志決定プロセスを理解し、看護職者に求められる倫理的態度について考察できる。
授業計画・授業外学修課題	1　看護における倫理の意義と重要性／資料や事例を通して、看護の倫理的概念について学ぶ 授業外事前学修課題 参考文献の授業部分の該当内容を事前に読む（90分） 授業外事後学修課題 授業資料の内容を確認する（90分） 2　倫理原則／資料を通して、看護における職業倫理について学ぶ 授業外事前学修課題 参考文献の授業部分の該当内容を事前に読む（90分） 授業外事後学修課題 倫理的課題のニュースから自らの考えを記載する。次回、レポート（１）提出（90分） 3　医療における職業倫理／資料や事例を通して、看護実践の場面で遭遇する倫理的課題、倫理的ジレンマについて学ぶ 授業外事前学修課題 参考文献の授業部分の該当内容を事前に読む（90分） 授業外事後学修課題 課題内容・授業資料の内容を確認する（90分） 4　看護実践の事例を通して考える（グループワーク）4人グループで手キストの中から1事例を選ぶ 授業外事前学修課題 授業資料の事例を読んで考えておく（90分） 授業外事後学修課題 ディスカッションの内容を整理する（90分） 5　看護実践の場面で遭遇する倫理的課題の分析／資料や事例を通して、倫理的意志決定プロセスについて学ぶ 授業外事前学修課題 参考文献の授業部分の該当内容を事前に読む（90分） 授業外事後学修課題 課題内容・授業資料の内容を確認する（90分） 6　看護実践の事例を通して考える（グループワーク） 授業外事前学修課題 授業資料の事例を読んで整理しておく（90分） 授業外事後学修課題 ディスカッションの内容を整理し、プレゼンテーション資料を作成する（90分） 7　グループ発表 授業外事前学修課題 作成したパワーポイントでの発表の準備を行う（90分） 授業外事後学修課題 他のグループの発表やディスカッションの内容を整理し、学びを整理する（90分） グループ発表準備（30分）／プレゼン資料からの学びを整理する（30分） 8　グループ発表、まとめ 授業外事前学修課題 グループ発表からの学びや疑問を整理する（90分） 授業外事後学修課題 授業での学びをレポート（2）にまとめ、期日までに提出する（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク、プレゼンテーションを行う。
課題のフィードバック方法と時期	リフレクションペーパーのフィードバックは、次の授業時に行います。

評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：レポート（1） 評価割合：20％ 評価基準：自らの考えを明確に記述できれば80点。ルーブリック参照 履修目標との対応：①②③ 評価方法：プレゼンテーション 評価割合：50％ 評価基準：グループワーク結果を、相手に伝わるようにプレゼンできれば60点 履修目標との対応：③④ 評価方法：レポート（2） 評価割合：30％ 評価基準：自らの考えを明確に記述できれば80点。ルーブリック参照 履修目標との対応：①②③④
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	参考文献 吉田みつ子：看護倫理　見ているものが違うから起こること，医学書院 護学テキストNICE　看護倫理（改定版３版）よい看護・よい看護師への道しるべ，南江堂，2021
実務経験のある教員による授業	担当教員は看護師の臨床経験を有しており、その経験を活かして、看護職に求められるアドボカシーとしての倫理的姿勢を伝えます。
オフィスアワー・連絡先	毎週木曜日12:10～13:00 授業に関する質問・相談はいつでも遠慮なく連絡して下さい。 横山　恵子　メールドレス　kyokoyama@soei.ac.jp
備考	看護実践における倫理は、看護者としての行動規範となり、対象者の尊厳を守ることに繋がります。自らの倫理的感受性を高めるため、グループワークに積極的に参加し、共に学び合いましょう。看護実務経験を活かした講義を行います。

講義科目名称： 看護管理学　　授業コード： 25G406

英文科目名称： Nursing Administration

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	３年	２単位	必修
担当教員			
西岡　久美子/看護学部　　田中　彰子			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。 保健医療福祉チームの中で協働・連携し、自らの役割を果たすことができる
履修条件	なし
授業概要	看護を取り巻く社会状勢とともに、看護管理学における基本的概念・理論・制度について学修する。また、保健・医療・福祉におけるサービス提供システムの多職種協働や多職種連携について学修する。
履修目標	対象に応じた良い看護を提供するために、ケアのマネジメントの必要性を理解し、組織理念に基づく目標達成のため、集団と個人、リーダーシップやフォロワーシップ、医療制度、医療経済について学修し、良い医療・良い看護とは何かについて考える力を養う。 ①　看護管理学に関連する基礎的知識について述べることができる。 ②　看護管理学に関連する基礎的知識を、これまでの自分の経験と共に説明することができる。 ③　質の高い看護を提供するための看護管理について考えることができる。
授業計画・授業外学修課題	1　看護とマネジメント(第1章) ・看護管理学の概念構成 ・マネジメントとは ・看護マネジメントのプロセス（計画・組織化・指揮・統制） ・フローレンス・ナイチンゲールの「小管理」 授業外事前学修課題：教科書第1章を読む。看護管理学とは何か考えてくる　(90分) 授業外事後学修課題：本日の授業の復習をしリフレクションペーパーを提出する。理念の課題を行う　(90分) ２　看護ケアのマネジメント（第2章） ・看護ケア提供者の機能 ・患者の権利 ・チーム医療；チームとグループの違い ・看護基準 ・看護手順とクリティカルパス 授業外事前学修課題：教科書第2章を読む。クリティカルパスについて調べる（90分） 授業外事後学修課題：本日の授業の復習をし、リフレクションペーパーの提出する。特にリスボン宣言、ヘルシンキ宣言とインフォームドコンセント、クリティカルパス・地域連携クリティカルパス、日本の看護職の数を暗記する（90分） 3　看護職のキャリアマネジメント（第3章） ・キャリアマネジメント ・専門看護師、認定看護師、ナースプラクティショナー、認定看護管理者 ・看護職の就業場所 ・タイムマネジメント ・ストレスマネジメント 授業外事前学修課題：教科書第3章を読む。5年後までの自分のキャリアプランを考えてくる（90分） 授業外事後学修課題：本日の授業の復習をし、リフレクションペーパーの提出をする。自分のストレスコーピングについて考える。理念についての課題をする（90分） 4　看護サービスのマネジメント：計画（第4章、第5章） ・サービスとは、看護サービスとは ・看護サービスのための計画 ・組織理念 授業外事前学修課題：教科書第4章を読む。理念の課題を仕上げClassroomに提出する（90分） 授業外事後学修課題：本日の授業の復習をし、リフレクションペーパーを提出する。理念についてまとめる。組織図の課題をする（90分） 5　看護サービスのマネジメント：組織化　（第4章、第5章） ・組織とは、組織図 ・看護職員配置、雇用形態、夜勤 ・ワークライフバランス ・看護ケア提供システム 授業外事前学修課題：第4章、第5章を読む。インターネットを使用し興味のある会社などの組織図を調べる（90分）

		授業外事後学修課題：本日の授業の復習をし、リフレクションペーパーを提出する。看護ケア提供システム４つについてその特徴、利点、欠点をまとめる（90分）
	6	看護サービスのマネジメント：指揮（第5章） ・リーダーシップとフォロワーシップ ・エンパワメント ・アサーション 授業外事前学修課題：第5章を読む（90分） 授業外事後学修課題：本日の授業の復習をし、リフレクションペーパーを提出する。アサーションチェックリストを行う（90分）
	7	看護サービスのマネジメント：統制　（医療・看護サービスの評価）（第4章） ・患者満足度調査 ・診療報酬による評価、DPC制度 ・第三者評価：病院機能評価、マグネットホスピタル、JCI評価 ・看護ケアの質評価：構造・過程・結果 授業外事前学修課題：第4章を読む（90分） 授業外事後学修課題：本日の授業の復習をし、リフレクションペーパーを提出する、中間テストの勉強をする（90分）
	8	看護を取り巻く諸制度１　（第6章） ・保健師助産師看護師法 ・看護師等の人材確保に関する法律 授業外事前学修課題：第6章を読む。附録の保健師助産師看護師法を読む（90分） 授業外事後学修課題：本日の授業の復習をし、リフレクションペーパーを提出する。附録の保健師助産師看護師法と看護師等の人材確保に関する法律を読む（90分）
	9	看護を取り巻く諸制度２　（第6章） ・医療法（医療計画5事業5疾患と在宅医療など） ・労働基準法 ・診療報酬；　重症度、医療・看護必要度 授業外事前学修課題：第6章を読む。（90分） 授業外事後学修課題：本日の授業の復習をし、リフレクションペーパーを提出する。中間テストの勉強をする（90分）
	10	多重課題への対応（第2章） ・多重課題発生時の対応 ・夜間の看護、切れ目のない看護 ・複数患者受持ちの看護 ・中間テスト 授業外事前学修課題：第2章をよむ。多重課題、複数患者受持ちについて調べる（90分） 授業外事後学修課題：本日の授業の復習をし、リフレクションペーパーを提出する（90分）
	11	組織分析 ・病院組織分析　（グループワーク） 授業外事前学修課題：今までの復習をする、理想の病院経営について考える（90分） 授業外事後学修課題：グループワーク評価をする、理想の病院経営について考える（90分）
	12	組織分析　（プレゼンテーション） ・病院組織分析（プレゼンテーション） 授業外事前学修課題：役割分担し、プレゼンテーション準備をする（90分） 授業外事後学修課題：各グループのプレゼンテーション評価をする、病院組織について考えをまとめる（90分）
	13	組織分析　（プレゼンテーション） ・病院組織分析（プレゼンテーション） 授業外事前学修課題：役割分担し、プレゼンテーション準備をする（90分） 授業外事後学修課題：各グループのプレゼンテーション評価をする、病院組織について考えをまとめる。定期試験に向けて復習をする（90分）
	14	薬害について考える（外部講師）：文部科学省・厚生労働省指定による ・講師の指定した事前課題についてのグループワーク 授業外事前学修課題：第2次世界大戦後から現在に至る薬害について調べる。講師の事前課題を行う（90分） 授業外事後学修課題：本日の授業の復習をし、リフレクションペーパーを提出する（90分）
	15	薬害について考える（外部講師）：文部科学省・厚生労働省指定による ・薬害とは ・看護職者として薬害対象者との関りについて 授業外事前学修課題：薬害予防について考える、薬害の方へのケアを考える（90分）

	授業外事後学修課題：本日の授業の復習をし、リフレクションペーパーを提出する。定期試験に向けて勉強をする（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク、パワーポイントを用いたプレゼンテーションを行う。 1方向の講義でなく双方向の参加型授業である。 課題作成を通して考える授業である。
課題のフィードバック方法と時期	・Classroomを用いて各授業のリフレクションペーパーを提出してもらい、次の授業で質問などの回答を行い復習も行う。 ・プレゼンテーションのピアレビューを行い、結果をClassroomに公表する。 ・中間テスト、定期試験の結果は希望者に開示する。 ・中間テスト、定期試験の平均点はClassroomで公表する。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：66％ 評価基準：中間テスト１６％、定期試験５０％ 履修目標との対応：①②③ 評価方法：レポート課題 評価割合：10％ 評価基準：テーマとの照合（3点）内容（5点）レポートの体裁（2点）を基準に評価する 履修目標との対応：②③ 評価方法：平常点評価 評価割合：14％ 評価基準：リフレクションペーパーの期限内の提出。内容が伴っていること。 履修目標との対応：①②③ 評価方法：授業の参加度 評価割合：10％ 評価基準：グループワーク参加度（グループワーク評価票提出を含む）、プレゼンテーション評価票（ピアレビューを含む） 履修目標との対応：②③
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	教科書：系統看護学講座　看護管理学　看護の統合と実践１　医学書院 参考書： 原玲子.　看護マネジメント入門.　日本看護協会出版会. 見藤隆子　他.　看護職者のための政策過程入門 第2版. 日本看護協会出版会. 吉田千文　他.　ナーシング・グラフィカ看護の統合と実践①看護管理.　メディカ出版.
実務経験のある教員による授業	管理者としての実務経験や、10年以上の認定看護管理者研修の講師としての経験を活用した講義を行います。
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワー:水曜日 12時～13時 連絡先:knishioka@soei.ac.jp
備考	看護管理学の知識や理論は、管理者に限らず組織やチームで活動する看護職にとって欠かせないものです。臨地実習でも役に立つ知識です。 アルバイトを含む働く人全てに役立つ授業になります。

講義科目名称： 看護情報学　　授業コード： 25G407

英文科目名称： Nursing informatics

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年	１単位	必修
担当教員			
杉山　洋介/看護学部　奥山　聡子/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。 地域社会の動向を踏まえて、関連情報を活用し、創造的に看護を発展させることができる。
履修条件	なし
授業概要	医療におけるコンピュータリテラシーと情報リテラシー、情報倫理と法、医療情報・看護情報の標準化についての概要を学ぶ。看護専門職として医療における情報通信技術（ICT: Information and Communications Technology）の活用と課題について学ぶ。
履修目標	①保健医療における情報の意味と情報の活用について説明できる。 ②保健医療における情報倫理と法の概要を説明できる。 ③医療における情報システムと看護情報の特徴を説明できる。 ④ICTの活用の実際と課題について考察することができる。
授業計画・授業外学修課題	1　情報と情報社会、医療における情報（杉山） 科目ガイダンス 情報とは何か 情報リテラシー 情報社会の成立と発展 情報社会で求められていること 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト第１章、第２章、第３章を熟読する。（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義内容を振り返り学びを整理する。（45分） 2　看護における情報、情報社会と看護（奥山） 看護におけるデータ・情報・知識 看護の標準化 看護における診断・介入・成果の標準化と看護用語 信頼できる情報と看護 ヘルスリテラシー向上の支援、意思決定支援 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト第４章を熟読する。（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義内容を振り返り学びを整理する。（45分） 3　医療における情報システム（奥山） 医療における情報の記録 病院情報システムと記録の仕方 地域医療福祉のネットワークと情報システム 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト第５章を熟読する。（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義内容を振り返り学びを整理する。（45分） 4　個人情報の保護、コンピュータリテラシーとセキュリティ（杉山） 医療・看護における個人情報 情報の利用の仕方 コンピュータに関する基礎知識 インターネットに関する基礎知識と注意点 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト第８章を熟読する。 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 全グループのプレゼンテーション内容を踏まえて自己の学びをまとめる。（45分） 5　情報処理の原則（杉山） 既存の情報の収集方法 データ収集、統計解析 文字情報の整理 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事前学習課題に取り組む（45分）

	授業外事後学修課題：課題内容（時間） 指示に従って事後課題（office課題）に取り組む（45分） 6　看護におけるICTと看護記録（奥山） 情報通信技術（ICT)とその活用 情報化による社会の変化 看護における情報社会で求められること 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト第２章を熟読する。（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義内容を振り返り学びを整理する。（45分） 7　情報倫理と医療、患者の権利と情報（奥山） 情報倫理とは 知的財産権（知的所有権）の尊重 プライバシーの尊重 患者の権利と自己決定への支援 診療情報の開示 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト第６章、７章を熟読する。（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 講義内容を振り返り学びを整理する。（45分） 8　地域包括ケアシステムにおける他職種連携とICT(杉山) 地域医療福祉のネットワークと情報システム 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 地域包括ケアシステムについて復習する。（30分）テキスト第５章を熟読する。（15分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学びを整理し授業内で指示された課題に取り組む。（45分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	毎回の授業で、事前学習をもとにしたグループワーク、プレゼンテーションを行いながら授業を進めていきます。
課題のフィードバック方法と時期	グループワーク、プレゼンテーションについて授業内でフィードバックをします。 レポートについては授業内またはclassroomからフィードバックします。提出前のフィードバックも可能な限り対応します。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：レポート 評価割合：50％ 評価基準：保健医療における情報、医療や看護における情報の特徴を説明できるか。今後のICTの活用について考察できているか。（授業内でルーブリックを配布します。） 履修目標との対応：①②③④ 評価方法：確認テスト 評価割合：20％ 評価基準：授業のポイントを理解しているか。 履修目標との対応：①②③ 評価方法：グループワーク、プレゼンテーション 評価割合：20％ 評価基準：グループワークに主体的に参加しているか。（Peer Asessmentを取り入れます。）各テーマについて事前学習やグループワーク内容を活用して学びをまとめているか。 履修目標との対応：①②③④ 評価方法：Office課題 評価割合：10％ 評価基準：Word、Excelの基本操作ができるかどうか。 履修目標との対応：①③
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	系統看護学講座　別巻　看護情報学　医学書院 その他の資料は授業内で紹介する。
実務経験のある教員による授業	看護情報の実践・管理について実務経験を有する教員が担当する。
オフィスアワー・連絡先	火曜日～木曜日の昼休み 杉山洋介　ysugiyama@soei.ac.jp 奥山聡子　sokuyama@soei.ac.jp
備考	

講義科目名称： 多職種連携論　　授業コード： 25G408

英文科目名称： Multidisciplinary collaboration

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	３年	１単位	選択
担当教員			
久保木　紀子/看護学部　山口　智美/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	保健医療福祉チームの中で協働・連携し、自らの役割を果たすことができる。 地域社会の動向を踏まえて、関連情報を活用し、創造的に看護を発展させることができる。
履修条件	
授業概要	保健・医療・福祉における連携システムの現状とその活動及び取り組みについて学び、対象の健康問題の解決に向けて有効な地域保健医療福祉の連携システムと協働のあり方を探求する。さらに、保健医療福祉チームの一員である看護職に求められる役割と看護の質の保障のための方策について考察する。
履修目標	①保健・医療・福祉における地域包括ケアシステムの背景や制度について理解できる。 ②保健・医療・福祉の連携システムを支える多職種の役割と活動の実際について理解できる。 ③切れ目のない医療サービスを提供する地域連携クリニカルパスと生活を支えるためのケアマネジメントについて理解できる。 ④複数の仮想事例から、保健・医療・福祉の資源（制度、サービス、施設、マンパワー）をいかに活用するか、具体的に考えることができ、看護職に求められる役割と看護の質保障について検討することができる。 ⑤地域包括ケアの現状と課題、地域包括ケアシステム構築における看護職の役割について考察できる。
授業計画・授業外学修課題	1　保健・医療・福祉の連携①（久保木） 1．わが国における地域包括ケアシステムについて 2．地域包括ケアシステムにおける多職種・関係機関の連携 3．社会資源 授業外事前学修課題：1～2年次の地域包括ケアシステムについて授業資料、教科書を読む（90分） 授業外事後学修課題：学習したことを整理し、まとめる（90分） 2　保健・医療・福祉の連携②（久保木） 1．医療と保健・福祉の多職種連携 2.退院支援・退院調整，地域連携パス 3.課題の説明：事例紹介と課題について 授業外事前学修課題：1～2年次の多職種や退院支援・退院調整について授業資料、教科書を読む（90分） 授業外事後学修課題：学習したことを整理し、まとめる（90分） 3　.地域包括ケアシステムにおける保健・医療・福祉の連携の実際①（ゲストスピーカー：介護支援専門員） 1．介護保険法に基づくケアマネジメント 2。介護支援専門員の役割，病院看護職との連携の現状・課題 3．介護支援専門員からの看護職への期待 授業外事前学修課題：1～2年次の介護支援専門員、ケアマネジメンについて授業資料、教科書を読む（90分） 授業外事後学修課題：学習したことを整理し、まとめる（90分） 4　地域包括ケアシステムにおける保健・医療・福祉の連携の実際②（ゲストスピーカー：退院調整看護師） 1．地域連携室における退院支援等 2．退院支援における病棟看護師の役割 授業外事前学修課題：1～2年次の退院支援・退院調整について授業資料、教科書を読む（90分） 授業外事後学修課題：学習したことを整理し、まとめる（90分） 5　地域包括ケアシステム構築の実際①（ゲストスピーカー） 1．地域包括ケアシステム大田区みま～もについて 授業外事前学修課題：1～2年次の地域包括ケアシステムについて授業資料、教科書を読む（90分） 授業外事後学修課題：学習したことを整理し、まとめる（90分） 6　地域包括ケアシステム構築の実際②（ゲストスピーカー） 1．地域包括ケアシステム大田区みま～もについて 2．地域包括ケアシステム構築における病院看護師の役割にグループワーク 授業外事前学修課題：1～2年次の地域包括ケアシステムについて授業資料、教科書を読む（90分）

		授業外事後学修課題：学習したことを整理し、まとめる（90分）
	7	事例をもとに地域における保健・医療・福祉の連携を考える①　（山口　久保木） 4事例をもとに地域における保健・医療・福祉の連携についてグループワーク、発表を行う 授業外事前学修課題：4事例について課題に取り組む（120分） 授業外事後学修課題：グループワークをした内容をもとに、事例の課題を修正する（60分）
	8	事例をもとに地域における保健・医療・福祉の連携を考える②　（山口　久保木） 4事例をもとに地域における保健・医療・福祉の連携についてグループワーク、発表を行う 授業外事前学修課題：4事例について課題に取り組む（120分） 授業外事後学修課題：グループワークをした内容をもとに、事例の課題を修正する（60分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	事例をもとにグループワークを行う	
課題のフィードバック方法と時期	グループワークの発表、ディスカッション 毎回の授業終了時にグーグルフォームで学習内容や質問を確認し、授業後または次回の授業時にフィードバックを行う	
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：40％ 評価基準：6割以上の点数がとれていれば合格 履修目標との対応：①②③④⑤ 評価方法：課題レポート 評価割合：60％ 評価基準：ルーブリック参照（別途配布） 履修目標との対応：②③④⑤	
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	1年次「保健医療福祉行政論Ⅰ」で使用した国民衛生の動向。	
実務経験のある教員による授業	訪問看護師、退院調整看護師、保健師、病棟看護師の経験を活かした授業を行います。	
オフィスアワー・連絡先	久保木紀子：nkuboki@soei.ac.jp 山口　智美：tyamaguchi@soei.ac.jp オフィスアワー：火曜日のお昼休み（但し、臨地実習で本学に居ない場合があります）	
備考	課題レポートの提出は〆切を厳守すること。 30分以上の遅刻は欠席扱いとなる 私語は慎むこと。離席する場合は必ず教員に報告すること 1～2年次の学習をもとに授業を行います。復習して参加すること	

講義科目名称： 医療安全学　　授業コード： 25G409

英文科目名称： Healthcare Safety Management

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	３年	１単位	必修
担当教員			
藤田　文子/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	看護の専門的知識・技術（及び倫理的態度）に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる。 保健医療福祉チームの中で協働・連携し、自らの役割を果たすことができる
履修条件	なし
授業概要	医療の高度化、複雑化、国際化等により、医療現場では様々なリスクが発生している。また、社会的に注目されている医療事故にはセイフティマネジメントが求められている。医療職者として医療安全の基本概念を理解し、社会の医療安全ニーズに応えられるよう様々な視点から考える。
履修目標	医療の質保証、リスクマネジメント及びセイフティマネジメント、倫理的態度の実践、情報の取り扱い、適正な看護技術提供のあり方等について調査しプレゼンテーションを通して学ぶ。 ①　医療安全に関する基本的な知識について説明することができる。 ②　看護専門職として必要な安全に関する法的責務・役割について説明することができる。 ③　医療を安全に提供するための組織体制、報告・連絡・相談の重要性について述べることができる。 ④　安全な看護技術提供について具体的な諸注意を説明することができる。 ⑤　医療事故分析手法を活用し、事故防止の対応策を提言できる。 ⑥　看護専門職として安全な医療を遂行する上で必要な自己研鑽について述べることができる。
授業計画・授業外学修課題	1　医療における安全管理とは ・医療安全用語の定義 ・日本および海外の医療安全対策の潮流 ・日本の医療事故の現状；日本医療機能評価機構医療事故情報収集等事業　https://www.med-safe.jp/ 授業外事前学修課題：教科書　序章、第1章、第9章を読む（90分） 授業外事後学修課題：本日の授業内容をまとめる。リフレクションペーパーの提出。ハインリッヒの法則、医療過誤・医療事故の定義を覚える。1999年に起きた医療事故について調べる（90分） 2　医療事故と医療過誤 ・看護専門職として必要な法的責務・役割 授業外事前学修課題：教科書第2章、第3章を読む（90分） 授業外事後学修課題：本日の授業内容をまとめる。リフレクションペーパーの提出。医療事故にあった患者・家族の気持ちについて考える（90分） 3　医療安全のための組織的な取り組み ・教育と研修 ・診療ガイドライン ・工学的解決 ・協働とコミュニケーション 授業外事前学修課題：教科書第4章、第5章、第6章を読む（90分） 授業外事後学修課題：本日の授業内容をまとめる。リフレクションペーパーの提出。医療安全のために、にくいもの・くさいもの探し、あったらいいと思うもののアイデアをまとめる（90分） 4　医療安全に関わる法令・制度 ・医療法 ・医療事故調査制度 ・看護師の労働安全衛生上の事故 ・KYTの実際 授業外事前学修課題：教科書第7章、第8章を読む（90分） 授業外事後学修課題：本日の授業内容をまとめる。リフレクションペーパーの提出。医療法第3章医療安全に関することをまとめる。（時間） 5　医療安全を考える ・グループワーク、ICTを活用し調査する 授業外事前学修課題：グループの課題に関する判例・事例の検討、防止策について考えてくる。教科書で言葉の定義を調べる（90分） 授業外事後学修課題：プレゼンテーション資料を作成し、プレゼンテーションの準備をする。グループワーク、評価票の提出。（90分） 6　医療安全を考える プレゼンテーション

	授業外事前学修課題：本日のプレゼンテーション資料を事前に読んでわからないことを調べる（90分） 授業外事後学修課題：本日の授業内容をまとめる。リフレクションペーパーの提出。プレゼンテーション評価票の提出　（90分） 7　医療安全を考える プレゼンテーション 授業外事前学修課題：本日のプレゼンテーション資料を事前に読んでわからないことを調べる（90分） 授業外事後学修課題：本日の授業内容をまとめる。リフレクションペーパーの提出。プレゼンテーション評価票の提出　（90分） 8　インシデント分析・アクシデント分析 ・SHEL分析 ・RCA分析 ・第1回から8回の復習 授業外事前学修課題：教科書のSHEL分析、RCA分析を読む。今までの授業の復習をする（90分） 授業外事後学修課題：8回の授業の内容を復習し定期試験の勉強をする。リフレクションペーパーの提出。（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク、パワーポイントを用いたプレゼンテーションを行う。また、ICTを用いて医療安全についてグループで調べ反転授業を行う。
課題のフィードバック方法と時期	・Classroomを用いて各授業のリフレクションペーパーを提出してもらい、次の授業で質問などを回答し、授業の復習も行う。 ・プレゼンテーションのピアレビューを行い、プレゼンテーション評価の結果をClassroomに公表する。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：70％ 評価基準：8回の授業をもとに筆記試験を行い点数に応じて評価する 履修目標との対応：①②③④⑤⑥ 評価方法：平常点評価 評価割合：30％ 評価基準：リフレクションペーパーの記載と提出（8％）、プレゼンテーション（22％） 履修目標との対応：①②④ 評価方法：プレゼンテーション評価 評価割合：25％ 評価基準：プレゼンテーションの評価。ICTを用いて調べているかどうか、ピアレビュー、内容は医療安全に有効か・看護に役立つかで評価する 履修目標との対応：①②③④⑤⑥
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	教科書：　川村治子．「系統看護学講座専門分野　医療安全　看護の統合と実践２」　第5版　医学書院 参考文献： 松下由美子　他．「ナーシンググラフィカ看護の統合と実践②　医療安全」　メディカ出版 相馬孝博（監訳）上條優子（訳）．　「患者安全のシステムを創る-米国JCAHO推奨ノウハウ」　医学書院 医療ジャーナリスト（訳）．　「人は誰でも間違える-より安全な医療システムを目指して」　日本評論社 川島みどり．　「学生のためのヒヤリ・ハットに学ぶ看護技術」　医学書院 DVD　佐藤みつこ（監修）　「KYTの実践　ヒヤリハットⅡ」株式会社 東京サウンド・プロダクション 参考資料：　日本医療機能評価機構　医療事故情報収集等事業　https://www.med-safe.jp/
実務経験のある教員による授業	医療安全における看護師としての実務経験を活用した講義を行います。
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワー：水曜日5限 連絡先：藤田　afujita@soei.ac.jp
備考	医療安全に関する基礎知識と実践への応用を学修します。臨床に出てからは必須の知識であり、これからの臨地実習においても不可欠となるため、積極的に受講してください。グループディスカッションを取り入れた参加型の授業になります。

講義科目名称： 看護教育学　　授業コード： 25G410

英文科目名称： Nursing Education

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	４年	１単位	選択
担当教員			
岩谷　正美/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	●看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。 ●看護の専門的知識・技術（及び倫理的態度）に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる。
履修条件	特になし
授業概要	看護教育の基本理念と教育制度の歴史的変遷を学び、現在の教育制度における看護教育の現状と評価及び課題を理解する。また看護の卒後教育・継続教育の意義と重要性を学び、看護教育の将来について考察する。
履修目標	① 日本における看護教育の歴史的変遷が説明できる ② 現在の教育制度における看護基礎教育の位置づけと問題点が説明できる ③ 看護基礎教育の法的基盤と制度の変遷の概要が説明できる ④ 看護継続教育の現状と課題を論述できる
授業計画・授業外学修課題	1　看護教育学とは何か専門職としての看護 授業外事前学修課題：教科書「看護教育学」の第Ⅰ章～第Ⅱ章を精読し、概要を把握する（90時間） 授業外事後学修課題：講義内容を整理し、専門職としての看護の特徴をまとめる（90時間） 2　日本の看護教育制度の歴史的変遷看護職養成制度と看護教育関連法規 授業外事前学修課題：第Ⅲ章を精読し、日本の看護教育制度の歴史と看護職養成制度を調べる（90時間） 授業外事後学修課題：講義内容を整理し、日本の看護教育制度の変遷と看護教育関連法規についてまとめる（90時間） 3　日本の看護卒後教育と看護教育の将来 授業外事前学修課題：日本の看護卒後教育と看護継続教育について調べる（90時間） 授業外事後学修課題：看護卒後教育の必要性について各自の考えを整理する（90時間） 4　看護学教育の基盤 授業外事前学修課題：第Ⅳ章を精読し、看護学教育の基盤についてまとめる（90時間） 授業外事後学修課題：看護職のキャリアマネジメントと自己主導型学習の必要性をまとめる（90時間） 5　看護基礎教育の現状／カリキュラム 授業外事前学修課題：第Ⅴ章を精読し、本学のカリキュラムとの関連を調べる（90時間） 授業外事後学修課題：改正2022看護教育課程の特徴をまとめる（90時間） 6　臨地実習における教育と学習 授業外事前学修課題：第Ⅶ章を精読し、経験型実習教育についてまとめる（90時間） 授業外事後学修課題：看護学生が実習を通して直面しやすい問題を１例あげ背景を考える（90時間） 7　看護学教育の評価 授業外事前学修課題：第Ⅷ章を精読し、教育評価の定義と特徴をまとめる（90時間） 授業外事後学修課題：看護学教育での評価の実際についてまとめる（90時間） 8　本邦におけるトピックス、及び諸外国との比較検討まとめ 授業外事前学修課題：海外の看護制度と看護学教育制度について調べる（90時間） 授業外事後学修課題：日本と海外の看護学教育の類似点と相違点をまとめ、本邦の課題を整理する（90時間）
アクティブラーニングを用いた授業方法	課題についてグループワークを行い、その学びも含めレポートを作成し、プレゼンテーションを行う。
課題のフィードバック方法と時期	リフレクションペーパーのフィードバックは、次回の授業の冒頭に行う。 グループワーク課題については、レポートの発表と質疑応答を行う。 講義時のコメント、及びグループワーク発表時にコメントする。Google Classroom上で質問へのコメントを配信する。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：50％ 評価基準：毎回講義終了後、Googleフォームによる確認テスト：25点、まとめ試験（プレゼンテーション含む）：25点　まとめ試験はルーブリック評価により行う 履修目標との対応：①○　②○　③○　④○

	評価方法：レポート 評価割合：30% 評価基準：授業の学びを自己の考えに基づいてまとめることができれば60点。ルーブリック参照 履修目標との対応：①○　②○　③○　④○ 評価方法：平常点評価 評価割合：20% 評価基準：毎回のグループワークへの参加度と併せ、ルーブリック評価により行う 履修目標との対応：①○　②○　③○　④○
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：「看護教育学（改訂第3版）」グレッグ美鈴/池西悦子編、南江堂、2024. ISBN 978-4-524-20424-3 参考書：「看護教育学（第8版）」杉森み ど里/舟島なをみ著、 医学書院、2024.　他 適時資料を配布する
実務経験のある教員による授業	看護師としての実務経験を生かして講義を行います。
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワー：月～木曜日の2限（事前にメールで連絡して下さい）。但し、臨地実習で本学にいない場合があります。
備考	指示された内容の予習・復習をして授業に臨んでください。授業への主体的な参加を期待します。なお30分以内の遅刻・早退3回で欠席1回とみなします。

講義科目名称： 感染看護学　　授業コード： 25G411

英文科目名称： Infection Control Nursing

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	２年	１単位	選択
担当教員			
鈴木　恵/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	・看護の専門知識・技術に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる ・保健医療福祉チームの中で協働・連携し、自らの役割を果たすことができる
履修条件	特になし
授業概要	看護における感染制御の意義を理解し、感染症に関する知識と感染防止対策、および看護の果たす役割と具体的な活動内容を学ぶ。また、現代社会における感染症の動向・特徴を理解するとともに、病院のみならず福祉施設、学校、産業等における感染症予防と蔓延対策を知り、看護職の役割を感染防止の視点から理解する。さらに、B型肝炎ウイルスの社会的背景、特徴、感染予防策についても学ぶ。
履修目標	①感染制御の目的と看護における意義を説明することができる。 ②感染症の成立要素から見た感染予防について説明することができる。 ③CDCガイドラインに基づいた感染防止対策について述べることができる。 ④看護における具体的な感染防止策について説明することができる。 ⑤院内感染制御チーム及び、感染症看護専門看護師、感染管理認定看護師の役割と活動について述べることができる。 ⑥サーベイランスの意義と方法を理解することができる。 ⑦地域や施設における感染予防対策と看護師の役割を理解する。
授業計画・授業外学修課題	1　ガイダンス・感染症の予防 ゲストスピーカー 授業外事前学修課題：各課題の実行に必要な資料の探索・収集と読解（45分） 授業外事後学修課題：講義内容やディスカッションを通して得た知識に対する理解を深め、定着させるための振り返り（45分） 2　感染症とその対応　看護学実習における感染予防対策（演習） ゲストスピーカー 授業外事前学修課題：各課題の実行に必要な資料の探索・収集と読解（45分） 授業外事後学修課題：講義内容やディスカッションを通して得た知識に対する理解を深め、定着させるための振り返り（45分） 3　院内感染対策システムとICT活動 ゲストスピーカー 授業外事前学修課題：各課題の実行に必要な資料の探索・収集と読解（45分） 授業外事後学修課題：講義内容やディスカッションを通して得た知識に対する理解を深め、定着させるための振り返り（45分） 4　サーベイランスの意義と方法 ゲストスピーカー 授業外事前学修課題：各課題の実行に必要な資料の探索・収集と読解（45分） 授業外事後学修課題：講義内容やディスカッションを通して得た知識に対する理解を深め、定着させるための振り返り（45分） 5　感染予防の具体策　① 授業外事前学修課題：各課題の実行に必要な資料の探索・収集と読解（45分） 授業外事後学修課題：講義内容やディスカッションを通して得た知識に対する理解を深め、定着させるための振り返り（45分） 6　感染予防の具体策　② 授業外事前学修課題：各課題の実行に必要な資料の探索・収集と読解（45分） 授業外事後学修課題：講義内容やディスカッションを通して得た知識に対する理解を深め、定着させるための振り返り（45分） 7　感染予防の具体策　③ 授業外事前学修課題：各課題の実行に必要な資料の探索・収集と読解（45分） 授業外事後学修課題：講義内容やディスカッションを通して得た知識に対する理解を深め、定着させるための振り返り（45分） 8　まとめ：感染制御と看護　知識確認 授業外事前学修課題：レポート作成のための準備をしておく（45分） 授業外事後学修課題：疑問点を追加学習し理解を深め、定着させるための振り返り（45分）

アクティブラーニングを用いた授業方法	課題を提示しグループワークを行う。
課題のフィードバック方法と時期	各回のリフレクションと質問事項をもとに、毎回の授業で説明、回答する。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：知識確認とレポートによる。 評価割合：知識確認６０％　レポート４０％ 評価基準： 授業内容や配布資料から出題し、６０％以上の正解率を合格ラインとする。 レポートは授業での学びを通して感染防止について考察できていれば24/40点。
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	参考文献：系統看護学講座　専門分野Ⅰ　基礎看護技術Ⅰ　医学書院 ※毎回必要に応じてレジュメ等の資料を配布する予定。
実務経験のある教員による授業	看護実践の経験者・研究者である教員による授業、感染管理認定看護師による授業を行う。
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワー：月曜日４限 連絡先：鈴木恵　msuzuki@soei.ac.jp
備考	ゲストスピーカー：感染管理認定看護師

講義科目名称： 看護研究　　授業コード： 25G413

英文科目名称： Nursing Research

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	３年	２単位	必修
担当教員			
山本　洋美/看護学部　　染谷　奈々子／看護学部			
講義	NI600		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。 地域社会の動向を踏まえて、関連情報を活用し、創造的に看護を発展させることができる。
履修条件	2年次までの必修科目の単位を修得していること
授業概要	研究の基礎的な知識と科学的な思考プロセスを学び、看護における研究の意義や役割を理解する。また看護理論や看護実践との関係を言及し、看護専門職に求められる問題解決思考を育む機会とする。
履修目標	①看護学における研究の意義・重要性が理解できる。 ②看護研究のプロセスが説明できる。 ③文献検索の方法を習得し、身近なテーマで検索ができる。 ④文献クリティークから研究論文について理解を深めることができる。 ⑤倫理的配慮に関する指針を説明できる。
授業計画・授業外学修課題	1　看護研究とは　看護研究の始め方（山本） 授業外事前学修課題：課題内容（時間）序章、第1・2章の講読（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）配布資料やテキスト内容など、授業全体について復習する。（45分） 2　研究デザイン・データ収集（山本） 授業外事前学修課題：課題内容（時間）第5章・6章の講読（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）配布資料やテキスト内容など、授業全体について復習する。（45分授業 3　データ分析（質的データ分析）（染谷） 授業外事前学修課題：課題内容（時間）第７章の講読（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）配布資料やテキスト内容など、授業全体について復習する。（45分） 4　データ分析（量的データ分析）（山本） 授業外事前学修課題：課題内容（時間）第７章の講読（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）配布資料やテキスト内容など、授業全体について復習する。（45分） 5　研究における倫理的配慮（染谷） 授業外事前学修課題：課題内容（時間）第4章の講読（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）配布資料やテキスト内容など、授業全体について復習する。（45分） 6　研究計画書の作成（山本） 授業外事前学修課題：課題内容（時間）第1～７章の復習（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）配布資料やテキスト内容など、授業全体について復習する。（45分） 7　研究計画書の作成（山本） 授業外事前学修課題：課題内容（時間）第1～７章の復習（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）配布資料やテキスト内容など、授業全体について復習する。（45分） 授業外事前学修課題：課題内容（時間）第6章の講読（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）配布資料やテキスト内容など、授業全体について復習する。（45分 8　情報の検索と吟味（染谷） 授業外事前学修課題：課題内容（時間）第3章の講読（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）配布資料やテキスト内容など、授業全体について復習する。（45分） 9　小テスト・文献検索演習①（染谷・山本） 授業外事前学修課題：課題内容（時間）関心のある研究テーマとキーワードを考える（45分）

	授業外事後学修課題：課題内容（時間）関心のある研究テーマの論文を文献検索の続きを実施する（45分） 10 文献検索演習②（染谷・山本） 授業外事前学修課題：課題内容（時間）関心のある研究テーマとキーワードを考える（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）関心のある研究テーマの論文を文献検索の続きを実施し文献を1部提出する（45分） 11 文献クリティーク（染谷） 授業外事前学修課題：課題内容（時間）第3章の講読（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）配布資料やテキスト内容など、授業全体について復習する。（45分） 12 文献クリティーク演習①（染谷・山本） 授業外事前学修課題：課題内容（時間）第3章の文献の読み方（クリティーク）を講読（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）配布資料やテキスト内容など、授業全体について復習する。（45分） 13 文献クリティーク演習②（染谷・山本） 授業外事前学修課題：課題内容（時間）第13回授業を復習しクリティークについて理解する（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）提出した論文からグループで1つ選び研究論文クリティーク用紙を作成する（45分） 14 文献クリティーク発表①（染谷・山本） 授業外事前学修課題：課題内容（時間）発表資料を作成する。（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）看護研究についてまとめる（30分） 15 文献クリティーク発表②（染谷・山本） 授業外事前学修課題：課題内容（時間）発表資料を作成する。（60分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）看護研究についてまとめる（30分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク、プレゼンテーション
課題のフィードバック方法と時期	出席カードでその都度、わからない箇所について説明を行う。 オフィスアワーの活用
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法　：　定期試験 評価割合　：　40％ 評価基準　：　到達目標で示す範囲にある。 学習内容の理解を問う設問で、記述選択方式で評価する。 履修目標との対応　：　①②③④⑤ 評価方法　：　小テスト 評価割合　：　20％ 評価基準　：　重要な知識や理解が求められる項目を重点的に出題し、その理解度を確認する。 履修目標との対応　：　①②③⑤ 評価方法　：　演習と発表 評価割合　：　40％ 評価基準　：　ルーブリック参照 履修目標との対応　：　①②③④⑤
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	坂下玲子他著　看護研究　第2版　医学書院　2024年 授業中に必要な資料は配布もしくは紹介します。
実務経験のある教員による授業	看護師としての実務経験をもとに授業を行います。
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワー：火曜日12時10分～13時 連絡先：山本　hyamamoto@soei.ac.jp　染谷　nsomeya@soei.ac.jp
備考	研究ゼミナールとしての卒業研究活動の基盤となる科目です。主体的な参加を期待します。 以下に留意してください。 ・演習時はPCが持参できる学生さんは持参してください。 ・30分以内の遅刻・早退３回で欠席１回とみなします。 ・6回以降の欠席は履修となりません。 ・学校感染症の場合は学習保障を行いますので必ず手続きをすること

講義科目名称： 研究ゼミナール

英文科目名称： Research Seminar

授業コード： 25G114A 25G114C 25G114D 25G114E 25G114F 25G114G 25G114H 25G114I 25G414

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	４年	２単位	必修
担当教員			
山本洋美　全教員			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	看護の対象となる人々の尊厳を守り、考えて行動することができる。
履修条件	2年次までの必修科目の単位を履修していること
授業概要	研究課題について少人数によるディスカッションや文献検索を通して深め、看護研究で学んだ基礎的知識をもとに研究計画書を作成する。必要に応じて研究倫理審査を受ける。これらを通して看護研究の基本的知識・技術・態度を養う。担当教員のもとに少人数で演習を行い、テーマに基づき研究論文を作成します。
履修目標	①授業や実習などを通して得られた知識、関心や疑問をもとに研究課題を明らかにすることができる。 ②研究課題を絞り込み研究目的を明らかにすることができる。 ③研究目的にそってデータを収集し、分析を行うことができる。 ④得られた結果の意味や意義について考察することができる。 ⑤研究によって得られた知見をまとめ、論文および抄録を作成し、抄録を提出することができる。 ⑥研究における基礎的知識を理解することができる。 ※適宜加減してください。
授業計画・授業外学修課題	1　研究領域を決定し、指導教員のもとで研究を開始する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間）各回、教科書・参考文献・関連文献の講読（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）指導教員の提示課題の実施（45分） 2～8　研究課題を絞りこむために文献検索を行い、論文の読み方を参考に論文を読む 授業外事前学修課題：課題内容（時間）各回、教科書・参考文献・関連文献の講読（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）指導教員の提示課題の実施（45分） 8～13　研究課題（テーマ）の決定と研究計画書の作成、および研究を実施する必要な場合は、研究倫理審査に必要書類を準備し審査を受ける。 授業外事前学修課題：課題内容（時間）各回、教科書・参考文献・関連文献の講読（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）指導教員の提示課題の実施（45分） 14～22　研究の実施を継続し、データ分析を行う。 授業外事前学修課題：課題内容（時間）各回、教科書・参考文献・関連文献の講読（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）指導教員の提示課題の実施（45分） 23～28　研究結果の解析と考察を行う。 授業外事前学修課題：課題内容（時間）各回、教科書・参考文献・関連文献の講読（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）指導教員の提示課題の実施（45分） 29・30　卒業論文の作成と抄録の作成を提出する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間）各回、教科書・参考文献・関連文献の講読（45分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）指導教員の提示課題の実施（45分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク、個人ワーク、プレゼンテーションを行います。
課題のフィードバック方法と時期	担当教員が各研究課題をもとに適時説明を行います。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：その他 評価割合：100％ 評価基準：評価表・課題への取り組みと提出された研究計画書、研究論文に関してゼミ担当教員が評価 ※評価は研究ゼミナール学習到達指標（評価表）参照
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	「看護研究」で使用したテキスト及び資料
実務経験のある教員による授業	担当教員は看護師、保健師、助産師の臨床経験と看護研究経験を有しており、その経験を活かして、学生の研究テーマに沿った研究指導を行います。
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワー：月曜日12時10分～13時00分 連絡先:山本　hyamamoto@soei.ac.jp　青山　maoyama@soei.ac.jp
備考	担当教員と連絡を密に取り、研究に取り組んでください。 研究ゼミナールに出席し個別学習の場合は日程を忘れずにメモしておいてください。 最終日に担当教員にその時間も提出します。 3年前期で履修した看護研究の理解を深めたうえで主体的に取り組んでください。 研究態度として、欠席する際は必ず担当教員に連絡してください。 研究ゼミナールの手引きを必ず熟読して論文作成してください。

講義科目名称： 統合実習　　授業コード： 25G415

英文科目名称： Integration & Practice for Nursing： Clinical Practicum

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	４年	２単位	必修
担当教員			
岩谷正美/看護学部、山下麻実、大久保昭宏、那須実千代、あべ野ゆう子、奥山聡子、藍木桂子			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	看護学を体系的に捉え、健康・発達課題を発見・分析・解決する能力を身につけた人。 相手をかけがえのない存在として尊重し、思いやりを持って考えて行動のできる人。
履修条件	看護管理学、医療安全学の単位を修得し、全実習科目を履修していること。
授業概要	４年間の学修を統合し、対象者に応じた看護提供のあり方、医療・看護提供の仕組みについて看護マネジメントの視点から理解する。 入院から退院までの患者の健康回復過程に看護者や医療従事者がどのようにかかわっているか、医療チームの中でリーダーシップ、フォロワーシップについて学ぶ。 複数患者の受持ち体験を通して、優先順位を考えたアセスメント力、統合力、看護実践能力を高める。 また、入院患者に対してどのような退院支援がなされ、地域との連携がされているか、看護はどのように継続されているかを、専門職の連携、継続看護の視点から理解する。
履修目標	看護の現場において専門職との連携・協働のなかで看護職としてのフォロワーシップやリーダーシップについて理解し看護マネジメントができる能力を身につける。保険・医療・福祉の場面で、多職種連携がどのようになされているか、また看護は24時間、365日を通してどのように継続されているかをチーム医療、継続看護の視点から臨地で体験を通して考える。 ①　メンバー・リーダー・看護師長の参与観察を通してリーダーシップ・フォロワーシップ、及び看護を継続する仕組みとマネジメントの視点について述べることができる。 ②　複数患者を受持ち、それぞれの患者のニーズや優先順位を考え、チームの一員として安全に看護を提供することができる。 ③　院内組織の見学や入院患者のケア場面を通して、専門職間の連携・協働がどのようになされ、退院支援や地域連携がされているかを理解し説明することができる。 ④　看護専門職として、看護実践における自己の課題を明らかにすることができる。 ⑤　自己の行動に責任を持ち実習に取り組むことができる。
授業計画・授業外学修課題	第1週1日目　オリエンテーション、学内演習 全体オリエンテーション、施設別オリエンテーション、学内演習、事前課題の確認 ＊実習の詳細は、令和6年度統合実習　実習要項に記載されている。事前によく読むこと。 授業外事前学修課題：事前課題および様式１を作成し、担当教員に確認してもらう（90分） 授業外事後学修課題：本日のオリエンテーション内容の復習、実習準備を行う（90分） 第1週2日目　実習施設で実習を行う 授業外事前学修課題：実習の事前準備を行う（90分） 授業外事後学修課題：実習記録のまとめ、リフレクション（90分） 第1週3日目　実習施設で実習を行う 授業外事前学修課題：実習の事前準備を行う（90分） 授業外事後学修課題：実習記録のまとめ、リフレクション（90分） 第1週4日目　実習施設で実習を行う 授業外事前学修課題：実習の事前準備を行う（90分） 授業外事後学修課題：実習記録のまとめ、リフレクション。中間評価のためにルーブリック評価表に記載する（90分） 第1週5日目　実習施設で実習を行う 中間カンファレンスを行う 授業外事前学修課題：実習の事前準備を行う（90分） 授業外事後学修課題：実習記録のまとめ、リフレクション（90分） 第2週6日目　実習施設で実習を行う 授業外事前学修課題：実習の事前準備を行う（90分） 授業外事後学修課題：実習記録のまとめ、リフレクション（90分） 第2週7日目　実習施設で実習を行う 授業外事前学修課題：実習の事前準備を行う（90分） 授業外事後学修課題：実習記録のまとめ、リフレクション（90分） 第2週8日目　実習施設で実習を行う 授業外事前学修課題：実習の事前準備を行う（90分） 授業外事後学修課題：実習記録のまとめ、リフレクション、様式４を記載する。（90分） 第2週9日目　実習施設で実習を行う

		授業外事前学修課題：実習の事前準備を行う（90分） 授業外事後学修課題：実習記録のまとめ、リフレクション、実習で学んだことをまとめる。ルーブリック評価を行う（90分）
	第2週10日目	学内演習 ・実習のまとめ ・グループワーク（意見交換） ・プレゼンテーション準備 ・プレゼンテーション ・実習評価 ・評価面接 授業外事前学修課題：実習で学んだことをまとめる（90分） 授業外事後学修課題：プレゼンテーションを聞いて学んだことをまとめ、自分の今後の課題を考える（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	急性期病院での実習である。 学内では、グループディスカッション、ICTを用いた事前学習、アイスブレイク及びチームビルディング演習、パワーポイントを用いたプレゼンテーションを行う。	
課題のフィードバック方法と時期	実習中は病院内でカンファレンスを行う。 1週目にルーブリックを用いた中間評価を行う。最終日にルーブリックを用いた評価を行う。	
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：実習目標に合わせた評価をルーブリックを用いて行う 評価割合：100％ 評価基準：ルーブリック 履修目標との対応：①②③④⑤	
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	看護管理学の教科書、今までの実習で使用した資料、教科書。	
実務経験のある教員による授業	看護師実務経験のある教員が担当します。	
オフィスアワー・連絡先	実習担当教員はClassroomを使ってお知らせをします。確認漏れがないようにしてください。 科目責任者	
備考	Classroomを使ってお知らせをします。確認漏れがないようにしてください。	

講義科目名称： 養護概説　　授業コード： 25T102

英文科目名称： Introduction to School Health Nursing

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	２年	２単位	自由
担当教員			
藤原　瑞穂/看護学部			
講義			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	養護教諭課程必修科目
授業概要	養護教諭の本質と概念中心に養護教諭として必要な資質形成や力量を高めることをねらいとする。具体的には学校保健の意義、しくみ及び養護教諭の役割を踏まえながら、児童・生徒の健康問題を把握し、それらの問題解決方法を学ぶ。さらに事項・生徒の保健的能力育成を目的とした働きかけの重要性とその方法が理解でき、学校における組織・地域を包括した活動の展開について学修する。
履修目標	①「養護」の概念について説明することができる。 ②養護教諭の職務について理解し記述することができる。 ③学校における児童生徒の健康課題を理解し課題解決に向けて支援方法を述べることができる。 ④学校内の保健組織活動及び地域との連携の重要性を説明することができる。 ⑤専門職としての養護教諭観を示すことができる。
授業計画・授業外学修課題	1　オリエンテーション/養護教諭の歴史と活動 授業の進め方、予習・復習方法、養護教諭の歴史など 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 小・中・高等学校に勤務していた養護教諭の活動を振り返り、ノートにまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業資料をもとに「養護教諭の歴史」をノートにまとめる。（90分） 2　養護教諭制度の沿革と職務内容の変遷 養護教諭に関する制度や職務・役割について 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト「養護教諭の役割」を読み、不明な語句を調べる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 「学校保健安全法からみる養護教諭の役割」についてノートにまとめる。（90分） 3　保健室の機能と保健室経営 保健室設置に関する法的根拠、保健室利用状況、保健室経営計画などについて 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト「保健室及び保健室経営」を読み、不明な語句を調べる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業中が作成した学校保健経営計画について、授業資料やテキストを参考に追記する。（90分） 4　児童生徒の健康問題把握の方法（臨床推論という視点） 児童生徒の健康問題を把握する手法について 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配付された資料を読み、不明な語句を調べる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で扱った外科または内科の事例の健康問題を把握する手法をノートに整理する。（90分） 5　健康診断と事後措置 健康診断の法的根拠、健康診断の種類、健康診断の検査項目、方法及び技術的基準、事後措置方法など 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト「健康診断」を読み、不明な語句を調べる。 授業外事後学修課題：課題内容（時間） テキスト「健康診断時に注意すべき疾病及び異常」を読み、重要箇所をノートに整理する。（90分） 6　健康問題の解決の方法（１）身体的援助 身体的援助に関するロールプレイ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト「心のケア」「健康観察」を読み、児童生徒の対応を行う際の留意点を整理する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で実施したロールプレイで、対応が難しかった点を振り返り、どうすればよかったかを検証し、ノートにまとめる。（90分） 7　健康問題の解決の方法（２）心理精神的援助 心理精神的援助に関するロールプレイ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト「心のケア」「健康観察」を読み、児童生徒の対応を行う際の留意点を整理する。（90

	分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で実施したロールプレイで、対応が難しかった点を振り返り、どうすればよかったかを検証し、ノートにまとめる。（90分） 8　学校教育における養護教諭の役割 養護教諭の役割についてのディベート 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護教諭の役割について、テキスト・新聞・書籍・インターネットを活用した公的機関の情報から整理する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 養護教諭の役割について、自己の考えを整理して、ノートにまとめる。（90分） 9　保健指導・保健学習（外部講師） 保健教育について 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト「学校保健と教育課程」「小学校/中学校/高等学校における保健教育」を読み、不明な語句を調べる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） テキスト「保健教育の評価と指導要録」の内容を読み、「保健教育の評価」についてノートにまとめる。（90分） 10　健康相談活動 健康相談の法的根拠、教職員の役割について 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト「健康相談と保健指導」を読み、不明な語句を調べる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業資料、テキストから、養護教諭と他の教職員が行う健康相談の相違点をノートにまとめる。（90分） 11　健康問題の予防（１）感染症　　（２）学校安全・学校環境衛生 健康問題を予防するため管理・教育について 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト「学校環境衛生」「感染症の予防」「学校安全」を読み、不明な語句を調べる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 健康問題を予防するための養護教諭の役割について、ノートにまとめる。（90分） 12　養護教諭の活動の実際（１）学校保健組織、校内及び地域との連携（外部講師） 学校内外の組織との連携について 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト「学校保健に関する学校内の体制」を読み、不明な語句を調べる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学校保健委員会の設置理由と地域連携について、ノートにまとめる。（90分） 13　養護教諭の活動の実際（２）児童生徒の対応、健康支援 救命救急　学校で起こりやすい救急処置について 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト「救急措置」の内容を読み、不明な語句を調べる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で学んだCPRの方法、テキスト「傷病別のファーストエイドと留意事項」について、ノートにまとめる。（90分） 14　養護教諭の活動の実際（３）児童生徒の対応、健康支援 応急処置・予防的対応 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト「救急措置」の内容を読み、不明な語句を調べる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業で学んだ搬送法、止血法、包帯の巻き方、固定方法等を復習する。（90分） 15　養護教諭の活動の評価と研究 養護教諭のライフステージ、研究・研修の必要性について 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前配付資料を読み自己の考えをノートにまとめる。 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容や事前学修でまとめた自己の考えを振り返り、養護教諭の専門性を向上するために必要な事柄をノートにまとめる。
アクティブラーニングを用いた授業方法	各回にて、グループディスカッション、グループワークやペアワーク、チーム基盤型学習、プレゼンテーション、ディベート等を行います。
課題のフィードバック方法と時期	・レポートについては、次の授業回で振り返りや質疑応答を行います。 ・各回のリフレクションペーパーのフィードバックは、次の授業時に行います。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：60％ 評価基準：授業で学んだことを理解できれば60点 履修目標との対応：①○　②○　③○　④○　⑤○ 評価方法：レポート 評価割合：25％ 評価基準：根拠をもとに自分の意見を端的にまとめることができ、指示された文字数であれば60点

	履修目標との対応：①○　②○　⑤○ 評価方法：授業への取り組み 評価割合：15% 評価基準：グループワークや発表、リフレクションペーパーの内容等、他者と協力し、主体的に取り組む様子が見られれば60点 履修目標との対応：②○　③○　④○　⑤○
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：新訂版　学校保健実務必携（第５次改訂版）,学校保健・安全実務研究会編著,第一法規,2020,ISBN978-4-474-06863-6 参考書：授業時にその都度紹介する
実務経験のある教員による授業	該当 小学校、高等学校、大学での現場経験を活かし、理論とともに実践的な知見を伝える。
オフィスアワー・連絡先	火曜日　9：00-12：00 金曜日　9：00-12：00 連絡先：藤原瑞穂　mfujiwara@soei.ac.jp
備考	

講義科目名称： 健康相談活動及び方法　　授業コード： 25T103

英文科目名称： Health Consultation Activity and Method

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	３年	２単位	自由
担当教員			
藤原　瑞穂/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	養護教諭課程必修科目
授業概要	養護教諭が行う健康相談活動の概念と特徴を学び、実際に健康相談活動を進めるための理論と技法について学ぶ。養護教諭は児童・生徒の健康ニーズを把握し、心身の健康支援を行う。我が国は、社会的・家庭的な状況の変化により、児童生徒の心理は多様化・複雑化し、学校現場では児童生徒の不登校、いじめ、引きこもり等児童生徒のこころのケアが重要視されており、養護教諭が行う健康相談活動が期待されている。本講義では、児童生徒のこころの課題に対して、演習を通じて養護教諭の役割を理解し、支援の技法を修得する。
履修目標	①学校における健康相談についての理解を深め、説明できる。 ②養護教諭の行う健康相談の意義と健康相談の進め方を理解し、説明できる。 ③健康相談の理論と技法を説明できる。 ④健康相談に必要な知識とカウンセリングの技法を理解する。 ⑤事例を通して、健康相談の具体的な支援方法や支援体制等の実務を理解し、実践できる。
授業計画・授業外学修課題	1　オリエンテーション（授業の目的、学修方法）、自分を知る 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に紹介された資料を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をまとめる。（90分） 2　教育相談・健康相談・健康相談活動とは 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に紹介された資料を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をまとめる。（90分） 3　健康相談に関わる諸理論 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に紹介された資料を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をまとめる。（90分） 4　教育相談と健康相談 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に紹介された資料を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をまとめる。（90分） 5　健康相談に必要な資質・能力・技術 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に紹介された資料を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をまとめる。（90分） 6　養護教諭の健康相談活動 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に紹介された資料を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をまとめる。（90分） 7　児童生徒の健康問題の現状と課題 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に紹介された資料を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をまとめる。（90分） 8　健康相談活動の理論とプロセス　ヘルスアセスメント 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に紹介された資料を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をまとめる。（90分） 9　健康相談活動の理論とプロセス　心身相関理論 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に紹介された資料を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をまとめる。（90分） 10　健康相談活動の理論とプロセス　連携　教育職・他職種 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に紹介された資料を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分）

	授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をまとめる。（90分） 11　児童生徒への支援　ロールプレイ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に紹介された資料を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をまとめる。（90分） 12　危機的状況時の対応 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に紹介された資料を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をまとめる。（90分） 13　健康相談活動の実際 ① 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に紹介された資料を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をまとめる。（90分） 14　健康相談活動の実際② 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に紹介された資料を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をまとめる。（90分） 15　健康問題と児童生徒への支援の具体案の検討 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に紹介された資料を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をまとめる。（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	各回において、グループワーク、ロールプレイ等を行う。
課題のフィードバック方法と時期	・レポートについては、次の授業回で振り返りや質疑応答を行います。 ・各回のリフレクションペーパーのフィードバックは、次の授業時に行います。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：デモンストレーション（ロールプレイ） 評価割合：55% 評価基準：健康相談に必要な基礎的知識を踏まえた対応ができれば60点 履修目標との対応：①○　②○　③○　④○　⑤○ 評価方法：レポート 評価割合：30% 評価基準：根拠をもとに自分の意見を端的にまとめることができ、指示された文字数であれば60点 履修目標との対応：①○　②○　⑤○ 評価方法：授業への取り組み 評価割合：15% 評価基準：グループワークや発表、リフレクションペーパーの内容等、他者と協力し、主体的に取り組む様子が見られれば60点 履修目標との対応：②○　③○　④○　⑤○
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト・参考書：授業時に適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	該当 小学校、高等学校、大学での現場経験を活かし、理論とともに実践的な知見を伝える。
オフィスアワー・連絡先	火曜日　9：00-12：00 金曜日　9：00-12：00 連絡先：藤原瑞穂　mfujiwara@soei.ac.jp
備考	

講義科目名称： 教職概論（養護教諭）　　授業コード： 25T104

英文科目名称： Introduction to the Teaching Profession

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年	２単位	自由
担当教員			
藤原　瑞穂/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	養護教諭課程必修科目
授業概要	教職の社会的使命、職業としての特質等について、社会から求められていること、諸課題への対応した仕事の進め方、学校組織内の諸関係のとり結び方、さらには「チーム学校」の実践などについて学ぶ。
履修目標	①教職について様々な側面から考え、説明できる。 ②教師・教員の職務の特徴や意義、社会的責任について理解し、説明することができる。 ③学校の現代的役割や課題と関連づけて、これからの教員に必要な資質・能力を説明することができる。 ④授業受講前後の自身の教職観を比較し、その違いを具体的に述べることができる。 ⑤教職の難しさと醍醐味を理解し、自己の教師像をイメージできる。
授業計画・授業外学修課題	1　ガイダンス～教職の方法論について～ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストの該当箇所を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 2　教師の仕事から小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教師の仕事～ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストの該当箇所を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 3　教師の服務・教師に関係する法律～働く場について考える～ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストの該当箇所を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 4　授業論～「教授・学習」というコンセプトについて考える～ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストの該当箇所を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 5　学習の主体としての教師～教師のキャリア発達～ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストの該当箇所を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 6　カリキュラム及びカリキュラムマネジメント 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配付された資料を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 7　子ども観～教師と子どもの関係性を考える～ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストの該当箇所を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 8　保護者観～教師と保護者の関係性について考える～ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配付された資料を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 9　同僚観～同僚との相互の関係性について考える～ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配付された資料を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 10　事例を通して考える学校内の様々な関係性 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストの該当箇所を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 11　教育課題と教師（その１）非行、いじめ、不登校などの諸課題について

	グループワーク、グループ発表 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストの該当箇所を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 12　教育課題と教師（その２）子どもの社会的背景、貧困などの諸課題について グループワーク、グループ発表 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストの該当箇所を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 13　教師像の変遷～教育改革の課題と展望～ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 事前に配付された資料を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 14　チーム学校とこれまでの学校組織～協働チームに必要なこと～　外部講師 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストの該当箇所を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 15　教職とは何か、総合的に考える 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストの該当箇所を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	プレゼンテーション、グループワーク、模擬授業実践を行う。
課題のフィードバック方法と時期	・レポートについては、次の授業回で振り返りや質疑応答を行います。 ・各回のリフレクションペーパーのフィードバックは、次の授業時に行います。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：40％ 評価基準：授業で学んだことを理解できれば60点 履修目標との対応：①○　②○　③○　④○　⑤○ 評価方法：レポート 評価割合：30％ 評価基準：根拠をもとに自分の意見を端的にまとめることができ、指示された文字数であれば60点 履修目標との対応：③○　④○ 評価方法：授業への取り組み 評価割合：30％ 評価基準：グループワークや発表、リフレクションペーパーの内容等、他者と協力し、主体的に取り組む様子が見られれば60点
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：佐久間亜紀・佐伯胖、現代の教師論、ミネルヴァ書房、ISBN：9784623085361 参考書：授業時に随時紹介する
実務経験のある教員による授業	該当 小学校、高等学校、大学での現場経験を活かし、理論とともに実践的な知見を伝える。
オフィスアワー・連絡先	火曜日　9：00-12：00 金曜日　9：00-12：00 連絡先：藤原瑞穂　mfujiwara@soei.ac.jp
備考	

講義科目名称： 教育原理（養護教諭）　　授業コード： 25T105

英文科目名称： Principles of Education

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	２単位	自由
担当教員			
牛島　操/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	養護教諭課程必修科目
授業概要	教育者としての基礎的・基本的資質を身につけるため、「教育基本法」「学校教育法」に示された「教育の理念・目標等の教育原理」「教育の意義と目的」「教育の基礎的概念と日本や諸外国の教育理論」「教育の歴史：諸外国と日本の教育の歴史の概観と子ども観や教育観の変遷」について学ぶ。
履修目標	①教育の「目的」と「目標」、教育の「意義」について、教育学的見地から説明できる ②教育の歴史的変遷について基本的な事柄を説明できる ③近代教育制度の基本的事項について説明できる ④教育思想を実際の場面と関連づけて説明できる
授業計画・授業外学修課題	1　教育を原理的に学ぶ意義 養護教諭の立場について基本的な事項を理解する。教育を原理的な次元から学ぶことの意義を理解する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 図書館などで教育に関わる文献を調べる。90分 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容をノートにまとめる。90分 2　教育の現状　現代社会および現代家族と子どもたち 子どもに関わる現代社会の状況をデータなどから理解し、健やかな育ちを支えるための教育のあり方を考察する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教育に関する新聞記事を調べる。90分 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容と新聞記事を関連づけながらノートにまとめる。90分 3　教育とは何か　子どもの権利 子どもの権利に関わる条約や思潮を理解する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 子どもの権利条約と世界人権宣言を読む。90分 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 子どもの権利についてノートにまとめる。90分 4　教育とは何か　教えること・学ぶこと 「教育」「教える」「学ぶ」といった教育学上の基本的な概念について理解する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布資料を読む。90分 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内で指示する文献を読む。90分 5　教育とは何か　教育の意義・内容・目的 教育の「意義」「内容」、「目的」「目標」「方法」といった基本的概念について理解する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布資料を読む。90分 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内で指示する文献を読む、90分 6　教育の今日的課題　見える学力・見えない学力 隠れたカリキュラムや、社会的な格差が学びにどう影響するのか、教育学的視点から理解を深める 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布資料を読む。90分 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 隠れたカリキュラムについてノートにまとめる。90分 7　教育の歴史的変遷　諸外国　教育思想と教育 西欧の教育思想について理解し、教育事象を考える上での有効性を探る。

	授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布資料を読む。90分 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 配布資料について要約を作成する。90分 8　教育の歴史的変遷　日本　教育思想と教育 日本の教育思想について理解し、教育事象を考える上での有効性を探る。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布資料を読む。90分 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 配布資料についてノートにまとめる。90分 9　教育の歴史的変遷　子ども観と教育 子ども観の歴史的変遷を理解し、世代間関係のあり方を学ぶ。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布資料を読む。90分 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 子ども観について指示する文献を読む。90分 10　学校制度の成立と発展 近代学校制度の成立と発展について理解を深める。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教育関連法規に目を通す。90分 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 学校制度についてノートにまとめる。90分 11　教育内容と教育課程 教育課程のあり方について理解を深め、教育実践の次元との関連性を考察する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業の計画を立案する。90分 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業の計画を立案する。90分 12　教育の実践　教育方法と評価 教育実践とその評価のあり方について理解を深める。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 作成した指導計画を省察する。90分 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 教育評価についてノートにまとめる。90分 13　教育の実践　教育実践の多様な取り組み 多様性を尊重する社会の中で、教育がいかにあるべきかを学ぶ。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布資料を読む。90分 授業外事後学修課題：課題内容（時間） オルタナティブ教育について調べ、まとめる。90分 14　現代社会と教育課題 現代社会における教育課題について、具体的な内容を理解する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 現代的な教育課題についてインターネットなどで調べる。90分 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 教育の現代的課題について私見をまとめる。90分 15　教育の多様性と本質 多様な教育のあり方を理解すると同時に、教育の本質について考察する。 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 配布資料を読む。90分 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 多様性を認める教育のあり方について考えをまとめる。90分
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワークを行う。反転授業を取り入れる
課題のフィードバック方法と時期	グループワークを行う。反転授業を取り入れる
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：小テスト 評価割合：30% 評価基準：授業内容を正確に理解できたか 履修目標との対応：①②③④

	評価方法：レポート試験 評価割合：20％ 評価基準：授業内容について適切なコメントができていれば60％ 履修目標との対応：④ 評価方法：ワークシートや授業計画の立案・発表 評価割合：40% 評価基準：養護教諭の立場を考慮して教育活動を考案できるか 履修目標との対応：① 評価方法：平常点評価 評価割合：10％ 評価基準：発言の中で体験を言語化できていれば60％ 履修目標との対応：
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	授業内で配布する
実務経験のある教員による授業	担当教員は教諭経験を有しており、その経験を活かして、将来のための必要かつ実践的な授業を展開します。
オフィスアワー・連絡先	火曜日、木曜日の昼休みに行います。 mushijima@soei.ac.jp
備考	30分以内の遅刻・早退計３回で欠課１回となります。注意してください。 欠席するときは、事前に連絡してください。 授業内容やスケジュールを調節することがあります。

講義科目名称： 発達心理学（養護教諭）　　授業コード： 25T106

英文科目名称： Developmental Psychology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	２単位	自由
担当教員			
藤原　瑞穂/看護学部　　山口　智美/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	養護教諭課程必修科目
授業概要	人の発達についての諸概念および諸理論、発達段階とその特徴、発達の各時期におこる運動、認知、社会性などの発達の具体的内容を学び、学習活動を支える指導に重要な心理的特性についての理解を具体的な事例をもとに深めていく。
履修目標	①生涯発達の視点を理解し説明できる。 ②発達の代表的理論を踏まえ、発達の概念および教育における発達理論の意義を理解し、説明できる。 ③乳幼児期から青年期の各時期の運動・言動・認知・社会性等の発達についての具体的内容を提示できる。 ④幼児、児童・生徒の心身の発達の課程を説明できる。 ⑤発達障害児・者の行動特性についての理解と説明ができる。
授業計画・授業外学修課題	1　人の発達とは（藤原） 発達心理学史から捉える子ども観や発達の概念の変遷 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト1章の『コラム』を熟読し、不明な用語を調べる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容の要点を整理するとともに、テキスト1章の『課題』に取り組む。（90分） 2　発達心理学の理論（藤原） 発達の原理　遺伝と環境　発達段階と発達課題 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト2章の『コラム』を熟読し、不明な用語を調べる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容の要点を整理するとともに、テキスト2章の『課題』に取り組む。（90分） 3　発達心理学の諸理論（藤原） 認知発達理論、心理社会的発達理論等 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト6章の『コラム』を熟読し、不明な用語を調べる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容の要点を整理するとともに、テキスト6章の『課題』に取り組む。（90分） 4　心の理論・対人関係の発達（藤原） 心の発達、児童期以降の仲間関係等 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト9章の『コラム』を熟読し、不明な用語を調べる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容の要点を整理するとともに、テキスト9章の『課題』に取り組む。（90分） 5　道徳性の発達（藤原） 道徳性と向社会性の発達 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト10章の『コラム』を熟読し、不明な用語を調べる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容の要点を整理するとともに、テキスト10章の『課題』に取り組む。（90分） 6　青年期以降の発達（藤原） 性役割の諸問題 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストｐ116～121を熟読し、不明な用語を調べる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容の要点を整理するとともに、配付資料から性役割についてノートにまとめる。（90分） 7　アタッチメント　感情・情動の発達　（藤原） 情動の発達とアタッチメント理論 授業外事前学修課題：課題内容（時間）

		テキスト4章の『コラム』を熟読し、不明な用語を調べる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容の要点を整理するとともに、テキスト4章の『課題』に取り組む。（90分）
	8	発達課題（藤原） アイデンティティーの形成 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト8章を熟読し、不明な用語を調べる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容の要点を整理するとともに、テキスト8章の『課題』に取り組む。（90分）
	9	自己決定理論　（藤原） 動機づけと学習 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 自己決定理論やそれに関連する用語を調べる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容の要点を整理するとともに、教師として子どものやる気を育てる言葉をノートにまとめる。（90分）
	10	幼児期のことば（藤原） 言語の発達 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト5章の『コラム』を熟読し、不明な用語を調べる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容の要点を整理するとともに、テキスト5章の『課題』に取り組む。（90分）
	11	学習理論から見た発達（藤原） 記憶と認知の発達 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト7章の『コラム』を熟読し、不明な用語を調べる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容の要点を整理するとともに、テキスト7章の『課題』に取り組む。（90分）
	12	乳幼児期からの運動発達　　胎児期から乳幼児期、親子関係の形成とパーソナリティの発達（山口） 発達支援について 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 行政機関等行われている乳幼児の発達支援について調べる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容の要点を整理し、ノートにまとめる。（90分）
	13	幼児期の発達、認知、社会性（山口） 認知や社会性の発達の障害と幼児期の支援について 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト12章の内容を熟読し、不明な用語を調べる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容の要点を整理し、ノートにまとめる。（90分）
	14	発達障害　（藤原） 主な特徴と支援（学童期～思春期） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト13の内容を熟読し、不明な用語を調べる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容の要点を整理するとともに、テキスト13章の『課題』に取り組む。（90分）
	15	まとめ（藤原） 生涯発達としての発達を捉える 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキスト11章のキーワードについて、不明な用語を調べる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容の要点を整理するとともに、テキスト11章の『課題』に取り組む。（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法		各回にて、グループディスカッション、グループワークやペアワーク、チーム基盤型学習、プレゼンテーション等を行います。
課題のフィードバック方法と時期		・レポートについては、次の授業回で振り返りや質疑応答を行います。 ・各回のリフレクションペーパーのフィードバックは、次の授業時に行います。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応		評価方法：筆記試験 評価割合：60％ 評価基準：授業で学んだことを理解できれば60点 履修目標との対応：①○　②○　③○　④○

	評価方法：レポート 評価割合：10% 評価基準：課題に即した内容で、指示された体裁で文章の提出ができれば60点。ルーブリック参照 履修目標との対応：②○　④○　⑤○ 評価方法：授業への取り組み 評価割合：30% 評価基準：グループワークや発表、リフレクションペーパーの内容等、他者と協力し、主体的に取り組む様子が見られれば60点 履修目標との対応：①○　②○　③○　④○　⑤○
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：教えと学びを考える　発達心理学　、高平小百合編著、玉川大学出版部 参考文献：①手にとるように発達心理学がわかる本、小野寺敦子、かんき出版　②よくわかる　発達心理学、渡辺弥生、ナツメ社
実務経験のある教員による授業	該当 小学校、高等学校、大学での現場経験を活かし、理論とともに実践的な知見を伝える。
オフィスアワー・連絡先	火曜日　9：00-12：00 金曜日　9：00-12：00 連絡先：藤原瑞穂　mfujiwara@soei.ac.jp
備考	

講義科目名称： 教育社会学（養護教諭）　　授業コード： 25T107

英文科目名称： Sociology of Education

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年	２単位	自由
担当教員			
小林　伸一			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	養護教諭課程必修科目
授業概要	教育社会学の基礎的な概念を学び、現代の家庭と地域、学校における教育の在り様を考察できるようにする。教育社会学の様々な方法論を学習し、文化的・社会的環境と教育、社会化のプロセス、家庭における子育てと教育、近代国家における義務教育制度の特質と機能、社会階層と文化伝達、学歴主義の系譜、子ども社会の変容、潜在的カリキュラムとジェンダーについて、事例を取り上げながら学ぶ。
履修目標	①個々の教育事象について教育社会学的な視点で考える力を養う。 ②現代の教育上の諸問題について、その要因や背景について解釈し、説明する。 ③教育社会学の論文を読み、疑問点などをまとめ、その内容をプレゼンテーションする。
授業計画・授業外学修課題	1　オリエンテーション 学習した内容をまとめ、次回に質問する。（90分） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 2　教育社会学の歴史 学習した内容をまとめ、次回に質問する。（90分） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 3　教育社会学の基礎 学習した内容をまとめ、次回に質問する。（90分） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 4　社会の中で生きるということ　社会・文化・教育 学習した内容をまとめ、次回に質問する。（90分） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 5　学校化社会（学校と地域の連携） 発表内容をまとめ疑問点などについて調べる。（90分） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 6　学歴と社会 発表内容をまとめ疑問点などについて調べる。（90分） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 7　少子化社会の家族と子ども 発表内容をまとめ疑問点などについて調べる。（90分） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 8　子どもの貧困　学力と意欲の階層差 発表内容をまとめ疑問点などについて調べる。（90分） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 9　教育とジェンダー 発表内容をまとめ疑問点などについて調べる。（90分） 授業外事前学修課題：課題内容（時間）

	授業外事後学修課題：課題内容（時間） 10　学校教育カリキュラム　顕在的カリキュラム・潜在的カリキュラム 発表内容をまとめ疑問点などについて調べる。（90分） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 11　IT社会と若者 発表内容をまとめ疑問点などについて調べる。（90分） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 12　学校教育の諸問題（不登校・いじめ・体罰等）と学校安全への対応 発表内容をまとめ疑問点などについて調べる。（90分） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 13　青少年の非行と教育 発表内容をまとめ疑問点などについて調べる。（90分） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 14　生涯学習社会 発表内容をまとめ疑問点などについて調べる。（90分） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 15　現代社会における教育政策の方向 これまでに学習した内容についてまとめる。（90分） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）
アクティブラーニングを用いた授業方法	ペアワーク、グループワークを随時実施
課題のフィードバック方法と時期	リフレクションの内容を次回の初めにフィードバックし、質疑応答の時間をとる。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：50％ 評価基準：教育社会学のキーワードの意味がわかれば60％ 履修目標との対応：①　② 評価方法：レポート 評価割合：30％ 評価基準：内容に関するコメントができていれば60％ 履修目標との対応：①　② 評価方法：その他 評価割合：20％ 評価基準：プレゼンテーション：内容に関する自分の考えとその根拠を述べていれば70％ 履修目標との対応：③
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：特になし 参考文献：授業に随時紹介する。
実務経験のある教員による授業	該当：実務経験の中での事例を導入部や展開部で提示する。
オフィスアワー・連絡先	非常勤講師控室（昼休み）
備考	

講義科目名称： 教育課程と指導計画（養護教諭）　　授業コード： 25T108

英文科目名称： Curriculum and Instruction Planning

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年	２単位	自由
担当教員			
牛島　操/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	養護教諭課程必修科目
授業概要	学校教育の運営においては、その全体計画としての教育課程が子どもの育ちに沿うものであることが重要である。そのために本講義では、教育内容の変遷と教育課程の関係、教育課程の編成や評価に関しての理解を深める。さらに、これらを踏まえた上で、長期・短期の指導計画について具体的に学修する。また、個々の対応についても学ぶ。
履修目標	①教職課程やカリキュラムの基本的構造を説明できる。 ②具体的な指導計画の作成の実践や振り返りを通した評価について説明できる。 ③カリキュラム・マネジメントの理念と実践について説明できる。 ④教育課程やカリキュラムに関する様々なコンセプトを自分の言葉で語り、実践をイメージできる。
授業計画・授業外学修課題	1　オリエンテーション～時間割と教育課程～ 内容をまとめ、考えたことを次回に発表（90分） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 2　教育課程とカリキュラム 内容をまとめ、考えたことを次回に発表（90分） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 3　教育課程に関する法規と学修指導要領 内容をまとめ、考えたことを次回に発表（90分） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 4　教育課程の歴史的変遷 内容をまとめ、考えたことを次回に発表（90分） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 5　学習指導要領の変遷 内容をまとめ、考えたことを次回に発表（90分） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 6　教育課程編成の全体構造 内容をまとめ、考えたことを次回に発表（90分） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 7　教育課程の編成と実施指導計画の作成 内容をまとめ、考えたことを次回に発表（90分） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 8　教育課程実施上の配慮事項 内容をまとめ、考えたことを次回に発表（90分） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 9　学習指導案の作成手順 作成のポイントをまとめ疑問点を次回に発表（90分）

	授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 10　学習指導案作成の演習と模擬授業 内容をまとめ、考えたことを次回に発表（90分） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 11　授業方法の理論と具体的展開 内容をまとめ、考えたことを次回に発表（90分） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 12　教育評価の理論と方法 内容をまとめ、考えたことを次回に発表（90分） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 13　カリキュラム・マネジメントの意義 内容をまとめ、考えたことを次回に発表（90分） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 14　カリキュラム・マネジメントの具体的展開 内容をまとめ、考えたことを次回に発表（90分） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 15　教育課程とは何か～総合的に考える～ 内容をまとめ、考えたことを次回に発表（90分） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間）
アクティブラーニングを用いた授業方法	テーマに即してペアワークやグループワークを随時展開する。
課題のフィードバック方法と時期	毎回の授業のリフレクションペーパーの内容について次回の授業のはじめに提示し、グループワークをする。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：小テスト 評価割合：30% 評価基準：授業内容を正確に理解できたか 履修目標との対応：①②③④ 評価方法：レポート試験 評価割合：20％ 評価基準：授業内容について適切なコメントができていれば60％ 履修目標との対応：④ 評価方法：ワークシートや授業計画の立案・発表 評価割合：40% 評価基準：養護教諭の立場を考慮して教育活動を考案できるか 履修目標との対応：① 評価方法：平常点評価 評価割合：10％ 評価基準：発言の中で体験を言語化できていれば60％ 履修目標との対応：
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：必要に応じてプリントや資料を配布する。 参考文献：高等学校学習指導要領、中学校学習指導要領　小学校学習指導要領　文部科学省
実務経験のある教員による授業	該当：学校マネジメントの実務経験の具体的事例を導入部、展開部で提示する。
オフィスアワー・連絡先	金曜日の午後に行います。 mushijima@soei.ac.jp
備考	カリキュラムの基本構造を理解したうえで、具体的な計画の実際や評価について学び、様々なやり方で学習効果を高めるための具体的な工夫による教育方法を考えます。

講義科目名称： 道徳教育と特別活動・総合的な学習の理論と方法 授業コード： 25T109

英文科目名称： Theory and Method of Special Activities and Moral Education

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年	２単位	自由
担当教員			
榮　秀幸			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	3　看護の専門的知識・技術（及び倫理的態度）に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる。
履修条件	養護教諭課程必修科目
授業概要	道徳の意義や原理等の学びを基に、道徳教育、特別活動、総合的な学習の時間 及び特別活動のそれぞれの特質に応じて，児童（中学校：生徒）の発達の段階を考慮した，総合的な学習の意義を踏まえた適切な道徳教育における指導を考え、具体的に指導計画を作成し、発表を行う。
履修目標	①道徳の意義や原理等を踏まえた上で、学校における道徳教育の目標や内容を理解し説明できる。 ②特別活動の意義、目標及び内容を理解し述べることができる。 ③総合的な学習の時間の意義や、目標及び内容を定める際の考え方を理解し説明できる。 ④総合的な学習の時間の指導計画作成の考え方を理解し工夫、作成できる。
授業計画・授業外学修課題	1　授業ガイダンス・今まで体験した道徳、特別活動及び総合的な学習の時間について（小池） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） １回目の授業に臨む予習として、事前に送付する資料をもとに学修する。さらに、１回目授業の予習として、教科書「中学校学習指導要領」Ｐ１５４～Ｐ１５８及びＰ３１２～Ｐ３１７を熟読する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 本時の内容を各自Ａ４版１枚程度にまとめる。また、授業時に配布する指定のリアクションペーパー・課題レポートを作成する。（90分） 2　道徳を学ぶ・道徳を教えるとは（近藤） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 小中学校で受けた道徳の授業を思い出して、印象深い内容を800字程度にまとめる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 他の学生の体験発表などを聞いた上で、道徳を学ぶとはどういうことかを800字程度にまとめる（90分）。 3　道徳教育の歩みと学習指導要領（近藤） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書（文部科学省『中学校学習指導要領解説―道徳編』）の第2章第2節を読んで、道徳科の目標について800字程度にまとめる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 道徳教育の歴史を踏まえて現行の学習指導要領の意味と位置づけを800字程度にまとめる（90分）。 4　道徳教育の歩みと学習指導要領（近藤） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書（文部科学省『中学校学習指導要領解説―道徳編』）の第3章第2節のうち、特にp24-25の表を参照して、小学校から中学校へと4つの発達段階における内容を800字程度にまとめる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 自分自身の小中学校の頃のことを思い出して、道徳性の発達がどうだったかを考え800字程度にまとめる（90分）。 5　道徳教育の多様な展開　特別活動、総合的な学習の時間との関係（近藤） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 教科書（文部科学省『中学校学習指導要領解説―道徳編』）の第2章第1節（特にp9-12）を参照して、他の教科等との関連性を理解し、要点を800字程度にまとめる（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 自分自身の特別活動や総合的な学習の時間の学習経験を思い出して、道徳教育との関連性がどのように図られていたか800字程度にまとめる（90分）。 6　道徳教育の指導計画（近藤） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 前回まで4回の授業で学んだ（道徳を学ぶこと教えること、道徳教育の歩みと学習指導要領、道徳性の発達、他の教科等との関連等）ことについて、自分の書いた予習ノートを振り返っておく（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） この回の授業で学んだことを踏まえて道徳の指導案を作る（90分）。 7　特別活動の意義、歴史的な背景と概要（小池） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 小学校学習指導要領解説特別活動編Ｐ１１～Ｐ３２、及び中学校学習指導要領解説特別活動編Ｐ１１～Ｐ２８を熟読し要点をまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 本時の内容を各自Ａ４版１枚程度にまとめる。また、授業時に配布する指定のリアクションペーパー・課題レポートを作成する。（90分）

	8	特別活動の目標と内容及び教育的意義（学習指導要領、教育課程上の位置づけ）（小池） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 小学校学習指導要領解説特別活動編Ｐ８４～Ｐ１１５及び中学校学習指導要領解説特別活動編Ｐ７４～Ｐ９１を熟読し、要点をまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 本時の内容を各自Ａ４版１枚程度にまとめる。また、授業時に配布する指定のリアクションペーパー・課題レポートを作成する。（90分）
	9	道徳的課題と特別活動の学習活動や児童生徒の自主活動等における取り組み（小池） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 小学校学習指導要領解説総合的な学習の時間編Ｐ８～Ｐ１７及び中学校学習指導要領解説総合的な学習の時間編Ｐ８～Ｐ１７を熟読し、要点をまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 本時の内容を各自Ａ４版１枚程度にまとめる。また、授業時に配布する指定のリアクションペーパー・課題レポートを作成する。（90分）
	10	総合的な学習の時間の教育的意義と教育課程における教科横断的な取り組み（小池） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 小学校学習指導要領解説総合的な学習の時間編Ｐ６６～Ｐ８２及び中学校学習指導要領解説総合的な学習の時間編Ｐ６２～Ｐ７９を熟読し、要点をまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 本時の内容を各自Ａ４版１枚程度にまとめる。また、授業時に配布する指定のリアクションペーパー・課題レポートを作成する。（90分）
	11	総合的学習時間の進め方（アクティブラーニング・多様な学習形態）（小池） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 小学校学習指導要領解説特別活動編Ｐ１１６～Ｐ１３５、及び中学校学習指導要領解説特別活動編Ｐ９２～Ｐ１１２を熟読し、要点をまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 本時の内容を各自Ａ４版１枚程度にまとめる。また、授業時に配布する指定のリアクションペーパー・課題レポートを作成する。（90分）
	12	各教科の連携による年間指導計画の立案（事例を通した検討）（小池） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 小学校学習指導要領解説総合的な学習の時間編Ｐ１０８～Ｐ１２３及び中学校学習指導要領解説総合的な学習の時間編Ｐ１０３～Ｐ１１９熟読し、要点をまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 本時の内容を各自Ａ４版１枚程度にまとめる。また、授業時に配布する指定のリアクションペーパー・課題レポートを作成する。（90分）
	13	総合的な学習の時間の留意点（グループワーク・課題の設定・研究方法の決定）（小池） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 小学校学習指導要領解説特別活動編Ｐ４３～Ｐ８３を熟読し、要点をまとめる。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 本時の内容を各自Ａ４版１枚程度にまとめる。また、授業時に配布する指定のリアクションペーパー・課題レポートを作成する。（90分）
	14	グループワーク・課題追求と報告準備（小池） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 学級活動（２）の模擬指導案を作成する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 本時の内容を各自Ａ４版１枚程度にまとめる。また、授業時に配布する指定のリアクションペーパー・課題レポートを作成する。（90分）
	15	研究発表（自己評価・相互評価）（小池） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 本時の内容を各自Ａ４版１枚程度にまとめる。また、授業時に配布する指定のリアクションペーパー・課題レポートを作成する。（本時の復習90分）なお、最終回のため予習時間は無し。第１回の授業に臨む予習時間（90分）を１回目授業以前に確保する。 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 本時の内容を各自Ａ４版１枚程度にまとめる。また、授業時に配布する指定のリアクションペーパー・課題レポートを作成する。（本時の復習90分）なお、最終回のため予習時間は無し。第１回の授業に臨む予習時間（90分）を１回目授業以前に確保する。
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワークやディスカッション、口頭発表などを適宜採用して授業を展開する。	
課題のフィードバック方法と時期	リアクションペーパー等のフィードバックは、次の授業時に行います。	
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：25％ 評価基準：到達目標で示す教科書等の範囲にある重要語句の意味がわかれば60％ 履修目標との対応：①②③④ 評価方法：成果発表 評価割合：30％ 評価基準：すべての条件を備えた成果発表ができれば60％ 履修目標との対応：① 評価方法：リアクションペーパー・レポート 評価割合：45％ 評価基準：毎回リアクションペーパー等で授業で学んだことを記述できれば60／100点 履修目標との対応：①②③④	
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：文部科学省『中学校学習指導要領』『中学校学習指導要領解説―道徳編』財務省印刷局　生徒指導提要 参考文献：佐野安仁・荒木紀幸 編著『道徳教育の視点』晃洋書房 日本体験学習研究所 編『人間関係づくりファシリテーション』金子書房、適宜配布資料	

実務経験のある教員による授業	担当教員は初等・中等教育の教諭経験を有しており、その経験を活かして、将来を見据えた生きた実践学の知を伝える。
オフィスアワー・連絡先	授業開始前と授業後に講師室で面談を行う。
備考	道徳性とは何か、子どもたちの道徳性を育むために必要なことは何か、積極的に考え、養護教諭に期待されている役割についての考えを深めてください。 毎回の課題での自己学修やグループ学修での積極的な取り組み姿勢を期待します。

講義科目名称： 教育相談（養護教諭）　　授業コード： 25T110

英文科目名称： Educational Consultation

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年	２単位	自由
担当教員			
持田　訓子/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	3.看護の専門的知識・技術(及び倫理的態度)に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる。 4.保健医療福祉チームの中で協働・連携し、自らの役割を果たすことができる。
履修条件	養護教諭課程必修科目
授業概要	カウンセリングの根拠となる理論を学び、多様な事例を検討することで、カウンセリングの効果と限界について知る。特に、こどもとその保護者を対象としたカウンセリングについての事例を中心的に取り上げ、学習上または生活上の困難を感じている子どもと保護者を、どのように支援するのか、教員や専門機関とどのような連携を図るのかについて学ぶ。
履修目標	①学校教育における教育相談の意義と課題を理解し説明できる。 ②受容・傾聴・共感的理解等のカウンセリングの基礎的な姿勢や技法を理解し実践できる。 ③発達障害・いじめ、不登校等について発達段階や発達課題に応じた教育相談の進め方を理解し説明できる。 ④地域の医療・福祉・心理等の専門機関との連携の意義や必要性を理解し説明できる。
授業計画・授業外学修課題	1　学校の現状と課題 授業外事前学修課題：参考文献等の関連項目を精読する。（90分） 授業外事後学修課題：要点をノートにまとめ、疑問点を調べて加筆する。（90分） 2　心と健康 授業外事前学修課題：参考文献及び配付資料等の関連項目を精読する。（90分） 授業外事後学修課題：要点をノートにまとめ、疑問点を調べて加筆する。（90分） 3　学校での人間関係；魅力と人間関係 授業外事前学修課題：参考文献及び配付資料等の関連項目を精読する。（90分） 授業外事後学修課題：要点をノートにまとめ、疑問点を調べて加筆する。（90分） 4　人間関係の構造；向き合う関係と並ぶ関係 授業外事前学修課題：参考文献及び配付資料等の関連項目を精読する。（90分） 授業外事後学修課題：要点をノートにまとめ、疑問点を調べて加筆する。（90分） 5　児童・生徒の心；自分を大切に思う気持ち 授業外事前学修課題：参考文献及び配付資料等の関連項目を精読する。（90分） 授業外事後学修課題：要点をノートにまとめ、疑問点を調べて加筆する。（90分） 6　学級におけるコミュニケーションとリーダーシップ 授業外事前学修課題：参考文献及び配付資料等の関連項目を精読する。（90分） 授業外事後学修課題：要点をノートにまとめ、疑問点を調べて加筆する。（90分） 7　言語表現と非言語表現 授業外事前学修課題：参考文献及び配付資料等の関連項目を精読する。（90分） 授業外事後学修課題：要点をノートにまとめ、疑問点を調べて加筆する。（90分） 8　集団の中の個人 授業外事前学修課題：参考文献及び配付資料等の関連項目を精読する。（90分） 授業外事後学修課題：要点をノートにまとめ、疑問点を調べて加筆する。（90分） 9　コミュニケーションの障害 授業外事前学修課題：参考文献及び配付資料等の関連項目を精読する。（90分） 授業外事後学修課題：要点をノートにまとめ、疑問点を調べて加筆する。（90分） 10　カウンセリングの考え方 授業外事前学修課題：参考文献及び配付資料等の関連項目を精読する。（90分） 授業外事後学修課題：要点をノートにまとめ、疑問点を調べて加筆する。（90分） 11　精神分析理論；フロイトの自我理論 授業外事前学修課題：参考文献及び配付資料等の関連項目を精読する。（90分） 授業外事後学修課題：要点をノートにまとめ、疑問点を調べて加筆する。（90分） 12　交流分析理論；バーンのエゴグラム 授業外事前学修課題：参考文献及び配付資料等の関連項目を精読する。（90分） 授業外事後学修課題：要点をノートにまとめ、疑問点を調べて加筆する。（90分）

	13　来談者中心療法；ロジャーズによる面接 授業外事前学修課題：参考文献及び配付資料等の関連項目を精読する。（90分） 授業外事後学修課題：要点をノートにまとめ、疑問点を調べて加筆する。（90分） 14　教育相談とカウンセリング 授業外事前学修課題：参考文献及び配付資料等の関連項目を精読する。（90分） 授業外事後学修課題：要点をノートにまとめ、疑問点を調べて加筆する。（90分） 15　教育相談の現状と課題 授業外事前学修課題：参考文献及び配付資料等の関連項目を精読する。（90分） 授業外事後学修課題：要点および今後の課題をノートにまとめる。（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	ペアワークやグループワークを行います。
課題のフィードバック方法と時期	リフレクションペーパーのフィードバックを次の授業時に行います。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：グループワークおよびプレゼンテーション 評価割合：20％ 評価基準：ルーブリック参照 履修目標との対応：①　②　③　④ 評価方法：リフレクションペーパー 評価割合：30％ 評価基準：ルーブリック参照 履修目標との対応：①　②　③　④ 評価方法：レポート 評価割合：50％ 評価基準：ルーブリック参照 履修目標との対応：①　②　③　④
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト： 森田健・吉田佐治子（編著）「よくわかる！教職エクササイズ３　教育相談［第２版］」 ミネルヴァ書房（2024） 参考文献： 会沢信彦（編者） 「教育相談の理論と方法」 北樹出版（2019） 石隈利紀・家近早苗（著） 「スクールカウンセリングのこれから」 創元社（2021） 春日由美・五十嵐亮（編著） 「現場で役立つ教育相談入門」 北樹出版（2023）
実務経験のある教員による授業	特別支援学校教諭および公認心理師、学校心理士としての経験をいかし、実践に役立つ知識技能を伝えます。
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワー：月曜日から木曜日までの昼休み 連絡先：nmochida@soei.ac.jp
備考	・予習復習を含め、授業への主体的な参加を期待します。 ・ルーブリックは授業内に配付します。

講義科目名称： 生徒指導の理論と実際　　授業コード： 25T111

英文科目名称： Theory and Method of Life Guidance

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	３年	２単位	自由
担当教員			
小林　伸一			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	養護教諭課程必修科目
授業概要	学校における生徒指尊の意義と課題を児童生徒の発達段階の理解のもとに学ぶ。その上で、生徒指遮の概要を把握し、危機管理的視点による組織的対応について、事例の検討等により考える。
履修目標	①生徒指導の意義や重要性を理解している。 ②生徒指湖と教育相談体制の基礎的な考え方と違いを理解している。 ③生徒指導に関する主な法令と内容を理解している。 ④暴力行為・いじめ・不登校等の生徒指導上の課題の定義及び対応の視点を理解している。 ⑤生徒指導での組織的対応の重要性を理解している。
授業計画・授業外学修課題	1　オリエンテーション　生徒指導とは 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 中高校生時に生徒指導について経験してきたことをまとめ、レポート提出する(20分) 2　生徒指導の意義と課題 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 教科書から内容を確認し、授業に生かす(30分) 3　児童生徒理解（児童期・思春期・青年期の心理的特徴、発達課題など） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 既に履修している他教科の内容を確認し、授業の取り組みに反映させる(30分) 4　生徒指導の実際１（生徒指導と教育相談） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 前授業の確認テスト準備。生徒指導の核となるこの内容について教科書から内容を確認し、授業に生かす(60分) 5　生徒指導の実際２（生徒指導と各教科、総合的な学習の時間） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 前授業の確認テスト準備。教科書から内容を確認すると共に中学・高校生時に経験してきたことを想起し、授業に反映させる(60分) 6　生徒指導の実際３（生徒指導と道徳教育、特別活動） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 前授業の確認テスト準備。事前に教科書から内容を確認し、授業に生かす(60分) 7　生徒指導の実際４（個別課題のある生徒への対応、いじめ、不登校等） 前授業の確認テスト準備。事前に教科書から内容を確認し、授業に生かす(60分) 8　生徒指導の実際５（個別課題のある生徒への対応、非行・暴力・反社会行動等） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 前授業の確認テスト準備。事前に教科書から内容を確認し、授業に生かす(60分) 9　生徒指導の方法１（チームによる組織的対応、管理機器） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 前授業の確認テスト準備。事前に教科書から内容を確認し、授業に生かす(60分) 10　生活指導の方法２（個別指導と集団指導） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 前授業の確認テスト準備。事前に教科書から内容を確認し、授業に生かす(60分) 11　生徒指導に関する法制度 教職に必要な内容について事前に教科書から内容を確認し、授業に生かす(30分) 12　生徒指導実践事例検討（小学校・特別支援学校等） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 前授業の確認テスト準備。身近で具体的な生徒指導のテーマを見つけ、調査研究しプレゼンテーションする(150分) 13　生徒指導実践事例検討（中学校・高等学校・中等教育学校等） 授業外事前学修課題：課題内容（時間）

	授業外事後学修課題：課題内容（時間） 身近で具体的な生徒指導のテーマを見つけ、調査研究しプレゼンテーションする(120分) 14 生徒指導の連携（学校・家庭・地域等） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 事前に教科書から内容を確認し、授業に生かす(30分) 15 まとめ
アクティブラーニングを用いた授業方法	対話、グループワークやプレゼンテーションを行う。
課題のフィードバック方法と時期	各回の事前課題をもとに授業で発表・討議する。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験、平常点評価、その他 評価割合：40%、20%、40% 評価基準：各授業でテストを実施すると共に、レポートでは自身の意見等具体的な説明により総合的に評価する、関心・意欲・態度・知識・理解等積極的な授業への取組み等を加点していく、プレゼンテーション課題をまとめプレゼンテーションする。内容、プレゼンテーションの様子等を評価する 履修目標との対応：①②③④⑤、①②③④⑤、①②③④⑤
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト文部科学省『生徒指逗提要』改訂版 参考文献・嶋崎政男『生徒指導の危機管理』学事出版 庄司一子監修『事例から学ぶ児童・生徒への指導と援助』ナカニシヤ出版 西郷孝彦「校則なくした中学校たった一つの校長ルール」（小学館）その他授業時に紹介する。
実務経験のある教員による授業	高校教諭や管理職の実務から生徒指導で体験してきた失敗談や成功談等の具体例を参考にしながら生徒指導のあり方等について共に考え課題を共有し、実際の学校現場で生徒指導に生かされるような授業展開をしていく。
オフィスアワー・連絡先	非常勤講師控室（昼休み）
備考	

講義科目名称： 特別支援教育論　　授業コード： 25T112

英文科目名称： Studies of Special Needs Education

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	３年	２単位	自由
担当教員			
持田　訓子/こども教育学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	3.看護の専門的知識・技術(及び倫理的態度)に基づき、多様な健康課題をアセスメントし、計画的に看護を実践することができる。 4.保健医療福祉チームの中で協働・連携し、自らの役割を果たすことができる。
履修条件	養護教諭課程必修科目
授業概要	インクルーシブ教育の実現に向けて、子どもの多様な教育的ニーズを把握し、支援の必要な子どもに適切に対応するために、障害についての基礎的知識および障がい特性等に配慮した教育実践について理解を深める。
履修目標	①特別な支援を必要とする児童生徒の障害の特性及び心身の発達を理解し説明できる。 ②特別な支援を必要とする児童生徒に対する教育課程や支援の方法を理解し説明できる。 ③障害の有無にかかわらず、教育的ニーズのある児童生徒の学習上または生活上の困難とその対応を理解し検討できる。
授業計画・授業外学修課題	1　ガイダンス ―特別支援教育とは― 授業外事前学修課題：参考文献等の関連項目を精読する。（90分） 授業外事後学修課題：要点をノートにまとめ、疑問点を調べて加筆する。（90分） 2　障害について考える 授業外事前学修課題：参考文献及び配付資料等の関連項目を精読する。（90分） 授業外事後学修課題：要点をノートにまとめ、疑問点を調べて加筆する。（90分） 3　関係性の中の障害 ―「困っている子ども」という視点― 授業外事前学修課題：参考文献及び配付資料等の関連項目を精読する。（90分） 授業外事後学修課題：要点をノートにまとめ、疑問点を調べて加筆する。（90分） 4　支援について考える ―適時・適切・適度な支援― 授業外事前学修課題：参考文献及び配付資料等の関連項目を精読する。（90分） 授業外事後学修課題：要点をノートにまとめ、疑問点を調べて加筆する。（90分） 5　視覚障害の理解と視覚障害に配慮した教育に関する理論と実践 授業外事前学修課題：参考文献及び配付資料等の関連項目を精読する。（90分） 授業外事後学修課題：要点をノートにまとめ、疑問点を調べて加筆する。（90分） 6　聴覚障害の理解と聴覚障害に配慮した教育に関する理論と実践 授業外事前学修課題：参考文献及び配付資料等の関連項目を精読する。（90分） 授業外事後学修課題：要点をノートにまとめ、疑問点を調べて加筆する。（90分） 7　肢体不自由の理解と肢体不自由に配慮した教育に関する理論と実践 授業外事前学修課題：参考文献及び配付資料等の関連項目を精読する。（90分） 授業外事後学修課題：要点をノートにまとめ、疑問点を調べて加筆する。（90分） 8　知的障害の理解と知的障害に配慮した教育に関する理論と実践 授業外事前学修課題：参考文献及び配付資料等の関連項目を精読する。（90分） 授業外事後学修課題：要点をノートにまとめ、疑問点を調べて加筆する。（90分） 9　発達障害の理解と発達障害に配慮した教育に関する理論と実践 授業外事前学修課題：参考文献及び配付資料等の関連項目を精読する。（90分） 授業外事後学修課題：要点をノートにまとめ、疑問点を調べて加筆する。（90分） 10　自閉スペクトラム症の理解と自閉スペクトラム症に配慮した教育に関する理論と実践 授業外事前学修課題：参考文献及び配付資料等の関連項目を精読する。（90分） 授業外事後学修課題：要点をノートにまとめ、疑問点を調べて加筆する。（90分） 11　LDの理解とLDに配慮した教育に関する理論と実践 授業外事前学修課題：参考文献及び配付資料等の関連項目を精読する。（90分） 授業外事後学修課題：要点をノートにまとめ、疑問点を調べて加筆する。（90分） 12　ADHDの理解とADHDに配慮した教育に関する理論と実践 授業外事前学修課題：参考文献及び配付資料等の関連項目を精読する。（90分） 授業外事後学修課題：要点をノートにまとめ、疑問点を調べて加筆する。（90分） 13　インクルーシブ教育システムの構築のための特別支援教育の推進という方向性 授業外事前学修課題：参考文献及び配付資料等の関連項目を精読する。（90分）

	授業外事後学修課題：要点をノートにまとめ、疑問点を調べて加筆する。（90分） 14　特別支援教育における新しい動向 授業外事前学修課題：参考文献及び配付資料等の関連項目を精読する。（90分） 授業外事後学修課題：要点をノートにまとめ、疑問点を調べて加筆する。（90分） 15　共生社会とインクルーシブな学校づくり 授業外事前学修課題：参考文献及び配付資料等の関連項目を精読する。（90分） 授業外事後学修課題：要点および今後の課題をノートにまとめる。（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	ペアワークやグループワークを行います。
課題のフィードバック方法と時期	リフレクションペーパーのフィードバックを次の授業時に行います。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：グループワークおよびプレゼンテーション 評価割合：20％ 評価基準：ルーブリック参照 履修目標との対応：①　②　③ 評価方法：リフレクションペーパー 評価割合：30％ 評価基準：ルーブリック参照 履修目標との対応：①　②　③ 評価方法：レポート 評価割合：50％ 評価基準：ルーブリック参照 履修目標との対応：①　②　③
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト： 使用せず。必要に応じて資料を配付します。 参考文献： 大塚玲（編著）　「インクルーシブ教育時代の教員をめざすための特別支援教育入門」　萌文書林（2015） 花熊暁・川住隆一・苅田知則（編著）　「特別支援教育免許シリーズ 特別支援教育概論」建帛社（2020） 大庭重治（編著）　「特別支援教育の探求」ミネルヴァ書房　(2022) 村上香奈・中村晋（編著）　「すべての子どもに寄り添う特別支援教育」　ミネルヴァ書房（2023）
実務経験のある教員による授業	特別支援学校教諭および公認心理師、学校心理士としての経験をいかし、実践に役立つ知識技能を伝えます。
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワー：月曜日から木曜日までの昼休み 連絡先：nmochida@soei.ac.jp
備考	・予習復習を含め、授業への主体的な参加を期待します。 ・ルーブリックは授業内に配付します。

講義科目名称： 教育方法論　　授業コード： 25T113

英文科目名称： Educational Methods

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	３年	２単位	自由
担当教員			
藤原　瑞穂/ 看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	養護教諭課程必修科目
授業概要	養護教諭として教育方法の基礎的な知識・理論と実践のための教育メディアの活用を学ぶ。その上で、専門的立場からの保健や健康に関する内容の学習指導案を作成して模擬授業を行う。
履修目標	①教育方法の基礎的理論と実践を理解し、説明することができる。 ②授業を構成する基礎的要件（学級、児童生徒、教室、教材など）を理解し、説明することができる。 ③基礎的な学習指導論を踏まえて、学習指導案を作成し模擬授業を展開できる。 ④児童生徒の興味関心を高め、学習内容の明確化等を目指した教材を作成することができる。 ⑤情報機器等を活用し、児童生徒の興味関心に働きかける教材を作成することができる。
授業計画・授業外学修課題	1　授業ガイダンス　教育方法とは何か 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストの該当箇所を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 2　教育方法の歴史的概観 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストの該当箇所を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 3　教育方法の基本　系統学習・経験学習 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストの該当箇所を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 4　授業とは何か　代表的な授業理論 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストの該当箇所を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 5　様々な教授・学習の様式・方法の利点と問題点 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストの該当箇所を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 6　教材・教具と情報機器を活用した授業 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストの該当箇所を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 7　授業実施上の基礎的技術（板書・指導形態など）　外部講師 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストの該当箇所を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 8　教育の現代的課題と教育方法 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストの該当箇所を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 9　教育メディアの活用　実践例 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストの該当箇所を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 10　学習指導案の作成（テーマ及び内容の決定） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストの該当箇所を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 11　学習指導案の作成（指導案の立案）

	授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストの該当箇所を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 12　学習指導案の作成（指導案検討・情報機器を活用した教材づくり） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストの該当箇所を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 13　模擬授業（発表、相互評価）、研究協議① 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストの該当箇所を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。模擬授業実践後、必要に応じて指導案を修正する。（90分） 14　模擬授業（発表、相互評価）、研究協議② 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストの該当箇所を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。模擬授業実践後、必要に応じて指導案を修正する。（90分） 15　模擬授業（発表、相互評価）、研究協議③ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） テキストの該当箇所を熟読し、不明な用語を調べておく。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内の内容を復習し、要点をノートにまとめる。模擬授業実践後、必要に応じて指導案を修正する。（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	グループワーク、模擬授業等を行う。
課題のフィードバック方法と時期	・レポートについては、次の授業回で振り返りや質疑応答を行います。 ・各回のリフレクションペーパーのフィードバックは、次の授業時に行います。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：筆記試験 評価割合：40％ 評価基準：授業で学んだことを理解できれば60点 履修目標との対応：①○　②○　③○　④○ 評価方法：レポート 評価割合：30％ 評価基準：根拠をもとに自分の意見を端的にまとめることができ、指示された文字数であれば60点 履修目標との対応：①○　②○　③○　④○　⑤○ 評価方法：その他（プレゼンテーション、グループワークの取り組み・説明や発表内容等） 評価割合：30％ 評価基準：60点 履修目標との対応：②○　③○　④○　⑤○
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	テキスト：平沢茂、四訂版　教育の方法と技術、図書文化、ISBN：978-4-8100-3778-4 参考書：授業時に随時紹介する
実務経験のある教員による授業	該当 小学校、高等学校、大学での現場経験を活かし、理論とともに実践的な知見を伝える。
オフィスアワー・連絡先	火曜日　9：00-12：00 金曜日　9：00-12：00 連絡先：藤原瑞穂　mfujiwara@soei.ac.jp
備考	

講義科目名称： 教職実践演習（養護教諭）　　授業コード： 25T114

英文科目名称： Practical Seminar for Teaching Profession

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	４年	２単位	自由
担当教員			
藤原　瑞穂/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	養護教諭課程必修科目
授業概要	本科目の目的は、養護教諭として必要な資質能力の全体を確認することである。具体的には、教員としての使命感・責任感、教育的愛情について学修するとともに、対人関係能力を確実なものにし、児童生徒理解のための具体的な方法の修得、学校現場での実践的指導力の獲得を目指す。授業形態は、養護実習を通じて得た知識・技術の確認、保健室経営計画案の作成、学校保健の指導案作成と場面指導の実施、学校現場の事例研究、グループ討議、フィールドワークなどで、学生の自主的・主体的な参加型学修とする。
履修目標	①これまでの学修や養護実習での学びを統合させた理解に基づいた説明ができる。 ②養護教諭の具体的な役割の自覚を強め、養護教諭としての役割を説明できる。 ③養護教諭として教育に対する使命感、責任感を自覚し、提示できる。 ④養護教諭としての確かな実践力、指導力の重要性を理解し、説明できる。
授業計画・授業外学修課題	1　オリエンテーション　グループワーク 教育実習の振り返りを共有する 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護実習振り返り、実習日誌等を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 2　教育実習等での学びをもとに教職について考える 養護実習のまとめ、他学年に向けたプレゼンテーション 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護実習振り返り、実習日誌等を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 3　保健指導の実施 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護実習振り返り、実習日誌等を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 4　保健室活動の実際　事例検討　救急対応/危機対応・管理 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護実習振り返り、実習日誌等を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 5　健康問題の把握とその対応 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護実習振り返り、実習日誌等を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 6　学校組織・運営・学校生活等について 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護実習振り返り、実習日誌等を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 7　学校保健安全計画・保健室経営計画 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護実習振り返り、実習日誌等を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 8　健康問題の把握とその対応 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護実習振り返り、実習日誌等を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 9　学校組織・運営・学校生活等について 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護実習振り返り、実習日誌等を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分）

	10　教育職の役割・養護教論の役割 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護実習振り返り、実習日誌等を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 11　特別支援における養護教論の役割① 特別支援学校見学実習 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護実習振り返り、実習日誌等を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 12　特別支援における養護教論の役割② 特別支援学校見学実習 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護実習振り返り、実習日誌等を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 13　特別支援における養護教論の役割③ インクルーシブ教育学校見学実習 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護実習振り返り、実習日誌等を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 14　特別支援における養護教論の役割④ インクルーシブ教育学校見学実習 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護実習振り返り、実習日誌等を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分） 15　教育職の役割・養護教論の役割　まとめ 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護実習振り返り、実習日誌等を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 授業内容を復習し、要点をノートにまとめる。（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	各回にて、グループ討議、フィールドワーク（見学実習等）等により、学生の自主的・主体的な参加型学修を実施する。
課題のフィードバック方法と時期	振り返りシートにより、授業理解の確認を行う。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	評価方法：レポート 評価割合：60% 評価基準：課題に即した内容で、指示された体裁で文章の提出ができれば60点。 履修目標との対応：①○　②○　③○　④○ 評価方法：その他（養護実習報告会・グループ討議の内容及び取り組み等） 評価割合：40% 評価基準：自主的・主体的に活動できれば60点。 履修目標との対応：①○　②○　③○　④○
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	養護教諭課程教職科目で使用したテキスト・参考書
実務経験のある教員による授業	該当 小学校、高等学校、大学での現場経験を活かし、理論とともに実践的な知見を伝える。
オフィスアワー・連絡先	火曜日　9：00-12：00 金曜日　9：00-12：00 連絡先：藤原瑞穂　mfujiwara@soei.ac.jp
備考	

講義科目名称： 養護実習　　授業コード： 25T115

英文科目名称： Practicum of School Health Nursing

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	４年	５単位	自由
担当教員			
藤原　瑞穂/看護学部			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシーとの対応	
履修条件	養護教諭課程必修科目　３年次後期までに履修すべき必修科目及び養護教諭課程必修教職科目（教職実践演習以外）の単位を修得していること。
授業概要	学内で学んだ教育理論を実際の学校現場で具体的に学修することで、理解力及び実践力を身につけることをねらいとする。養護教諭に必要な専門的知識と指導技術を深める。児童・生徒と直接関わることにより、健全な子ども観、教師観及び教育観を培うとともに、養護教諭として資質を客観視する。実習場所は、学生がどのような対象（小学生・中学生・高校生）に、どのような養護教諭として活動したいかを基軸として選択する。
履修目標	①学校保健活動における養護教諭を教育活動の一環と捉え、保健室のあり方及び養護教諭の果たすべき役割を説明できる。 ②児童・生徒の心身の状況及び生活の実態を知り、子どもたちの健康問題の特徴を提示できる。 ③児童・生徒の保健・養護状の課題に対処できる基礎能力について理解し、説明できる。 ④保健教育の実践を通し、保健・健康に関する教育専門職としての実際について説明できる。 ⑤養護教諭に対する志向を高めるとともに、養護教諭に必要な態度について理解し、説明できる。
授業計画・授業外学修課題	1　事前指導① 指導案の書き方（復習）・指導案の立案 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護教諭課程教職科目で使用したテキスト・参考書を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 必要に応じてノートを作成し、実習校での実習で活用できる資料とする。（90分） 2　事前指導② 指導案の書き方（復習）・指導案の立案 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護教諭課程教職科目で使用したテキスト・参考書を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 必要に応じてノートを作成し、実習校での実習で活用できる資料とする。（90分） 3　事前指導③ 指導案の立案/教材作成 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護教諭課程教職科目で使用したテキスト・参考書を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 必要に応じてノートを作成し、実習校での実習で活用できる資料とする。（90分） 4　事前指導④ 指導案の立案/教材作成 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護教諭課程教職科目で使用したテキスト・参考書を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 必要に応じてノートを作成し、実習校での実習で活用できる資料とする。（90分） 5　事前指導⑤ 指導案の立案/教材作成 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護教諭課程教職科目で使用したテキスト・参考書を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 必要に応じてノートを作成し、実習校での実習で活用できる資料とする。（90分） 6　事前指導⑥ 指導案の立案/教材作成 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護教諭課程教職科目で使用したテキスト・参考書を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 必要に応じてノートを作成し、実習校での実習で活用できる資料とする。（90分） 7　事前指導⑦ 模擬授業実践 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護教諭課程教職科目で使用したテキスト・参考書を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 必要に応じてノートを作成し、実習校での実習で活用できる資料とする。（90分）

	8	事前指導⑧ 模擬授業実践 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護教諭課程教職科目で使用したテキスト・参考書を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 必要に応じてノートを作成し、実習校での実習で活用できる資料とする。（90分）
	9	事前指導⑨ 模擬授業実践 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護教諭課程教職科目で使用したテキスト・参考書を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 必要に応じてノートを作成し、実習校での実習で活用できる資料とする。（90分）
	10	事前指導⑩ 健康診断演習 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護教諭課程教職科目で使用したテキスト・参考書を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 必要に応じてノートを作成し、実習校での実習で活用できる資料とする。（90分）
	11	事前指導⑪ 健康相談活動（ロールプレイによる演習） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護教諭課程教職科目で使用したテキスト・参考書を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 必要に応じてノートを作成し、実習校での実習で活用できる資料とする。（90分）
	12	事前指導⑫ 健康相談活動（ロールプレイによる演習） 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護教諭課程教職科目で使用したテキスト・参考書を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 必要に応じてノートを作成し、実習校での実習で活用できる資料とする。（90分）
	13	事前指導⑬ 応急手当実技 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護教諭課程教職科目で使用したテキスト・参考書を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 必要に応じてノートを作成し、実習校での実習で活用できる資料とする。（90分）
	14	事前指導⑭ 応急手当実技 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護教諭課程教職科目で使用したテキスト・参考書を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 必要に応じてノートを作成し、実習校での実習で活用できる資料とする。（90分）
	15	事前指導⑮ 応急手当実技 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護教諭課程教職科目で使用したテキスト・参考書を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 必要に応じてノートを作成し、実習校での実習で活用できる資料とする。（90分）
	16～	実習校における実習　４週間（20日程度）160ｈ程度 実習校での実習プログラムによる 事後指導① 実習振り返り 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護教諭課程教職科目で使用したテキスト・参考書を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 実習で使用した資料、学校情報等を活用して情報を収集・整理する。（90分） 事後指導② レポート作成 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護教諭課程教職科目で使用したテキスト・参考書を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 実習で使用した資料、学校情報等を活用して情報を収集・整理する。（90分） 事後指導③ レポート作成 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護教諭課程教職科目で使用したテキスト・参考書を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 実習で使用した資料、学校情報等を活用して情報を収集・整理する。（90分）

	事後指導④ レポート作成 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護教諭課程教職科目で使用したテキスト・参考書を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 実習で使用した資料、学校情報等を活用して情報を収集・整理する。（90分） 事後指導⑤ レポート作成 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護教諭課程教職科目で使用したテキスト・参考書を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 実習で使用した資料、学校情報等を活用して情報を収集・整理する。（90分） 事後指導⑥ レポート作成 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護教諭課程教職科目で使用したテキスト・参考書を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 実習で使用した資料、学校情報等を活用して情報を収集・整理する。（90分） 事後指導⑦ レポート作成 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護教諭課程教職科目で使用したテキスト・参考書を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 実習で使用した資料、学校情報等を活用して情報を収集・整理する。（90分） 事後指導⑧ レポート作成 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護教諭課程教職科目で使用したテキスト・参考書を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 実習で使用した資料、学校情報等を活用して情報を収集・整理する。（90分） 事後指導⑨ レポート作成 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護教諭課程教職科目で使用したテキスト・参考書を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 実習で使用した資料、学校情報等を活用して情報を収集・整理する。（90分） 事後指導⑩ レポート作成 授業外事前学修課題：課題内容（時間） 養護教諭課程教職科目で使用したテキスト・参考書を確認する。（90分） 授業外事後学修課題：課題内容（時間） 実習で使用した資料、学校情報等を活用して情報を収集・整理する。（90分）
アクティブラーニングを用いた授業方法	事前・事後実習では、ロールプレイや模擬授業、プレゼンテーション等を行う。 臨地での実習では、実習校でにて体験的に学修する。
課題のフィードバック方法と時期	事後指導時に養護実習での学び、成果についてレポートし、個別にフィードバックを受ける。
評価方法・評価割合・評価基準・学修到達目標との対応	【事前指導】 評価方法：デモンストレーション（模擬授業実践、ロールプレイ、応急手当実技等） 評価割合：15% 評価基準：これまで学んだ内容を踏まえて実践できれば60点 履修目標との対応：①○　②○　③○　④○　⑤○ 【事後指導】 評価方法：レポート 評価割合：5% 評価基準：実習校での学び・成果をまとめられれば60点 履修目標との対応：①○　②○　③○　④○　⑤○ 【実習校での実習】 評価方法：その他（実習内容・取り組み（実習校評価含む）、実習記録） 評価割合：80% 評価基準：実習目標が達成できれば60点 履修目標との対応：①○　②○　③○　④○　⑤○
テキスト・参考文献・その他（必要物品など）	養護教諭課程教職科目で使用したテキスト・参考書
実務経験のある教員による授業	該当 小学校、高等学校、大学での現場経験を活かし、理論とともに実践的な知見を伝える。
オフィスアワー・連絡先	火曜日　9：00-12：00 金曜日　9：00-12：00 連絡先：藤原瑞穂　mfujiwara@soei.ac.jp
備考	